五代竹花II遺跡
五代木福III遺跡

五代南部工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

五代竹花II遺跡
五代木福III遺跡

五代南部工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

序

前橋市は、雄大な裾野を広げる赤城山を背に、坂東太郎として名高い利根川や詩情豊かな広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情にあふれた美しい県都です。

前橋市域の赤城山南麓と前橋台地上には、旧石器時代から近世・近代に至るまで、人々の生活の痕跡を示す遺跡・遺物が数多く存在します。特に古墳においては、かつて市域には800余基の存在が伝えられています。その中には大室四古墳をはじめ国指定史跡となっている古墳も９基含まれ、東国古墳文化の中心として位置づけられてきました。また、続く律令政治の時代に入ると、山王廃寺、上野国分僧寺、上野国分尼寺、上野国府の存在が示すとおり政治、宗教、経済の中心地として花開き一大文化圏が形成されました。さらに中世においては、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。まさに、前橋市はこれまで連綿と続いてきた歴史を物語る様々な文化財で溢れています。

今回発掘調査を実施した五代竹花II遺跡では、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代の住居跡や掘立柱建物跡、中世以降の地下式土坑、道路状遺構などの遺構と皇朝十二銭の和同開珎２点、神功開宝３点の出土があり、貴重な遺構と遺物を検出することが出来ました。

また、五代木福III遺跡では、古墳時代後期から奈良・平安時代の住居跡や掘立柱建物跡、中世以降の溝跡など平成12年度調査の木福II遺跡で検出した遺構と結びつくものもあり、この地域一帯の歴史解明に重要な資料を得ることが出来ました。

最後に、本発掘調査実施にあたりご理解とご協力を賜りました市関係部局、地元関係者の方々、また、調査に従事されました作業員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。本報告書が市史究明の一助となることを祈念し序といたします。

平成16年３月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

団長　阿　部　明　雄

例　　言

1　本報告書は、五代南部工業団地造成にさきがけて実施した五代竹花II遺跡（ゴダイタケハナニイセキ）、五代木福III遺跡（ゴダイキフクサンイセキ）の発掘調査報告書である。

2　遺跡の所在地　五代竹花II遺跡　群馬県前橋市五代町1093番地外
　　五代木福III遺跡　群馬県前橋市五代町1163-1番地外

3　調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長 阿部　明雄）の指導のもとに委託者 前橋工業団地造成組合（管理者 萩　原　弥惣治）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永　眞弘）が実施した。
　調査担当者　　齊木一敏・倉品敦子（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）
　　金子正人・荻野博巳・権田友寿・板垣　宏・神津芳夫・山口和宏（スナガ環境測設株式会社）
　調　査　員　猪熊正晴・岡本敬一・戸根浩美（スナガ環境測設株式会社）

4　発掘調査期間　平成15年10月2日～平成16年3月5日
　整 理 期 間　平成15年12月1日～平成16年3月5日

5　調 査 面 積　五代竹花II遺跡　6,411㎡　　五代木福III遺跡　6,035.5㎡　　計 12,446.5㎡

6　出土遺物は、前橋市教育委員会が保管する。

7　測量・調査計画…須永眞弘、調査助言…金子正人、調査担当…荻野博巳・権田友寿・板垣　宏・神津芳夫・山口和宏、測量調査…猪熊正晴・岡本敬一・戸根浩美、安全管理…栗原昭一郎、重機オペレーター…金子正人・都丸保男・奈良武利・樺沢　映、作業事務…柴崎信江が担当した。

8　本書は、調査団指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成に当たり、原稿執筆…Ⅰについては齊木一敏（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）、その他は荻野博巳（木福III）・権田友寿（竹花II）が担当した。編集・校正…須永眞弘・金子正人・板垣　宏・山口和宏、実測図の整理他…猪熊正晴・岡本敬一、遺構・遺物のトレース…権田友寿・岡本敬一、遺物の整理…神津芳夫、遺物実測…戸根浩美・佐々木智恵子、遺物洗浄・注記・接合…都丸保男・柴崎信江・栗原昭一郎・小暮幸子、写真整理・内業事務…須永　豊・柴崎信江が担当した。

9　発掘調査に参加した方々（敬称略）
　上村一視　内山恵美子　都丸藤子　石川サワ子　小暮幸子　内山　康　下田和子　平林クニ子
　佐藤作子　小林益二　清水元美　石綿茂雄　品川浪江　奈良昭二　渡辺国治　石田みよ子
　諸田ケサエ　諸田伊勢寿　田中日出子　高橋あき　萩原咲枝　荒井愛子　織間芳江　田辺信治
　天野　勝　飯田美和　五十嵐鬼子治　大澤俊正　加藤幸作　川岸　清　川岸光子　北爪　勲
　近藤一夫　斎藤喜作　根岸陽三郎　萩原英一

凡　　例

1　遺跡の略称は、五代竹花II遺跡（15C22）、五代木福III遺跡（15C23）である。

2　遺構名の略称　縄文住居跡…J、古墳～奈良・平安住居跡…H、竪穴状遺構…T、掘立柱建物跡…B、道跡…A、溝跡…W、土坑…D、ピット（柱穴）…P、井戸跡…I。　実測図中の記号　P…土器、S…石。

3　実測図の縮尺は、次のとおりである。
　五代竹花II遺跡　遺跡平面図（1/200・1/300・1/500）、住居跡（1/60・1/80）、土坑・ピット（1/80）、カマド（1/40・1/80）、遺物実測図（1/1・1/3・1/5）を使用した。
　五代木福III遺跡　遺跡平面図（1/300・1/500）、住居跡・炉跡・ピット・土坑・貯蔵穴（1/80）、炉跡断面（1/40）、カマド（1/40・1/80）、遺物実測図（1/1・1/2・1/3・1/5）を使用した。

4　本文中の（　）は推定、［　］は検出値を表す。

5　挿図に国土地理院発行の2万5千分の1「前橋・大胡・渋川・鼻毛石」を使用した。

6　各遺跡の位置の基準は、国土地理院三角点及び水準点と照合済。
　五代竹花II遺跡　基準点X90，Y170グリッド地点　第IX系座標値　X45,520.000m、Y－64,340.000m
　　水準点 BM.…128.00m、123.00m、等高線20㎝、グリッド4m間隔
　五代木福III遺跡　基準点X115，Y215グリッド地点　第IX系座標値　X45,340.000m、Y－64,240.000m
　　水準点 BM.…123.00m、125.50m、126.50m、等高線20・50㎝、グリッド4m間隔

7　土層断面の土色名及び土器類の色調名は、『新版標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局監修 財団法人日本色彩研究所 色票監修）による。

8　須恵器の断面…[redacted]、施釉部分…[redacted]、黒色処理…[redacted]を使用した。

9　各遺構の面積は、平面図をもとに座標面積計算より算出した。

目　次

序……i
例言・凡例……iii
目次・挿図……iv
表・写真図版……v
I　調査に至る経緯……1
II　遺跡の位置と歴史的環境……1
　1．遺跡の立地……1
　2．歴史的環境……1
III　調査の経過……3
　1．調査方針……3
　2．調査経過……3
IV　層　　序……4
V　五代竹花II遺跡
　1．縄文時代の遺構と遺物……7
　　(1)　縄文住居跡……7
　　(2)　土　坑……7
　2．古墳時代以降の遺構と遺物
　　(1)　竪穴住居跡……7
　　①　古墳時代……7
　　②　奈良・平安時代……8
　　(2)　竪穴状遺構……11
　　(3)　掘立柱建物跡……12
　　(4)　周溝状遺構……12
　　(5)　ピット……12
　　(6)　地下式土坑……14
　　(7)　土　坑……15
　　(8)　井戸跡……16
　　(9)　道路状遺構……16
　3．ま と め……16
VI　五代木福III遺跡
　1．遺構と遺物……47
　　(1)　竪穴住居跡……47
　　(2)　周溝状遺構……54
　　(3)　T－1号竪穴状遺構……54
　　(4)　井戸跡……54
　　(5)　溝　跡……54
　　(6)　土　坑……55
　　(7)　ピット……56
　　(8)　掘立柱建物跡……59
　2．ま と め……60

挿　図

第1図　遺跡位置図・グリッド設定図……vi
第2図　周辺遺跡図……2
第3図　五代竹花II遺跡基本土層断面図……4
第4図　五代木福III遺跡基本土層断面図……4

五代竹花II遺跡

第5図　J－1号住居跡、D－79・80号土坑平面・断面図…22
第6図　H－10・12号住居跡平面・断面図……23
第7図　H－1・2号住居跡平面・断面図……24
第8図　H－3・4号住居跡平面・断面図……25
第9図　H－5・6号住居跡平面・断面図……26
第10図　H－7・8号住居跡平面・断面図……27
第11図　H－9・11・13号住居跡平面・断面図……28
第12図　H－14・15号住居跡平面・断面図……29
第13図　H－16・17号住居跡平面・断面図……30
第14図　H－18・19号住居跡平面・断面図……31
第15図　T－1～3号竪穴状遺構、周溝状遺構平面・断面図……32
第16図　B－1・2号掘立柱建物跡平面・断面図……33
第17図　B－3号掘立柱建物跡、地下式土坑、I－3号井戸跡平面・断面図……34
第18図　I－1・2号井戸跡、D－96・73～75・77号土坑平面・断面図……35
第19図　A－1～4号道路状遺構断面図……36
第20図　五代竹花II遺跡　A調査区平面図……37
第21図　五代竹花II遺跡　B・C調査区平面図……39
第22図　J－1号、H－1～3号住居跡、D－74号土坑遺物実測図……40
第23図　H－4～7号住居跡遺物実測図……41
第24図　H－7・8・10号住居跡遺物実測図……42
第25図　H－10・12～15号住居跡遺物実測図……43
第26図　H－16・17・19号住居跡、グリッド出土遺物実測図……44

五代木福III遺跡

第27図　五代木福III遺跡　A調査区平面図……67
第28図　H－1・2・4号住居跡平面・断面図……69
第29図　H－4～6号住居跡平面・断面図……70
第30図　H－6・7・9号住居跡平面・断面図……71
第31図　H－9・11・12号住居跡平面・断面図……72
第32図　H－13・14号住居跡、W－3号溝跡平面・断面図…73
第33図　H－17・18号住居跡平面・断面図……74
第34図　H－19・21・22号住居跡平面・断面図……75
第35図　H－22・24・25号住居跡平面・断面図……76
第36図　H－25・26・28号住居跡平面・断面図……77
第37図　H－29・30・36・32号住居跡平面・断面図……78
第38図　H－32～35・37号住居跡、D－70号土坑平面・断面図……79

第39図　H-37号住居跡、Ｉ-１・３号井戸跡、Ｂ-８号掘立柱建物跡平面・断面図 ……80
第40図　H-１・２・４～７号住居跡出土遺物実測図 ……81
第41図　H-７・９・11～14・17～19号住居跡出土遺物実測図 ……82
第42図　H-21・22・24～26・28号住居跡出土遺物実測図 ……83
第43図　H-29・32～34・36・37号住居跡、Ｉ-２号井戸跡出土遺物実測図 ……84
第44図　W-２号溝跡、D-７・16・62号土坑、グリッド出土遺物実測図 ……85
付　図　五代竹花II遺跡平面図
付　図　五代木福III遺跡平面図

表

第１表　周辺遺跡概要一覧表……２

五代竹花II遺跡

第２表　土坑（縄文時代）計測表……７
第３表　掘立柱建物跡計測表……12
第４表　ピット計測表 ……13
第５表　土坑計測表 ……15
第６表　井戸跡計測表 ……16
第７表　道路状遺構計測表 ……16
第８表　皇朝十二銭出土遺跡一覧表（群馬県内）……17
第９表　出土遺物観察表 ……18

五代木福III遺跡

第10表　井戸跡計測表 ……54
第11表　溝跡計測表 ……54
第12表　土坑計測表 ……55
第13表　ピット計測表 ……56
第14表　掘立柱建物跡計測表……59
第15表　出土土器観察表 ……62
第16表　鉄製品観察表 ……65
第17表　古銭観察表 ……65
第18表　石製品観察表 ……66

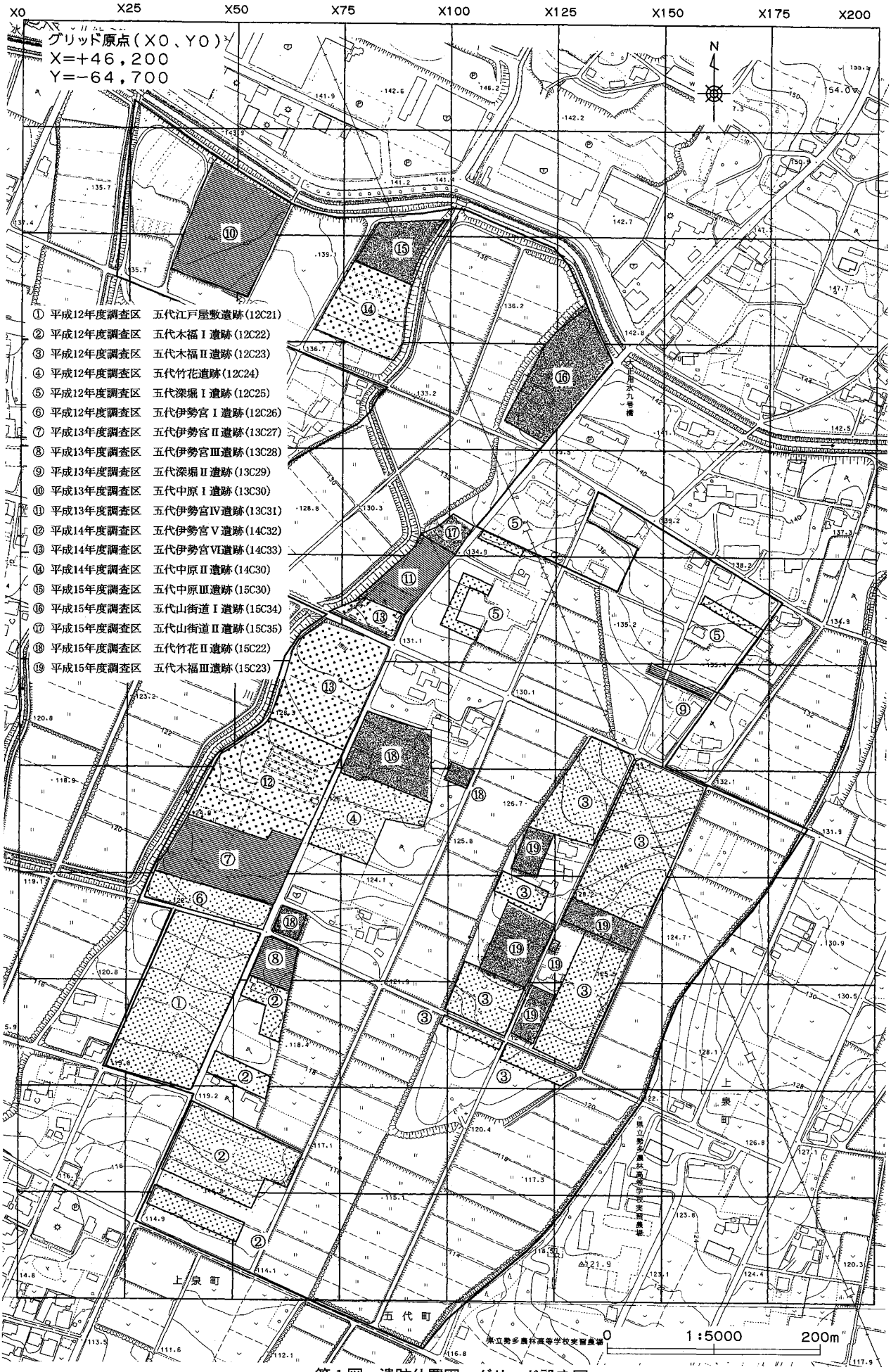
写真図版

五代竹花II遺跡

図版１　A・B・C区調査前全景、A・B・C調査区全景、J-１、H-１全景、J-１遺物出土状況
図版２　H-２～５、B-１全景、H-２～４遺物出土状況
図版３　H-６～８、H-７カマド全景、H-５～７遺物出土状況
図版４　H-９～12、H-10カマド全景、H-10、H-10カマド遺物出土状況
図版５　H-12貯蔵穴、H-13～16全景、H-12・14・15遺物出土状況
図版６　H-17～19、H-16・17・19カマド全景、H-17・19遺物出土状況
図版７　H-19カマド、D-74遺物出土状況、D-73～75・77、地下式土坑、Ｉ-３、周溝状遺構全景
図版８　A-１、B-２・３、T-１・３全景、深掘りセクション（A区・C区）、埋め戻し完了全景
図版９　J-１、H-１～４、D-74出土遺物
図版10　H-５～８出土遺物
図版11　H-７・10・12出土遺物
図版12　H-12～17・19、グリッド出土遺物

五代木福III遺跡

図版13　A・B・C・D区調査前全景、A・B・C・D調査区全景、H-１全景
図版14　H-２～６全景、H-２・６遺物出土状況、H-２カマド遺物出土状況
図版15　H-７～11、H-７カマド全景、H-６・７遺物出土状況
図版16　H-12～17、H-14カマド全景、H-14・17遺物出土状況
図版17　H-18～21、H-18東カマド・西カマド・21カマド全景、H-19遺物出土状況
図版18　H-22～26全景、H-21・22カマド、H-26貯蔵穴遺物出土状況
図版19　H-27～32・36全景、H-26・31カマド全景、H-26カマド遺物出土状況
図版20　H-33～35・37、D-70、T-１全景、H-32遺物出土状況、H-37ベンガラ出土状況、H-32炉跡（小鍛冶）全景
図版21　周溝状遺構、B-６・８、W-３・９・10、Ｉ-４全景、W-２遺物出土状況、深掘りセクション
図版22　H-１・２・４～６出土遺物
図版23　H-６・７・９・11～14出土遺物
図版24　H-14・17～19・21・22出土遺物
図版25　H-22・24～26・28・29・32出土遺物
図版26　H-32～34・36・37、Ｉ-２、W-２、D-７・16・62、グリッド出土遺物



第１図　遺跡位置図・グリッド設定図

I　調査に至る経緯

本発掘調査は、五代南部工業団地造成事業実施に伴い行われた。本調査地は、平成12年度の試掘調査結果により遺跡地であることが確認されている。今年度は、その発掘調査地年次計画に基づいて行われた調査の４年目にあたるものである。

平成15年７月１日、前橋工業団地造成組合（管理者　萩原　弥惣治）より、五代南部工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼（13,446.5㎡）が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団（以下「調査団」という。）団長　阿部　明雄に対し調査実施を通知した。しかし、既に市内数カ所において調査団直営による発掘調査が実施されており、調査依頼面積すべてを直営で行うことは困難と判断した。よって、調査依頼面積のうち1,000㎡については既に行っている直営調査に組み込み、残りの12,446.5㎡については前橋工業団地造成組合と調査団との間で平成14年４月17日付けで締結されている埋蔵文化財発掘調査に関する協定書に基づき、民間調査会社による発掘調査を進める方針を決めた。これを受け、12,446.5㎡については、まず、依頼者である前橋工業団地造成組合との間で10月１日に埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結し、その後、10月２日付けで民間調査会社であるスナガ環境測設株式会社　代表取締役　須永　眞弘との間で委託契約を締結し、現地調査開始に至った。

なお、遺跡名称「五代竹花II遺跡」（市遺跡コード：15C22）、「五代木福III遺跡」（市遺跡コード：15C23）の「竹花」「木福」は旧地籍の小字名を採用し、名称中のローマ数字「II」「III」は、当調査団で過去に調査した遺跡と区別するため付したものである。

II　遺跡の位置と歴史的環境

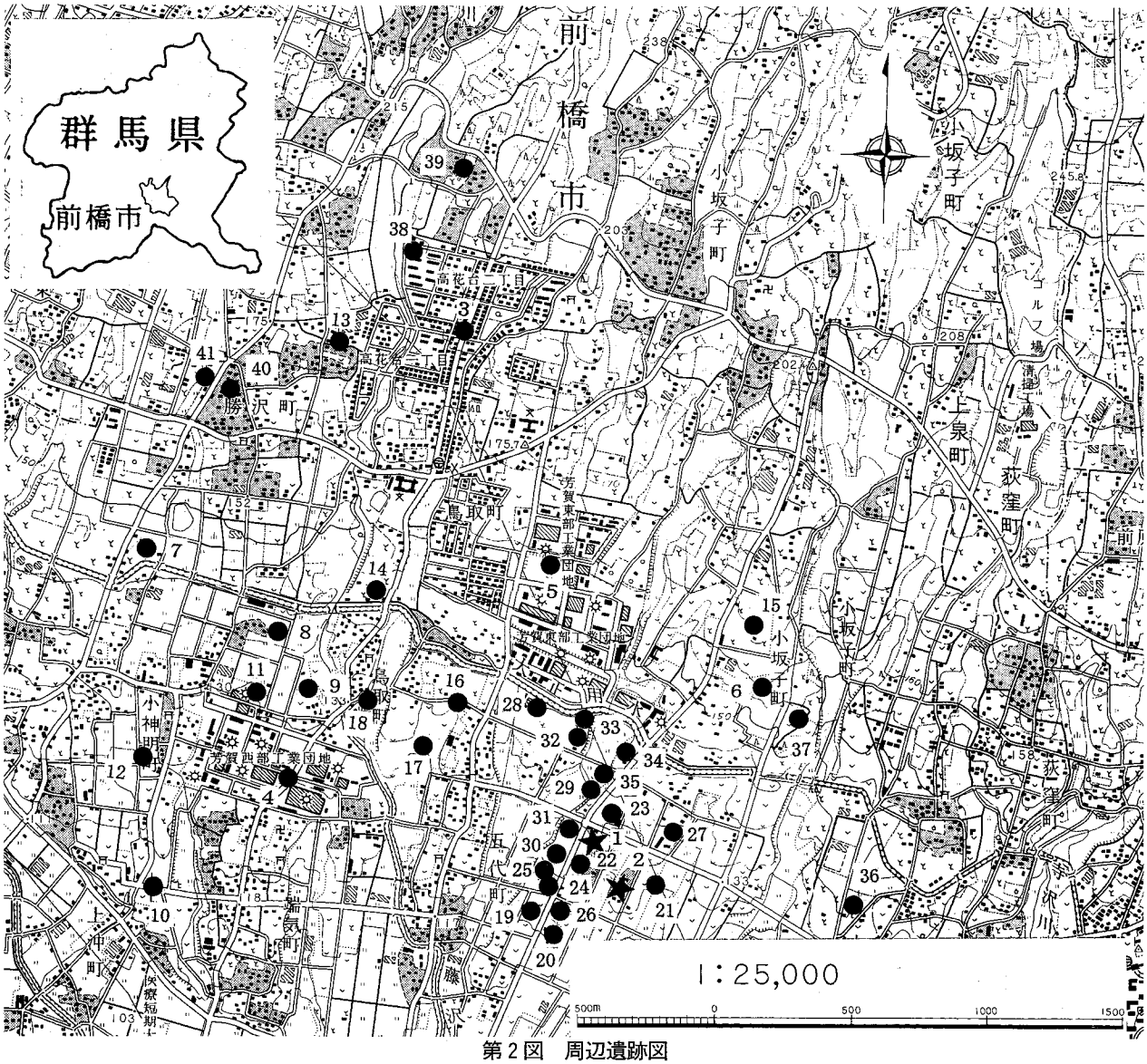
１．遺跡の立地

遺跡の所在する五代町は、前橋市の中心市街地から北東へ約５㎞に位置する。遺跡の北には大正用水が西から東へ流れ、芳賀東部工業団地（面積40ha）に隣接し、西に芳賀西部工業団地（面積20ha）がある。前橋市では「豊かですばらしい社会を築く街づくり」を目途に、福祉、教育、文化、環境等の整備拡充を進めている。その施策の一つとして、前橋工業団地造成組合による工業団地や住宅団地の造成があり、昭和35年以来多くの団地造成を行っている。その一つに、五代南部工業団地（面積42.8ha）がある。団地は、日本百名山の一つ赤城山南麓火山斜面の緩やかで自然豊かな面にある。山麓に源を発する中小の河川が付近を南流し部分的に開析谷を形成し舌状台地と谷地部を作り、谷と谷の間の丘陵性の台地には、住宅団地や畑地が広がり、谷地部は水田が営まれている。この斜面の末端部は、本遺跡から1.6㎞南へ下った主要地方道前橋赤堀線付近に当たり、旧利根川の作った広瀬川低地帯に接し、この付近から関東平野が南に広がっている。

２．歴史的環境

五代竹花II遺跡、五代木福III遺跡の所在する前橋市五代町は、昭和29年に前橋市に合併している。旧村名「芳賀村」は、和名類聚抄が勢多郡の一郷「芳賀郷」に比定されている。最近「芳郷」と書かれた墨書土器が前橋市二之宮町で発見されたことは興味深い。いずれにしても、同村は旧荒砥村、粕川村、旧桂萱村とともに赤城山南麓における古墳の集中域の一つとされている地区である。

近年、この地域では芳賀工業・住宅団地造成事業に伴い遺跡調査が行われている。中でも本調査区に近接する芳賀団地遺跡群（芳賀北部団地遺跡、芳賀西部団地遺跡、芳賀東部団地遺跡）では、昭和40年代後半から昭和50年代前半にかけて大規模な発掘調査が行われ、縄文時代を始めとし近世までの遺構が数多く検出されている。芳賀北部団地遺跡は昭和48、49年度に調査され縄文時代前期～後期の竪穴住居跡や中期の敷石住居跡、奈良・平安時代の竪穴住居跡237軒や中世の勝沢城跡の一部を検出した。芳賀西部団地遺跡では、昭和50年度の調査で縄文時代前期の竪穴住居跡７軒や配石遺構を検出した。また、昭和10年の上毛古墳総覧によれば芳賀地区で64基の古墳が記載されているが古墳総覧記載漏れの古墳も31基集中して検出されている。芳賀東部団地遺跡は昭和51～55年度に調査され、縄文時代前期の竪穴住居跡や中期末から後期前半の敷石住居跡など66軒が検出された。また、芳



第２図　周辺遺跡図

No.	遺　跡　名	概　　要
1	五代竹花Ⅱ遺跡	本遺跡
2	五代木福Ⅲ遺跡	本遺跡
3	芳賀北部団地遺跡	縄文住居跡、奈良・平安住居跡
4	芳賀西部団地遺跡	縄文住居跡、古墳
5	芳賀東部団地遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡、古墳、奈良・平安住居跡
6	檜峯遺跡	古墳住居跡、奈良・平安住居跡
7	小神明遺跡群Ⅰ	縄文住居跡、奈良・平安住居跡
8	小神明遺跡群Ⅱ九料遺跡	縄文住居跡(敷石)、古墳住居跡、奈良・平安住居跡
9	小神明遺跡群Ⅱ西田遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡、円墳、帆立貝式古墳
10	端気遺跡群Ⅰ・Ⅱ	縄文住居跡、弥生方形周溝墓、古墳住居跡
11	倉本遺跡	弥生住居跡
12	小神明遺跡群Ⅱ大明神遺跡	古墳住居跡
13	芳賀北曲輪遺跡	縄文住居跡、古墳
14	芳賀北原遺跡	古墳住居跡、奈良・平安住居跡
15	五代檜峯遺跡	古墳住居跡
16	鳥取東原遺跡	古墳住居跡、近世埋葬施設
17	鳥取福蔵寺遺跡	縄文住居跡、古墳～平安時代住居跡
18	鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡	旧石器(細石刃文化石器群)、縄文住居跡、古墳住居跡、奈良・平安住居跡
19	五代江戸屋敷遺跡	古墳～中世の住居跡・掘立柱建物跡・方形周溝墓、他
20	五代木福Ⅰ遺跡	縄文・古墳住居跡、奈良・平安掘立柱建物跡
21	五代木福Ⅱ遺跡	縄文配石遺構、古墳～奈良・平安住居跡
22	五代竹花遺跡	縄文住居跡、古墳～奈良・平安住居跡
23	五代深堀Ⅰ遺跡	縄文住居跡、平安住居跡
24	五代伊勢宮Ⅰ遺跡	古墳住居跡、奈良・平安住居跡、他
25	五代伊勢宮Ⅱ遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡、奈良住居跡
26	五代伊勢宮Ⅲ遺跡	縄文土坑、平安住居跡、他
27	五代深堀Ⅱ遺跡	縄文住居跡、古墳～奈良・平安住居跡
28	五代中原Ⅰ遺跡	縄文住居跡、古墳・平安住居跡
29	五代伊勢宮Ⅳ遺跡	縄文住居跡・土坑、平安住居跡
30	五代伊勢宮Ⅴ遺跡	縄文住居跡・土坑、古墳～奈良・平安住居跡
31	五代伊勢宮Ⅵ遺跡	縄文住居跡・土坑、古墳～奈良・平安住居跡
32	五代中原Ⅱ遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡、他
33	五代中原Ⅲ遺跡	古墳住居跡、土坑、柱穴
34	五代山街道Ⅰ遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡、平安住居跡
35	五代山街道Ⅱ遺跡	縄文土坑、他

◎その他の周辺遺跡　36 新田塚古墳（円墳、７世紀）　37 檜峯古墳（円墳）　38 桂正田稲塚古墳（円墳？）　39 東公田古墳（墳墓）
40 オブ塚古墳（前方後円墳、６世紀後半）　41 オブ塚西古墳（墳丘無）

第１表　周辺遺跡概要一覧表

賀北曲輪遺跡でも前期の住居跡や土偶、中期末から後期前半の敷石住居跡を検出した。他に倉本遺跡からは、弥生時代の竪穴住居跡、端気遺跡群Ⅰでは方形周溝墓などが検出されている。小神明遺跡群Ⅱ、西田遺跡からは古墳時代後期（６世紀中頃）の円墳や帆立貝式古墳の検出があった。奈良・平安時代では、檜峯遺跡から竪穴住居跡とともに奈良三彩小壺も検出されている。近年の調査では、鳥取福蔵寺遺跡で縄文時代の竪穴住居跡や古墳～平安時代の竪穴住居跡、製鉄遺構、鳥取東原遺跡では古墳時代の竪穴住居跡や近世の埋葬施設、芳賀東部団地遺跡（平成９年調査）では平安時代の竪穴住居跡、五代檜峯遺跡からは古墳時代の竪穴住居跡、鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡（平成10年調査）では縄文、古墳、奈良・平安時代の各時代の竪穴住居跡とともに細石刃文化石器群（旧石器）が検出されている。また、本遺跡を含めた五代遺跡の調査は、五代江戸屋敷遺跡・五代木福Ⅰ遺跡・五代木福Ⅱ遺跡・五代竹花遺跡・五代深堀Ⅰ遺跡・五代伊勢宮Ⅰ遺跡（12年度調査）、五代伊勢宮Ⅱ遺跡・五代伊勢宮Ⅲ遺跡・五代深堀Ⅱ遺跡・五代中原Ⅰ遺跡・五代伊勢宮Ⅳ遺跡（13年度調査）、五代伊勢宮Ⅴ遺跡・五代伊勢宮Ⅵ遺跡・五代中原Ⅱ遺跡（14年度調査）、五代中原Ⅲ遺跡・五代山街道Ⅰ遺跡・五代山街道Ⅱ遺跡（15年度調査）があり、縄文時代前期・中期の竪穴住居跡や古墳時代前期から後期の竪穴住居跡・方形周溝墓・周溝状遺構・土坑、奈良・平安時代の竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑・ピット・溝・井戸等が検出され、中・近世では地下式土坑・土坑・溝・井戸跡などが検出されている。このように芳賀地区は、旧石器の調査を始め、縄文から弥生、古墳、奈良・平安時代、中近世までの遺構が点在し、ほとんどの時代にわたり生活の痕跡が見られる地区である。

Ⅲ　調査の経過

１．調査方針

委託された調査区は五代竹花Ⅱ遺跡5,455m²、五代木福Ⅲ遺跡6,991.5m²の２ヵ所である。調査実施に際しては、市調査団の設定した五代遺跡全体グリッド、西から東へＸ０～Ｘ200と北から南へＹ０～Ｙ350を基本として（グリッド原点Ｘ０、Ｙ０は、第Ⅸ系座標値Ｘ＝46,200、Ｙ＝－64,700）各調査区にグリッドを設定した。五代竹花Ⅱ遺跡は北西杭Ｘ58、Ｙ160（Ｘ45,560、Ｙ－64468）を原点としてＸ58～104とＹ161～215まで、同じく五代木福Ⅲ遺跡は北西杭Ｘ107、Ｙ187（Ｘ45,452、Ｙ－64,272）を原点としてＸ107～144とＹ187～239まで４ｍ毎にグリッドを設定した。グリッドは北西杭の名称を使用した。また、水準は公共水準点に基づき調査区内に測設した。

図面作成は原則として、１/10、１/20、１/40、１/100等の縮尺を使用し、平板・遣り方による細部測量で作図を行った。また、遺物は遺構グリッド単位で層位毎に収納し、遺物分布平面図及び遺物台帳に記載し付番処理して取り上げた。また、遺構・遺物等の写真撮影（白黒・リバーサルフィルム）も行った。

２．調査経過

竹花Ⅱ遺跡

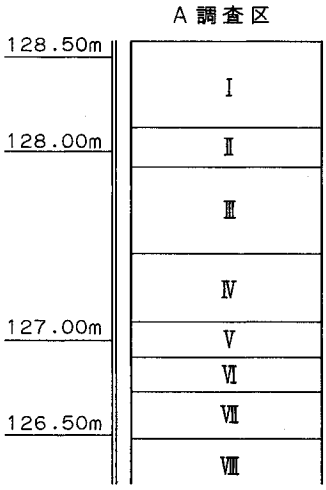
平成15年10月16日から重機による表土掘削をＡ調査区から開始し、ジョレン掛け遺構確認により、住居跡・土坑・ピット等を検出した。発掘は住居跡から行い、水準・グリッドを調査区内に測設して測量記録作業及び、掘りあがった遺構から完掘写真撮影を行った。平成16年１月５日からＢ調査区、Ｃ調査区へと調査を進めた。平成16年２月９日に市調査団業務監督係員（市教育委員会）の調査終了検査を受けて、残土埋め戻しを行い２月20日に完了した。

五代木福Ⅲ遺跡

平成15年10月２日から草刈りを行い、調査範囲確認後、調査区をＡ～Ｄ区と名付けた。安全対策用の防護ネットを設置し、Ａ調査区より重機にて表土掘削を開始し、並行してジョレン掛け精査による遺構確認後、住居跡や土坑、ピット、溝跡等の発掘に入った。また、水準・グリッドを測設し、測量記録作業を進めた。平成16年１月28日に掘りあがった各遺構の完掘写真や全体高所写真撮影を行った。２月９日に市調査団業務監督係員（市教育委員会）の調査終了検査を受けて、残土埋め戻しを２月20日に完了した。整理作業は平成15年12月１日より出土遺物・図面・写真等の整理作業及び原稿執筆等にあたり３月５日までにすべての作業工程を完了させた。

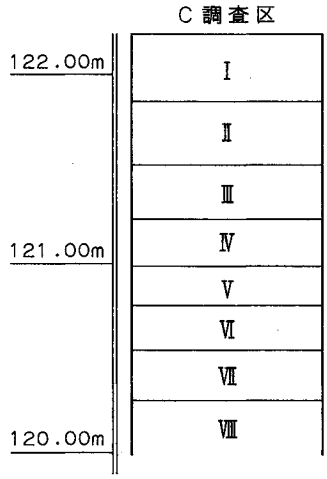
Ⅳ 層　　序

層序は、五代竹花Ⅱ遺跡、五代木福Ⅲ遺跡内にそれぞれ入れた深掘り土層断面をもとに模式的に断面図を作成し、それについての土層説明を下記に掲載した。



五代竹花Ⅱ遺跡　A調査区　土層注記

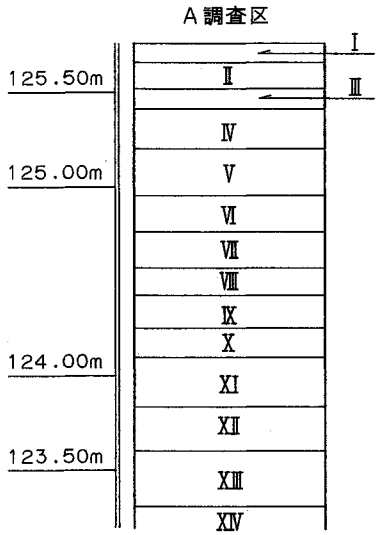
Ⅰ．鈍い黄褐色土層　10YR4/3　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒 φ1～10㎜を多く、ローム粒をやや多く含む、根の進入多い（現耕作土）
Ⅱ．褐色土層　10YR4/4　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜を少量含む
Ⅲ．黄褐色土層　10YR5/6　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜を少量含む
Ⅳ．明黄褐色土層　10YR6/8　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ1～3㎜をやや多く、褐色粒（As-BP）を多く含む
Ⅴ．黄褐色土層　10YR5/6　粘性、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜を少量、橙色粒をやや多く、青灰色軽石粒 φ1～5㎜を微量含む
Ⅵ．鈍い黄褐色土層　10YR5/4　粘性あり、強い締まりあり、青灰色軽石粒 φ1～5㎜を少量、褐色粒（As-BP）を微量含む
Ⅶ．褐色土層　10YR4/4　粘性、締まり強くあり、青灰色軽石粒 φ1～10㎜を多く、橙色粒を微量含む
Ⅷ．黄褐色土層　10YR5/6　粘性、締まり強くあり、青灰色軽石粒 φ1～7㎜を少量、橙色粒を微量含む



五代竹花Ⅱ遺跡　C調査区　土層注記

Ⅰ．黒褐色土層　10YR2/3　粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ1～3㎜をやや多く、ローム粒を少量含む、根の進入多い（現耕作土）
Ⅱ．褐色土層　10YR4/6　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜を少量、炭化物粒を微量含む
Ⅲ．黄褐色土層　10YR5/6　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜を少量、炭化物粒を微量含む
Ⅳ．黄褐色土層　10YR5/8　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜を少量含む
Ⅴ．明黄褐色土層　10YR6/8　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒 φ1～3㎜を多く、褐色粒（As-BP）を少量含む
Ⅵ．明黄褐色土層　10YR6/8　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜をやや多く、褐色粒（As-BP）を多く含む
Ⅶ．黄褐色土層　10YR5/6　粘性、締まりあり、白色軽石粒 φ1～2㎜を多く、青灰色軽石粒 φ1～3㎜を少量含む
Ⅷ．暗褐色土層　10YR3/4　粘性、締まり強くあり、青灰色軽石粒 φ2～10㎜をやや多く含む

第3図　五代竹花Ⅱ遺跡基本土層断面図



五代木福Ⅲ遺跡　A調査区　土層注記

Ⅰ．鈍い黄褐色土層　10YR5/3　粘性・締まりなし、軽石粒含む
Ⅱ．黒褐色土層　10YR3/2　粘性なし、締まりややあり、白色軽石 φ2～3㎜と黄色軽石 φ1～2㎜を含む
Ⅲ．黄褐色ローム土層　10YR5/6　粘性・締まりなし、僅か2層ブロックを含む
Ⅳ．黄褐色ローム土層　10YR5/6　粘性・締まりあり、ハードロームブロック含む
Ⅴ．黄褐色ローム土層　10YR5/6　粘性・締まりあり、ハードロームブロックを多く含む
Ⅵ．黄褐色ローム土層　10YR5/6　粘性・締まりあり、灰色軽石 φ1～2㎜を含む
Ⅶ．黄褐色ローム土層　10YR5/6　粘性・締まりあり、褐色軽石（As-BP）を3％含む
Ⅷ．褐色軽石層　7.5YR6/6　As-BP 層
Ⅸ．鈍い黄褐色粘質土層　10YR5/4　青灰色軽石 φ1～2㎜を1％含む
Ⅹ．鈍い黄褐色粘質土層　10YR5/4　青灰色軽石 φ1～3㎜を1％含む
Ⅺ．鈍い黄褐色粘質土層　10YR5/4　青灰色軽石 φ1～5㎜を3％含む
Ⅻ．鈍い黄褐色粘質土層　10YR5/4　青灰色軽石 φ1～5㎜を1％含む
XIII．鈍い黄褐色粘質土層　10YR5/4　白色軽石 φ1～2㎜を1％と褐色軽石 φ1～2㎜を3％含む
XIV．鈍い黄褐色粘質土層　10YR5/4　白色軽石粒を1％含む

※本文中に使用した略号　As-BP：浅間板鼻褐色（群）（1.7～2.1万年前）

第4図　五代木福Ⅲ遺跡基本土層断面図

V　五代竹花II遺跡

1．縄文時代の遺構と遺物

(1) 縄文住居跡

J－1号住居跡〔第5図、図版1〕

位置 X80・81、Y172・173グリッド **重複** 西側半分をH－8号住居跡に切られているため、形状や規模は推定値を挙げる。**形状** 楕円形を呈す。**規模** 長軸5.11m、短軸4.80m、確認面から床面までの壁高38～46cm。**面積** 19.98m² **床面** 平坦で堅緻な床面。**柱穴** 6基検出。P1は直径34cm、深さ40cmの円形。P2は長径21cm、短径20cm、深さ27cmの円形。P3は長径23cm、短径22cm、深さ39cmの円形。P4は長径14cm、短径13cm、深さ15cmの円形。P5は長径25cm、短径17cm、深さ15cmの楕円形。P6は長径22cm、短径14cm、深さ23cmの楕円形。**炉跡** 中央から北寄りに位置し、掘り込みを持たない。焼土範囲は長径23cm、短径18cmの不整形を呈する。**遺物** 上層から床面にかけて多くの土器片が出土したが、完形資料となり得る個体は少ない。掲載した遺物は、深鉢1点、石皿1点、打製石斧3点、磨石2点など計7点。

(2) 土　坑（縄文時代）〔第5・18図、図版7〕

縄文時代の土坑は、A調査区のみ19基検出した。形状は、きれいな袋状を呈する土坑は1基で、ほとんどが台形や皿状のもので、重複して検出しているものが多い。土器や石器を伴う土坑は数少なく、出土した遺物は縄文時代中期中葉であった。また、規則性などは確認できなかった。なお、各土坑の計測値は第2表にまとめた。

第2表　土坑（縄文時代）計測表

（　）推定値、［　］検出値

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状		規模(cm)			遺物			備考
		平面	断面	長径	短径	深さ	土器	土器片	石器	
D－4	X84，Y164	円形	台形	89	86	55				D－5と重複
D－5	X84，Y164	(円形)	台形	88	(85)	18				D－4と重複
D－9	X85・86，Y165	円形	皿状	114	101	14				
D－10	X86，Y165	(円形)	(台形)	—	—	[52]				D－11，95と重複
D－11	X86，Y165・166	(円形)	(袋状)	—	—	[65]				D－10，95と重複
D－15	X88，Y165	円形	不整形	132	126	29		★3		
D－16	X89，Y164	円形	皿状	120	116	10				
D－50	X89・90，Y177・178	不整形	不整形	250	138	68				
D－68	X83，Y172	(楕円)	—	(90)	(70)	26				D－69と重複
D－69	X83，Y172・173	(楕円)	—	(110)	(70)	78		★4		D－68と重複
D－71	X83，Y175	(楕円)	(台形)	(124)	114	48				D－72と重複
D－72	X83，Y175	(楕円)	(台形)	(160)	155	63		★7		D－71，P－163と重複
D－73	X82，Y175	(楕円)	直下り	(116)	90	25		★98		D－74と重複
D－74	X82，Y175	(楕円)	直下り	100	(90)	20	■1	★122	▼1	D－73，75と重複
D－75	X81・82，Y175	(楕円)	直下り	(130)	125	20		★27		D－74と重複
D－77	X79・80，Y175	楕円	袋状	136	123	80				
D－79	X80・81，Y171・172	円形	台形	140	132	62		★5	▼1	J－1と重複
D－80	X81，Y173	円形	台形	[100]	[94]	68			▼1	J－1と重複
D－95	X86，Y165	—	—	(100)	—	66				D－10，11と重複

■は、観察表に記載されている土器で、数値は個体数を表す。★は、土器片が出土したことを表す。
▼は、石器が出土したことを表す。

2．古墳時代以降の遺構と遺物

(1) 竪穴住居跡

古墳時代の竪穴住居跡が2軒（H－10・12）、A調査区の東側に検出された。奈良・平安時代の竪穴住居跡はA調査区で14軒（H－1・2・3・4・5・6・7・8・9・11・13・14・15・16）、C調査区で3軒（H－17・18・19）、合計19軒検出された。

① 古墳時代

H－10号住居跡〔第6図、図版4〕

位置 X91・92、Y172・173グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸3.98m、短軸3.82m、確認面から床面ま

での壁高40～46cm。**面積** 13.66m² **長軸方向** N-21°-W **床面** 平坦で堅緻な床面で、杉材の炭化物が多く堆積しており、焼失住居と考えられる。**柱穴** 検出されなかった。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径70cm、短径66cm、深さ74cmの長方形。**カマド** 東壁の中央から南寄りに位置する。主軸方向 N-83°-Eで、全長110cm、最大幅83cm、焚口部幅39cm。両袖に袖石がある。**時期** 埋土や出土遺物から、6世紀後半から7世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・高坏・長胴甕・紡錘車など出土量は多かった。掲載した遺物は、土師器の坏3点・甕1点・長胴甕5点・台付き甕1点・小型壺1点、紡錘車2点の13点。

H-12号住居跡〔第6図、図版4・5〕

位置 X94・95、Y174・175グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸5.39m、短軸5.36m、確認面から床面までの壁高61～78cm。**面積** 28.42m² **長軸方向** N-36°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は全周する。**柱穴** 5基検出した。P1 中央よりやや北西側、長径50cm、短径37cm、深さ48cmの楕円形。P2 北東隅、長径40cm、短径37cm、深さ15cmの円形。P3 中央より南西側、長径50cm、短径48cm、深さ15cmの円形。P4 カマドの西側、長径74cm、短径52cm、深さ21cmの楕円形。P5 南壁際の中央やや東、長径37cm、短径30cm、深さ34cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径45cm、短径30cm、深さ75cmの長方形。**カマド** 東壁のほぼ中央に位置する。主軸方向 N-59°-Eで、全長109cm、最大幅107cm、焚口部幅28cm。**時期** 埋土や出土遺物から、7世紀中頃から7世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・高坏・長胴甕・紡錘車や菰編み石など出土量は比較的多かった。掲載した遺物は、土師器の甕3点・長胴甕3点、須恵器の坏1点など合計7点。

② 奈良・平安時代

H-1号住居跡〔第7図、図版1〕

位置 X83、Y166・167グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸3.25m、短軸3.05m、確認面から床面までの壁高28～34cm。**面積** 9.36m² **長軸方向** N-24°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は攪乱による北壁際の一部を除き巡っている。**柱穴** 検出されなかった。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径60cm、短径40cm、深さ8cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央から南寄りに位置する。主軸方向 N-69°-Eで、全長83cm、最大幅118cm、焚口部幅49cm。一部分攪乱されている。**時期** 埋土や出土遺物から、8世紀中頃から8世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏など破片が多く、鉄滓も出土した。掲載した遺物は、須恵器の坏1点・墨書のある高台付き埦1点など2点。

H-2号住居跡〔第7図、図版2〕

位置 X84・85、Y166・167グリッド **重複** 南東隅の壁と床面をH-3に切られ、掘立柱建物跡（B-1）の柱穴を切っていた。**形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸4.11m、短軸3.95m、確認面から床面までの壁高40～43cm。**面積** 15.50m² **長軸方向** N-10°-W **床面** 平坦で堅緻な床面で炭化物が多く堆積しており、焼失住居と考えられる。壁周溝は南壁の一部を除き巡っている。**柱穴** 3基検出した。P1 北東側、長径52cm、短径45cm、深さ20cmの楕円形。P2 北東隅、長径39cm、短径35cm、深さ29cmの楕円形。P3 南西隅、長径50cm、短径45cm、深さ20cmの不整形。**貯蔵穴** 南東隅、長径60cm、短径50cm、深さ17cmの楕円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-85°-Eで、全長94cm、最大幅125cm、焚口部幅61cm。**時期** 埋土や出土遺物から、9世紀中頃から9世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の甕、須恵器の坏・埦や鉄製品を出土し、カマドから出土した灰釉陶器片とH-3号住居跡から出土した灰釉陶器片が一個体として接合すると思われる。掲載した遺物は、須恵器の坏2点・高台付き埦1点、灰釉陶器の長頸瓶1点の4点。

H-3号住居跡〔第8図、図版2〕

位置 X85・86、Y167・168グリッド **重複** 北西隅でH-2の壁と床面を切り、掘立柱建物跡（B-1）の柱穴を切っていた。**形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸4.84m、短軸3.48m、確認面から床面までの壁高45～55cm。**面積** 16.26m² **長軸方向** N-11°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は部分的に巡っている。**ピット** 3基検出した。P1 北東、長径43cm、短径32cm、深さ16cmの楕円形。P2 北西、長径41cm、短径39cm、深さ12cmの円形。P3 南西隅、長径76cm、短径63cm、深さ18cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径89cm、短径77cm、深さ18cmの楕円形。**カ**

マド 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-83°-Eで、全長83cm、最大幅95cm、焚口部幅47cm。カマド中央に支脚石があり、両袖先端に袖石があるが、北側袖石はやや倒れている。**時期** 埋土や出土遺物から、9世紀後半から10世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の埦・甕、鉄製品が出土した。掲載した遺物は、須恵器の坏1点・高台付き埦1点・耳皿2点など4点。

H-4号住居跡〔第8図、図版2〕

位置 X86・87、Y166・167グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.35m、短軸5.14m、確認面から床面までの壁高66～76cm。**面積** 24.64m² **長軸方向** N-72°-E **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は全周する。**土坑** 1基検出した。D1 北西隅、長径93cm、短径41cm、深さ20cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径116cm、短径85cm、深さ34cmの楕円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-92°-Eで、全長162cm、最大幅180cm、焚口部幅61cm。カマドの南側に床面より30cm程高く平坦な棚状の構造を持つ。**時期** 埋土や出土遺物から、9世紀中頃から9世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の高台坏・甕や紡錘車、鉄製品が出土した。掲載した遺物は、土師器の甕1点、須恵器の高台付き埦1点、灰釉陶器の皿1点、刀子1点など4点。

H-5号住居跡〔第9図、図版2・3〕

位置 X87・88、Y165～167グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.13m、短軸3.93m、確認面から床面までの壁高43～45cm。**面積** 18.77m² **長軸方向** N-29°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は南西隅を除きほぼ全周する。**柱穴** 2基検出した。P1 北東隅、長径81cm、短径61cm、深さ26cmの楕円形。P2 北西隅、長径70cm、短径65cm、深さ20cmのほぼ円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径107cm、短径82cm、深さ34cmの半円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-66°-Eで、全長100cm、最大幅170cm、焚口部幅59cm。**時期** 埋土や出土遺物から、8世紀中頃から8世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏・埦・甕、砥石や鉄製品が出土している。掲載した遺物は、土師器の坏1点、須恵器の坏1点、砥石1点、鉄鏃1点など4点。

H-6号住居跡〔第9図、図版3〕

位置 X86・87、Y168・169グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.24m、短軸4.78m、確認面から床面までの壁高74～88cm。**面積** 23.13m² **長軸方向** N-29°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は全周する。**柱穴** 1基検出した。P1 南西隅、長径47cm、短径46cm、深さ27cmの円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径59cm、短径57cm、深さ38cmの円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-60°-Eで、全長166cm、最大幅183cm、焚口部幅68cm。**時期** 埋土や出土遺物から、8世紀中頃と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏・埦・蓋、砥石、紡錘車や鉄製品が出土している。掲載した遺物は、土師器の坏2点、須恵器の坏1点、紡錘車2点など5点。

H-7号住居跡〔第10図、図版3〕

位置 X82・83、Y169・170グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.17m、短軸3.93m、確認面から床面までの壁高41～57cm。**面積** 19.51m² **長軸方向** N-25°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は東壁を除き巡っている。**柱穴** 3基検出した。P1 北西隅、長径42cm、短径40cm、深さ25cmの円形。P2 中央よりやや西、長径32cm、短径30cm、深さ69cmの円形。P3 南西隅、長径96cm、短径46cm、深さ74cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径73cm、短径54cm、深さ57cmの楕円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-70°-Eで、全長137cm、最大幅98cm、焚口部幅53cm。カマド中央よりやや北寄りに加工した形跡のある支脚石があり、南側袖に石を出土した。**時期** 埋土や出土遺物から、9世紀前半から9世紀中頃と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏・埦・甕・蓋、砥石、紡錘車、銅製の鈴や皇朝十二銭の和同開珎や神功開宝など多くの遺物が出土している。なお、和同開珎など古銭は住居跡の床面から1～5cmの高さで、銅製の鈴は4～8cmの高さで出土している。掲載した遺物は、土師器の坏1点・甕3点・台付き甕1点、須恵器の坏3点・壺1点・蓋1点、紡錘車1点、銅製の鈴2点、古銭5点など合計18点。

H－8号住居跡〔第10図、図版3〕

位置 X79～81、Y172・173グリッド **重複** 東側でJ－1の硬い床面を掘り込み新たに床面を構築している。**形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.03m、短軸3.58m、確認面から床面までの壁高34～44cm。**面積** 17.80m² **長軸方向** N-26°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は南側を除き巡っている。**柱穴** 2基検出した。P1 カマド北側の東壁際、長径58cm、短径34cm、深さ18cmの楕円形。P2 南西側、長径47cm、短径39cm、深さ40cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径80cm、短径45cm、深さ40cmの不整形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-51°-Eで、全長98cm、最大幅117cm、焚口部幅74cm。**時期** 埋土や出土遺物から、8世紀中頃と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏、紡錘車が出土している。掲載した遺物は、須恵器の坏1点、紡錘車1点など2点。

H－9号住居跡〔第11図、図版4〕

位置 X77・78、Y176グリッド **重複** 西側でA－1に壁と床面を掘り込まれている。平成12年度の五代竹花遺跡において半分ほど調査済みの遺構である。**形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸［4.38］m、短軸［4.28］m、確認面から床面までの壁高71～86cm。**面積** ［9.93］m² **長軸方向** N-73°-E **床面** 平坦で堅緻な床面。**土坑** 2基検出した。D1 北東側、長径94cm、短径86cm、深さ96cmの楕円形。D2 北東側、長径72cm、短径29cm、深さ16cmの楕円形。**カマド** 平成12年度調査済み。**時期** 埋土や出土遺物から、8世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏などの破片を出土し、完形資料となり得る個体はなかった。

H－11号住居跡〔第11図、図版4〕

位置 X90、Y174グリッド **形状** 正方形を呈し、攪乱されている部分が多い。**規模** 長軸3.23m、短軸3.22m、確認面から床面までの壁高2～7cm。**面積** 9.76m² **長軸方向** N-11°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。**柱穴** 検出されなかった。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-80°-Eで、全長57cm、最大幅94cm、焚口部幅46cm。カマドも攪乱部分が多い。**時期** 時期を決定づける遺物は出土していないが、H-15と主軸方向が同一で規模が小さいので9世紀頃か。**遺物** 土師器の坏・甕などの破片を数点出土した。

H－13号住居跡〔第11図、図版5〕

位置 X88・89、Y179グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸4.22m、短軸3.32m、確認面から床面までの壁高47～54cm。**面積** 13.04m² **長軸方向** N-39°-E **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は部分的に欠落しているが全周する。**柱穴** 1基検出した。P1 南東隅、長径32cm、短径29cm、深さ21cmの楕円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-51°-Eで、全長93cm、最大幅100cm、焚口部幅39cm。**時期** 埋土や出土遺物から、9世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏をなど少量出土している。掲載した遺物は、須恵器の坏2点。

H－14号住居跡〔第12図、図版5〕

位置 X90・91、Y179グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸2.93m、短軸2.64m、確認面から床面までの壁高 48～55cm。**面積** 7.24m² **長軸方向** N-10°-E **床面** 平坦で堅緻な床面。**柱穴** 3基検出した。P1 北西隅、長径45cm、短径29cm、深さ32cmの不整形。P2 南西隅、長径49cm、短径48cm、深さ14cmの円形。P3 南東隅、長径35cm、短径28cm、深さ33cmの楕円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-102°-Eで、全長91cm、最大幅82cm、焚口部幅54cm。**時期** 埋土や出土遺物から、9世紀中頃から9世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕を少量出土している。掲載した遺物は、土師器の甕1点・台付き甕1点など合計2点。

H－15号住居跡〔第12図、図版5〕

位置 X93・94、Y180・181グリッド 南壁部分は攪乱されている。**形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸4.33m、短軸3.16m、確認面から床面までの壁高46～48cm。**面積** 12.78m² **長軸方向** N-15°-W **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は南壁を除き巡る。**柱穴** 2基検出した。P1 北東側、長径31cm、短径23cm、深さ10cmの楕円形。P2 南東隅、長径36cm、短径34cm、深さ20cmの円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N-89°-Eで、全長104cm、最大幅80cm、焚口部幅38cm。**時期** 埋土や出土遺物から、9世紀後半かと考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕の破

片を少量と鉄製品を出土している。掲載した遺物は、刀子１点。

Ｈ-16号住居跡〔第13図、図版５・６〕

位置 Ｘ94・95、Ｙ181・182グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸3.97m、短軸3.37m、確認面から床面までの壁高35～41cm。**面積** 12.57m² **長軸方向** Ｎ-９°-Ｅ **床面** 平坦で堅緻な床面。カマド前の床面が北側の床面より10cm程低く、ベッド状を呈している。**柱穴** ３基検出した。Ｐ１ 北西隅、長径24cm、短径24cm、深さ10cmの円形。Ｐ２ 西壁際中央、長径30cm、短径28cm、深さ20cmの円形。Ｐ３ 中央、長径28cm、短径27cm、深さ16cmの円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径36cm、短径36cm、深さ13cmの円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ-102°-Ｅで、全長70cm、最大幅117cm、焚口部幅38cm。両袖先端に凝灰岩の袖石がある。**時期** 埋土や出土遺物から、９世紀中頃と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の埦、紡錘車と鉄製品を出土している。掲載した遺物は、土師器の甕１点、須恵器の高台付き埦１点、鉄製紡錘車１点など３点。

Ｈ-17号住居跡〔第13図、図版６〕

位置 Ｘ60・61、Ｙ209・210グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.96m、短軸4.95m、確認面から床面までの壁高22～32cm。**面積** 28.25m² **長軸方向** Ｎ-３°-Ｅ **床面** 平坦で堅緻な床面。攪乱が多く、カマドと一部の壁・床面のみ確認できた。**柱穴** 検出されなかった。**貯蔵穴** 南東隅、長径87cm、短径79cm、深さ23cmの楕円形。**カマド** 東壁のやや南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ-88°-Ｅで、全長123cm、最大幅103cm、焚口部幅58cm。カマド中央よりやや北側に支脚石があり、その直下から支脚石の受け皿の様相を呈する土器（坏）が出土した。カマドの構築材として南側の壁材に表面が平らな石を２個ならんで検出した。また、両袖部分に袖石を埋め込んだと思われる穴跡を検出した。**時期** 埋土や出土遺物から、９世紀前半から９世紀中頃と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏・埦、鉄滓を出土している。掲載した遺物は、土師器の坏３点、須恵器の坏１点・高台付き埦１点など５点。

Ｈ-18号住居跡〔第14図、図版６〕

位置 Ｘ63、Ｙ209グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸3.87m、短軸3.64m、確認面から床面までの壁高38～45cm。**面積** 13.59m² **長軸方向** Ｎ-83°-Ｅ **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は全周する。**柱穴** １基検出した。Ｐ１ 南東隅、長径29cm、短径28cm、深さ18cmの円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ-89°-Ｅで、全長95cm、最大幅78cm、焚口部幅45cm。南側袖先端に袖石を検出した。**時期** 埋土や出土遺物から、９世紀前半から９世紀中頃と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏など破片を少量出土しているが、資料となり得る個体はなかった。

Ｈ-19号住居跡〔第14図、図版６・７〕

位置 Ｘ61～63、Ｙ210・211グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.74m、短軸4.65m、確認面から床面までの壁高45～56cm。**面積** 25.76m² **長軸方向** Ｎ-10°-Ｅ **床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は全周する。**柱穴** １基検出した。Ｐ１ 北東隅、長径73cm、短径72cm、深さ22cmの円形。**貯蔵穴** 南東隅、長径104cm、短径80cm、深さ26cmの楕円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 Ｎ-107°-Ｅで、全長167cm、最大幅126cm、焚口部幅25cm。カマド中央よりやや北寄りに支脚石があり、北側袖に石を検出した。カマド周囲は多量の粘土を構築材として使った形跡がうかがえる。また、煙道部には底部を抜いた甕を３個体、口縁を室内側に向け重ねた形で出土した。**時期** 埋土や出土遺物から、９世紀中頃から９世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器の坏・甕、須恵器の坏・埦・蓋、砥石、鉄製品など出土している。掲載した遺物は、土師器の甕３点、須恵器の坏１点、砥石１点など５点。

(2) 竪穴状遺構

竪穴状遺構は３棟検出された。Ａ調査区の東端側で２棟、Ｂ調査区の南西側で１棟、比較的近い場所に固まって検出された。

T－1号竪穴状遺構〔第15図、図版8〕

位置 X94・95、Y172・173グリッド **形状** 長方形を呈す。**重複** B－2を切っている。**規模** 長軸4.13m、短軸3.83m、確認面から床面までの壁高18～24cm。**面積** 14.56m² **長軸方向** N－7°－E **床面** 平坦であるが硬化面がなく、東側壁の南よりが攪乱されておりカマドが構築されていた可能性もあるが焼土や炭化物など根拠となるものがなかった。**柱穴** 検出されなかった。**遺物** 土師器の甕・坏片、須恵器の坏・高坏の脚片が出土しているが時期不明である。

T－2号竪穴状遺構〔第15図〕

位置 X92、Y173・174グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸2.63m、短軸2.05m、確認面から床面までの壁高20～26cm。**面積** 4.87m² **長軸方向** N-66°-E **床面** 平坦であるが硬化面はなかった。**柱穴** 検出されなかった。**遺物** 薦編み石を8点出土し、時期を決定づける遺物は出土しておらず時期不明である。

T－3号竪穴状遺構〔第15図、図版8〕

位置 X98・99、Y177グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸3.47m、短軸2.78m、確認面から床面までの壁高14～35cm。**面積** 9.00m² **長軸方向** N－8°-W **床面** 平坦であるが硬化面はなかった。**柱穴** 検出されなかった。**遺物** 土師器の坏片を数点出土したが、時期不明である。

(3) 掘立柱建物跡〔第16・17図、図版2・8〕

A調査区に2棟、C調査区に1棟の掘立柱建物跡を検出した。各遺構については、第3表 計測表にまとめた。

第3表 掘立柱建物跡計測表

（ ）は推定値、N-S-W-Eは方向を示す。

番号	遺構位置	形状	長軸方向	推定面積(m²)	柱間寸法（m）	柱穴（cm）				備考
						平・断面形状	長径	短径	深さ	
B－1	X84・85 Y166・167 （A調査区）	東西3間 南北2間 長方形	N-64°-E	(23.25)	東西 5.15(1.60+2.00+1.55) 5.30(3.40+1.90) 南北 4.50(2.90+1.60) 4.40(2.80+1.60)	平面形状 円形・楕円形 断面形状 U字形・鍋底形	40～54	30～51	20～50	P-10,12,13,175,15,17,19,21,25の柱穴。H－2，3と重複しB－1が古い。P-21から土師器の甕片出土。8世紀中頃。
B－2	X93・94 Y171～173 （A調査区）	東西3間 南北4間 長方形	N-11°-E	(32.01)	東西 4.35(1.30+1.30+1.75) 4.60(1.65+1.40+1.55) 南北 7.10(2.00+1.60+1.5+2.00) 7.00(1.90+1.60+1.40+2.10)	平面形状 円形・楕円形 断面形状 U字形・鍋底形	32～60	30～54	33～60	P-81,82,83,84,85,86,87,88,89,90,91,92,93,94の柱穴。T－1と重複しB－2が古い。9世紀頃。
B－3	X64・65 Y209・210 （C調査区）	東西2間 南北2間 長方形	N－7°-W	(14.54)	東西 不明(1.80+不明) 3.60(1.95+1.65) 南北 3.90(2.00+1.90) 不明(不明+1.85)	平面形状 円形・楕円形 断面形状 U字形・鍋底形	24～43	20～40	17～31	P-200,201,202,203,204,205,206の柱穴。北東隅の柱穴は攪乱され、P-204から土師器の坏片出土。9世紀頃。

注）推定面積は、柱穴を囲んだ面積。

(4) 周溝状遺構〔第15図、図版7〕

位置 X93・94、Y178・179グリッド **形状** 西側部分を検出されなかったが、隅丸正方形を呈すと推定される。規模台部；長軸4.70m、短軸(4.60)m。全体；長軸5.50m、短軸(5.45)m。**長軸方向** N－3°-E 周溝 断面はU字形を呈し、上幅32～54cm、下幅20～34cm、深さ6～27cmを測る。**遺物** 遺構に伴う遺物は検出されず時期不明である。

(5) ピット

調査区全体で236基のピットを検出した。検出状況は、A調査区で182基で、北側中央付近（X84～90、Y164～167グリッド）、南側中央付近（X85～88、Y173～176グリッド）で2ヶ所のピット群をなしている状況がみられた。北側中央付近のピット群では、掘立柱建物跡を1棟（B－1）組むことができた。B調査区では調査範囲が狭く検出数が5基と少ないため、その傾向は不明である。C側調査区では49基検出し北東側（X64～66、Y209～210グリッド）と南東側（X63～65、Y213～214グリッド）で2ヶ所のピット群を確認した。北東側ピット群では、掘立柱建物跡を1棟（B－3）組むことができた。柱穴以外の要素（木の根や耕作痕）が考えられるものも見られた。なお、各柱穴の計測値は第4表ピット計測表にまとめて報告する。

第4表　ピット計測表

★は縄文土器片、●は土師器片、■は須恵器片出土を示す。（　）は推定値を示す。

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-1	X84, Y163	50	30	13	不整形	
P-2	X84, Y164	38	38	28	円形	試掘トレンチ内
P-3	X83, Y164	44	39	7	円形	
P-4	X84, Y165	58	38	10	楕円形	
P-5	X83, Y166	34	31	18	円形	
P-6	X82, Y166	50	42	43	楕円形	
P-7	X82, Y166	58	52	30	不整形	
P-8	X83, Y166	59	40	13	楕円形	
P-9	X84, Y166	28	14	17	楕円形	
P-10	X83, Y166	53	40	32	楕円形	B-1
P-11	X84, Y166	53	48	11	円形	
P-12	X84, Y166	52	42	25	楕円形	B-1
P-13	X84, Y167	54	51	34	円形	B-1
P-14	X84, Y167	40	32	27	楕円形	
P-15	X85, Y166	—	—	50	—	P-16, H-3 重複　B-1
P-16	X85, Y166	—	—	(37)	—	P-15, H-3 重複
P-17	X85, Y166	45	(40)	32	(楕円形)	P-18 重複　B-1
P-18	X85, Y166	42	(34)	18	(楕円形)	★●P-17 重複
P-19	X85, Y165	46	(35)	42	(楕円形)	P-20 重複　B-1
P-20	X85, Y165	37	(33)	31	(円形)	P-19 重複
P-21	X84, Y165	—	—	20	—	●P-22, 23 重複　B-1
P-22	X84, Y165	—	—	22	—	P-21 重複
P-23	X84, Y165	28	(20)	20	(楕円形)	P-21 重複
P-24	X84, Y166	33	30	9	円形	
P-25	X84, Y166	40	30	44	楕円形	B-1
P-26	X84, Y166	(38)	—	(24)	—	H-2 重複
P-27	X84, Y165	35	32	26	円形	●
P-28	X85, Y165	40	34	24	楕円形	●
P-29	X84, Y167	35	34	12	円形	
P-30	X84, Y167	(50)	(50)	12	(円形)	●P-31 重複
P-31	X84, Y167	81	(80)	15	(円形)	P-30 重複
P-32	X85, Y168	48	39	17	楕円形	
P-33	X85, Y163	40	34	17	楕円形	
P-34	X85, Y164	28	22	18	楕円形	
P-35	X86, Y164	31	29	22	円形	
P-36	X87, Y164	46	38	33	楕円形	★
P-37	X87, Y164	34	30	14	円形	
P-38	X87, Y164	40	36	18	円形	
P-39	X87, Y164	31	28	28	円形	
P-40	X86, Y164	42	40	26	円形	
P-41	X86, Y164	46	38	21	楕円形	
P-42	X86, Y164	36	30	24	楕円形	
P-43	X86, Y165	30	30	26	円形	
P-44	X87, Y164	42	36	24	楕円形	★●
P-45	X87, Y165	28	26	15	円形	
P-46	X87, Y165	42	34	28	楕円形	
P-47	X87, Y165	65	40	33	楕円形	
P-48	X86, Y166	56	42	25	楕円形	
P-49	X88, Y164	36	33	29	円形	
P-50	X87, Y165	56	46	46	楕円形	■
P-51	X88, Y165	45	44	15	円形	
P-52	X88, Y164	42	34	20	楕円形	
P-53	X88, Y165	60	53	100	楕円形	●■
P-54	X88, Y165	44	39	19	円形	
P-55	X89, Y164	43	36	29	楕円形	●
P-56	X89, Y165	50	46	24	楕円形	★
P-57	X90, Y164	58	56	36	円形	
P-58	X90, Y165	32	28	28	円形	
P-59	X89, Y165	57	38	40	楕円形	
P-60	X89, Y166	45	43	18	円形	
P-61	X89, Y166	50	32	25	楕円形	
P-62	X89, Y166	67	58	23	楕円形	★●
P-63	X89, Y166	78	43	30	楕円形	
P-64	X89, Y166	—	—	23	—	P-65, D-22 重複
P-65	X89, Y166	—	—	20	—	P-64・66, D-22 重複
P-66	X89, Y166	—	—	13	—	P-65 重複
P-67	X91, Y165	94	84	55	円形	
P-68	X90, Y166	40	37	33	円形	●
P-69	X89, Y167	39	38	31	円形	
P-70	X89, Y167	45	36	32	楕円形	●
P-71	X89, Y167	56	54	31	円形	■
P-72	X90, Y168	35	30	24	楕円形	
P-73	X90, Y167	37	36	27	円形	
P-74	X90, Y166	—	—	13	—	P-75 重複
P-75	X90, Y166	—	—	19	—	P-74 重複
P-76	X90, Y167	54	48	18	楕円形	
P-77	X92, Y167	48	47	25	円形	
P-78	X89, Y169	34	29	29	円形	
P-79	X89, Y170	24	16	47	楕円形	P-26 重複
P-80	X89, Y170	—	—	44	—	P-27 重複
P-81	X93, Y171	60	53	37	楕円形	B-2
P-82	X93, Y171	54	54	54	円形	B-2
P-83	X93, Y172	44	40	46	円形	B-2
P-84	X93, Y172	45	38	60	楕円形	B-2
P-85	X93, Y173	43	40	75	円形	B-2
P-86	X93, Y173	52	46	45	楕円形	B-2
P-87	X94, Y173	43	42	45	円形	B-2
P-88	X94, Y173	45	45	42	円形	B-2
P-89	X94, Y172	32	30	23	円形	T-1内　B-2
P-90	X94, Y172	44	43	34	円形	T-1内　B-2
P-91	X94, Y172	42	42	24	円形	T-1内　B-2
P-92	X94, Y171	43	39	33	円形	B-2
P-93	X94, Y171	46	44	10	円形	B-2
P-94	X94, Y171	48	43	43	円形	B-2
P-95	X92, Y178	34	30	17	円形	
P-96	X92, Y179	36	29	53	楕円形	
P-97	X92, Y179	40	15	67	楕円形	
P-98	X93, Y179	25	22	23	円形	周溝状遺構 重複
P-99	X93, Y179	—	—	52	—	〃, P-101 重複
P-100	X93, Y179	37	30	42	楕円形	周溝状遺構 重複
P-101	X93, Y179	—	—	35	—	〃, P-99,102 重複
P-102	X93, Y179	—	—	19	—	〃, P-101,103重複
P-103	X93, Y179	—	—	25	—	〃, P-102 重複
P-104	X94, Y176	55	45	23	楕円形	
P-105	X93, Y176	40	40	44	円形	
P-106	X89, Y179	48	43	30	楕円形	
P-107	X89, Y179	40	31	49	楕円形	
P-108	X87, Y177	42	38	34	円形	
P-109	X87, Y177	33	31	32	円形	
P-110	X86, Y177	42	36	43	楕円形	
P-111	X86, Y176	40	32	46	楕円形	
P-112	X86, Y176	50	40	45	楕円形	
P-113	X86, Y177	46	40	47	楕円形	
P-114	X86, Y177	34	34	25	円形	
P-115	X86, Y177	48	40	28	楕円形	
P-116	X86, Y175	25	25	42	円形	
P-117	X86, Y175	25	25	34	円形	
P-118	X86, Y175	28	27	67	円形	
P-119	X86, Y175	46	34	37	楕円形	
P-120	X86, Y175	46	40	32	楕円形	
P-121	X86, Y175	38	32	45	楕円形	
P-122	X86, Y174	36	30	19	楕円形	
P-123	X86, Y174	50	38	41	楕円形	
P-124	X85, Y175	58	50	47	楕円形	

★は縄文土器片、●は土師器片、■は須恵器片出土を示す。（　）は推定値を示す。

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-125	X85, Y174	51	44	25	楕円形	
P-126	X85, Y173	46	43	21	円形	
P-127	X85, Y173	47	40	21	楕円形	
P-128	X85, Y172	26	24	39	円形	
P-129	X85, Y172	42	40	33	円形	
P-130	X87, Y169	37	32	22	楕円形	
P-131	X87, Y169	50	48	25	円形	
P-132	X87, Y169	60	55	31	円形	
P-133	X86, Y169	50	48	22	円形	
P-134	X86, Y169	58	47	26	不整形	★
P-135	X85, Y169	38	37	60	円形	
P-136	X85, Y169	(50)	47	19	(円形)	P-137 重複
P-137	X84, Y169	(40)	37	26	(円形)	P-136 重複
P-138	X81, Y167	36	24	60	楕円形	
P-139	X81, Y167	44	32	50	楕円形	
P-140	X83, Y170	28	25	19	円形	
P-141	X83, Y170	—	—	31	—	P-142, 143 重複
P-142	X83, Y170	—	—	28	—	P-141, 143 重複
P-143	X83, Y170	—	—	25	—	P-141, 142 重複
P-144	X83, Y171	30	29	45	円形	
P-145	X83, Y171	43	29	33	楕円形	
P-146	X83, Y171	36	35	30	円形	
P-147	X82, Y171	26	18	39	楕円形	
P-148	X81, Y171	30	27	27	円形	トレンチ内
P-149	X79, Y172	32	28	37	円形	
P-150	X79, Y172	34	28	46	楕円形	
P-151	X79, Y172	30	30	30	円形	
P-152	X79, Y172	30	26	20	楕円形	
P-153	X80, Y173	50	39	29	楕円形	
P-154	X83, Y173	38	34	40	楕円形	
P-155	X83, Y173	33	32	39	円形	
P-156	X83, Y174	28	26	24	円形	
P-157	X83, Y174	36	36	40	円形	
P-158	X82, Y174	47	34	35	楕円形	
P-159	X82, Y174	40	28	48	楕円形	
P-160	X83, Y174	46	41	52	円形	
P-161	X83, Y174	60	40	80	楕円形	
P-162	X83, Y174	44	40	36	円形	
P-163	X83, Y175	(21)	(21)	(32)	(円形)	D-72 重複
P-164	X83, Y175	65	43	68	楕円形	
P-165	X82, Y175	40	38	64	円形	
P-166	X82, Y175	47	40	50	楕円形	
P-167	X82, Y176	—	—	38	—	P-168, D-76 重複
P-168	X82, Y176	—	—	80	—	P-167, D-76 重複
P-169	X82, Y176	45	40	39	楕円形	★●
P-170	X81, Y176	35	27	78	楕円形	
P-171	X81, Y176	32	29	24	円形	
P-172	X79, Y175	40	35	71	楕円形	
P-173	X84, Y173	32	30	33	円形	
P-174	X84, Y173	35	34	35	円形	
P-175	X85, Y166	(52)	(45)	(36)	(楕円形)	●H-2 重複　B-1
P-176	X84, Y174	35	32	49	円形	
P-177	X85, Y177	28	(27)	34	(円形)	
P-178	X85, Y178	38	30	54	楕円形	
P-179	X85, Y177	25	20	35	楕円形	
P-180	X86, Y178	31	27	33	楕円形	
P-181	X86, Y178	34	24	36	楕円形	
P-182	X87, Y178	30	30	63	円形	
P-183	X102, Y175	38	38	16	円形	
P-184	X102, Y175	(58)	52	47	楕円形	
P-185	X99, Y177	31	24	17	楕円形	T-3内
P-186	X99, Y177	72	55	30	楕円形	T-3内
P-187	X99, Y178	60	50	47	楕円形	
P-188	X62, Y209	29	27	19	円形	
P-189	X61, Y211	—	—	26	—	
P-190	X62, Y210	30	27	29	円形	
P-191	X62, Y209	36	30	30	楕円形	
P-192	X62, Y209	—	—	18	—	H-18 重複
P-193	X63, Y209	—	—	21	—	H-18 重複
P-194	X63, Y210	44	34	22	楕円形	
P-195	X63, Y209	29	26	16	円形	
P-196	X63, Y210	31	27	40	円形	
P-197	X63, Y210	46	36	27	楕円形	
P-198	X64, Y210	40	34	30	楕円形	
P-199	X64, Y210	23	23	21	円形	
P-200	X65, Y209	36	33	20	円形	B-3
P-201	X64, Y209	37	34	21	円形	B-3
P-202	X64, Y209	26	26	19	円形	B-3
P-203	X64, Y210	40	33	29	楕円形	B-3
P-204	X65, Y210	44	38	31	楕円形	●　B-3
P-205	X65, Y209	40	40	31	円形	B-3
P-206	X65, Y209	24	20	17	楕円形	B-3
P-207	X65, Y209	33	28	14	円形	
P-208	X65, Y209	33	30	30	楕円形	
P-209	X64, Y210	20	19	10	円形	
P-210	X64, Y210	28	22	21	楕円形	●
P-211	X65, Y210	34	32	61	円形	
P-212	X65, Y210	22	21	21	円形	
P-213	X65, Y210	57	46	41	楕円形	●■
P-214	X65, Y210	27	26	18	円形	
P-215	X65, Y210	34	30	57	楕円形	●
P-216	X65, Y210	33	32	24	円形	●
P-217	X66, Y210	35	32	37	円形	
P-218	X66, Y210	31	31	30	円形	
P-219	X66, Y210	—	—	16	—	P-220 重複
P-220	X66, Y210	—	—	31	—	P-219 重複
P-221	X66, Y210	34	26	32	楕円形	
P-222	X66, Y210	28	28	26	円形	●
P-223	X66, Y210	40	36	31	円形	●■
P-224	X63, Y212	45	38	19	楕円形	
P-225	X63, Y213	33	30	12	円形	
P-226	X63, Y214	34	28	24	楕円形	
P-227	X64, Y213	46	40	12	楕円形	
P-228	X64, Y213	38	36	13	円形	
P-229	X64, Y214	40	34	13	楕円形	
P-230	X64, Y214	28	26	10	円形	
P-231	X64, Y214	38	32	40	楕円形	■
P-232	X64, Y213	52	43	20	楕円形	
P-233	X64, Y213	45	32	47	楕円形	
P-234	X64, Y213	43	40	26	円形	
P-235	X65, Y213	34	30	32	楕円形	
P-236	X64, Y214	36	33	42	円形	

(6) 地下式土坑〔第17図、図版7〕

位置 X90・91、Y172・173グリッド **形状** 主室は長方形を呈し、南側に出入り口を設けられていたと考えられるが、後世にI-3が掘られ出入り口部分を壊している。北側と西側に壁を抉る様に掘られた棚状の構造を持つ。**規模** 底部；長軸2.67m、短軸2.57m、棚を含む全体；長軸3.55m、短軸2.94m、確認面から床面までの深さ

200～206cm、床面から棚までの高さは北側で36cm、奥行き26～40cm、南側では高さ22cm、奥行き12～33cmを測る。**面積**(底部)6.30m² **長軸方向** N-39°-W **床面** 暗色帯を掘り込み平坦で硬く締まっている。**天井** 天井を構成していたと思われるローム土層が床面に厚く堆積していた。厚さや堆積状態から床面から天井までの高さは1.35～1.50mのドーム状の構造を持っていたと推定される。**遺物** 遺構に伴う遺物は出土していない。埋土上層からは、流れ込みと思われる縄文土器片、土師器の坏・甕、須恵器の埦・甕などの破片を出土している。

(7) 土 坑

縄文時代以外の土坑は、調査区全体で77基検出した。時期を特定できるものは数基で、大多数は時期不明であった。その他に木の根や耕作痕と思われるものもあった。また、規則性などは確認できなかった。縄文時代の土器片や礫などが出土している土坑も検出したが、埋土の質が縄文土坑とは明らかに違い、柔らかく、白色軽石粒やローム粒が多く含まれていて、後世に穴を掘った時、縄文土器などを埋めたか、埋まってしまったのであろう。

なお、各土坑の計測値は第5表土坑計測表にまとめた。

第5表 土坑計測表

( ) は推定値、★は縄文土器片、●は土師器片、■は須恵器片出土を示す。

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
D-1	X83, Y164	194	194	12	円形	
D-2	X83, Y164	82	75	8	円形	★■
D-3	X82, Y165	252	205	17	楕円形	
D-6	X84, Y164	101	99	19	円形	
D-7	X85, Y164	112	108	31	円形	
D-8	X86, Y164	196	166	20	楕円形	
D-12	X85, Y167	103	70	14	長方形	●
D-13	X84, Y167	90	86	5	円形	●
D-14	X87, Y164	194	91	17	不整形	
D-17	X89, Y165	112	101	20	円形	
D-18	X89, Y166	95	92	13	円形	
D-19	X90, Y166	158	130	54	楕円形	★●■
D-20	X90, Y166	110	110	27	円形	
D-21	X89, Y167	95	86	17	楕円形	
D-22	X89, Y166	(80)	72	36	(楕円形)	●■P-64, 65と重複
D-23	X88, Y166	100	100	24	円形	●D-24と重複
D-24	X88, Y167	85	(80)	24	(楕円形)	★●■D-23と重複
D-25	X89, Y167	179	160	31	楕円形	●
D-26	X89, Y169	(230)	142	23	(楕円形)	●D-27, P-79と重複
D-27	X89, Y169	—	—	27	—	D-26, 28, P-78と重複
D-28	X89, Y170	(226)	115	29	(楕円形)	★●■D-27と重複
D-29	X88, Y170	110	102	20	円形	●■
D-30	X94, Y166	(122)	(100)	112	(楕円形)	★D-31, 32と重複
D-31	X94, Y166	(174)	(108)	(34)	(楕円形)	★D-30, 32と重複
D-32	X94, Y166	(180)	(110)	111	(不整形)	★D-30, 31と重複
D-33	X93, Y170	174	160	28	不整形	
D-34	X93, Y170	100	88	24	楕円形	
D-35	X89, Y172	103	88	45	楕円形	★
D-36	X92, Y173	70	40	41	楕円形	★
D-37	X93, Y173	103	96	23	楕円形	★●
D-38	X93, Y176	108	106	11	円形	
D-39	X93, Y178	130	123	28	円形	
D-40	X92, Y178	118	93	32	楕円形	
D-41	X93, Y180	73	69	15	円形	
D-42	X94, Y180	100	89	20	楕円形	
D-43	X94, Y181	108	90	19	楕円形	
D-44	X93, Y181	110	89	40	楕円形	
D-45	X92, Y178	74	61	33	楕円形	
D-46	X92, Y178	88	74	(149)	円形	
D-47	X91, Y178	123	116	16	円形	
D-48	X90, Y180	93	82	32	楕円形	
D-49	X89, Y178	105	98	14	楕円形	
D-51	X88, Y178	120	104	27	楕円形	
D-52	X89, Y176	110	89	9	楕円形	
D-53	X88, Y175	467	220	65	楕円形	★■
D-54	X89, Y173	300	158	21	不整形	●■
D-55	X87, Y170	128	118	40	楕円形	★●■
D-56	X86, Y171	128	120	42	円形	●■
D-57	X87, Y171	(100)	86	33	(楕円形)	★D-58と重複
D-58	X87, Y171	(90)	72	33	(楕円形)	D-57と重複
D-59	X85, Y175	116	110	43	円形	
D-60	X85, Y176	113	111	43	円形	
D-61	X85, Y176	113	106	22	円形	★
D-62	X86, Y177	122	74	16	楕円形	
D-63	X85, Y178	132	127	14	円形	
D-64	X85, Y177	96	58	19	不整形	
D-65	X84, Y168	114	85	24	楕円形	★
D-66	X83, Y168	112	88	52	楕円形	
D-67	X81, Y168	80	70	10	円形	★
D-70	X83, Y173	92	70	29	楕円形	
D-76	X82, Y176	—	—	71	—	★P-167, 168と重複
D-78	X78, Y174	132	128	53	円形	
D-81	X84, Y175	140	132	62	円形	★
D-82	X83, Y176	72	58	40	不整形	★
D-83	X83, Y176	118	108	31	楕円形	
D-84	X83, Y176	100	83	42	楕円形	
D-85	X83, Y176	103	94	41	円形	★
D-86	X83, Y177	110	104	30	円形	
D-87	X84, Y176	95	70	50	楕円形	
D-88	X84, Y176	(140)	85	47	楕円形	D-89と重複
D-89	X84, Y176	(86)	75	43	円形	★D-88と重複
D-90	X85, Y177	127	110	38	楕円形	
D-91	X98, Y174	80	76	41	円形	
D-92	X98, Y177	112	102	13	円形	★
D-93	X101, Y175	135	76	7	楕円形	
D-94	X101, Y178	123	110	39	楕円形	
D-96	X90, Y177	131	91	13	不整形	炭化物が多い

⑻ 井戸跡〔第17・18図〕

3基の井戸跡を検出した。3基とも遺構に伴う遺物は出土せず、時期不明である。

第6表　井戸跡計測表

（　）は推定値、［　］は検出値を示す。

遺構番号	遺構位置	形状			長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	備考
I-1	X91, Y166	平面形状	上段	正方形	170	170	上段 80	上段は、確認面から80cmの深さまで正方形に掘られ、その下の下段は、円形に掘られていた。遺物は、縄文土器片、土師・須恵器片が出土しているが、時期を決定づける遺物は出土していない。
			下段	円形	180	180		
		断面形状	上段	台形	170	130	下段	
			下段	長方形	80	80	[157]	
I-2	X92・93, Y177	平面形状	円形		180	115	[125]	確認面から90cmの深さで55×60×35cmの大型石が出土したが、土器など出土しなかった。
		断面形状	長方形					
I-3	X91, Y173	平面形状	円形		115	115	[220]	地下式土坑と重複し、出入り口と考えられる部分を掘り込んでいる。
		断面形状	長方形					

⑼ 道路状遺構〔第19図、図版8〕

A調査区に4条検出した。明治29年、元陸軍の迅速測図や昭和43年の都市計画図に道路として記載されており、最近まで使用していた道路である。

第7表　道路状遺構計測表

［　］は検出値、N-S-W-Eは方向を示す。

遺構番号	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)		底のレベル標高(m)	勾配(%)	上幅(cm)下幅(cm)	傾斜方向	備考
A-1	X81, Y161 ～ X75, Y176	[61.0]	道路	50～94	NE127.76 SW126.20	2.6	642～718 430～470	NE→SW	A-1の道路部分は硬く締まった状態で砂利が敷かれている。その東側には道路側溝が掘られていた。平成13年度五代伊勢宮IIIで検出した道路状遺構の構造に酷似している。埋土には、ガラス片や塩化ビニールが混入している。
			側溝	52～95	NE127.07 SW125.68	2.3	115～140 15～45	NE→SW	
A-2	X84, Y162 ～ X81, Y163	[9.8]	12～61		NE128.33 SW127.66	6.8	256～330 182～273	NE→SW	A-2はA-1の北側で分岐し東へ走行する。道路側溝にはヒューム管を埋め支線(馬入れ)として使用していた。
A-3	X90, Y170 ～ X83, Y175	[40.54]	12～32		NE127.72 SW127.06	1.6	216～270 197～244	NE→SW	A-3もA-1から分岐した支線と思われる。
A-4	X78, Y168 ～ X76, Y173	[23.2]	4～31		NE127.72 SW126.78	4.1	114～215 21～70	NE→SW	A調査区の西端の壁際に、わずか検出した。平成14年度五代伊勢宮VI遺跡で検出した溝状遺構と思われる。

3．まとめ

本遺跡は、東側と西側を沖積谷に挟まれた台地上の中央部から東側にあたり、前年度調査の五代伊勢宮VI遺跡の南東側にある。標高は、確認面でA・B調査区では約126.40～128.50m、C調査区では約121.40～122.70mを測る。

縄文時代の遺構と遺物について

今回の調査では、縄文時代住居跡1軒と土坑19基を検出した。J-1の規模は5.11×4.80mの楕円形で、炉は中央より北側に位置し、掘り込みがなく床面が赤く焼けた状態であった。また、H-8と重複して検出され西側半分の壁と床をH-8に切られている。確認面から床面までの深さは10cmほどJ-1の方が低いが、H-8を構築する際にJ-1の硬い床面を掘り込んだ後、床を構築している。遺物は、土器片と石器が少量であった。土坑の多くは遺物を伴わない土坑であったが、D-73, 74, 75では土器片が多く出土した。それらの土器片が出土した住居跡及び土坑の時期は中期中葉に属するものと考えられる。

古墳時代以降の遺構と遺物について

本遺跡の調査において、古墳時代の住居跡は東側に2軒検出した。H-10は長方形で、規模は3.98×3.82m、6世紀後半から7世紀前半の住居跡である。H-12は正方形で、規模は5.39×5.36m、7世紀後半の住居跡であった。H-10についての詳細は、カマドの両袖先端部から袖石を検出し、床面や覆土に炭化物が多く焼失住居と思われ、杉の炭化材が北西隅から南東隅へ、1本横たわった様相を呈して検出された。遺物は数多く出土し、長胴甕や坏、紡錘車は中央の孔に炭化した木軸が残った状態で出土した。

奈良・平安時代の住居跡は17軒検出され、8世紀中頃から10世紀前半のものと推定される。形状は正方形や長方形で、規模は最大5.96×4.95m（H-17）、最小2.93×2.64m（H-14）であった。平坦で堅緻な床面で、確認面

から床面までの深さは30～50cmの住居跡が大半を占めているが、３軒（H－４，６，９）は60～80cmと深い。各住居跡ごとに特徴ある遺物が出土しているが、なかでも古銭と鈴が出土しているH－７について考察してみたい。H－７の住居跡は北側で一部攪乱されているが、規模や形状から同時期のものの中で特異性のある住居跡とは考えられない。しかし遺物は、皇朝12銭の和同開珎（708年初鋳）２点、神功開宝（765年初鋳）３点と銅製の鈴２点が住居跡のほぼ中央の床面から出土した。土器については須恵器で墨書や線刻のある坏、台付きの埦、蓋、土師器の甕や台付き甕など特徴ある土器が多く出土している。なお外面に台形で四角く囲われた中に「上」と同一の墨書文字が記されている須恵器の坏が、本遺跡南方の五代木福Ⅰ遺跡の９世紀の住居跡（H-11）や北方の芳賀東部団地遺跡から出土している。特定集団の帰属を示したものなのか。

銭貨は、関東地方では墓の副葬品や、竪穴住居跡からの出土が一般的である。竪穴住居跡からの出土は単独で出土することが多く、本例のように複数枚の出土は稀な例である。出土土器との対比でみると銭貨の初鋳時期とずれる傾向がみられるが、集落内でこうした銭貨を持てる階層は限られていたとみられることや、宝器的、呪術的な性格を持つものとして伝承的に扱われてきたからかも知れず、祭祀的な性格を持つものとして後世まで伝えられた可能性が高い。ゆえに銭貨は、祭祀に伴う使われ方や貴重品として有力者のステータスシンボルとして保有されてきたものかも知れない。（第８表には、群馬県内で皇朝十二銭等を出土した遺跡を掲載した。）共伴の鈴は、出土例が少なく本遺跡南方にある五代木福Ⅰ遺跡の奈良時代の住居跡（H-48）から１点出土し、同様に高井桃ノ木遺跡では古墳時代の住居跡（H-29）から１点出土している。また、上野国分僧寺・尼寺中間地域（7）遺跡では土坑（Ⅰ区第210号）から銅製の鈴２点と神功開宝１点を出土している。この土坑は土壙墓と考えられ祭祀的な性格が強い。なお同時に須恵器の埦や灰釉陶器皿も出土している。鈴の出土の意味については駅鈴などの例でもみられるように、特別な階層の所有物としての性格を持つものとみられる。また、祭祀的な性格も併せ持つものと考えられる。以上のことから、H－７は古銭と鈴が１軒の住居跡から出土したことから考えると、集落内の有力階層にかかわる竪穴住居跡と思われる。

本遺跡の台地中央部から東側縁辺部における集落の変遷をみると、まず７世紀に２軒（H-10･12）の住居跡がA調査区東側に現れ、その後台地縁辺部のやや低い場所に集落が拡大し、８世紀に入り５軒（H－１・５・６・８・９）の住居跡とB－１等が構築され、台地上の中央部へ拡大していった。９世紀には集落が最盛期を迎え住居跡12軒（H－２・３・４・７・11・13・14・15・16・17・18・19）とB－２やB－３のように広い範囲に集落の分散化がおこり台地中央部の高い場所や縁辺部のより低い場所にも広がって爆発的に集落範囲を拡大していった。10世紀に入ると谷地の開析が進み、湿地が低くなったこともあってより南の低地部へ移って行ったと考えられる。

第８表　皇朝十二銭等出土遺跡一覧表（群馬県内）

古銭名	出　土　遺　跡　名
富本銭	藤岡市上栗須遺跡６号墳
和同開珎	**前橋市五代木福Ⅱ遺跡104号住、五代竹花Ⅱ遺跡７号住**（２点）、子持村白井二位屋遺跡、北橘村芝山遺跡、箕郷町下芝五反田遺跡、高崎市熊野堂（2）遺跡、後原Ⅰ・Ⅱ遺跡、引間遺跡、宮城村白山古墳（８点）、太田市弁天塚16号古墳
万年通宝	松井田町愛宕山遺跡、群馬町冷水村東遺跡、前橋市二之宮町（旧荒砥村）
神功開宝	**前橋市五代竹花Ⅱ遺跡７号住**（３点）、富田宮下遺跡、芳賀北部団地遺跡、群馬町国分僧寺・尼寺中間遺跡 高崎市小八木志志貝戸遺跡、太田市東長岡戸井戸遺跡（２点）、桐生市川内童子原
隆平永宝	粕川村中之沢室沢遺跡群、太田市牛沢遺跡、前橋市山王廃寺（２点）、元総社小見Ⅳ遺跡
富寿神宝	赤城村中畦遺跡、吉岡町大久保遺跡、前橋市山王廃寺（７点）、富田下大日Ⅲ遺跡 太田市牛沢遺跡、群馬町国分僧寺・尼寺中間遺跡
承和昌宝	**昭和村大貫原遺跡５号住**（１点）、群馬町国分僧寺・尼寺中間遺跡
長年大宝	群馬町国分僧寺・尼寺中間遺跡
饒益神宝	沼田市戸神諏訪Ⅳ遺跡、群馬町国分僧寺・尼寺中間遺跡
貞観永宝	高崎市観音山古墳
寛平大宝	高崎市観音山古墳、榛名町中里見原遺跡
延喜通宝	前橋市鳥羽遺跡、群馬町三ッ寺大下Ⅳ遺跡
乾元大宝	群馬県内出土例なし

合計59点

上記の皇朝十二銭等の出土一覧表作成にあたり、下記の諸氏にご教示ご指導をいただきました。記して謝意を表す次第であります。
（敬称略、50音順）
新井英樹（事業団）、井上唯雄（前橋市）、梅澤克典（粕川村）、小川卓也（宮城村）、加部二生（新里村）、壁　伸明（松井田町）、神戸聖語（高崎市）、小池雅典（沼田市）、昭和村教育委員会、瀧野　功（吉岡町）、津金沢吉茂（県教委）、中沢　悟（事業団）、長谷川福次（北橘村）、福田貫之（富士見村）、前原　豊（前橋市）、三宅敦気（月夜野町）、山下歳信（大胡町）

第９表　出土遺物観察表

土器の法量は①口径②底径③胴部最大径④器高を表し、単位はcmである。また（　）は推定値、［　］は現存値を表す。

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　考	実測図	図版
J-1-1 埋土	J-1 No.22・26・45	縄文土器 深鉢	①(26.6) ④[28.0]	①中粒 ②良好 ③7.5YR5/4鈍い褐 ④口縁～胴部片	胴部には隆線によるY字状懸垂文を４単位配するものと思われる。胴・頸部境にはキャタピラ文を一周させる。頸部は無文。口縁部には隆線による横位楕円区画文を４単位配するものと思われ、区画内には隆線沿いにキャタピラ文を施す。		22	9
J-1-2 埋土	J-1 No.5	打製石斧	長さ10.0cm　幅5.4cm　厚さ1.6cm　重さ114.8g　石材：黒色頁岩　完形				22	9
J-1-3 埋土	J-1一括	打製石斧	長さ10.8cm　幅5.4cm　厚さ1.6cm　重さ96.4g　石材：黒色安山岩　完形				22	9
J-1-4 埋土	J-1一括	打製石斧	長さ9.2cm　幅4.0cm　厚さ1.6cm　重さ83.6g　石材：黒色安山岩　完形				22	9
J-1-5 埋土	J-1 No.51	磨石	長さ12.0cm　幅8.5cm　厚さ3.3cm　重さ540g　石材：安山岩　完形				22	9
J-1-6 床直	J-1 No.6	磨石	長さ11.0cm　幅8.0cm　厚さ4.3cm　重さ580g　石材：安山岩　完形				22	9
J-1-7 埋土	J-1 No.33	石皿・ 多孔石	長さ15.0cm　幅24.6cm　厚さ5.8cm　重さ2325g　石材：粗粒安山岩　1/2残			内面に赤色顔料付着。	22	9
D-74-1 埋土	D-74 No.1	縄文土器 深鉢	②11.5 ④[13.0]	①中粒②良好 ③2.5YR5/6明赤褐 ④胴部下半～底部	２本１組の縦位隆線を４単位配する。うち１単位には間に平行沈線を施す。地文に縄文RL斜位を施す。		22	9
H-1-1 床直 カマド	H-1 No.3， カNo.2	須恵器 坏	①(12.5) ②(8.0) ④3.9	①細粒②良好(還元) ③10YR8/1灰白 ④1/2口縁～底部	平底から直線的に口縁部に至る。ロクロ成形。底部回転篦切り後撫で。		22	9
H-1-2 カマド	H-1カNo.1	須恵器 高台付埦	②(6.8) ④[1.4]	①細粒②良好(還元) ③10YR8/1灰白④底部	右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。付高台。	底部内外面に墨書。	22	9
H-2-1 埋土	H-2 No.2	須恵器 坏	①(12.4) ②6.0 ④3.6	①細粒②良好(還元) ③7.5Y7/1灰白 ④1/2口縁～底部	上げ底気味の底部から、直線的に開き口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。	底部外面に墨書。	22	9
H-2-2 埋土	H-2 No.3	須恵器 坏	②(6.2) ④[2.2]	①細粒②良好(還元) ③2.5Y8/1灰白④体～底部片	上げ底気味の底部から、直線的に開く。 ロクロ成形。底部回転糸切り。	底部内面に墨書。	22	9
H-2-3 床直	H-2 No.29	須恵器 高台付埦	①(14.4) ②(7.7) ④5.4	①細粒②良好(還元) ③10Y4/1灰④1/6口縁～底部	体部下位に膨らみをもって開き、口縁部上半で外反する。ロクロ成形。底部切り離しは不明。付高台。		22	9
H-2-4 埋土 カマド	H-2 No.14， カNo.3・4・9，H-3 No.4・一括	灰釉陶器 長頸瓶	②(8.7) ③(18.3) ④[19.5]	①細粒②良好(還元) ③10Y6/1灰、釉は10Y4/2オリーブ灰④胴部・底部片	高台は台形を呈し、接地面は外側にくる。ロクロ成形。回転右回りか。施釉方法は刷毛塗り。	遺構間接合。	22	9
H-3-1 床直	H-3 No.29	須恵器 坏	①(14.3) ②7.3 ④3.8	①細粒②良好(還元) ③2.5Y7/1灰白 ④1/2口縁～底部	平底から僅かな膨らみをもって開き、口縁部上半で外反する。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。		22	9
H-3-2 床直	H-3 No.9	須恵器 高台付埦	①15.7 ②7.0 ④6.6	①中粒(黒雲母含む) ②不良(還元) ③7.5Y8/1灰白④ほぼ完形	体部は直線的に開き、高台は細く開く。 右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。		22	9
H-3-3 床直	H-3 No.11	須恵器 耳皿	①10.4 ②4.6 ④[1.9]	①細粒(黒雲母含む) ②良好(還元)③10Y6/1灰 ④1/2口縁～底部	右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。	底部内面に墨書痕。	22	9
H-3-4 床直	H-3 No.34	須恵器 耳皿	①8.3 ②5.2 ④3.4	①中粒(黒雲母含む) ②良好(還元)③2.5Y7/1灰白 ④ほぼ完形	右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。付高台。	底部内面に線刻。	22	9
H-4-1 埋土	H-4 No.8	土師器 甕	①20.0 ③23.0 ④[25.0]	①細粒 ②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐 ④3/4口縁～胴部下位	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈するが一部「く」の字状。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上半横から斜方向篦削り。下半縦方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部横方向篦撫で。		23	9
H-4-2 埋土	H-4 No.28	須恵器 高台付埦	①(16.8) ②(9.0) ④5.5	①細粒②良好(還元) ③7.5Y6/1灰④1/3口縁～底部	膨らみをもって外反する口縁部に至る。ロクロ成形。底部回転糸切り。付高台。		23	9
H-4-3 埋土	H-4一括	灰釉陶器 皿	①(15.8) ②(7.6) ④2.7	①細粒②良好(還元) ③7.5Y7/1灰白 ④1/5口縁～底部	口縁端部を小さく外反させる。三日月高台を貼付。ロクロ成形。回転右回りか。施釉方法は口縁部内外面に刷毛塗り。		23	9
H-4-4 埋土	H-4一括	鉄製品 刀子	長さ12.6cm　幅6.3cm　厚さ0.5cm　重さ27.2g				23	9
H-5-1 床直	H-5 No.65・66	土師器 坏	①13.8 ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④ほぼ完形	平底気味の底部から浅い体部に至り、口縁部はやや外反する。外面：口縁部横撫で。底部篦削り。内面：口縁部横撫で。底部丁寧な撫で。		23	10
H-5-2 埋土	H-5 No.41	須恵器 坏	①13.7 ②8.6 ④3.2	①中粒(白色鉱物含む) ②良好(還元)③5Y6/1灰 ④1/2口縁～底部	平底から直線的に外反し口縁部に至る。ロクロ成形。底部回転篦切り後篦撫で。		23	10
H-5-3 床直	H-5 No.83	砥石 荒砥	長さ24.5cm　幅11.9cm 厚さ10.8cm　重さ1575g 石材：砂岩　完形		長楕円形を呈し、４面使用。うち３面は研磨痕著しく弓張り状を呈する。他１面に幅10mm前後の沈線状擦痕を数条確認。	置き砥。	23	10
H-5-4 床直	H-5 No.81	鉄製品 鉄鏃	長さ13.1cm　幅1.5cm　厚さ0.4cm　重さ23.1g　片刃箭短茎鏃か				23	10

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　考	実測図	図版
H-6-1 床直	H-6 No.3	土師器 坏	①12.0 ②10.0 ④3.3	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④ほぼ完形	丸底気味の底部から僅かに丸みをもち、口縁部はやや開く。外面：口縁部横撫で。底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部から底部撫で(一部篦撫で)。		23	10
H-6-2 床直	H-6 No.4	土師器 坏	①12.1 ②9.8 ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④ほぼ完形	丸底気味の底部から直線的に外反し口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部から底部丁寧な撫で。		23	10
H-6-3 床直	H-6 No.29	須恵器 坏	①12.5 ②9.5 ④3.6	①細粒②良好(還元) ③10Y6/1灰④完形	上げ底気味の底部から、ほぼ直線的にやや開き口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転篦切り。		23	10
H-6-4 床直	H-6 No.1	石製 紡錘車	大径3.4cm　小径3.1cm　厚さ1.2cm　穿孔0.8cm　重さ20.0g　石材：流紋岩　完形		断面長方形状を呈する。大径面は平坦で、小径面はやや凸条を呈する。	最大径3.5cm。	23	10
H-6-5 床直	H-6 No.2	石製 紡錘車	大径4.5cm　小径2.5cm　厚さ1.9cm　穿孔0.9cm　重さ44.6g　石材：流紋岩　ほぼ完形		断面台形状を呈し、大・小径面は平坦。		23	10
H-7-1 床直	H-7 No.18・53	土師器 坏	①11.4 ②8.5 ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④ほぼ完形	平底からやや膨らみをもって外反し口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。底部篦削り。内面：口縁部から底部丁寧な撫で。	底部内面に「×」の篦印。	23	10
H-7-2 カマド 床直	H-7カNo.1，No.31	土師器 台付甕	①14.9 ③17.7 ④[19.5]	①細粒 ②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④2/3口縁～台部中位	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上半横から斜方向篦削り。下半縦方向篦削り。台部横撫で。内面：口縁から頸部横撫で。胴部篦撫で。		23	10
H-7-3 床直	H-7 No.10	土師器 甕	①20.8 ②4.5 ③22.1 ④27.5	①細粒 ②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④完形	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上半横方向篦削り。下半斜方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部横方向篦撫で。		23	10
H-7-4 カマド	H-7カNo.4・7，No.32	土師器 甕	①19.4 ②3.7 ③21.0 ④28.3	①細粒 ②良好(酸化) ③5YR7/6橙 ④ほぼ完形	胴部上位に最大径をもち、頸部はゆるやかに屈曲する。口縁部は短く外反。外面：口縁部横撫で。胴部上半横から斜方向篦削り。下半縦方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		23	10
H-7-5 カマド	H-7カNo.5・8，No.45	土師器 甕	①19.3 ②3.4 ③21.9 ④29.2	①細粒 ②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④4/5	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上半横から斜方向篦削り。下半縦方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部篦撫で。		23	10
H-7-6 床直	H-7 No.47	須恵器 坏	①12.0 ②7.0 ④3.5	①細粒(白色針状物質含む) ②良好(還元) ③10GY 4/1暗緑灰 ④ほぼ完形	上げ底気味の底部から、やや膨らみをもって外反し口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。		23	10
H-7-7 床直	H-7 No.48	須恵器 坏	①12.5 ②6.8 ④4.1	①細粒(粗砂含む) ②良好(還元)③5Y6/1灰 ④ほぼ完形	平底から僅かな膨らみをもって外反し口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。	底部内面に「×」の篦印。	23	10
H-7-8 埋土	H-7 No.24	須恵器 坏	②5.1 ④[1.8]	①中粒②良好(還元) ③7.5Y6/1灰④体～底部	平底から膨らみ気味に外反し口縁部に至ると思われる。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。	底部外面に墨書。	23	10
H-7-9 埋土	H-7 No.27・33	須恵器 蓋	①(17.0) つまみ径3.5 ④2.8	①中粒(粗砂含む)②良好(還元) ③7.5Y7/1灰白 ④1/2口縁～天井部	水平の天井部からゆるやかに湾曲する体部を経て、口縁部は短く内屈する。ロクロ成形。天井部回転篦削り。偏平なつまみ貼付。		23	10
H-7-10 埋土	H-7 No.12	須恵器 壺	①(14.6) ④[9.8]	①細粒(粗砂含む)②良好(還元) ③10Y7/1灰白④口縁部	頸部から直線的に立ち上がり、中位にやや膨らみをもち上位で外反する。ロクロ成形。		24	10
H-7-11 床直	H-7 No.5	古銭	径2.35cm　厚さ0.2cm　重さ2.4g　方孔0.65cm　「和同開珎」和銅元(708)年初鋳。				24	11
H-7-12 床直	H-7 No.6	古銭	径2.5cm　厚さ0.15cm　重さ2.4g　方孔0.65cm　「和同開珎」和銅元(708)年初鋳。				24	11
H-7-13 床直	H-7 No.3	古銭	径2.5cm　厚さ0.2cm　重さ2.1g　方孔0.65cm　「神功開寶」天平神護元(765)年初鋳。				24	11
H-7-14 床直	H-7 No.4	古銭	径2.55cm　厚さ0.2cm　重さ3.3g　方孔0.65cm　「神功開寶」天平神護元(765)年初鋳。				24	11
H-7-15 床直	H-7 No.7	古銭	径2.5cm　厚さ0.15cm　重さ2.6g　方孔0.6cm　「神功開寶」天平神護元(765)年初鋳。				24	11
H-7-16 床直	H-7 No.1	銅製 鈴	長さ2.6cm　鐶部径2.6cm　孔径0.2cm 重さ9.2g　ほぼ完形		胴地の厚さは0.4mm前後。半球形を重ね合わせ、中央部に鐶。中には丸がある。		24	10
H-7-17 床直	H-7 No.2	銅製 鈴	長さ[1.3]cm　鐶部径1.9cm 重さ1.6g　1/2残		胴地の厚さは0.4mm前後。半球形を重ね合わせ、中央部に鐶。		24	10
H-7-18 埋土	H-7 No.8	石製 紡錘車	大径4.3cm 小径2.9cm 厚さ1.8cm 穿孔0.9cm 重さ42.8g　石材：流紋岩　ほぼ完形		断面台形状を呈し、大・小径面は平坦。		24	10
H-8-1 貯蔵穴	H-8貯No.1	須恵器 坏	①12.5 ②7.2 ④3.5	①細粒②良好(還元) ③10Y6/1灰 ④ほぼ完形	上げ底気味の器肉の厚い底部から、やや膨らみをもって外反し口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。		24	10
H-8-2 カマド	H-8カ一括	石製 紡錘車	大径4.6cm 小径3.4cm 厚さ1.4cm 穿孔0.8cm 重さ43.8g　石材：流紋岩　ほぼ完形		断面偏平な台形状を呈する。大・小径面は平坦で、側面とともに研磨。		24	10
H-10-1 床直	H-10 No.8	土師器 坏	①12.2 ④4.7	①中粒②良好(酸化) ③10YR7/4鈍い黄橙 ④完形	丸底。体部と口縁部を画す稜線から口縁部は内傾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		24	11
H-10-2 床直	H-10 No.9	土師器 坏	①13.0 ④4.9	①中粒②良好(酸化) ③5YR7/8橙 ④完形	丸底。浅い体部から体部と口縁部を画す稜線を経て、口縁部は大きく外傾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		24	11

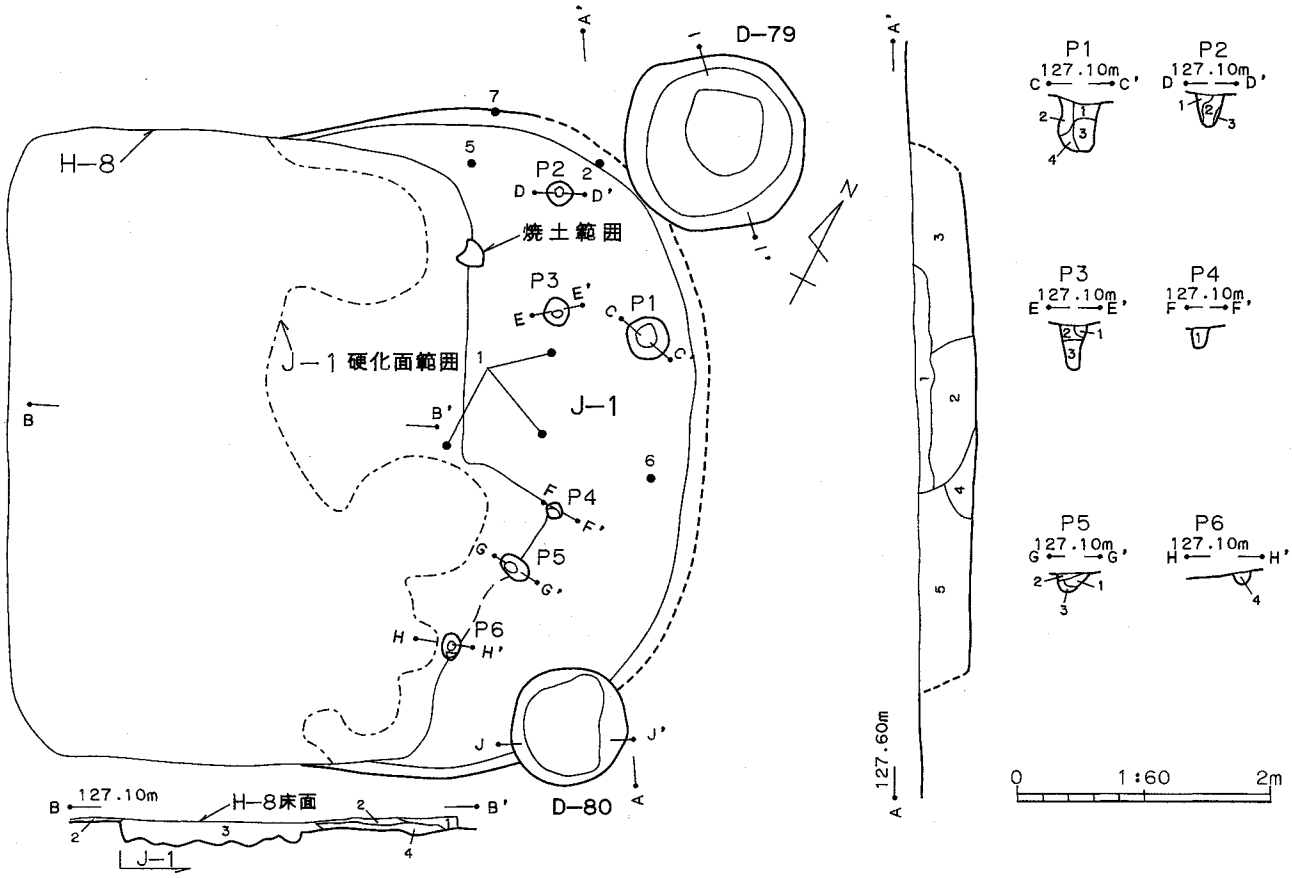
遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　考	実測図	図版
H-10-3 床直	H-10 No.4	土師器 坏	①13.5 ④4.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④完形	丸底。浅い体部から体部と口縁部を画す稜線を経て、口縁部は大きく外傾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		24	11
H-10-4 カマド	H-10 No.23	土師器 小型壺	①(8.8) ②5.9 ④10.8	①中粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④ほぼ完形	球形の胴部から直立して外反する口縁部に至る。 外面：口縁部から頸部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部から頸部横撫で。胴部篦撫で。		24	11
H-10-5 カマド	H-10 No.22	土師器 台付甕	①14.7 ②14.4 ④16.6	①中粒(白色軽石含む) ②良好(酸化)③2.5YR6/6橙 ④完形	台部は「ハ」の字状に開き裾が広がる。甕部では胴部は球形状を呈し、最大径をもつ口縁部は短く外反する。外面：口縁から頸部・台裾部横撫で。胴部斜方向篦削り。台部縦方向篦削り。内面：口縁から頸部・台裾部横撫で。胴部・台部横方向撫で。		24	11
H-10-6 貯蔵穴	H-10 No.12	土師器 甕	①16.9 ②7.4 ③20.4 ④25.4	①中粒②良好(酸化) ③10R7/4鈍い黄橙④ほぼ完形	胴部中位に最大径をもち、頸部はゆるやかに屈曲する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上半縦方向篦削り。下半斜・横方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部横方向篦撫で。		24	11
H-10-7 カマド	H-10 No.21	土師器 長胴甕	①20.5 ④[28.2]	①中粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④3/4口縁～胴部下位	胴部中位に僅かな膨らみをもち、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。外面：口縁部横撫で。胴部縦方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		24	11
H-10-8 床直	H-10 No.7・18	土師器 長胴甕	①18.3 ②7.1 ④33.9	①細粒(白色軽石含む) ②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙④ほぼ完形	胴部中位に膨らみをもち、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部縦方向篦削り。底部篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部横方向篦撫で。		24	11
H-10-9 カマド	H-10 No.20	土師器 長胴甕	①19.5 ②5.0 ④36.2	①中粒(黒雲母含む) ②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙④ほぼ完形	胴部中位に膨らみをもち、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。外面：口縁部横撫で。頸部篦圧痕が顕著。胴部上半縦方向篦削り。下半斜方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		24	11
H-10-10 貯蔵穴	H-10 No.13	土師器 長胴甕	①(21.8) ②7.2 ④36.7	①中粒(黒雲母含む) ②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙④ほぼ完形	底部凸状。胴部は下半に膨らみをもち、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。全体に器肉が厚い。外面：口縁部横撫で。頸部篦撫で圧痕が顕著。胴部縦方向篦削り後篦磨き。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。	外面煤付着。	24	11
H-10-11 カマド	H-10 No.19	土師器 長胴甕	①20.0 ②4.9 ④41.1	①中粒(黒雲母含む) ②良好(酸化)③7.5YR7/6橙 ④完形	胴部中位に僅かな膨らみをもち、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。外面：口縁部横撫で。胴部縦方向篦削り。底部周辺斜方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。	底部外面に葉脈痕。	25	11
H-10-12 埋土	H-10 No.1	石製 紡錘車	大径3.9cm　小径2.3cm　厚さ2.5cm 穿孔0.8cm　重さ53.7g 石材：蛇紋岩　ほぼ完形		断面台形状を呈する。大径面は平坦で、小径面はやや凸状を呈し中断した穿孔をもつ。側面とともに丁寧な研磨。	炭化した軸棒長さ2.9cm残存。	25	11
H-10-13 埋土	H-10 No.2	石製 紡錘車	大径4.5cm　小径2.3cm　厚さ2.1cm　穿孔0.9cm　重さ64.1g　石材：蛇紋岩　完形		断面台形状を呈する。大径面は平坦で、小径面はやや凸状を呈する。側面とともに丁寧な研磨。		25	11
H-12-1 床直	H-12 No.41	土師器 甕	①15.0 ④[6.0]	①中粒(黒色鉱物含む) ②良好(酸化)③5YR7/6橙 ④口縁～胴部上位	胴部が球形状を呈すると思われる。外面：口縁部横方向篦撫で。胴部上位横方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部上位横撫で。		25	11
H-12-2 床直	H-12 No.4・5・6・7・31・32・33・34	土師器 甕	①(20.8) ③(29.4) ④[24.0]	①中粒(石英含む)②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④1/3口縁～胴部中位	胴部中位に最大径をもち、屈曲する頸部に至る。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部縦方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部横方向篦撫で。		25	12
H-12-3 床直	H-12 No.38	土師器 長胴甕	①19.8 ④[24.0]	①中粒(粗砂含む)②良好(酸化) ③5R6/6橙 ④1/2口縁～胴部中位	胴部中位に僅かな膨らみをもち、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。外面：口縁部横撫で。胴部縦方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部上位横方向篦撫で。中位撫で。		25	12
H-12-4 床直	H-12 No.35	土師器 甕	②(8.2) ④[4.0]	①中粒(石英含む)②良好(酸化) ③7.5YR7/6橙④底部片	外面：胴部下位縦方向篦削り。底部周辺横方向篦削り。内面：撫で。	底部外面に葉脈痕。	25	12
H-12-5 床直	H-12 No.1	土師器 長胴甕	①(22.0) ④[27.5]	①中粒②良好(酸化) ③5YR7/6橙 ④3/5口縁～胴部中位	胴部はほとんど膨らみをもたず、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。外面：口縁部横撫で。胴部縦方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		25	12
H-12-6 カマド	H-12カ No.1	土師器 長胴甕	①21.0 ②3.2 ④39.0	①中粒(小礫含む) ②良好(酸化)③5YR7/6橙 ④ほぼ完形	胴部中位に僅かな膨らみをもち、ゆるやかに屈曲する頸部に至る。口縁部は外反。外面：口縁部横撫で。胴部縦方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		25	12
H-12-7 カマド	H-12カ一括	須恵器 坏	①(12.5) ②7.5 ④3.8	①細粒(黒色鉱物含む) ②良好(還元)③7.5Y6/1灰 ④2/5口縁～底部	上げ底気味の底部から膨らみをもって外反し口縁部に至る。ロクロ成形。底部回転篦削り後周辺篦削り。		25	12
H-13-1 床直	H-13 No.1	須恵器 坏	①(13.2) ②7.2 ④3.6	①細粒(黒色鉱物含む) ②良好(還元)③10Y5/1灰 ④1/2口縁～底部	上げ底気味の底部からやや膨らみをもって外反し口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り後周辺篦削り。		25	12
H-13-2 床直	H-13 No.2	須恵器 坏	①(13.5) ②8.0 ④4.0	①細粒(白・黒色鉱物含む) ②良好(還元)③2.5Y7/3浅黄 ④1/2口縁～底部	上げ底気味の底部から膨らみをもって外反し口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り後周辺篦削り。		25	12
H-14-1 床直	H-14 No.1・2・3	土師器 甕	①20.0 ③21.7 ④[18.0]	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④1/3口縁～胴部中位	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上位横方向篦削り。中位縦方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部横方向篦撫で。		25	12
H-14-2 ピット	H-14 No.5・6	土師器 台付甕	①(12.2) ③(14.0) ④[16.1]	①中粒②良好(酸化) ③2.5YR6/6橙④台部欠損	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上半横方向篦削り。下半縦方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部横方向篦撫で。	外面煤付着。	25	12

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　考	実測図	図版
H-15-1 床直	H-15 No.4	鉄製品 刀子	長さ15.1cm　幅3.5cm　厚さ0.7cm　重さ59.2g				25	12
H-16-1 カマド	H-16カ No.1	土師器 甕	①18.2 ③20.0 ④[23.7]	①細粒 ②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙 ④3/5口縁～胴部下位	胴部上位に最大径をもち、頸部はゆるやかに屈曲する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上位横方向篦削り。中位から下位斜方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部撫で。		26	12
H-16-2 カマド	H-16カ No.2	須恵器 高台付埦	①13.2 ②6.7 ④5.0	①細粒(礫・粗砂含む) ②良好(還元)③7.5Y5/1灰 ④4/5口縁～底部	僅かな膨らみをもって外反する体部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。	内外面油煙付着。	26	12
H-16-3 埋土	H-16 No.5	鉄製 紡錘車	径5.8cm　厚さ0.15cm　穿孔0.8cm　重さ35.6g		軸部欠損。		26	12
H-17-1 床直	H-17 No.9	土師器 坏	①11.9 ②8.6 ④2.8	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④4/5口縁～底部	平底からほぼ直線的に開き、口縁部上半で外反する。外面：口縁から体部横撫で。底部篦削り。内面：撫で。		26	12
H-17-2 貯蔵穴	H-17 No.8・11・12・15	黒色土器 坏(内黒)	①11.5 ②6.2 ④3.8	①細粒(黒色鉱物含む) ②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙④完形	平底からほぼ直線的に大きく開き口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り後手持篦削り。内面：黒色処理。横方向篦磨き。	体部外面に墨書「本」。	26	12
H-17-3 床直	H-17 No.6 H-18一括	黒色土器 坏(内黒)	①12.0 ②5.9 ④3.8	①細粒(黒色鉱物含む) ②良好(酸化)③7.5YR7/6橙 ④ほぼ完形	上げ底気味の底部から、ほぼ直線的に大きく開き口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り後手持篦削り。内面：黒色処理。横方向篦磨き。	体部外面に墨書「本」。外面油煙付着。	26	12
H-17-4 床直	H-17 No.1	須恵器 高台付埦	②8.8 ④[4.2]	①細粒②良好(還元) ③10Y6/1灰④1/3体～底部	体部にやや膨らみをもち、やや開いた高台を付す。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。付高台。		26	12
H-17-5 貯蔵穴	H-17 No.16	須恵器 坏	①12.4 ②7.9 ④3.4	①中粒(白色鉱物・礫含む) ②良好(還元)③10Y5/1灰 ④完形	平底から直線的に外反し口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。	底部外面に篦印か。	26	12
H-19-1 カマド	H-19カ No.12・13	土師器 甕	①20.6 ③21.7 ④[23.8]	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR6/6橙 ④2/3口縁～胴部下位	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上位横方向篦削り。中から下位やや斜方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部横方向篦撫で。		26	12
H-19-2 カマド	H-19カ No.10・11・12	土師器 甕	①20.2 ③21.5 ④[23.5]	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/8黄橙 ④3/5口縁～胴部下位	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上位横方向篦削り。中から下位やや斜方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部篦撫で。	外面煤付着。	26	12
H-19-3 カマド	H-19カ No.11	土師器 甕	①20.9 ③22.2 ④[23.0]	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④3/4口縁～胴部下位	胴部上位に最大径をもち、頸部は「コ」の字状を呈する。口縁部は短く外反。外面：口縁から頸部横撫で。胴部上位横方向篦削り。中から下位やや斜方向篦削り。内面：口縁から頸部横撫で。胴部篦撫で。		26	12
H-19-4 埋土	H-19 No.14	須恵器 坏	①12.5 ②7.5 ④3.2	①細粒②良好(還元) ③7.5Y7/1灰白④完形	上げ底気味の底部から直線的に開き、口縁部上半でやや外反する。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。	器面荒れ。	26	12
H-19-5 床直	H-19 No.16	砥石 荒砥	長さ18.5cm　幅11.7cm　厚さ5.7cm 重さ1675g　石材：安山岩　1/2残		4面使用し、研磨痕著しく弓張り状を呈する。そのうち1面には幅3㎜前後の沈線状擦痕も数条みえる。	置き砥。	26	12
グリッド-1	X59, Y211グリッド No.1	土師器 甕	①21.1 ③31.6 ④[34.2]	①中粒(礫・粗砂含む) ②良好(酸化)③5YR7/6橙 ④3/4口縁～胴部下位	胴部中位に最大径をもち、球形状を呈する。頸部はゆるやかに屈曲し、口縁部は短く外反。外面：口縁部横撫で。胴部斜方向篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部横方向篦撫で。		26	12

注）層位は、「床直」：床面より10cm未満の層位からの出土、「埋土」：床面より10cm以上の層位からの出土の2段階に分けた。
カマド内の出土については「カマド」、貯蔵穴内は「貯蔵穴」、ピット内は「ピット」と記載した。
胎土は、細粒（0.9㎜以下）、中粒（1.0～1.9㎜）、粗粒（2.0㎜以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名等を記載した。
焼成は、極良、良好、不良の三段階とした。

参考文献

『芳賀東部団地遺跡Ⅰ』　1984　前橋市教育委員会
『芳賀東部団地遺跡Ⅱ』　1988　前橋市教育委員会
『芳賀北部団地遺跡Ⅰ』　1994　前橋市教育委員会
『鳥取福蔵寺遺跡』　1997　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代江戸屋敷遺跡』　2000　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代木福Ⅱ・五代深堀Ⅰ遺跡』　2000　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代竹花遺跡・五代木福Ⅰ遺跡・五代伊勢宮Ⅰ遺跡』　2000　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅱ遺跡』　2001　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅲ遺跡・五代深堀Ⅱ遺跡・五代中原Ⅰ遺跡・五代伊勢宮Ⅳ遺跡』　2001　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅵ遺跡・五代中原Ⅱ遺跡』　2002　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『研究紀要7』　1990　群馬県埋蔵文化財調査事業団
『発掘された富本銭と皇朝十二銭』　2004　NHK文化センター資料



J-1　土層注記（B-B′）
1．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒、焼土粒を少量と、4を少量含む
2．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ロームブロックをやや多くラミナ状、4をやや多く含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く、4をやや多く含む
4．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒・ブロックをやや多く含む

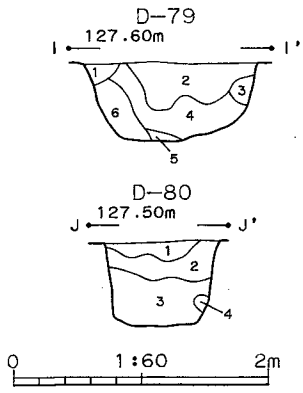
J-1　P1　土層注記（C-C′）
1．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を少量含む
2．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、橙色粒やや多く、炭化物を微量含む
3．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを少量橙色粒微量含む
4．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、橙色粒、ロームブロックを少量含む

J-1　P2　土層注記（D-D′）
1．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下を少量、ローム粒をやや多く含む
2．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を少量含む
3．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下を少量、黄褐色土を少量含む

J-1　土層注記（A-A′）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒、焼土粒、炭化物粒を少量含む
2．暗褐色土に褐色土を霜降り状に60%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒を微量含む
3．暗褐色土に褐色土を霜降り状に40%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、炭化物粒を微量含む
4．暗褐色土に褐色土を霜降り状に60%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、炭化物粒を微量含む
5．暗褐色土に褐色土を霜降り状に45%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、炭化物粒を微量含む

J-1　P3　土層注記（E-E′）
1．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下をやや多く含む
2．黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下を少量含む
3．1、2との混土

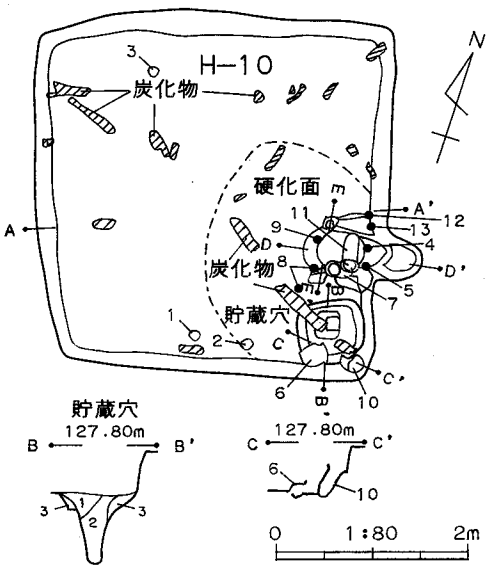
J-1　P4，5，6　土層注記（F-F′）～（H-H′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、炭化物粒を微量含む
2．ロームブロック
3．鈍い黄褐色土　粘性あり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ロームブロックをやや多く含む
4．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、炭化物粒を少量、焼土粒微量含む

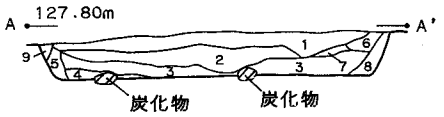


D-79　土層注記（I-I′）
1．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜やや多く含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒微量含む
3．褐色土　粘性ややあり、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒やや多く含む
4．黒褐色土に暗褐色土を霜降り状に40%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒を微量含む
5．褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く含む
6．黒褐色土に暗褐色土を霜降り状に50%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒を微量含む

D-80　土層注記（J-J′）
1．褐色土と黄褐色土の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒を微量含む
2．褐色土に黄褐色土を霜降り状に50%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒微量含む
3．褐色土に黄褐色土を霜降り状に40%、粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒微量含む
4．明黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く含む

第5図　J-1号住居跡、D-79・80号土坑平面・断面図

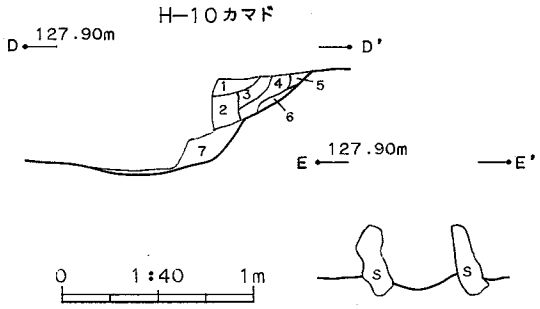


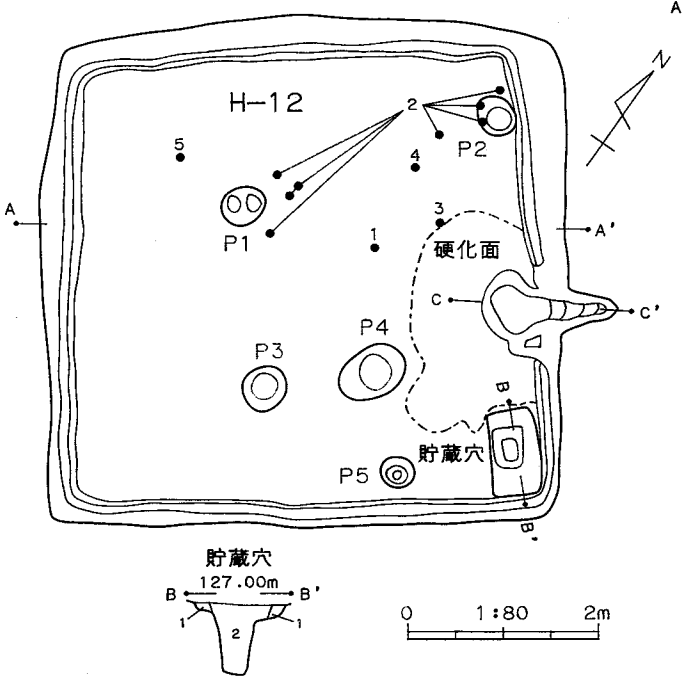


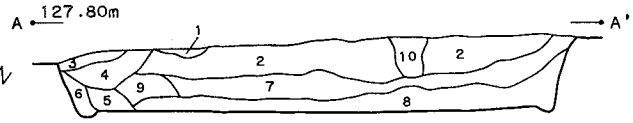
H-10　土層注記（A-A′）
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、焼土粒とローム粒を微量含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、焼土粒を微量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒をやや多く含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、炭化物を多く、ローム粒を少量含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ロームブロックをやや多く含む
6．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く含む
7．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒とローム粒を微量含む
8．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を微量、ローム粒を少量含む
9．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む

H-10　貯蔵穴　土層注記（B-B′）
1．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物粒を少量、ローム粒をやや多く含む
2．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、炭化物粒を少量、ローム粒をやや多く含む
3．2にローム粒・ブロックを多く含む

H-10　カマド　土層注記（D-D′）
1．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、黒褐色土を少量、焼土粒を微量含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、焼土粒をやや多く含む
3．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒を少量、ローム粒をやや多く含む
4．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒、炭化物を微量含む
5．褐色土と黒褐色土10%の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒を微量含む
6．黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量含む
7．鈍い赤褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒をやや多く、ローム粒を少量含む

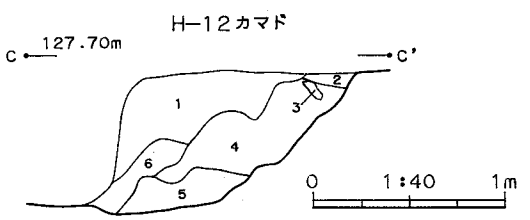






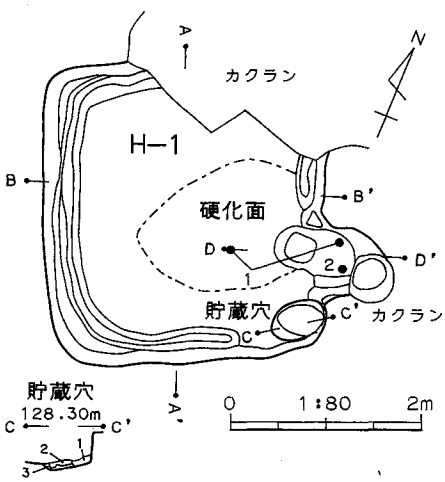
H-12　土層注記（A-A′）
1．暗褐色土　粘性なし、締まりややあり、砂質土、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く含む（耕作土）
2．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒を微量含む
3．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く含む（カクラン）
4．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒少量含む（カクラン）
5．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く含む
6．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒を少量含む
7．黒褐色土と暗褐色土40%の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒を微量含む
8．黒褐色土と暗褐色土60%の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒を多く含む
9．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く含む
10．黒褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒φ1～5㎜を多く含む

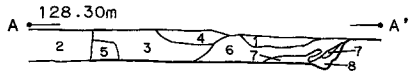
H-12　貯蔵穴　土層注記（B-B′）
1．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒、ロームブロックをやや多く含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒をやや多く、炭化物粒を微量含む

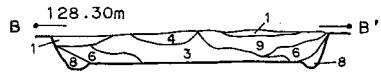


H-12　カマド　土層注記（C-C′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒を微量含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む
3．根の進入痕
4．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、焼土粒、焼土ブロックをやや多く、ローム粒を少量含む
5．4に焼土粒、焼土ブロックを多く、炭化物を少量、白色軽石粒φ1～5㎜を多く含む
6．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒を少量、焼土粒、炭化物粒を微量含む

第6図　H-10・12号住居跡平面・断面図



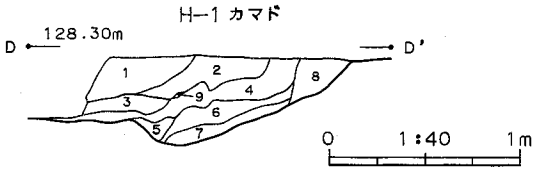




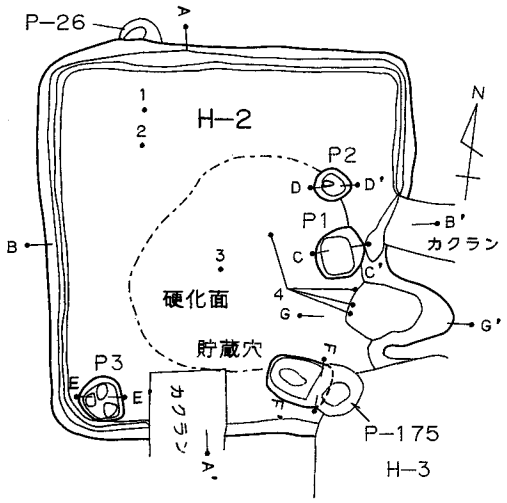
H−1　土層注記（A−A′）（B−B′）
1．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量含む
2．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ロームブロックを多く含む（カクラン）
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜と、ロームブロックをやや多く、焼土粒を少量含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ロームブロックを少量、焼土粒をやや多く含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く焼土粒を微量含む
6．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ロームブロックと焼土粒を少量含む
7．褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒を多く含む（根進入痕）
8．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を少量含む
9．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜と、ローム粒をやや多く含む

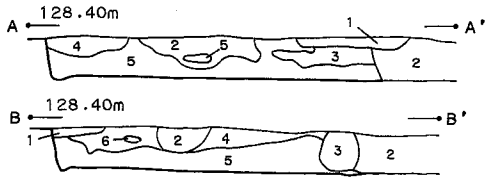
H−1　貯蔵穴　土層注記（C−C′）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く焼土粒を多く、炭化物粒を少量含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜と、ローム粒を多く、焼土粒を微量含む
3．2にロームブロックを多く含む

H−1 カマド



H−1　カマド　土層注記（D−D′）
1．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒とローム粒をやや多く含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒を微量、ローム粒を少量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、焼土粒を微量、ローム粒と炭化物を少量含む
4．暗褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜と焼土粒をやや多く含む
5．黒褐色土　粘性ややあり、締まりなし、白色軽石粒φ1～2㎜と焼土粒を微量、炭化物とローム粒を少量含む
6．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒をやや多く、炭化物とローム粒を少量含む
7．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を微量、焼土粒をやや多く、炭化物粒を少量含む
8．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、焼土粒をやや多く、炭化物粒を少量含む
9．ロームブロック

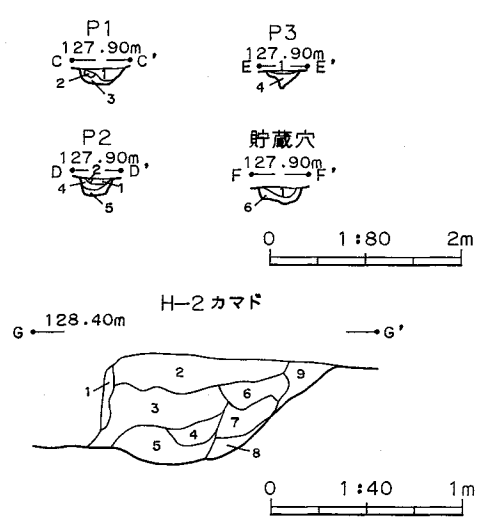




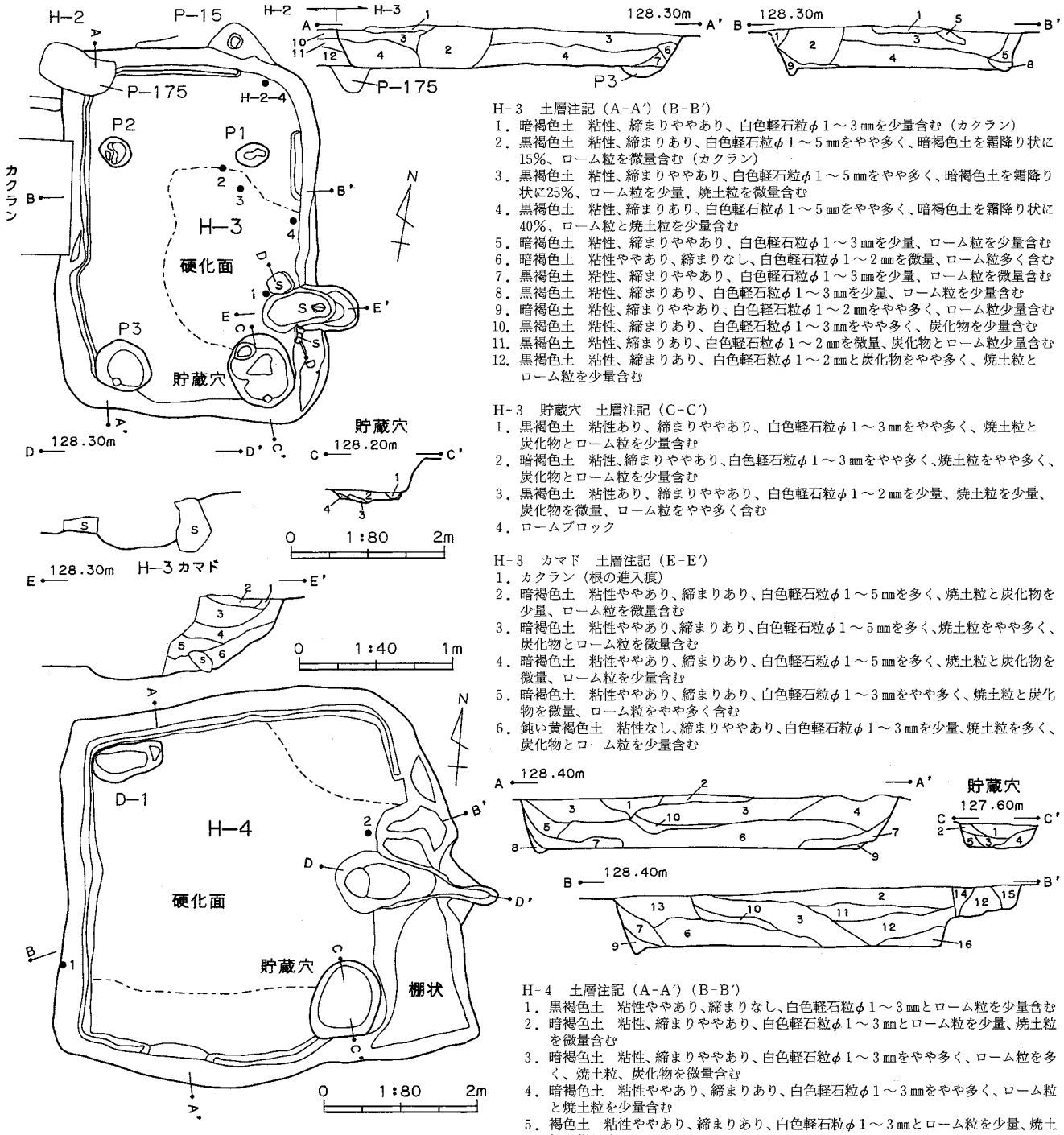
H−2　土層注記（A−A′）（B−B′）
1．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量含む（カクラン）
2．暗褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒微量含む（カクラン）
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒やや多く含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、焼土粒を微量含む
5．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒とローム粒を少量、炭化物を多く含む
6．炭化物

H−2　貯蔵穴・P1，2，3　土層注記（C−C′）～（F−F′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒やや多く、焼土粒と炭化物を微量含む
2．ロームブロック
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を微量含む
4．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒をやや多く含む
5．3にローム粒・ブロックを多く含む
6．4に焼土粒を少量含む

H−2　カマド　土層注記（G−G′）
1．暗褐色土　粘性、締まりなし（根の進入痕）
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒を微量、ローム粒を少量含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒をやや多く、ローム粒少量、炭化物をやや多く含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、焼土粒と炭化物を少量、ローム粒を多く含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、焼土粒とローム粒を多く、炭化物をやや多く含む
6．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、焼土粒を多く、炭化物とローム粒を少量含む
7．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜と焼土粒を少量、炭化物粒をやや多く、ローム粒を微量含む
8．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、焼土粒と炭化物粒をやや多く、ローム粒を微量含む
9．暗赤褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土ブロックを多く、ローム粒を微量含む



第7図　H−1・2号住居跡平面・断面図



H-3　土層注記（A-A′）（B-B′）

1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量含む（カクラン）
2．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、暗褐色土を霜降り状に15%、ローム粒を微量含む（カクラン）
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、暗褐色土を霜降り状に25%、ローム粒を少量、焼土粒を微量含む
4．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、暗褐色土を霜降り状に40%、ローム粒と焼土粒を少量含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を少量含む
6．暗褐色土　粘性ややあり、締まりなし、白色軽石粒φ1～2㎜を微量、ローム粒多く含む
7．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を微量含む
8．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を少量含む
9．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒少量含む
10．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、炭化物を少量含む
11．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を微量、炭化物とローム粒少量含む
12．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜と炭化物をやや多く、焼土粒とローム粒を少量含む

H-3　貯蔵穴　土層注記（C-C′）

1．黒褐色土　粘性あり、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒と炭化物とローム粒を少量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒をやや多く、炭化物とローム粒を少量含む
3．黒褐色土　粘性あり、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、焼土粒を少量、炭化物を微量、ローム粒をやや多く含む
4．ロームブロック

H-3　カマド　土層注記（E-E′）

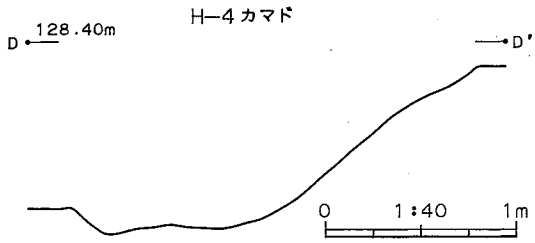
1．カクラン（根の進入痕）
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒と炭化物を少量、ローム粒を微量含む
3．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒をやや多く、炭化物とローム粒を微量含む
4．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒と炭化物を微量、ローム粒を少量含む
5．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒と炭化物を微量、ローム粒をやや多く含む
6．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒を多く、炭化物とローム粒を少量含む

H-4　土層注記（A-A′）（B-B′）

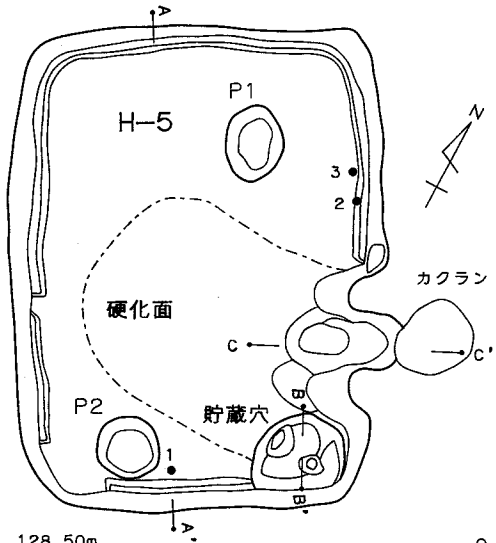
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりなし、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒を少量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒を少量、焼土粒を微量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒を多く、焼土粒、炭化物を微量含む
4．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒と焼土粒を少量含む
5．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒を少量、焼土粒を微量含む
6．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒を少量、炭化物を微量含む
7．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒を少量、焼土粒を微量含む
8．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、ローム粒を多く含む
9．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を微量、褐色土を霜降り状に30%、焼土粒を微量含む
10．3にロームブロックを多く含む
11．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、焼土粒と炭化物をやや多く、ローム粒を少量含む
12．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、焼土粒と炭化物を多く、ローム粒を少量含む
13．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒を微量、ローム粒少量含む
14．カクラン（根）
15．12にローム粒をやや多く含む
16．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、焼土粒、炭化物を多く含む

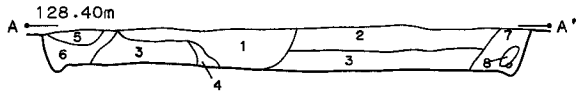
H-4　貯蔵穴　土層注記（C-C′）

1．暗褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒と炭化物を少量、ローム粒を微量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒やや多く、炭化物少量、ローム粒を微量含む
3．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒を微量、ローム粒を少量含む
4．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、焼土粒を微量、ローム粒をやや多く含む
5．4に焼土粒を少量、ローム粒・ブロックを多く含む

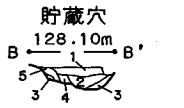


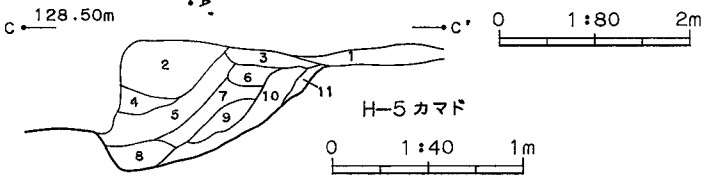
第8図　H-3・4号住居跡平面・断面図





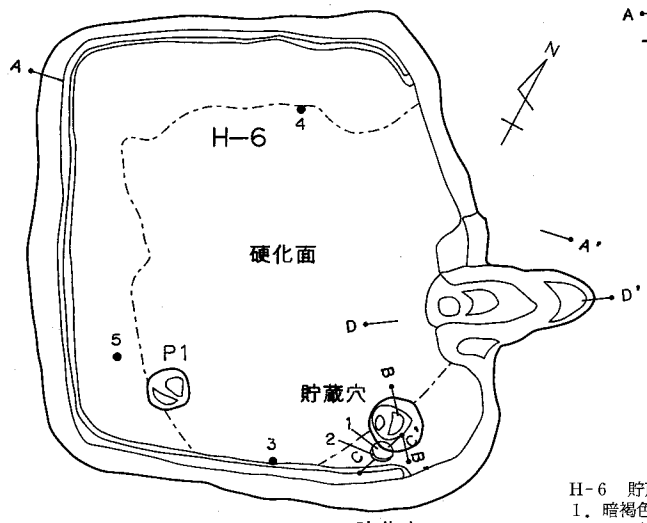
H−5　土層注記（A−A′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜10㎜を多く、ローム粒を少量含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜10㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
3．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く、ローム粒、焼土粒を少量含む
4．黒褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを多く含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く、ローム粒を微量含む
6．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、ロームブロックを多く含む
7．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く、焼土粒を少量、ローム粒を微量含む
8．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を少量、ローム粒少量含む

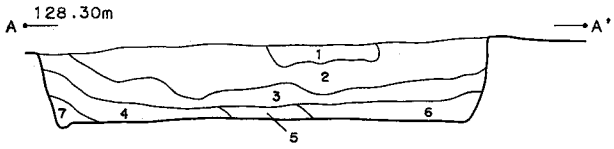




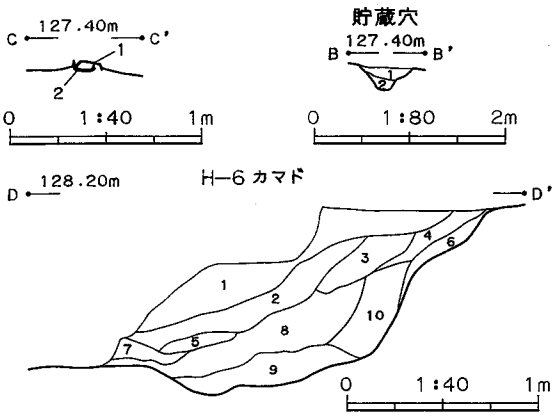
H−5　カマド　土層注記（C−C′）
1．カクラン
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜10㎜を多く、焼土粒を多く、炭化物を微量、ローム粒少量含む
3．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜10㎜を多く、焼土粒やや多く含む
4．2に粘土をやや多く含む
5．6に褐灰色粘土を多く含む
6．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜と焼土粒を多く、炭化物を微量、粘土をやや多く含む
7．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を少量、焼土ブロックを多く粘土粒を少量含む
8．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、焼土粒、炭化物を少量含む
9．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を少量、焼土粒をやや多く含む
10．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を微量、焼土粒を多く含む
11．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、焼土粒を少量含む

H−5　貯蔵穴　土層注記（B−B′）
1．暗褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜25㎜を多く、ローム粒をやや多く、灰黄褐色粘土を多く、焼土粒やや多く含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、ロームブロックを多く含む
3．2にローム粒を多く含む
4．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を多く、ローム粒を多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、焼土粒とローム粒をやや多く含む





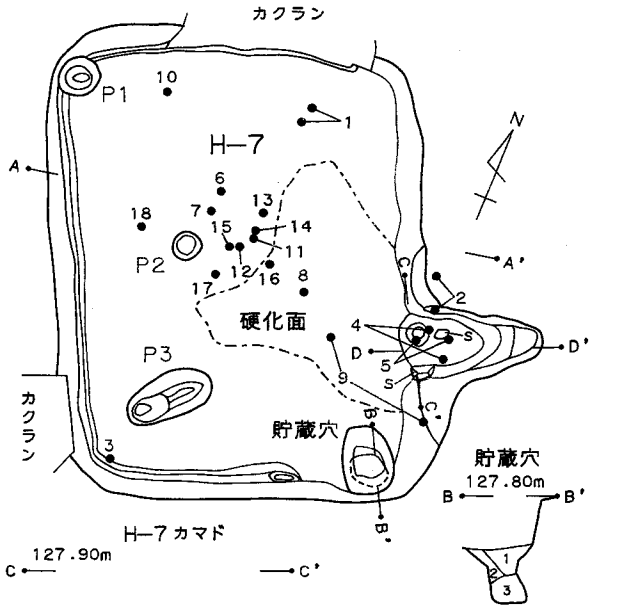
H−6　土層注記（A−A′）
1．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を多く含む砂質土
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜10㎜を多く、焼土粒、ローム粒を少量含む
3．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を多く、焼土粒をやや多く、ローム粒を少量含む
4．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、焼土粒、ローム粒を少量含む
5．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、焼土粒をやや多く、ローム粒を少量、黒色土を微量含む
6．5にロームブロックを多く含む
7．暗褐色土　粘性、締まりややあり、褐色土を霜降り状に30%、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、ローム粒を少量含む

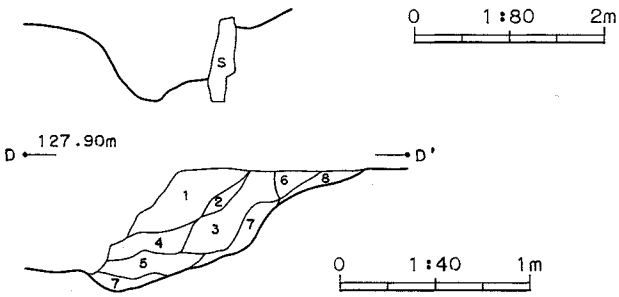


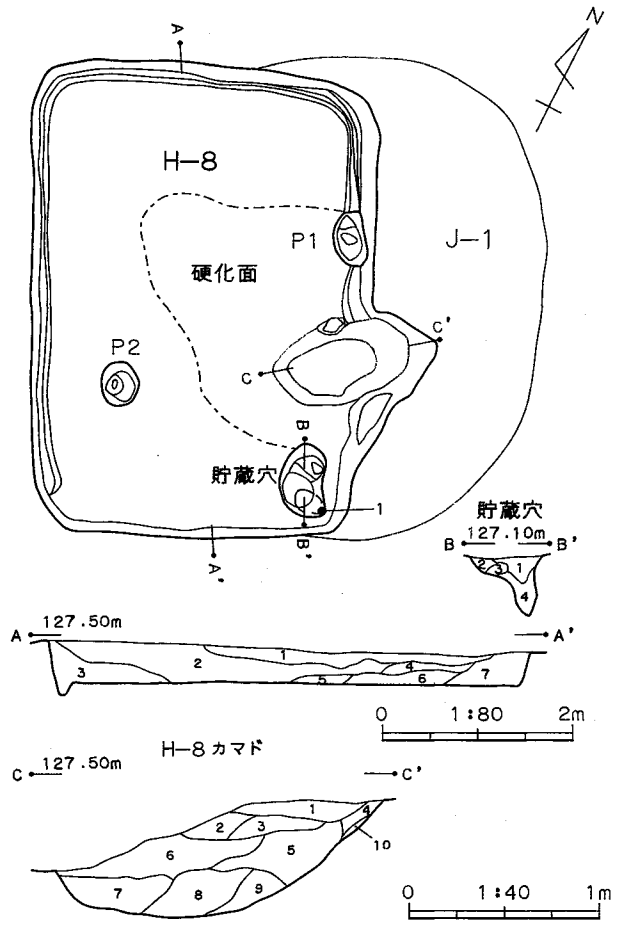
H−6　貯蔵穴　土層注記（B−B′）
1．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を多く含む砂質土
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を多く、ローム粒を微量含む

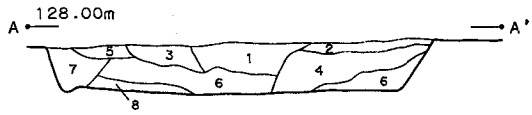
H−6　カマド　土層注記（D−D′）
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く、焼土粒を少量、炭化物を微量含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、焼土粒、炭化物を少量含む
3．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、焼土粒、炭化物、ローム粒を微量含む
4．3に焼土粒・ブロックを多く含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜と焼土粒、炭化物を少量含む
6．3にローム粒・ブロックを多く含む
7．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、焼土粒を少量炭化物をやや多く含む
8．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く含む
9．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、焼土粒を少量含む
10．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を少量、焼土ブロックを多く、炭化物と灰をやや多く含む

第9図　H−5・6号住居跡平面・断面図









H−7　土層注記（A-A′）

1．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜10㎜を多く含む砂質土
2．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、焼土粒を微量含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、暗褐色土を霜降り状に7％含む
4．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜10㎜をやや多く、暗褐色土を霜降り状に10％、ローム粒を少量含む
5．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、暗褐色土を霜降り状に5％、ローム粒を少量含む
6．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜7㎜をやや多く、暗褐色土を霜降り状に40％、ローム粒を少量含む
7．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を少量、ローム粒をやや多く含む
8．暗褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、ローム粒を多く含む

H−7　貯蔵穴（B-B′）

1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜とローム粒少量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、ローム粒、ロームブロックを多く含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を少量、ローム粒を多く、焼土ブロックを少量含む

H−7　カマド　土層注記（D-D′）

1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を多く、焼土粒と炭化物を微量含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜と焼土粒を少量、炭化物を微量、ローム粒を少量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、焼土粒、ブロックを多く、炭化物を少量含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜をやや多く、焼土粒、ブロックをやや多く、炭化物を少量含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜をやや多く、焼土粒、炭化物とローム粒を少量含む
6．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜と焼土粒を少量、炭化物を微量含む
7．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜と焼土粒を少量、炭化物とローム粒を少量含む
8．黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜2㎜をやや多く含む

H−8　土層注記（A-A′）

1．暗褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜をやや多く、小礫とローム粒を少量含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、黒褐色土を少量、ローム粒をやや多く含む
3．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、ローム粒をやや多く含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、焼土粒を少量、ローム粒をやや多く含む
5．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、焼土粒を微量、ローム粒少量含む
6．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、焼土粒を少量、ローム粒を少量含む
7．6に焼土粒とローム粒を多く含む

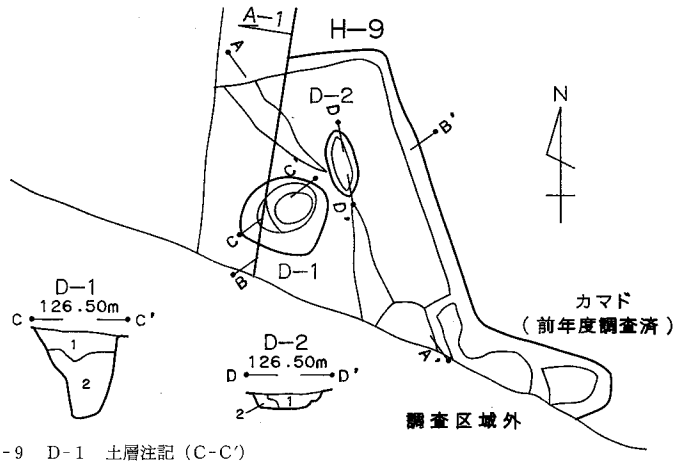
H−8　貯蔵穴　土層注記（B-B′）

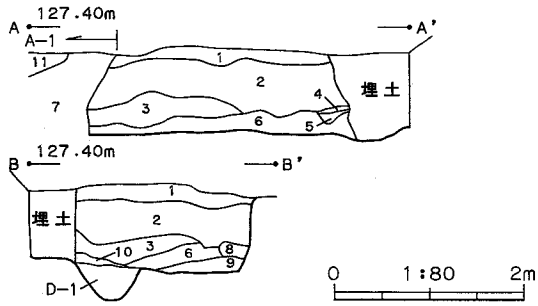
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く、焼土粒とローム粒を少量含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜をやや多く、焼土と炭化物を少量、ローム粒・ブロックをやや多く含む
3．ロームブロック
4．1にローム粒をやや多く含む

H−8　カマド　土層注記（C-C′）

1．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を多く、ローム粒少量含む
3．暗褐色土　粘性あり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く、焼土粒をやや多く、ローム粒を多く含む
4．鈍い赤褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を微量、焼土粒をやや多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜をやや多く、焼土粒を少量、炭化物を微量、ローム粒をやや多く含む
6．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1〜5㎜を多く、焼土粒をやや多く、炭化物を少量、ローム粒を多く含む
7．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を少量、焼土粒と炭化物を少量、ローム粒をやや多く含む
8．暗褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を少量、焼土粒を多く、炭化物を少量、ローム粒をやや多く含む
9．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜3㎜を少量、焼土粒を多く、炭化物をやや多く、ローム粒を少量含む
10．黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1〜2㎜を微量含む

第10図　H−7・8号住居跡平面・断面図

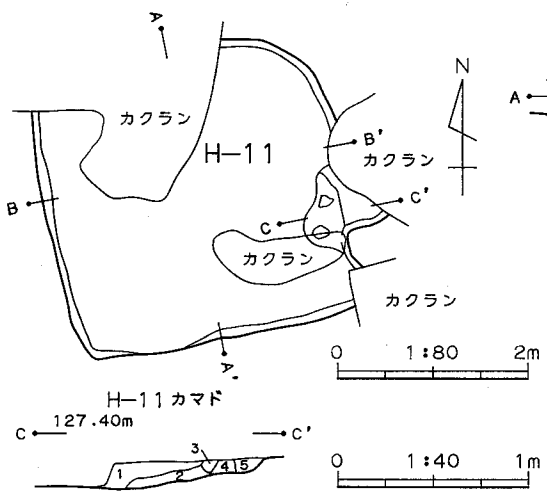


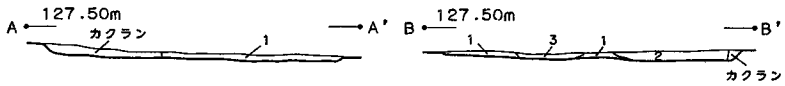


H-9　D-1　土層注記（C-C′）
1．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒を少量、ローム粒やや多く含む
2．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜と炭化物粒を微量、ローム粒をやや多く含む

H-9　D-2　土層注記（D-D′）
1．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜、焼土粒と炭化物粒を少量、ローム粒をやや多く含む
2．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒、ロームブロックを多く含む

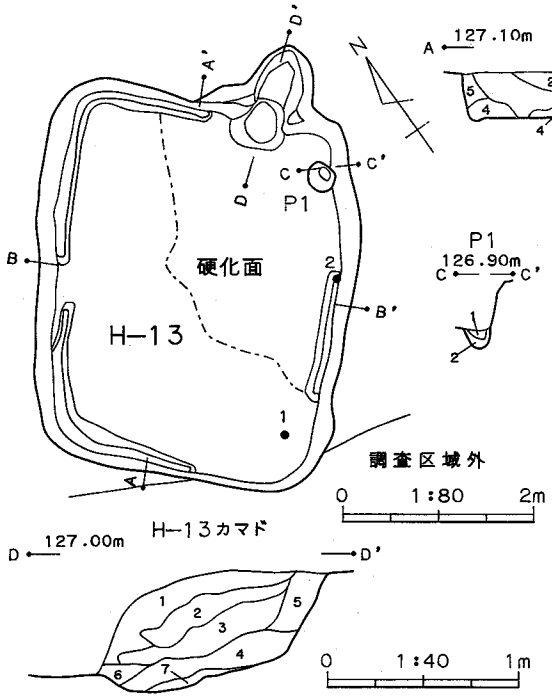
H-9　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、焼土粒と炭化物粒を微量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、焼土粒を少量、炭化物粒とローム粒を微量含む
3．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒と炭化物粒を少量含む
4．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量含む
6．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
7．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を微量、焼土粒を少量、炭化物を微量、ローム粒少量含む
8．ロームブロック
9．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒と炭化物を少量、ローム粒をやや多く含む
10．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、ローム粒を少量含む
11．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～22㎜を少量、ローム粒を少量含む

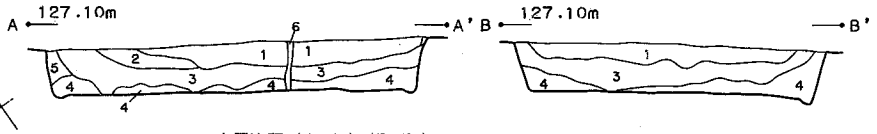




H-11　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を多く含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む

H-11　カマド　土層注記（C-C′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒を少量含む
2．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒少量含む
5．暗褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を少量含む（カクラン）



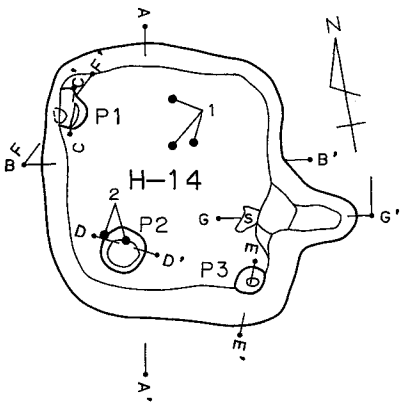


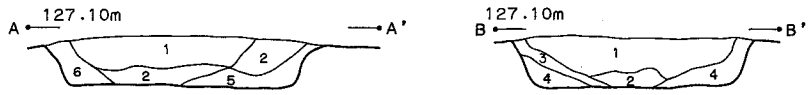
H-13　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒少量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を多く含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒、ロームブロックを多く含む
4．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒、ロームブロックをやや多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を微量、ローム粒を少量含む
6．黒褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒を微量含む（根の進入痕）

H-13　P1　土層注記（C-C′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒をやや多く含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む

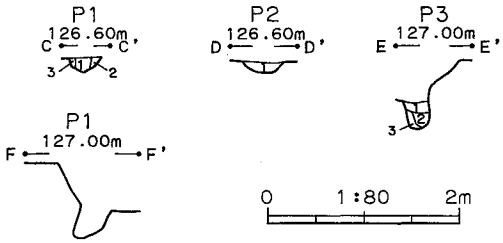
H-13　カマド　土層注記（D-D′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒やや多く含む
2．黒褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜やや多く、にぶい黄褐色粘土を多く、焼土粒を微量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、にぶい黄褐色粘土を少量、焼土粒を微量含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、焼土粒を多く含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜と焼土粒をやや多く含む
6．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒微量含む
7．明赤褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒微量含む

第11図　H-9・11・13号住居跡平面・断面図





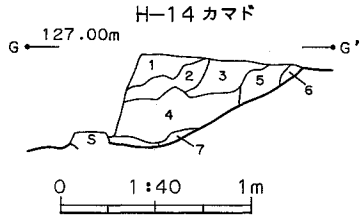
H-14　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒少量含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒・ブロックを多く含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒・ブロックをやや多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒を少量含む
6．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒少量含む



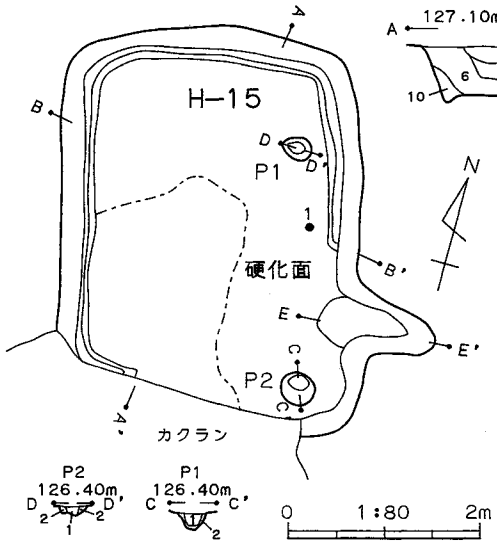
H-14　P1　土層注記（C-C′）
1．暗褐色土と褐色土20%の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を微量、ローム粒を多く含む
2．暗褐色土と褐色土40%の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を微量、ローム粒を多く含む
3．黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜、暗褐色土を少量含む

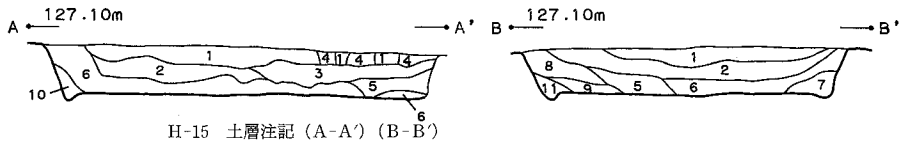
H-14　P2　土層注記（D-D′）
1．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜、炭化物粒を微量、ローム粒を多く含む

H-14　P3　土層注記（E-E′）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を多く含む
2．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を多く含む
3．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を非常に多く含む



H-14　カマド　土層注記（G-G′）
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒微量含む
2．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜やや多く、ローム粒を微量、焼土粒を少量含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒少量含む
4．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒、焼土粒、炭化物を微量含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、焼土粒を多く含む
6．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く含む
7．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒・ブロック、焼土粒をやや多く含む

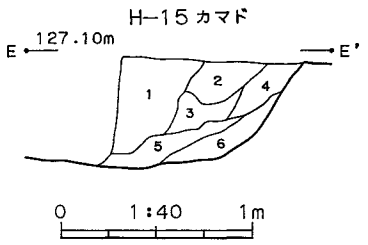




H-15　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒を少量、炭化物粒を微量含む
2．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く含む
3．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒をやや多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒を少量含む
6．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックをやや多く含む
7．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、ローム粒をやや多く含む
8．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒・ブロックやや多く含む
9．暗褐色土と黒褐色土20%の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒を少量含む
10．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を多く含む
11．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒をやや多く含む

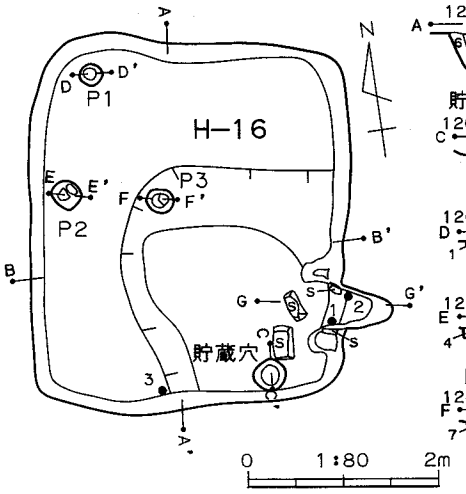
H-15　P1　土層注記（C-C′）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を多く含む
2．1にローム粒・ブロックを多く含む

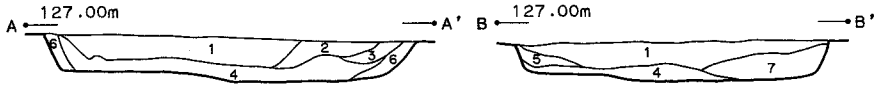
H-15　P2　土層注記（D-D′）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を多く含む
2．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、暗褐色土を少量、ローム粒を多く含む

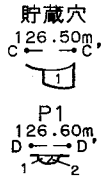


H-15　カマド　土層注記（E-E′）
1．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、焼土粒を微量含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒をやや多く焼土粒を少量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒をやや多く、焼土粒を微量含む
4．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、焼土ブロックを多く、ローム粒を微量含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を少量、焼土ブロックを少量含む
6．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、焼土粒をやや多く、ローム粒を微量含む

第12図　H-14・15号住居跡平面・断面図



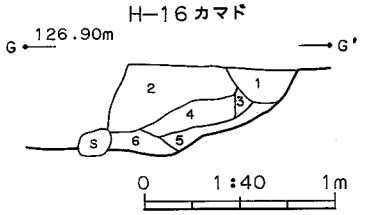


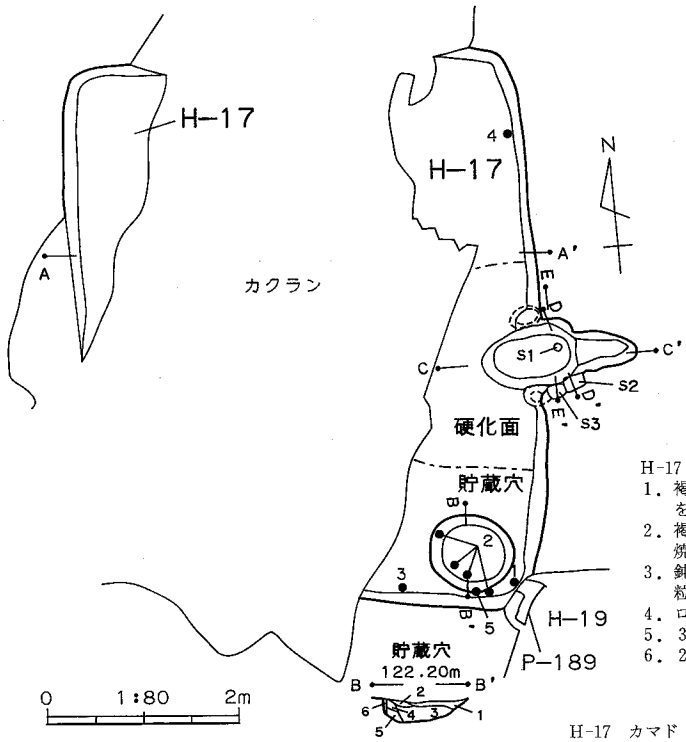


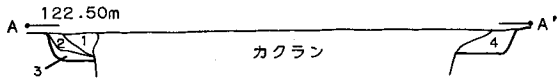
H-16　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ローム粒を微量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を少量、ローム粒を微量含む
3．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒を少量含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒を少量、炭化物を微量含む
5．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む
6．暗褐色土と褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒少量含む
7．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒やや多く含む

H-16　貯蔵穴，P1～P3　土層注記（C-C′）～（F-F′）
1．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を少量含む
2．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒をやや多く含む
3．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜、暗褐色土をやや多く含む
4．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、暗褐色土を少量含む
5．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒をやや多く含む
6．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量含む
7．黒色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ロームブロックを少量含む

H-16　カマド　土層注記（G-G′）
1．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒、暗褐色土を少量含む
2．暗褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒をやや多く褐色土を少量含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、焼土粒をやや多く含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、焼土粒、ローム粒を少量含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、焼土粒、ローム粒をやや多く含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、炭化物粒を少量、ローム粒を多く含む

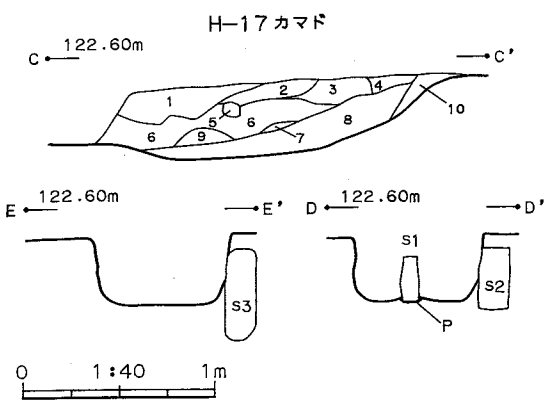






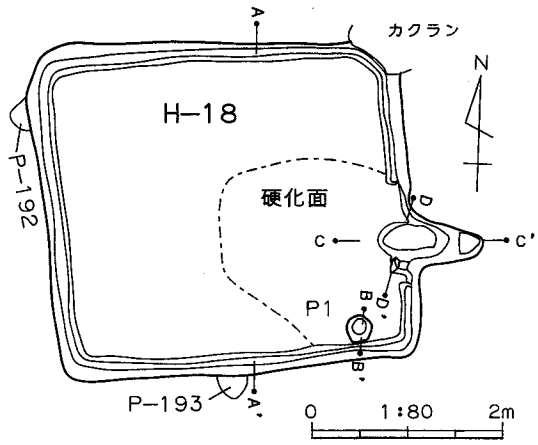
H-17　土層注記（A-A′）
1．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒、焼土粒を少量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒、焼土粒やや多く含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く、焼土粒を少量含む
4．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒をやや多く含む

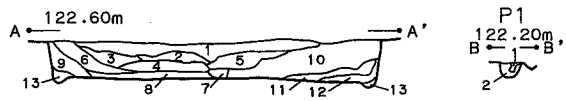
H-17　貯蔵穴　土層注記（B-B′）
1．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ロームブロックをやや多く含む
2．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ロームブロック、焼土粒・ブロックをやや多く含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
4．ロームブロック
5．3に炭化物を少量含む
6．2に炭化物を少量含む



H-17　カマド　土層注記（C-C′）
1．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～10㎜、ローム粒を多く、焼土粒をやや多く、炭化物粒を少量含む
2．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く含む
3．褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒を多く、焼土粒、灰褐色粘土を少量含む
4．褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒を多く、焼土粒を微量含む
5．灰白色土　粘性ややあり、強い締まりある粘土
6．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒をやや多く、焼土粒を少量、炭化物粒を微量含む
7．暗褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒、焼土粒をやや多く含む
8．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒を少量、焼土ブロックを多く含む
9．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、強く締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、焼土粒をやや多く、ローム粒、炭化物粒を少量含む
10．褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、焼土粒を多く、ローム粒を少量含む

第13図　H-16・17号住居跡平面・断面図



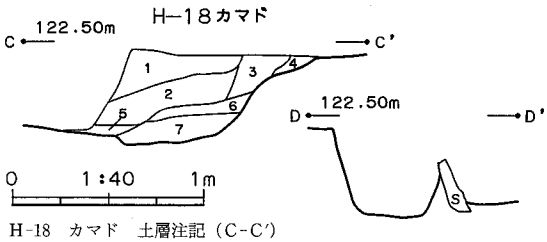


H−18 土層注記（A−A′）

1．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を非常に多く、ローム粒を少量、焼土粒を微量含む
2．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒をやや多く、黒褐色土を微量含む
3．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒をやや多く含む
4．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒を少量含む
5．褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒をやや多く、焼土粒を少量含む
6．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒少量含む
7．黒色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～7㎜を多く、ローム粒を少量含む
8．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を非常に多く、ローム粒をやや多く含む
9．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒やや多く含む
10．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ローム粒少量含む
11．黒色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を非常に多く、ローム粒を少量含む
12．11にローム粒・ブロックを多く、褐色土を少量含む
13．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒非常に多く含む

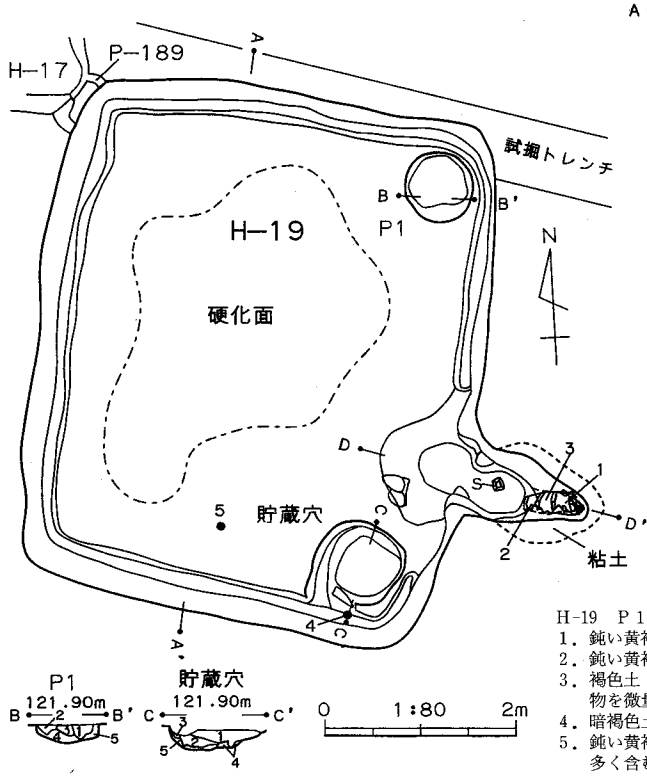
H−18 P1 土層注記（B−B′）

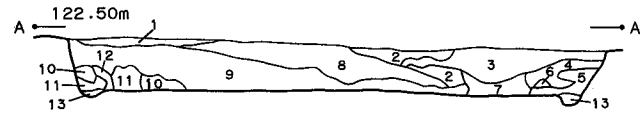
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒やや多く含む
2．黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ロームブロックを多く含む



H−18 カマド 土層注記（C−C′）

1．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を非常に多く、ローム粒をやや多く含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒、焼土粒を少量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒を多く、焼土粒を少量含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒・ブロック、焼土粒ブロックを多く含む
5．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を多く、焼土粒を非常に多く含む
6．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を微量含む
7．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を少量含む



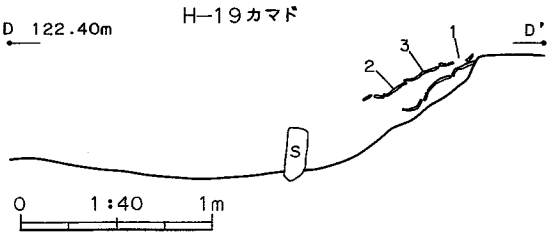


H−19 土層注記（A−A′）

1．暗褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒、ロームブロックをやや多く含む
2．暗褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを多く含む
3．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒、ロームブロックをやや多く、焼土粒を少量含む
4．黒褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を非常に多く、ローム粒、焼土粒を少量含む
5．ロームブロックに4を少量含む　粘性ややあり、強い締まりあり
6．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む
7．暗褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒をやや多く、焼土粒を微量含む
8．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを非常に多く、暗褐色土と焼土粒を微量含む
9．黒褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～20㎜を多く、ローム粒を少量、焼土粒を微量含む
10．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を微量含む
11．ロームブロック
12．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒を多く含む
13．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒を多く含む

H−19 P1 土層注記（B−B′）

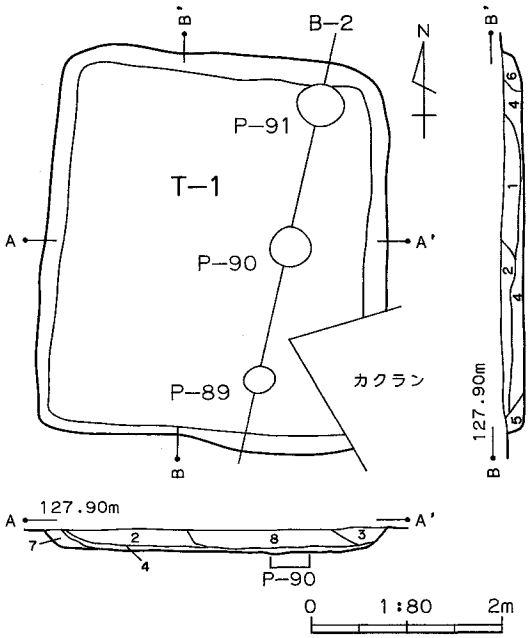
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒・ブロック多く含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
3．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒をやや多く、炭化物を微量含む
4．暗褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、ローム粒・ブロックをやや多く含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む

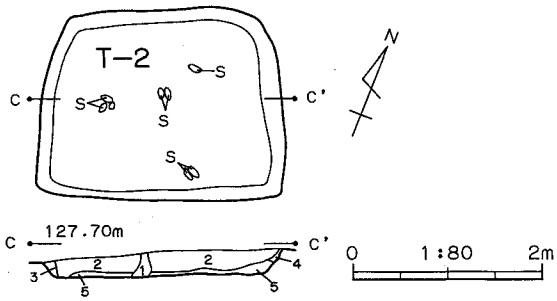


H−19 貯蔵穴 土層注記（C−C′）

1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を非常に多く、ローム粒をやや多く、焼土粒を少量含む
2．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜、焼土粒をやや多く、ローム粒を多く含む
3．2に焼土ブロックを多く含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ロームブロックを多く含む
5．褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒・ブロックを非常に多く含む

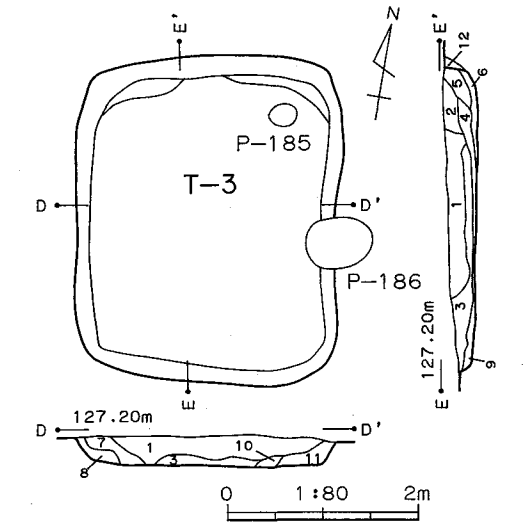
第14図　H−18・19号住居跡平面・断面図



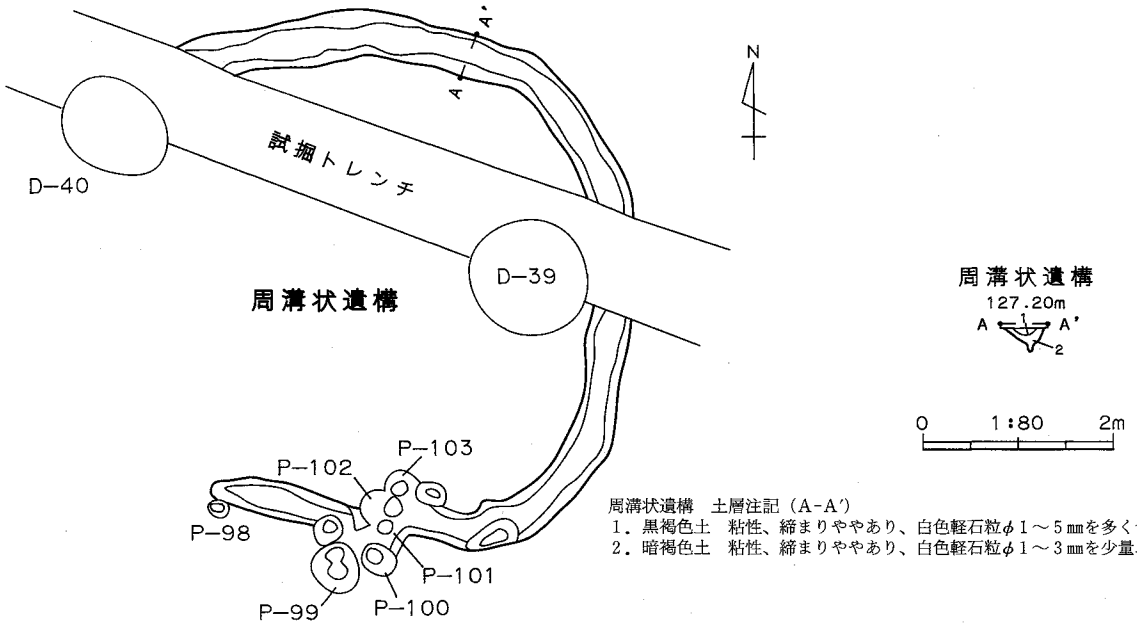


T-1　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ローム粒・ブロックを多く含む
2．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒やや多く含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒少量含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量含む
6．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒少量含む
7．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く含む
8．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜とローム粒・ブロックを少量含む

T-2　土層注記（C-C′）
1．黒褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を多く含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
3．黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く含む
4．褐色土と暗褐色土の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む
5．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～10㎜をやや多く、ローム粒を多く含む

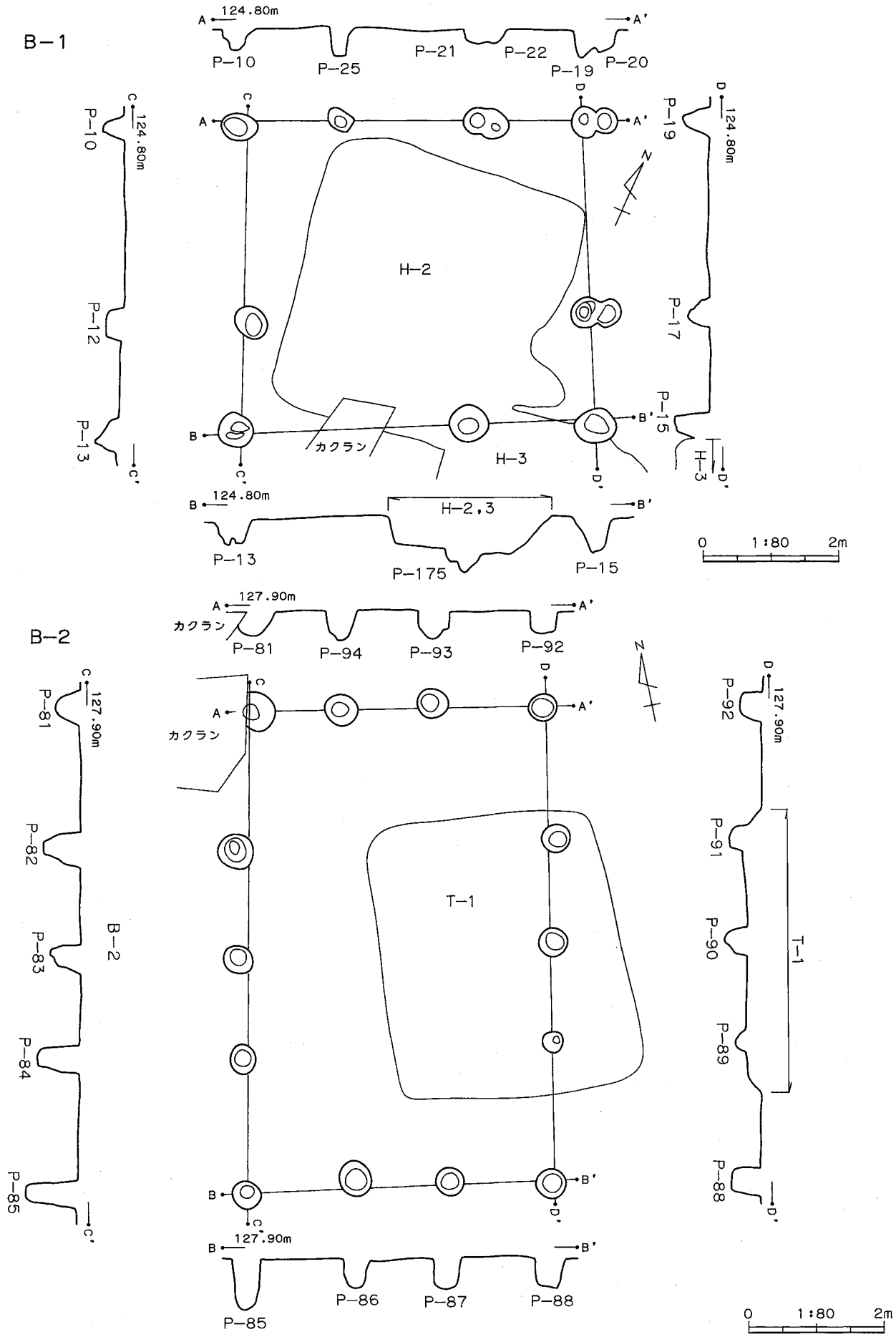


T-3　土層注記（D-D′）（E-E′）
1．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～8㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
2．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
3．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒多く含む
4．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
5．暗褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒をやや多く含む
6．5にローム粒、ロームブロックを多く含む
7．暗褐色土と褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
8．黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜と暗褐色土を少量含む
9．7にローム粒・ブロックを多く、炭化物粒を少量含む
10．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒をやや多く含む
11．暗褐色土と褐色土の混土　粘性、締まりあやあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒、ロームブロックを多く含む
12．ローム地山

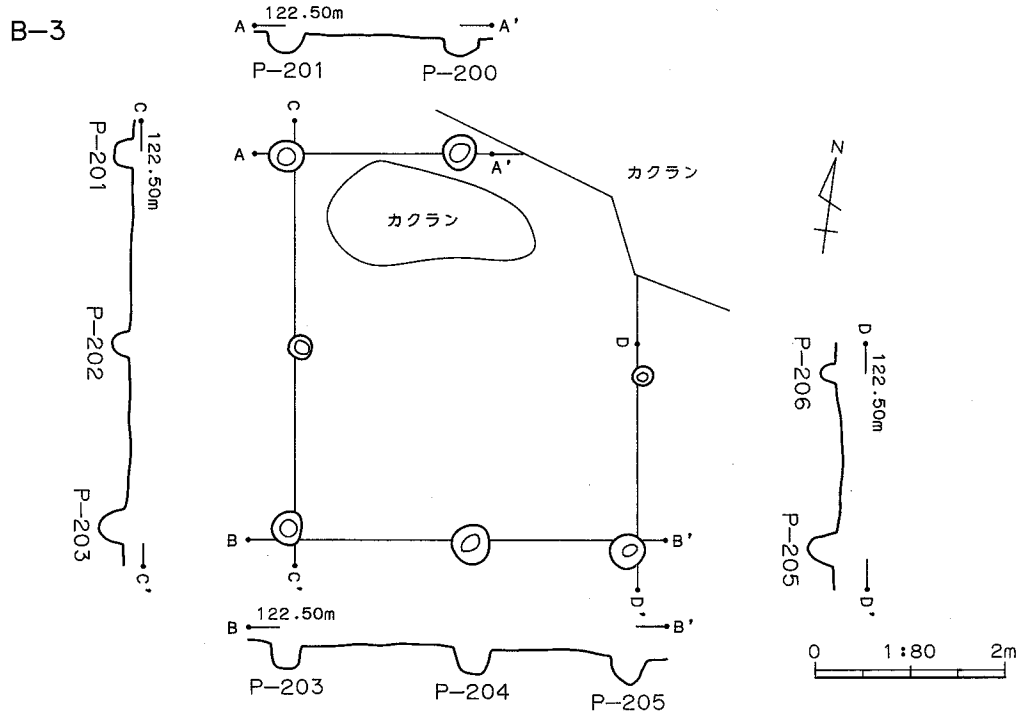


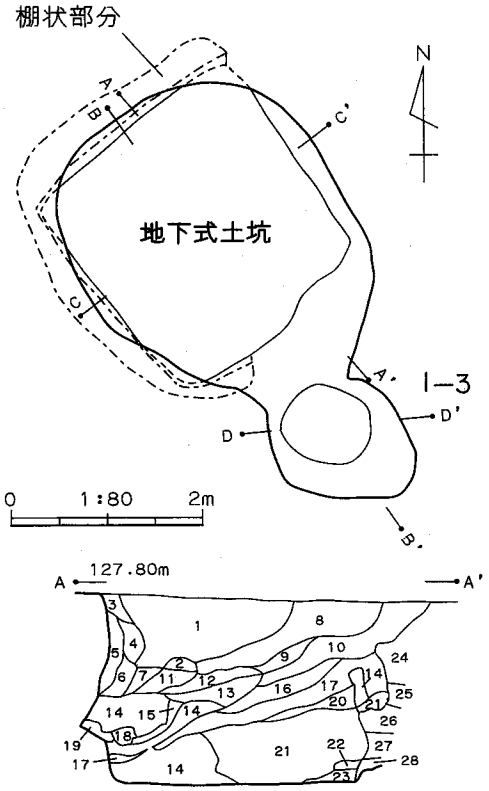
周溝状遺構　土層注記（A-A′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、1を少量含む

第15図　T-1～3号竪穴状遺構、周溝状遺構平面・断面図



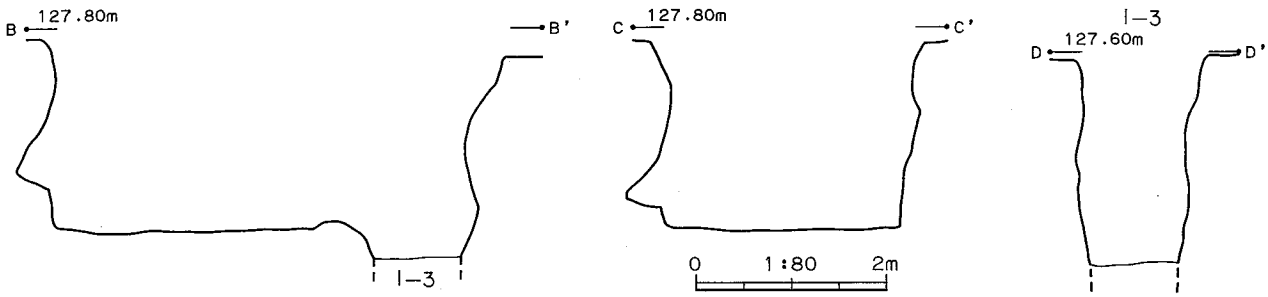
第16図　B－1・2号掘立柱建物跡平面・断面図



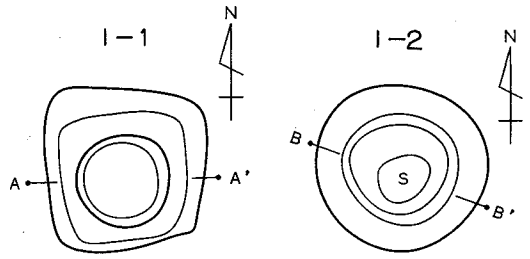


地下式土坑　土層注記（A-A'）

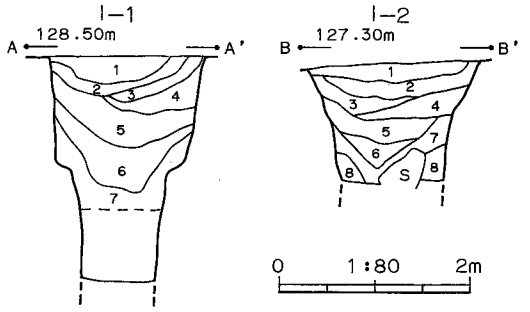
1．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ローム粒微量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒少量含む
4．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を多く、ローム粒やや多く含む
5．褐色土　粘性ややあり、締まりなし、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を多く含む
6．褐色土　粘性ややあり、締まりなし、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒、ロームブロックを多く含む
7．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒多く含む
8．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ローム粒少量含む
9．8にローム粒をやや多く含む
10．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒、焼土ブロックを多く含む
11．2にローム粒・ブロックを多く含む
12．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を少量含む
13．暗褐色土と褐色土の混土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ロームブロックを多く含む
14．ローム粒・ブロック
15．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
16．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒をやや多く含む
17．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
18．褐色土　粘性ややあり、強く締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を多く含む
19．鈍い褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒をやや多く含む
20．褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒をやや多く含む
21．ソフトローム　暗褐色土を少量含む
21'．21に橙色粒ブロックを多く含む
22．鈍い褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量含む
23．褐色土　粘性あり、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜、22と暗褐色土を少量含む
24．暗褐色土を少量含むローム層　粘性ややあり、締まりあり
25．橙色土粒ブロックを多く含むローム層　粘性、締まりややあり
26．黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒を少量含む
27．鈍い褐色土　粘性、締まり強くあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く含む
28．黄褐色土　粘性、締まり強くあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く含む



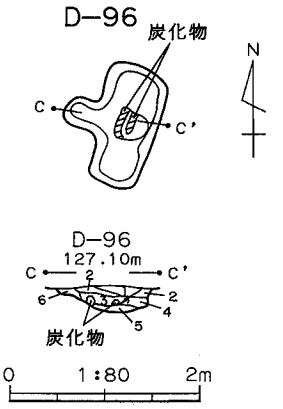
第17図　B-3号掘立柱建物跡、地下式土坑、I-3号井戸跡平面・断面図



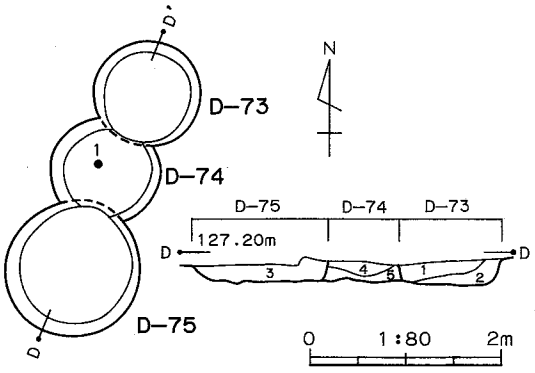
I－1　土層注記（A-A'）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～10㎜を多く、ローム粒を微量含む
2．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒を微量含む
3．2にローム粒・ブロックを多く含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒を多く含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒少量含む
6．黒褐色土　粘性あり、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜、ローム粒をやや多く含む
7．暗褐色土　粘性あり、締まりややあり、白色軽石粒φ1～5㎜をやや多く、ローム粒、ロームブロックを多く含む



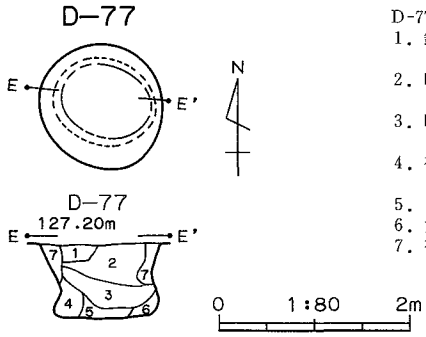
I－2　土層注記（B-B'）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒を少量含む
2．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒を少量含む
3．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックをやや多く含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックをやや多く含む
5．黒褐色土と暗褐色土の混土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
6．黒褐色土　粘性、締まりなし、砂質、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒多く含む
7．暗褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、ローム粒、ロームブロックを多く含む
8．暗褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒φ1～3㎜を微量、ローム粒、ロームブロックをやや多く含む



D-96　土層注記（C-C'）
1．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜、ローム粒をやや多く含む
2．黒色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒、焼土粒を微量含む
3．黒色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒、焼土粒を微量、炭化物多く含む
4．3にローム粒・ブロックを多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を多く、3をやや多く、焼土粒を少量含む
6．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を多く、ロームブロックを少量含む

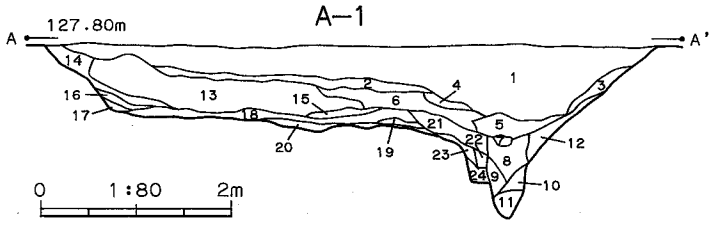


D-73,74,75　土層注記（D-D'）
1．暗褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、褐色土をやや多く含む
2．暗褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、褐色土を多く含む
3．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、黄褐色土をやや多く含む
4．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、暗褐色土を少量、炭化物粒を微量含む
5．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量含む



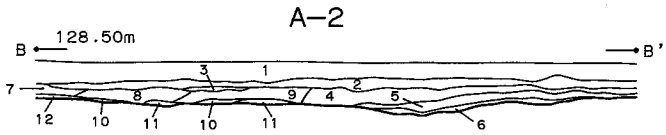
D-77　土層注記（E-E'）
1．鈍い黄褐色土に褐色土を霜降り状に7％　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く含む
2．暗褐色土に褐色土を霜降り状に30％　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物とローム粒微量含む
3．暗褐色土に褐色土を霜降り状に15％　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物を少量含む
4．褐色土に黄褐色土を霜降り状に7％　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、炭化物を少量含む
5．4に黄褐色土をやや多く含む
6．黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、褐色土を少量含む
7．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、暗褐色土を微量含む

第18図　I－1・2号井戸跡、D-96・73～75・77号土坑平面・断面図



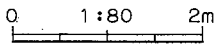
A-1　土層注記（A-A'）

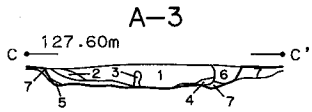
1．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりある砂質土、白色軽石粒φ1～7㎜をやや多く含む
2．1にローム粒・ブロックをやや多く含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒をやや多く含む
4．褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜をやや多く、ローム粒を少量含む
5．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、ローム粒・ブロックをやや多く含む
6．2にローム粒、ロームブロックを非常に多く含む
7．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒と砂を多く含む
8．鈍い黄褐色土　粘性、締まり強くあり、白色軽石粒φ1～2㎜とローム粒を微量、礫を少量含む
9．褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒を多く含む砂質土
10．8と9の混土
11．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒・ブロックを多く含む
12．鈍い黄褐色土　粘性、締まり強くあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒多く含む
13．ローム土層
14．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下と炭化物、礫を少量、ロームブロックをやや多く含む
15．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下を多く、ローム粒・ブロックをやや多く含む
16．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下を少量、ローム粒・ブロックを多く含む
17．黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1㎜以下を少量含む
18．鈍い黄褐色土　粘性なし、強い締まりあり、φ5～30㎜の礫と砂を多く含む
19．褐色土　粘性なし、強い締まりあり、5～20㎜の礫と砂を多く含む
20．鈍い黄褐色土　粘性なし、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、φ5～30㎜の礫を少量含む
21．褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を少量含む
22．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を多く含む
23．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜とローム粒、ロームブロックを多く含む
24．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒、ロームブロックを多く含む



A-2　土層注記（B-B'）

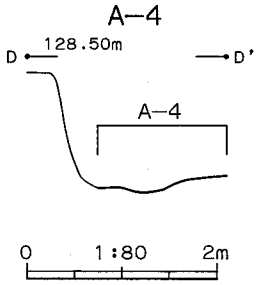
1．表土
2．褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜とローム粒をやや多く含む
3．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりある砂質、白色軽石粒φ1～2㎜とローム粒を少量含む
4．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりある砂質、白色軽石粒φ1～2㎜をやや多く、ローム粒を少量含む
5．褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒・ブロックをやや多く含む
6．暗褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜とローム粒を少量含む
7．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜とローム粒をやや多く、炭化物粒を微量含む
8．7にローム粒・ブロックを多く含む
9．8に焼土粒を少量含む
10．鈍い黄褐色土　粘性なし、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、φ1～5㎜の礫とローム粒を少量含む
11．鈍い黄褐色土　粘性なし、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～3㎜を多く、φ10～20㎜の礫を非常に多く含む
12．黄褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～2㎜を多く含む



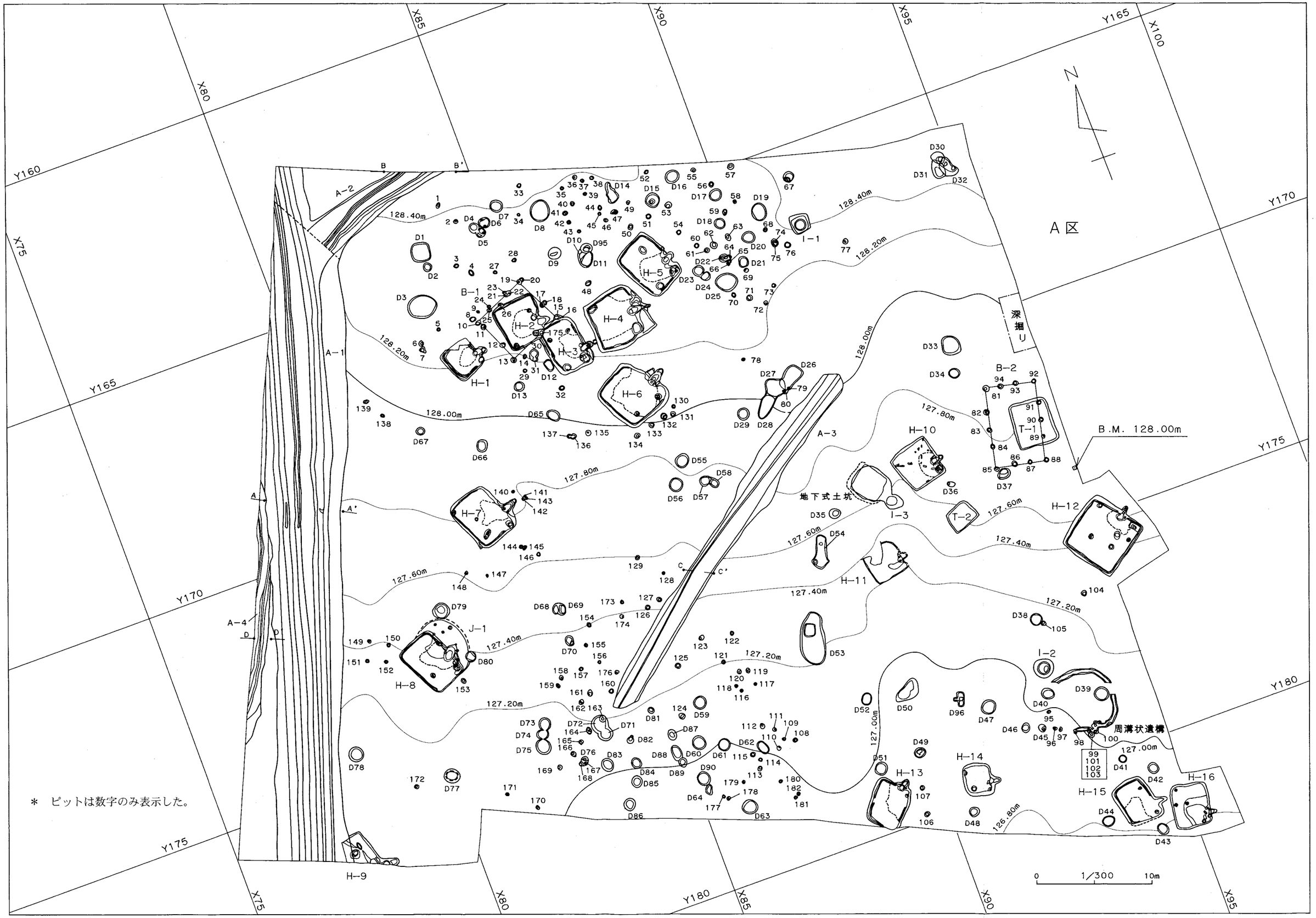


A-3　土層注記（C-C'）

1．黒褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、暗褐色土を30%、ローム粒をやや多く含む
2．黒褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
3．根の進入痕
4．黒褐色土　粘性ややあり、強い締まりあり、白色軽石粒φ1～5㎜を多く、ローム粒をやや多く含む
5．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～2㎜を少量、ローム粒・ブロックをやや多く含む
6．暗褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～8㎜を多く、ローム粒やや多く含む
7．褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒φ1～3㎜を少量、暗褐色土を少量含む

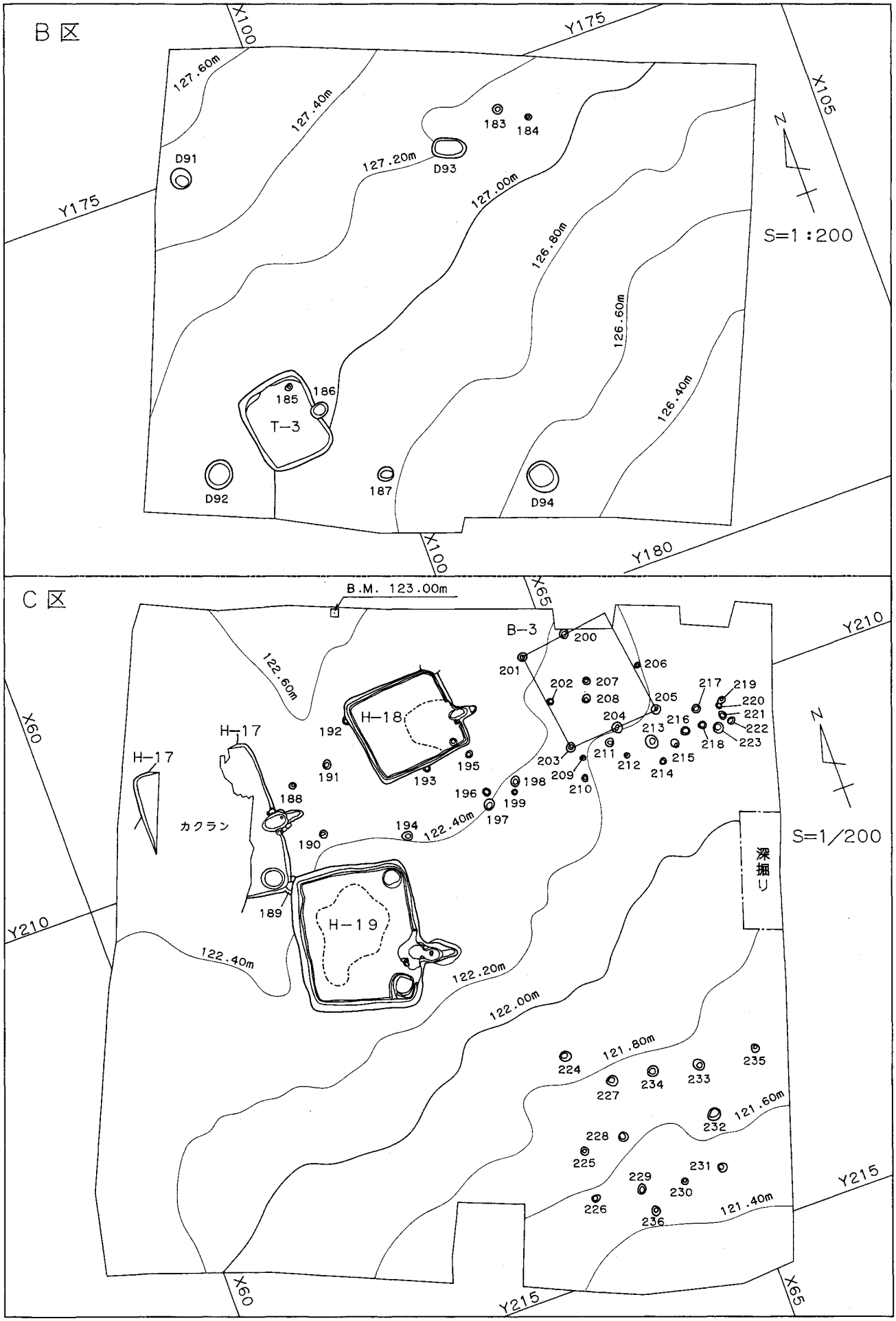


第19図　A-1～4号道路状遺構断面図

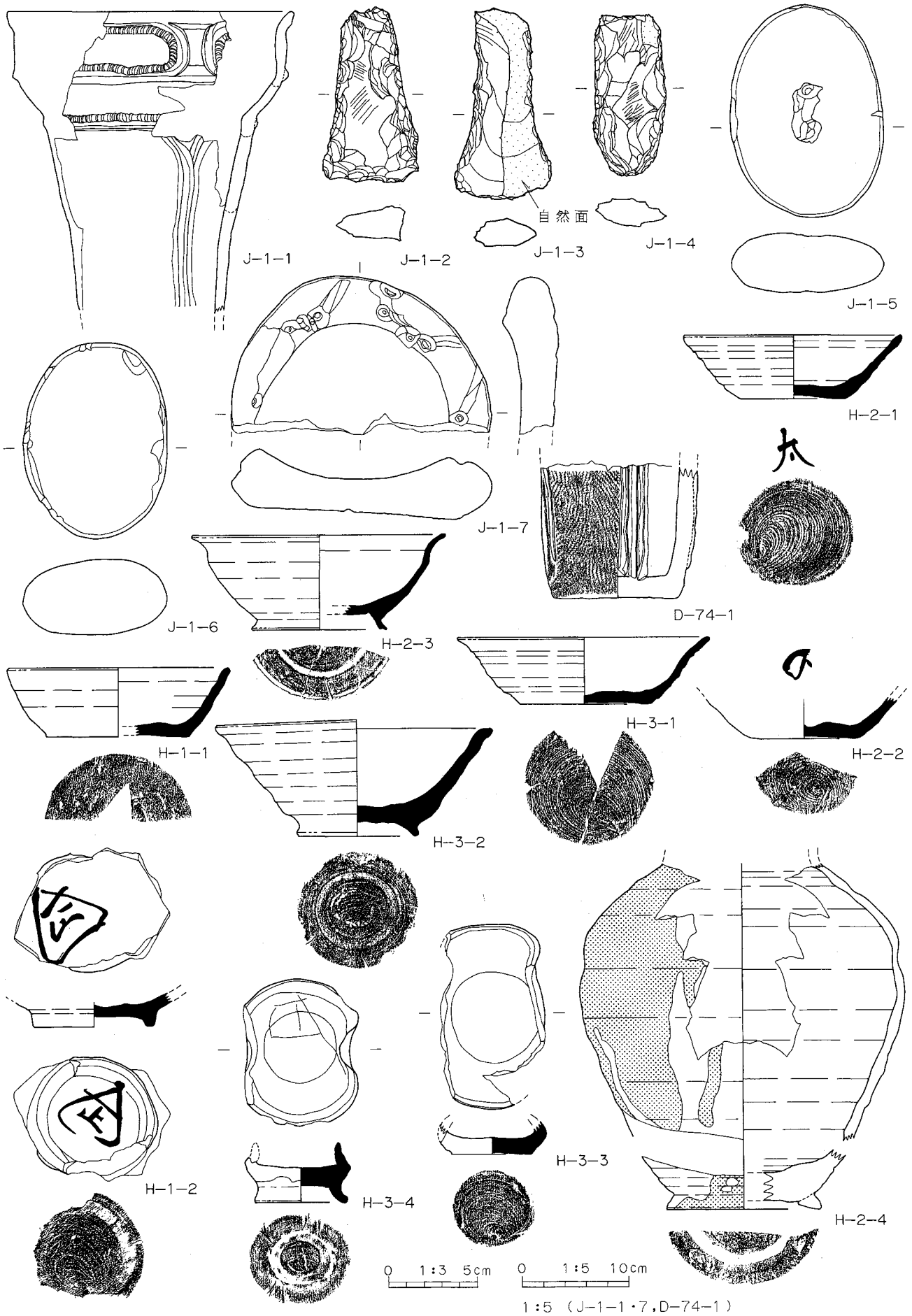


＊　ピットは数字のみ表示した。

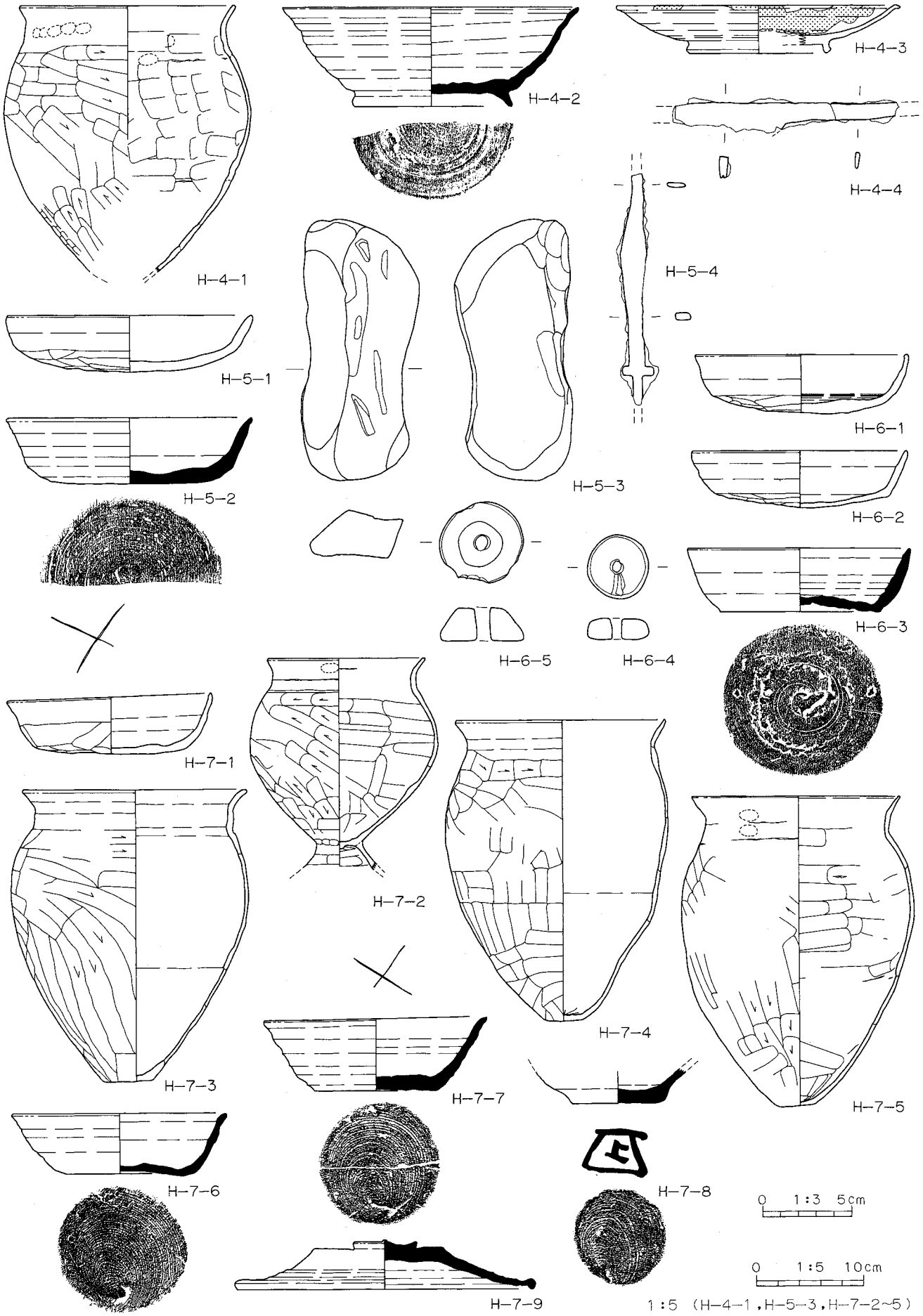
第20図　五代竹花Ⅱ遺跡　A調査区平面図



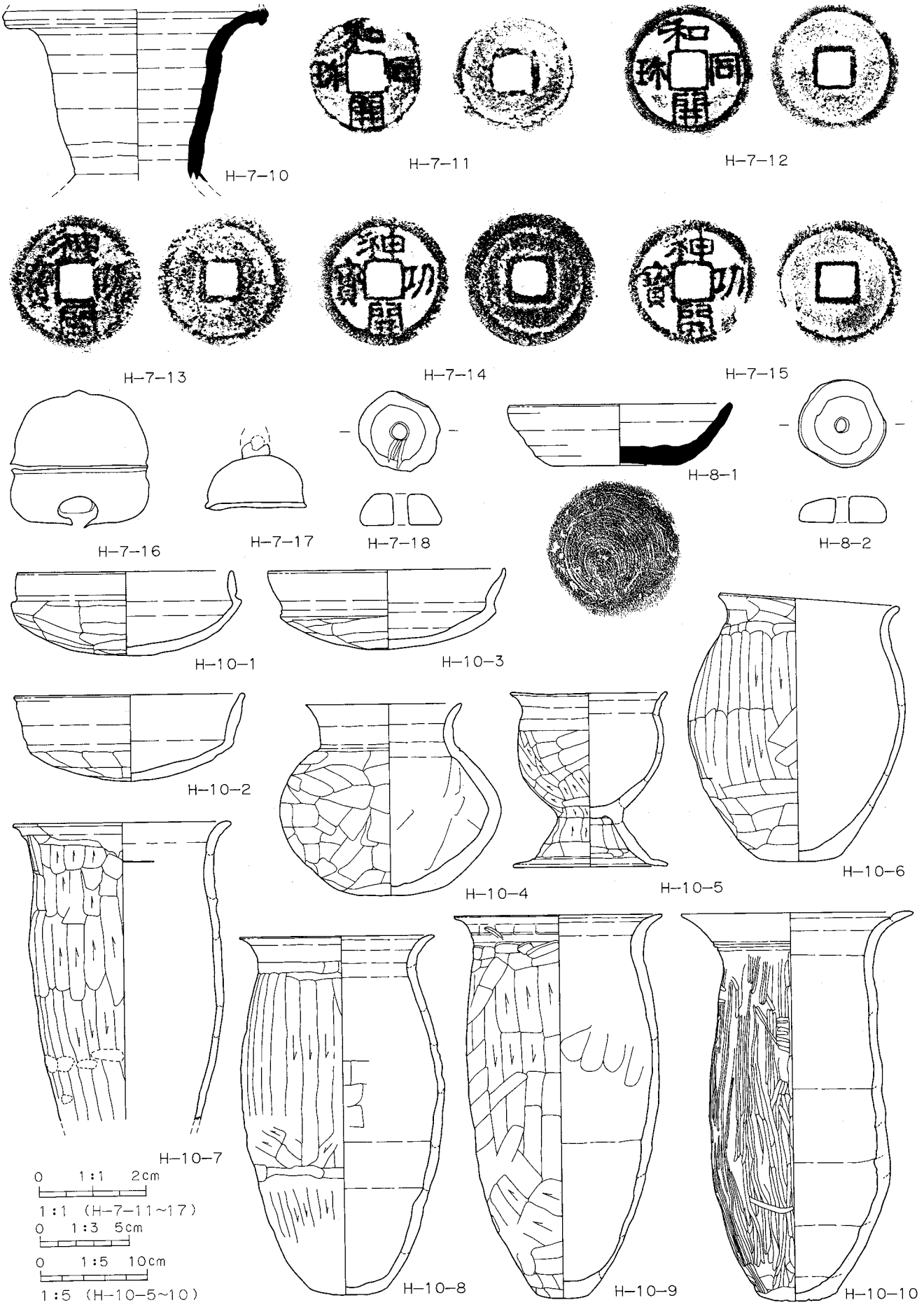
第21図　五代竹花II遺跡　B・C調査区平面図



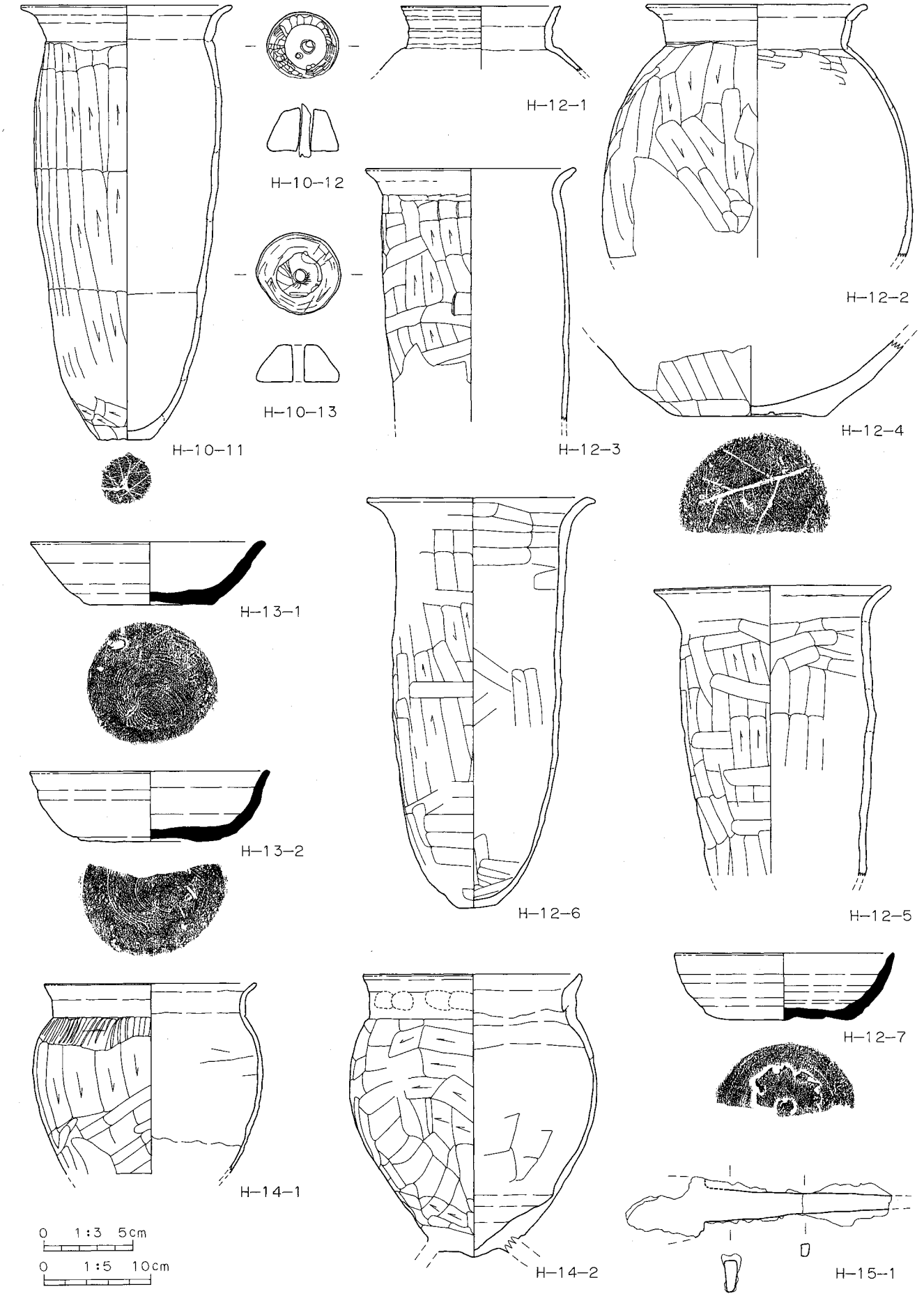
第22図　J－1号、H－1～3号住居跡、D－74号土坑遺物実測図



第23図　H-4～7号住居跡遺物実測図

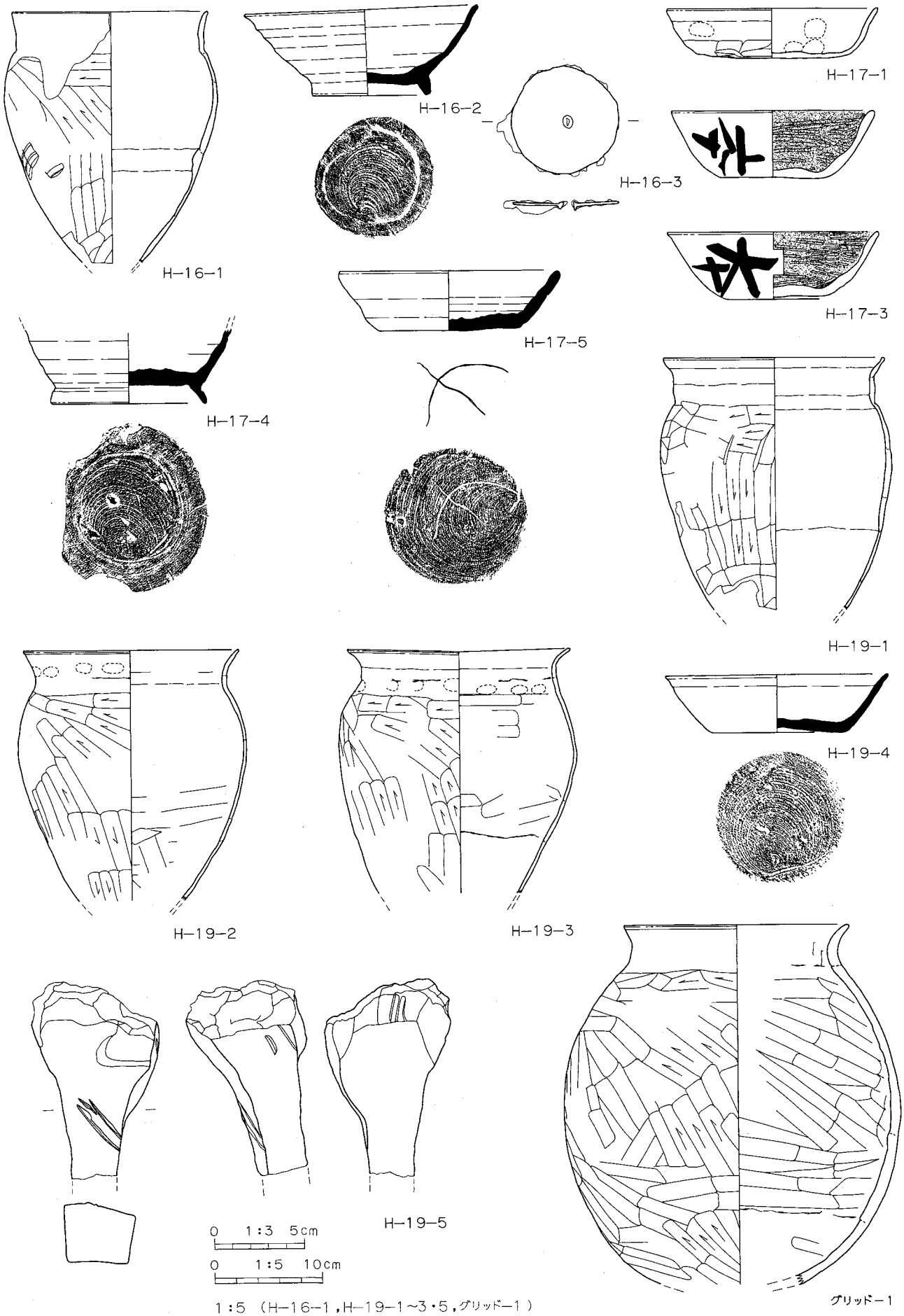


第24図　H-7・8・10号住居跡遺物実測図



1:5 (H-10-11,H-12-1~3・5・6,H-14-1)

第25図　H-10・12～15号住居跡遺物実測図



1:5 （H−16−1，H−19−1〜3・5，グリッド−1）

第26図　H-16・17・19号住居跡、グリッド出土遺物実測図

VI　五代木福III遺跡

1．遺構と遺物

(1) 竪穴住居跡

H－1号住居跡〔第27・28図、図版13〕

位置 X114・115、Y206・207グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸3.22m、短軸3.20m、確認面から床面までの壁高45～54cm。**面積** 9.26m² **長軸方向** N-91°-E **床面** ロームの堅い床面。**柱穴** P 1北西隅、長径42cm、短径34cm、深さ23cmの楕円形。P 2南西隅、長径45cm、短径39cm、深さ24cmの楕円形。P 3南東隅、長径47cm、短径44cm、深さ33cmのほぼ円形。P 4北東隅、長径36cm、短径35cm、深さ42cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-92°-E。全長97cm、最大幅87cm、焚口部幅43cm。東壁を掘り込んで作られている。残り良い。**時期** 埋土や出土遺物から9世紀前半と考えられる。**遺物** 須恵器坏1点、鉄斧1点を掲載した。

H－2号住居跡〔第27・28図、図版14〕

位置 X117・118、Y208グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸3.33m、短軸3.21m、確認面から床面までの壁高37～47cm。**面積** 9.92m² **長軸方向** N-80°-E **床面** 炭化物片を壁側に検出。硬化面あり。**柱穴** P 1北西壁寄り、長径52cm、短径39cm、深さ17cmの楕円形。P 2中央やや西壁寄り、長径34cm、短径30cm、深さ15cmの円形。P 3南壁側中央、長径44cm、短径33cm、深さ23cmの楕円形。P 4南東隅、長径50cm、短径44cm、深さ21cmの楕円形。P 5北壁寄り、長径87cm、短径68cm、深さ17cmの楕円形。P 6北東隅、長径44cm、短径36cm、深さ16cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-91°-E。全長133cm、最大幅105cm、焚口部幅27cm。東壁側に作られ両袖に石を使用。燃焼部から土師器長胴甕が逆さに伏せて出土している。**時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏6点・直口壺1点・長胴甕2点を掲載した。

H－3号住居跡〔第27図、図版14〕

位置 X118～120、Y209・210グリッド **形状** ほぼ隅丸正方形を呈す。**規模** 長軸5.72m、短軸5.40m、確認面から床面までの壁高54～63cm。**面積** 26.97m² **長軸方向** N-7°-E **床面** 中央に硬化面あり。壁周溝はほぼ全周する。**柱穴** P 1北西壁寄り、長径70cm、短径63cm、深さ49cmの楕円形。P 2南壁西寄り、長径39cm、短径32cm、深さ71cmの楕円形。P 3南東隅、長径65cm、短径50cm、深さ66cmの楕円形。P 4北東壁寄り、長径79cm、短径76cm、深さ34cmの円形。P 5北西壁寄り、長径30cm、短径25cm、深さ16cmの楕円形。P 6南西壁寄り、長径25cm、短径24cm、深さ18cmの円形。P 7南壁中央、長径36cm、短径23cm、深さ15cmの楕円形。P 8南東隅、長径73cm、短径57cm、深さ15cmの楕円形。P 9東壁中央寄り、長径32cm、短径29cm、深さ12cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN- 90°-E。全長154cm、最大幅167cm、焚口部幅50cm。両袖に粘土を使用。残りは良い。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀中葉と考えられる。**遺物** 土師器坏・甕片、須恵器坏片出土。

H－4号住居跡〔第27・28・29図、図版14〕

位置 X116・117、Y209・210グリッド **形状** 隅丸正方形を呈す。**規模** 長軸3.80m、短軸3.44m、確認面から床面までの壁高30～42cm。**面積** 12.28m² **長軸方向** N-1°-W **床面** 中央に硬化面あり。**柱穴** P 1北西壁寄り、長径 62cm、短径48cm、深さ19cmの楕円形。P 2南西壁寄り、長径36cm、短径34cm、深さ15cmの円形。P 3南東隅、長径44cm、短径42cm、深さ20cmの円形。P 4北東壁寄り、長径44cm、短径40cm、深さ15cmの円形。P 5南壁中央寄り、長径36cm、短径30cm、深さ22cmの円形。P 6南壁側やや東寄り、長径37cm、短径34cm、深さ19cmの円形。**カマド** 東壁中央南寄りに位置する。主軸方向はN-87°-E。全長117cm、最大幅96cm、焚口部幅56cm。両袖がやや住居内に入る。**時期** 埋土や出土遺物から9世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏1点、須恵器坏1点・蓋1点、刀子1点を掲載した。

H－5号住居跡〔第27・29図、図版14〕

位置 X114・115、Y213・214グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸3.10m、短軸2.90m、確認面から床面までの壁高37～45cm。**面積** 8.53m² **長軸方向** N-12°-W **床面** ローム土の堅い床面。**柱穴** P 1北西壁寄り、長径32cm、短径28cm、深さ13cmの円形。P 2南西壁寄り、長径33cm、短径24cm、深さ13cmの楕円形。P 3南東隅、長径45cm、短径42cm、深さ16cmの円形。P 4北東壁寄り。長径25cm、短径24cm、深さ12cmの円形。**カマド** 東壁の

中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-70°-E。全長93cm、最大幅103cm、焚口部幅57cm。両袖が住居内にわずかに入る。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏1点、石槍1点を掲載した。

H-6号住居跡〔第27・29・30図、図版14・15〕

位置 X118～120、Y213・214グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸4.85m、短軸4.37m、確認面から床面までの壁高47～58cm。**面積** 20.46m² **長軸方向** N-42°-W **床面** ローム土の堅い床面。壁周溝は南壁側の一部を除き巡る。**柱穴** P1北東隅、長径42cm、短径38cm、深さ14cmの円形。P2北壁寄り中央、長径38cm、短径26cm、深さ39cmの楕円形。P3北西壁寄り、長径43cm、短径38cm、深さ18cmの円形。P4南西壁寄り、長径35cm、短径34cm、深さ30cmの円形。P5南東壁寄り、長径40cm、短径37cm、深さ25cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径72cm、短径70cm、深さ37cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。焚口部分にカクランが入り、掘り込まれていた。主軸方向はN-35°-E。全長(118)cm、最大幅(115)cm、焚口部幅(75)cm。**時期** 埋土や出土遺物から7世紀末と考えられる。**遺物** 土師器坏6点・小型台付甕1点を掲載した。

H-7号住居跡〔第27・30図、図版15〕

位置 X120～122、Y212～214グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸6.06m、短軸6.04m、確認面から床面までの壁高47～57cm。**面積** 35.18m² **長軸方向** N-30°-W **床面** 南壁中央から北壁側に向かって硬化面あり。壁際を中心に炭化材が多く検出された。壁周溝は一部を除き巡る。**柱穴** P1北西壁側やや南寄り、長径38cm、短径33cm、深さ17cmの楕円形。P2北西壁寄り中央、長径49cm、短径44cm、深さ13cmの楕円形。P3西壁中央、長径59cm、短径31cm、深さ17cmの楕円形。P4南西壁寄り、長径39cm、短径27cm、深さ61cmの楕円形。P5南壁寄り中央、長径34cm、短径31cm、深さ15cmの円形。P6南東隅、長径81cm、短径74cm、深さ78cmの楕円形。P7南東壁寄り、長径28cm、短径27cm、深さ47cmの円形。P8北東壁寄り、長径32cm、短径24cm、深さ11cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。燃焼部から逆さになった土師器台付甕出土。主軸方向はN-57°-E。全長118cm、最大幅117cm、焚口部幅44cm。向かって左袖に構築材の石が1個あり、両袖がやや住居内に入る。**時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器小型壺2点・台付甕1点、須恵器甕1点、石製紡錘車1点を掲載した。

H-8号住居跡〔図版15〕

位置 X132・133、Y205・206グリッド **形状** ほぼ正方形を呈す。**規模** 長軸2.95m、短軸2.92m、確認面から床面までの壁高2～6cm。**面積** 8.02m² **長軸方向** N-92°-E **床面** 中央部に硬化面あり。**柱穴** 検出されなかった。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-93°-E。全長57cm、最大幅50cm、焚口部幅39cm。全体に残りが良くない。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏片等出土。

H-9号住居跡〔第30・31図、図版15〕

位置 X128～130、Y208・209グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸4.05m、短軸3.92m、確認面から床面までの壁高16～24cm。**面積** 14.93m² **長軸方向** N-44°-W **床面** 中央と南側に硬化面あり。**柱穴** P1南東隅、長径60cm、短径52cm、深さ45cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-52°-E。全長130cm、最大幅91cm、焚口部幅40cm。カマドの補強に白色粘土を使用。**時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏1点・小型壺1点を掲載した。

H-10号住居跡〔第27図、図版15〕

位置 X120・121、Y215・216グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸4.51m、短軸3.68m、確認面から床面までの壁高38～50cm。**面積** 15.12m² **長軸方向** N-19°-W **床面** 硬化面あり。壁周溝は東壁、北壁の一部を除き巡る。**柱穴** P1西壁側やや北寄り、長径35cm、短径33cm、深さ18cmの円形。P2西壁側やや南寄り、長径32cm、短径31cm、深さ24cmの円形。P3南壁側中央寄り、長径29cm、短径23cm、深さ16cmの楕円形。P4南壁側東寄り、長径38cm、短径37cm、深さ22cmの円形。P5東壁側カマド寄り、長径40cm、短径38cm、深さ16cmの円形。P6北東壁寄り、長径38cm、短径36cm、深さ18cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-61°

-E。全長118cm、最大幅106cm、焚口部幅55cm。一部分カクランされている。**時期** 埋土や出土遺物から7世紀代と考えられる。**遺物** 土師器長胴甕片・坏片等出土。

H-11号住居跡〔第27・31図、図版15〕

位置 X118・119、Y217・218グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸4.07m、短軸3.27m、確認面から床面までの壁高34～46cm。**面積** 12.75m² **長軸方向** N-1°-E **床面** 中央付近に硬化面あり。壁周溝は東壁、南壁の一部を除き巡る。**柱穴** P1北西隅、長径30cm、短径25cm、深さ12cmの楕円形。P2南壁側中央、長径30cm、短径27cm、深さ18cmの楕円形。P3南壁中央やや東寄り、長径38cm、短径37cm、深さ29cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-90°-E。全長93cm、最大幅98cm、焚口部幅33cm。袖に粘土を使用し、石1個出土。右袖付近に逆さになった長胴甕出土。**時期** 埋土や出土遺物から7世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器長胴甕1点を掲載した。

H-12号住居跡〔第27・31図、図版16〕

位置 X114・115、Y216・217グリッド **形状** ほぼ正方形を呈す。**規模** 長軸3.37m、短軸3.26m、確認面から床面までの壁高31～42cm。**面積** 10.32m² **長軸方向** N-11°-E **床面** 平坦な堅い床面。**柱穴** P1北西壁寄り、長径32cm、短径29cm、深さ14cmの円形。P2南西隅、長径36cm、短径32cm、深さ19cmの円形。P3南東壁寄り、長径43cm、短径41cm、深さ11cmの円形。P4北東隅、長径32cm、短径30cm、深さ24cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-113°-E。全長77cm、最大幅80cm、焚口部幅54cm。カマドの袖に構築材の石が出土。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏2点、須恵器坏1点を掲載した。

H-13号住居跡〔第27・32図、図版16〕

位置 X114～116、Y219・220グリッド **重複** H-14、W-3と重複。W-3に掘り込まれH-14を掘り込んでいる。**形状**（長方形）を呈す。**規模** 長軸(4.04)m、短軸(3.40)m、確認面から床面までの壁高25～35cm。**面積**[13.51]m² **長軸方向** N-80°-E **床面** やや軟質の床。壁周溝は西壁と南・北壁の一部を巡る。**柱穴** P1北西隅、長径56cm、短径52cm、深さ21cmの円形。P2南西隅、長径46cm、短径38cm、深さ56cmの楕円形。P3南東壁寄り、長径60cm、短径46cm、深さ15cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。H-14と重複し作られている。主軸方向はN-70°-E。全長96cm、最大幅80cm、焚口部幅30cm。両袖に白色粘土の使用が見られる。**時期** 埋土や出土遺物から7世紀末と考えられる。**遺物** 土師器坏2点を掲載した。

H-14号住居跡〔第27・32図、図版16〕

位置 X115・116、Y219・220グリッド **重複** H-13、W-3と重複し、掘り込まれている。**形状**（ほぼ正方形）を呈す。**規模** 長軸4.08m、短軸(3.82)m、確認面から床面までの壁高37～40cm。**面積**[15.00]m² **長軸方向** N-78°-E **床面** 硬化面あり。床面に炭化物が多く散乱している。**柱穴** P1南壁側中央、長径39cm、短径36cm、深さ16cmの円形。P2南東隅、長径60cm、短径52cm、深さ62cmの楕円形。P3北東壁寄り、長径32cm、短径30cm、深さ27cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-86°-E。全長100cm、最大幅106cm、焚口部幅50cm。カマド付近に大小の石を検出。構築材か。**時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏2点、須恵器短頸壺2点を掲載した。

H-15号住居跡〔第27図・図版16〕

位置 X117・118、Y221～223グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸4.83m、短軸3.45m、確認面から床面までの壁高58～64cm。**面積** 15.73m² **長軸方向** N-4°-E **床面** 南壁側から北壁にかけての中央部分に硬化面あり。壁周溝は東壁、西壁の一部に巡る。**柱穴** P1北西壁寄り、長径42cm、短径38cm、深さ14cmの楕円形。P2南東壁寄り、長径36cm、短径28cm、深さ26cmの楕円形。P3東壁側中央寄り、長径50cm、短径47cm、深さ28cmの楕円形。P4北東壁寄り、長径32cm、短径30cm、深さ16cmの円形。**土坑** D-1北壁側東寄り、長径94cm、短径54cm、深さ31cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-105°-E。全長115cm、最大幅100

cm、焚口部幅65cm。東壁を掘り込んでいる。**時期** 埋土や出土遺物から８世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器甕片、須恵器蓋片・甕片等出土。

H-16号住居跡〔第27図、図版16〕

位置 X112・113、Y220・221グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸3.75m、短軸3.17m、確認面から床面までの壁高22～32cm。**面積** 11.26m² **長軸方向** N-33°-W **床面** 南東側にカクランが入る。壁周溝は北と西・南側の一部を巡る。**柱穴** 検出されなかった。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-49°-E。全長65cm、最大幅(115)cm、焚口部幅(79)cm。カマドの南側半分近くにカクランが入る。**時期** 埋土や出土遺物から８世紀代と考えられる。**遺物** 土師器坏片などを少量出土。

H-17号住居跡〔第27・33図、図版16〕

位置 X111・112、Y222・223グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸4.40m、短軸3.31m、確認面から床面までの壁高30～39cm。**面積** 14.10m² **長軸方向** N-75°-E **床面** 中央付近に硬化面あり。壁周溝は南東側を除いてほぼ巡る。**柱穴** P１中央からやや西壁寄り、長径30cm、短径26cm、深さ30cmの円形。P２南東隅、長径52cm、短径 47cm、深さ37cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-80°-E。全長110cm、最大幅98cm、焚口部幅31cm。袖に粘土を使用。**時期** 埋土や出土遺物から６世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏１点・長胴甕１点を掲載した。

H-18号住居跡〔第33図、図版17〕

位置 X131・132、Y209・210グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸4.12m、短軸3.79m、確認面から床面までの壁高16～25cm。**面積** 15.00m² **長軸方向** N-４°-W **床面** 全体に堅い床面。壁周溝は東側と西側の一部を除き巡る。**柱穴** P１北西壁寄り、長径47cm、短径37cm、深さ40cmの楕円形。P２南西壁寄り、長径40cm、短径38cm、深さ42cmの円形。P３南東壁寄り、長径47cm、短径40cm、深さ41cmの楕円形。P４北東壁寄り、長径36cm、短径28cm、深さ25cmの楕円形。P５南西隅、長径55cm、短径43cm、深さ44cmの楕円形。P６南東隅、長径61cm、短径60cm、深さ40cmの円形。**カマド** 東カマド 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-80°-E。全長190cm、最大幅110cm、焚口部幅61cm。煙道が長い。西カマド 西壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-94°-W。全長97cm、最大幅96cm、焚口部幅35cm。粘土を使用。**時期** 埋土や出土遺物から６世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏１点・長胴甕１点を掲載した。

H-19号住居跡〔第34図、図版17〕

位置 X135・136、Y209・210グリッド **形状** 北東側がややすぼむ正方形を呈す。**規模** 長軸3.46m、短軸3.26m、確認面から床面までの壁高８～11cm。**面積** 9.46m² **長軸方向** N-69°-W **床面** 平坦な堅い床面。**柱穴** 検出されなかった。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-96°-E。全長68cm、最大幅82cm、焚口部幅39cm。上面は削られて残りが悪い。**時期** 埋土や出土遺物から８世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏４点を掲載した。

H-20号住居跡〔図版17〕

位置 X137・138、Y207・208グリッド **形状**（正方形）を呈す。**重複** 平成12年度調査のH-147と接合する。**規模** 長軸[3.30]m、短軸[2.10]m、確認面から床面までの壁高[32～38]cm。**面積**[5.50]m² **長軸方向** N-５°-E **床面** 中央付近に硬化面あり。壁周溝は西壁から南壁の西側半分を巡る。**柱穴** P１南西壁寄り、長径52cm、短径48cm、深さ26cmの楕円形。**カマド** 12年度調査で検出している。**時期** 埋土や出土遺物から９世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器片少量出土。

H-21号住居跡〔第34図、図版17・18〕

位置 X139・140、Y211～213グリッド **形状** 正方形を呈す。**重複** W-７と重複し掘り込まれている。**規模** 長軸5.28m、短軸5.22m、確認面から床面までの壁高36～71cm。**面積** 27.13m² **長軸方向** N-71°-E **床面** 中央から

南壁にかけて硬化面あり。東壁側は軟質の床。**柱穴** Ｐ１北西壁寄り、長径57cm、短径 55cm、深さ35cmの円形。Ｐ２南西壁寄り、長径50cm、短径43cm、深さ14cmの楕円形。Ｐ３南東壁寄り、長径58cm、短径40cm、深さ17cmの楕円形。Ｐ４南東隅、長径65cm、短径60cm、深さ36cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-79°-E。全長120cm、最大幅122cm、焚口部幅72cm。焚口部に長胴甕が南北に重なって出土。カマドに白色粘土。左袖に四角な石、右袖に割れ石使用。**時期** 埋土や出土遺物から６世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏１点・甕１点・長胴甕２点を掲載した。

H-22号住居跡〔第34・35図、図版18〕

位置 X139・140、Y213～215グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸4.75m、短軸4.62m、確認面から床面までの壁高17～42cm。**面積** 21.30m² **長軸方向** N-72°-E **床面** わずかに炭化物が見られる。**柱穴** Ｐ１北西壁寄り、長径26cm、短径26cm、深さ43cmの円形。Ｐ２南西壁寄り、長径35cm、短径34cm、深さ20cmの円形。Ｐ３南東壁寄り、長径21cm、短径21cm、深さ22cmの円形。Ｐ４北東壁寄り、長径34cm、短径27cm、深さ27cmの楕円形。Ｐ５南東隅、長径80cm、短径61cm、深さ24cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-75°-E。全長105cm、最大幅107cm、焚口部幅38cm。焚口部に割れ石、長胴甕が南北に重なって出土。**時期** 埋土や出土遺物から６世紀後半と考えられる。**遺物** 土師器坏４点・長胴甕２点を掲載した。

H-23号住居跡〔図版18〕

位置 X134・135、Y206グリッド **形状**（正方形）を呈す。**重複** 平成12年度調査のH-80と接合する。**規模** 長軸[3.72]m、短軸[1.04]m、確認面から床面までの壁高17～19cm。**面積**[3.54]m² **長軸方向** N-5°-E **床面** 北壁側に硬化面あり。**柱穴** Ｐ１ 南東隅、長径47cm、短径45cm、深さ23cmの円形。Ｐ２南壁東寄り、長径56cm、短径45cm、深さ57cmの楕円形。Ｐ３南西隅、長径45cm、短径38cm、深さ19cmの楕円形。**カマド** 12年度調査で検出している。**時期** 埋土や出土遺物から８世紀後半代と考えられる。**遺物** 土師器片、糸切り痕のある須恵器坏片出土。

H-24号住居跡〔第35図、図版18〕

位置 X120・121、Y227・228グリッド **形状** 隅丸正方形を呈す。**規模** 長軸4.67m、短軸4.43m、確認面から床面までの壁高45～57cm。**面積** 17.88m² **長軸方向** N-81°-W **床面** 中央付近で硬化面あり。**柱穴** Ｐ１北西隅、長径55cm、短径46cm、深さ20cmの楕円形。Ｐ２南西隅、長径50cm、短径42cm、深さ14cmの楕円形。Ｐ３南東壁寄り、長径56cm、短径47cm、深さ15cmの楕円形。Ｐ４南東隅、長径75cm、短径65cm、深さ18cmの楕円形。Ｐ５北東壁寄り、長径56cm、短径47cm、深さ20cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-118°-E。全長85cm、最大幅110cm、焚口部幅50cm。カマドの両袖に白色粘土を使用している。カマド付近に粘土、焼土の分布が見られる。**時期** 埋土や出土遺物から９世紀中葉と考えられる。**遺物** 土師器坏１点を掲載した。

H-25号住居跡〔第35・36図、図版18〕

位置 X118・119、Y225・226グリッド **形状** 北・西側が調査区外のため不明。**規模** 長軸[4.50]m、短軸[3.38]m、確認面から床面までの壁高33～48cm。**面積**[11.59]m² **長軸方向**（N-103°-E） **床面** 北東側の床と壁はカクランされている。中央から西壁側に硬化面、焼土範囲あり。壁周溝は南壁側に巡る。**柱穴** Ｐ１北西壁寄り、長径72cm、短径50cm、深さ10cmの楕円形。Ｐ２南壁中央、長径39cm、短径 34cm、深さ19cmの楕円形。Ｐ３南壁中央やや東寄り、長径33cm、短径22cm、深さ20cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-103°-E。全長110cm、最大幅95cm、焚口部幅40cm。左袖側の一部にカクラン入る。**時期** 埋土や出土遺物から８世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏１点を掲載した。

H-26号住居跡〔第36図、図版18・19〕

位置 X119・120、Y229・230グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸3.88m、短軸3.58m、確認面から床面までの壁高41～50cm。**面積** 13.26m² **長軸方向** N-9°-E **床面** 中央付近に硬化面あり。壁周溝はほぼ全周する。**柱穴** Ｐ１東壁中央やや北寄り、長径36cm、短径31cm、深さ21cmの円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径75cm、短径

59cm、深さ30cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-93°-E。全長127cm、最大幅65cm、焚口部幅42cm。カマドの天井石に加工した安山岩の石を2個使用。その内側に同じ石1個あり。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏4点・甕1点、須恵器甕1点を掲載した。

H-27号住居跡〔図版19〕

位置 X118、Y230・231グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸3.02m、短軸2.93m、確認面から床面までの壁高20～38cm。**面積** 7.86m² **長軸方向** N-80°-W **床面** やや締まりの弱い床。西壁から南壁側にカクラン入る。**柱穴** P1北西隅、長径37cm、短径30cm、深さ15cmの楕円形。P2南東隅、長径38cm、短径32cm、深さ13cmの円形。P3北東隅、長径43cm、短径37cm、深さ20cmの楕円形。**カマド** 西壁の中央やや北寄りに位置する。主軸方向はN-73°-W。全長58cm、最大幅55cm、焚口部幅40cm。南側の袖はカクランにより壊されている。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀後半以降と考えられる。**遺物** 土師器平底の坏片、石等出土。

H-28号住居跡〔第36図、図版19〕

位置 X118・119、Y231・232グリッド **形状** 隅丸正方形を呈す。**規模** 長軸3.41m、短軸2.98m、確認面から床面までの壁高12～20cm。**面積** 9.53m² **長軸方向** N-5°-E **床面** 平坦な床でやや軟質。**柱穴** P1北西隅、長径50cm、短径42cm、深さ21cmの楕円形。P2北東隅、長径66cm、短径52cm、深さ35cmの楕円形。P3南東隅、長径52cm、短径51cm、深さ20cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-98°-E。全長93cm、最大幅86cm、焚口部幅46cm。加工してある焼けた粘土出土。**時期** 埋土や出土遺物から9世紀代と考えられる。**遺物** 砥石1点を掲載した。他に「コ」の字状口縁の土師器甕片、須恵器蓋片等出土。

H-29号住居跡〔第37図、図版19〕

位置 X117・118、Y229・230グリッド **重複** H-30・36と重複しH-36を掘り込んでいる。 **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸[4.04]m、短軸[3.92]m、確認面から床面までの壁高32～44cm。**面積**[11.36]m² **長軸方向**(N-1°-W) **床面** 硬化面あり。**柱穴** P1北東壁寄り、長径52cm、短径45cm、深さ14cmの楕円形。P2南壁側やや東寄り、長径40cm、短径36cm、深さ18cmの円形。P3南東隅、長径70cm、短径68cm、深さ32cmの楕円形。P4東壁中央、長径30cm、短径27cm、深さ16cmの円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-80°-E。全長92cm、最大幅110cm、焚口部幅51cm。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏1点を掲載した。

H-30号住居跡〔第37図、図版19〕

位置 X116・117、Y230・231グリッド **重複** 北壁側でH-29・36と重複。**形状**(正方形)を呈す。**規模** 長軸[4.25]m、短軸[2.30]m、確認面から床面までの壁高15～18cm。**面積**[7.06]m² **長軸方向** 不明。**床面** 北側がH-36と重複し、H-36の埋土を利用して貼床にしている。**柱穴** P1北壁寄り中央、長径47cm、短径40cm、深さ13cmの円形。P2南壁寄り中央、長径45cm、短径 34cm、深さ16cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径86cm、短径75cm、深さ21cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-101°-E。全長109cm、最大幅108cm、焚口部幅37cm。**時期** 埋土や出土遺物から9世紀代と考えられる。**遺物** 「コ」の字状口縁の土師器甕片、須恵器高台付椀片等出土。

H-31号住居跡〔図版19〕

位置 X116・117、Y231・232グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸[3.81]m、短軸[2.72]m、確認面から床面までの壁高53～58cm。**面積**[8.57]m² **長軸方向**(N-7°-E) **床面** 中央付近に硬化面あり。壁周溝は南、北壁側を巡る。**柱穴** P1北東隅、長径77cm、短径66cm、深さ21cmの楕円形。P2南東壁寄り、長径40cm、短径32cm、深さ19cmの楕円形。P3南東隅、長径38cm、短径31cm、深さ17cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-99°-E。全長109cm、最大幅110cm、焚口部幅38cm。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀代と考えられる。**遺物** 土師器丸底の坏片・甕片等出土。

H-32号住居跡（小鍛冶跡）〔第37・38図、図版19・20〕

位置 X116・117、Y233・234グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸3.57m、短軸3.10m、確認面から床面までの壁高40～50cm。**面積** 10.84m² **長軸方向** N－2°－W **床面** やや凸凹のある堅い床。壁周溝は東壁、南壁側の一部を除き巡る。**柱穴** P 1南東隅、長径45cm、短径35cm、深さ13cmの楕円形。P 2北東隅、長径41cm、短径(35)cm、深さ38cmの円形。(B-12の柱穴になる)。P 3南西隅、長径30cm、短径16cm、深さ12cmの楕円形。**土坑** D－1東壁寄り中央、長径114cm、短径72cm、深さ38cmの楕円形。D－2中央に検出。長径67cm、短径44cm、深さ5cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-88°-E。全長81cm、最大幅104cm、焚口部幅32cm。**炉跡** 中央から北壁寄りに位置する。長径55cm、短径47cm、壁高10cm。**時期** 埋土や出土遺物から9世紀中葉と考えられる。**遺物** 土師器坏2点・小型台付甕1点・甕1点、須恵器坏1点、石製紡錘車1点、砥石1点、釘2点を掲載した。

H-33号住居跡〔第38図、図版20〕

位置 X115、Y234・235グリッド **形状** 不明。**規模** 長軸[2.11]m、短軸[0.9]m、確認面から床面までの壁高58～64cm。**面積**[1.31]m² **長軸方向** 不明。**床面** やや凸凹のある堅い床。**柱穴** 検出されなかった。**カマド** 東側に位置する。主軸方向はN-102°-E。全長[73]cm、最大幅[51]cm、焚口部幅[27]cm。カマドの両袖部分は調査区外のため不明。**時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半～7世紀初頭と考えられる。**遺物** 土師器坏1点を掲載した。

H-34号住居跡〔第38図、図版20〕

位置 X119・120、Y238・239グリッド **重複** H-35と南壁側で重複する。**形状**(正方形)を呈す。**規模** 長軸[3.95]m、短軸[3.31]m、確認面から床面までの壁高40～52cm。**面積**[11.04]m² **長軸方向**(N－3°-W) **床面** 南壁側の一部がH-35の埋土を利用して貼床としている。ロームに軽石を含む黒褐色土で堅く締まっている。**柱穴** P 1南西隅、長径52cm、短径43cm、深さ70cmの楕円形。**カマド** 調査区外のため不明。**時期** 埋土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。**遺物** 須恵器高台付埦1点を掲載した。

H-35号住居跡〔第38図、図版20〕

位置 X119・120、Y238・239グリッド **重複** H-34と重複する。**形状** 不明。**規模** 長軸[2.10]m、短軸[1.78]m、確認面から床面までの壁高60～62cm。**面積**[2.08]m² **長軸方向** 不明。**床面** 堅い床面。**柱穴** P 1北西隅、長径29cm、短径27cm、深さ12cmの円形。**カマド** 不明。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀代と考えられる。**遺物** 土師器甕片等出土。

H-36号住居跡〔第37図、図版19〕

位置 X117、Y230・231グリッド **重複** H-29・30が掘り込んでいる。**形状** 不明。**規模** 長軸[3.62]m、短軸[1.51]m、確認面から床面までの壁高25～29cm。**面積**[4.70]m² **長軸方向** 不明。**床面** 重複によってH-29に掘り込まれている。H-30が一部H-36の埋土を利用し貼床としている。**柱穴** P 1南東壁寄り、長径31cm、短径26cm、深さ12cmの楕円形。P 2南東隅、長径52cm、短径41cm、深さ20cmの楕円形。P 3南壁中央、長径34cm、短径31cm、深さ14cmの円形。**カマド** 不明。**時期** 埋土や出土遺物から8世紀前半と考えられる。**遺物** 土師器坏2点を掲載した。

H-37号住居跡〔第38・39図、図版20〕

位置 X123・124、Y214～216グリッド **形状**（隅丸長方形）を呈す。**規模** 長軸[6.92]m、短軸[5.82]m、確認面から床面までの壁高50～57cm。**面積**[23.22]m² **長軸方向**(N-59°-E) **床面** 平坦な堅い床面。中央付近から南壁寄りにベンガラ出土範囲あり。周溝は南壁、東壁側に巡る。**柱穴** P 1南西壁寄り、長径72cm、短径68cm、深さ58cmの円形。P 2南東壁寄り、長径58cm、短径55cm、深さ34cmの円形。P 3北東壁寄り、長径32cm、短径[21]cm、深さ38cmの(円形)。**貯蔵穴** 南東隅、長径59cm、短径53cm、深さ103cmの楕円形。**はしご穴** 南東壁側、長径21～38cm、短径20～31cm、深さ10～15cm、柱穴間芯々で74cmの幅をもつ。**カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向はN-55°-E 。全長110cm、最大幅113cm、焚口部幅76cm。**時期** 埋土や出土遺物から6世紀後半～7世紀初頭と考えられる。**遺物** 土師器坏2点・甕2点、砥石1点を掲載した。

(2) **周溝状遺構**〔第27図、図版21〕

位置 X114～116、Y208～210グリッド **重複** 周溝でD-2・3・10と重複。台部でD-1とP-74が重複。いずれも掘り込んでいる。**形状** 隅丸正方形を呈す。**規模** 台部長径(南北)6.00m、短径(東西)5.85m、全体長径（南北)7.15m、短径(東西)7.00m。**長軸方向** N-27°-W **周溝** 緩やかなU字形を呈する。上幅32～84cm、下幅22～60cm、深さ6～23cmを測る。**時期** 特定できる遺物の出土はなかった。周辺の調査では五代江戸屋敷遺跡、五代竹花II遺跡で検出している。**遺物** 土師器片と石器片が出土。

(3) **T-1号竪穴状遺構**〔第27図、図版20〕

位置 X116、Y215・216グリッド **重複** 西壁側でD-71と重複。**形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸2.60m、短軸2.33m、確認面から床面までの壁高10～17cm。**面積** 5.45m² **長軸方向** N-77°-E **床面** 平坦なロームの床面 **時期** 特定できる遺物の出土はなかった。**遺物** 土師器・甕・坏、須恵器・坏片出土。

(4) **井戸跡**〔第39図、図版21〕

A・B・D区で計4基を検出した。形状はロート状(I-1・2・4)と円筒形(I-3)である。ロート状は台地のA・D区で、円筒形はB区で谷地の縁辺部に検出され、浅い面での湧水があった。ロート状からは、土師器・須恵器片等が上面より出土している。埋土状況から人為的な埋め戻しが考えられる。円筒形は、標高が一番低い位置で井戸に適した場所にある。時期は埋土から近世頃と考えられる。計測値は、第10表にまとめて報告する。

第10表　井戸跡計測表

〔 〕は検出値を表す。

遺構番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
I-1	X116、Y216・217	210	196	[190]	楕円形	ロート状の掘り込み。土師器甕・坏片、須恵器甕片、石
I-2	X131・132、Y205・206	250	235	[200]	楕円形	ロート状の掘り込み。土師器甕・坏片、須恵器甕・坏片、砥石
I-3	X140、Y208・209	155	127	[158]	楕円形	円筒形の掘り込み。土師器甕・坏片、須恵器甕片
I-4	X118・119、Y198・199	265	230	[245]	楕円形	ロート状の掘り込み。

(5) **溝　跡**〔第27・32図、図版21〕

A～D区で10条検出した。A区のW-3は、上幅250cm、深さ75cmを測り規模が大きい。掘り込みは薬研状を呈し、東西方向に検出した。また平成12年度調査のW-12やB区のW-5・6につながる溝で、走行はきわめて直線的、あるいは直角に折れ曲がるなどの特色をもつ。またW-2・9も埋土などが類似し、出土遺物もW-2で石臼片、W-3から軟質陶器片などの出土があり同時期が考えられ、一定範囲を区画する溝の一部と思われ中世以降の出現が考えられる。他の溝からは時期を特定する遺物はなかった。計測値は、第11表にまとめて報告する。

第11表　溝跡計測表

遺構番号	遺構位置	長さ(m)	上幅 下幅(cm)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(‰)	流水方向	備考
W-1	X117～120 Y209～218	38.5	80～100 40～60	25～30	NE125.70 SW125.61	2.3	NE→SW	
W-2	X112～115 Y209・210	12.5	120～140 50～70	45～50	SE125.47 NW125.43	3.2	SE→NW	土師器、須恵器片、石臼
W-3	X109～119 Y216～220	43.2	上250 中120 下80	70～75	NW124.82 SE124.44	8.8	NW→SE	薬研状。平成12年度のW-12につながる。 土師器、須恵器片、軟質陶器片
W-4	X117～119 Y215～218	15.0	80～90 40～50	20～25	NE125.56 SW125.42	9.3	NE→SW	土師器坏片・甕片
W-5	X127～134 Y209～212	30.9	80～110 55～80	10～15	SE125.83 NW125.79 SW125.63	6.5	SE→NW→SW	土師器、須恵器坏・甕片、石器片
W-6	X133・134 Y212・213	5.5	190 120	35	NE125.73 SW125.58	27.3	NE→SW	平成12年度のW-12につながる。土師器坏・甕、須恵器甕・埦片
W-7	X140 Y209～211	12	85～90 50～55	25	NE123.86 SE123.65	17.5	NE→SE	H-21と重複。新しい。土師器坏・甕、須恵器坏片
W-8	X118～123 Y228～230	24	70～95 50～60	20	NW124.43 SE123.99	18.3	NW→SE	平成12年度のW-13につながる。土師器坏・甕、須恵器坏片、石器、縄文片
W-9	X117～122 Y192～195	23.6	250～310 110～140	40～50	SE127.60 NW127.33	11.4	SE→NW	平成12年度のW-7につながる。土師器甕片
W-10	X116～122 Y194～198	28	55～65 35～50	15～18	NE127.67 SW126.91	27.1	NE→SW	平成12年度のW-9につながる。土師器坏・甕片

⑹ 土　坑〔第27・38・39図、図版20〕

土坑は、A～D区から73基検出した。ほとんどの土坑からは時期を特定する遺物の出土はないが、D-62からは古銭6枚が出土した。その中の3枚は渡来銭（開元・元祐・永楽通寶）である。またD-70は、他の土坑より規模が大きく、H-34の北壁を利用して掘られていた。D-62は、古銭の出土状況から墓壙と思われ、D-70はH-34との重複状況から平安時代以降のものと思われる。計測値は、第12表にまとめて報告する。

第12表　土坑計測表

（　）は推定値、［　］は検出値を表す。

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
D-1	X114・115, Y209	335	145	22	楕円形	土師器、須恵器片、縄文片
D-2	X115・116, Y208・209	120	110	25	(楕円形)	D-3と重複。D-3が新しい。土師器片
D-3	X115・116, Y209	115	115	51	円形	D-2と重複。D-2が古い。土師器片
D-4	X116, Y207	108	105	47	円形	土師器、須恵器片
D-5	X116, Y210	165	155	35	円形	土師器、須恵器片
D-6	X118, Y209	105	100	15	円形	
D-7	X121・122, Y210	190	122	19～38	楕円形	球形加工石
D-8	X120, Y211・212	101	100	10	円形	土師器、須恵器片
D-9	X121, Y212	102	102	65	円形	
D-10	X116, Y209	160	(110)	29	楕円形	周溝状遺構と重複する。D-10が新しい。
D-11	X119, Y213	116	110	32	楕円形	位置からB-2に含む。土師器片
D-12	X119, Y213	210	124	12	楕円形	
D-13	X120, Y213・214	148	98	38	楕円形	P-162と重複
D-14	X116, Y218	105	95	31	円形	土師器片
D-15	X116・117, Y211・212	145	120	41	楕円形	土師器片、須恵器片
D-16	X116, Y211・212	130	115	17	楕円形	土師器片
D-17	X115, Y211・212	125	116	21	楕円形	
D-18	X114・115, Y210・211	[190]	168	38	楕円形	重複、W-2を掘り込んでいる。
D-19	X114, Y211	84	83	21	円形	
D-20	X112・113, Y210	158	95	18	楕円形	土師器片
D-21	X112, Y211	145	90	54	楕円形	土師器、須恵器片
D-22	X113, Y211	142	71	46	楕円形	
D-23	X113, Y212	140	82	40	楕円形	
D-24	X112, Y213	80	72	56	円形	須恵器片、石
D-25	X112, Y213	120	94	57	楕円形	
D-26	X111・112, Y213	70	65	10	円形	
D-27	X111, Y213・214	103	85	24	楕円形	土師器片
D-28	X111, Y214	125	110	29	楕円形	
D-29	X110・111, Y214	91	88	12	円形	
D-30	X110, Y214	78	68	12	楕円形	
D-31	X110, Y213	60	55	34	楕円形	
D-32	X110・111, Y215	110	75	23	楕円形	
D-33	X110, Y216	90	85	19	円形	
D-34	X115・116, Y213	90	77	20	楕円形	
D-35	X115・116, Y214・215	130	100	13	楕円形	土師器片
D-36	X116, Y215	112	77	35	楕円形	土師器片
D-37	X116・117, Y215	95	82	31	楕円形	
D-38	X118・119, Y219	128	113	15	楕円形	土師器、須恵器片
D-39	X109, Y218	95	85	10	円形	
D-40	X110, Y218・219	100	95	12	円形	土師器片
D-41	X109, Y219	140	125	31	楕円形	
D-42	X109, Y220	110	95	13	楕円形	
D-43	X108・109, Y220	110	100	11	円形	
D-44	X108, Y221	92	78	16	(楕円形)	P-218と重複。掘り込んでいる。
D-45	X109, Y221・222	88	86	25	円形	石剝片
D-46	X109・110, Y220・221	130	115	18	楕円形	須恵器片
D-47	X110, Y220	115	110	20	円形	
D-48	X110・111, Y221	100	90	15	楕円形	
D-49	X110・111, Y221	104	94	23	楕円形	土師器片
D-50	X111, Y220	100	100	17	円形	土師器片
D-51	X112, Y219	122	118	29	円形	土師器、縄文片
D-52	X112・113, Y219	119	111	41	円形	
D-53	X112・113, Y220	104	100	20	円形	
D-54	X114, Y223	124	120	41	円形	
D-55	X114・115, Y223	130	115	38	楕円形	P-206と重複。
D-56	X116, Y225	135	121	46	楕円形	P-212と重複。
D-57	X116, Y222・223	130	114	44	楕円形	P-221と重複。須恵器片
D-58	X116・117, Y222	136	135	32	円形	P-186と重複。土師器、須恵器片、黒曜石片
D-59	X116・117, Y222・223	86	84	19	円形	
D-60	X118, Y223	120	77	21	楕円形	
D-61	X116・117, Y220	93	90	12	円形	
D-62	X114, Y215	100	70	15	楕円形	古銭6枚出土。
D-63	X129, Y210	115	105	34	楕円形	土師器、須恵器片
D-64	X131, Y212	155	85	38	楕円形	石
D-65	X137, Y214	125	124	17	円形	土師器片
D-66	X138, Y208	190	110	14	楕円形	土師器片
D-67	X134, Y213	[130]	[105]	51	楕円形	W-6と重複。
D-68	X133・134, Y212・213	[235]	[115]	40	楕円形	W-6と重複。
D-69	X133・134, Y213	[200]	[50]	45	(楕円形)	W-6と重複。
D-70	X119・120, Y238	326	165	71	楕円形	H-34と重複。掘り込んでいる。土師器、須恵器片
D-71	X116, Y215・216	110	80	33	楕円形	
D-72	X117, Y193	124	120	24	円形	
D-73	X122, Y214	118	[98]	40	(円形)	H-7と重複。H-7を掘り込んでいる。土師器、須恵器片

(7) ピット

ピットは294基検出した。その分布範囲はA・C区に集中し、その配置から掘立柱建物跡を12棟組むことが出来た。その他のピットは掘り込みが浅く、径の小さいものが多い。遺物の出土は少なく、時期不明のものが多い。計測値は、第13表にまとめて報告する。

第13表　ピット計測表

（　）は推定値、［　］は検出値を表す。

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-1	X114, Y206	36	31	36	円形	B-1
P-2	X115, Y206	30	29	42	円形	B-1
P-3	X115, Y207	55	45	60	楕円形	B-1。土師器坏片
P-4	X114, Y207	41	32	36	楕円形	
P-5	X114, Y207	40	36	51	円形	B-1
P-6	X114, Y207	62	49	52	楕円形	B-1
P-7	X113, Y207・208	50	47	37	円形	B-1
P-8	X113, Y207	36	35	23	円形	B-1
P-9	X114, Y206	34	32	53	円形	B-1
P-10	X113, Y208	44	40	28	円形	
P-11	X113, Y209	40	39	40	円形	
P-12	X113, Y208・209	45	41	23	円形	
P-13	X113, Y209	27	27	20	円形	
P-14	X115, Y208	70	69	26	円形	
P-15	X116, Y208	61	57	31	円形	
P-16	X117, Y208	[34]	32	39	(円形)	P-17と重複
P-17	X117, Y208	[50]	48	44	(円形)	P-16と重複
P-18	X117、Y208	52	50	26	円形	
P-19	X118, Y209	52	40	31	楕円形	
P-20	X118, Y209	38	36	28	円形	
P-21	X118, Y209	30	28	30	円形	
P-22	X118, Y208・209	50	42	24	楕円形	
P-23	X118, Y208	40	38	28	円形	
P-24	X120, Y210	33	32	10	円形	
P-25	X120, Y211	37	35	25	円形	鬼高の坏片出土。
P-26	X120, Y211	40	38	30	円形	
P-27	X122・123, Y211	60	57	21	円形	
P-28	X121, Y211	52	50	37	円形	
P-29	X121, Y211	57	50	17	楕円形	
P-30	X121, Y212	45	43	50	円形	土師器甕片
P-31	X121, Y212	47	43	19	円形	
P-32	X121, Y212	40	[39]	27	(円形)	P-33と重複。P-32が新しい。土師器甕片
P-33	X120・121, Y212	42	[37]	24	(円形)	P-32と重複。土師器片
P-34	X120, Y212	40	39	36	円形	
P-35	X120, Y211	30	27	35	円形	
P-36	X120, Y212	52	43	33	楕円形	鬼高の坏片出土。
P-37	X120, Y211	39	35	24	円形	土師器甕片
P-38	X120, Y211	45	39	33	楕円形	
P-39	X119, Y211・212	37	36	28	円形	B-2
P-40	X119・120, Y212	40	39	30	円形	B-2
P-41	X120, Y212	49	47	33	円形	B-2
P-42	X119, Y213	40	38	40	円形	B-2
P-43	X118, Y213	53	50	11	円形	B-2
P-44	X118, Y213	42	40	60	円形	B-2
P-45	X118, Y212	45	35	16	楕円形	
P-46	X118, Y212	43	43	30	円形	B-2
P-47	X119, Y212	32	30	40	円形	B-2
P-48	X118, Y211	50	40	56	楕円形	B-4
P-49	X118, Y211	40	30	58	楕円形	B-4
P-50	X118, Y212	37	33	30	円形	
P-51	X118, Y212	35	33	36	円形	B-4
P-52	X118, Y211・212	35	32	27	円形	
P-53	X118, Y212	42	38	50	円形	B-2
P-54	X118, Y212・213	35	35	40	円形	
P-55	X118, Y213	38	35	16	円形	
P-56	X118, Y213	42	39	30	円形	
P-57	X117, Y211	40	36	34	円形	
P-58	X116・117, Y211	54	49	33	円形	
P-59	X116, Y211	74	57	42	楕円形	
P-60	X117, Y211	37	33	51	円形	
P-61	X117, Y211	60	56	36	円形	
P-62	X117, Y211	35	35	52	円形	
P-63	X117, Y212	35	31	33	円形	
P-64	X117, Y212	33	30	11	円形	
P-65	X117, Y212	53	37	13	楕円形	
P-66	X117, Y211・212	43	35	33	楕円形	
P-67	X117, Y211・212	50	45	17	楕円形	
P-68	X117, Y212	43	37	46	楕円形	
P-69	X116, Y212	67	60	50	楕円形	土師器甕片
P-70	X116, Y212	62	50	21	楕円形	
P-71	X116, Y212	55	45	27	楕円形	
P-72	X115, Y212	30	30	31	円形	
P-73	X115, Y212	38	34	33	円形	
P-74	X116, Y209	89	86	35	円形	
P-75	X115, Y210	47	45	27	円形	
P-76	X118, Y211	40	31	28	楕円形	B-4
P-77	X114, Y212	47	44	11	円形	
P-78	X115, Y212	55	46	10	楕円形	
P-79	X113, Y215	26	25	20	円形	
P-80	X113, Y211	55	53	28	円形	
P-81	X112・113, Y212	58	54	32	楕円形	
P-82	X113, Y212・213	45	40	33	円形	
P-83	X112, Y213	40	37	16	円形	
P-84	X111, Y213	35	34	19	円形	
P-85	X113, Y213・214	45	40	46	楕円形	
P-86	X113, Y214	31	28	32	円形	
P-87	X111, Y214	31	29	28	円形	
P-88	X115, Y212	45	44	52	円形	
P-89	X111, Y215	32	26	30	円形	
P-90	X111, Y215	27	26	20	円形	
P-91	X114, Y216	35	32	20	楕円形	
P-92	X114, Y216	33	32	23	円形	
P-93	X115・116, Y211	37	37	21	円形	
P-94	X117, Y212・213	90	62	17	楕円形	
P-95	X111・112, Y215	30	27	22	円形	
P-96	X111・112, Y215	27	26	17	円形	

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-97	X112, Y215	63	60	13	円形	
P-98	X112, Y215	29	28	24	円形	
P-99	X111・112, Y216	30	29	12	円形	
P-100	X112, Y217	42	37	32	円形	
P-101	X111, Y218	45	42	28	円形	
P-102	X112, Y217	38	37	17	円形	
P-103	X113, Y217	52	43	41	楕円形	
P-104	X114, Y215	45	44	84	円形	B-5
P-105	X114, Y215	45	45	83	円形	B-5
P-106	X115, Y215	44	43	50	円形	B-5
P-107	X115, Y215	40	36	25	円形	B-5
P-108	X115, Y216	42	40	54	円形	B-5
P-109	X116, Y223	60	55	20	円形	土師甕片、石器剝片
P-110	X117, Y223	63	40	17	楕円形	
P-111	X113, Y216	43	42	28	円形	B-5
P-112	X113, Y215・216	65	51	41	楕円形	B-5
P-113	X113, Y215	39	35	48	円形	B-5。土師器・須恵器坏・甕片
P-114	X115, Y215	25	25	16	円形	
P-115	X115, Y215・216	35	26	22	楕円形	須恵器甕片
P-116	X115・116, Y215	65	40	12	楕円形	
P-117	X116, Y215	45	32	22	楕円形	
P-118	X116, Y215	45	37	14	楕円形	
P-119	X116, Y216	31	30	14	円形	
P-120	X116, Y216・217	55	51	15	円形	
P-121	X118, Y214	49	37	28	楕円形	
P-122	X118, Y217	46	41	21	円形	B-6。W-4と重複。土師器甕、須恵器坏片
P-123	X117, Y216	27	26	17	円形	
P-124	X119, Y216	37	35	14	円形	土師器坏片
P-125	X117, Y216	50	47	22	円形	
P-126	X109, Y217	60	42	45	楕円形	B-7
P-127	X109・110, Y217	40	30	25	楕円形	B-7
P-128	X110, Y217	40	39	30	円形	B-7
P-129	X116, Y214	45	40	23	円形	
P-130	X117, Y214	45	37	15	楕円形	
P-131	X117, Y214	39	39	10	円形	
P-132	X117, Y214	39	37	31	円形	
P-133	X118, Y214	50	30	32	楕円形	
P-134	X118, Y215	55	50	17	楕円形	
P-135	X115, Y221・222	51	51	35	円形	
P-136	X117, Y215	60	50	10	楕円形	
P-137	X116・117, Y215	36	35	13	円形	
P-138	X117, Y215	46	30	14	楕円形	
P-139	X117, Y214・215	56	45	33	楕円形	B-3
P-140	X117, Y214	45	35	25	楕円形	B-3
P-141	X118, Y214	40	35	37	楕円形	B-3
P-142	X118, Y214	46	45	53	円形	B-3
P-143	X118, Y215	57	42	35	楕円形	B-3
P-144	X118, Y215	65	60	50	円形	B-3
P-145	X118, Y216	72	60	12	楕円形	B-3
P-146	X118, Y216	56	43	47	楕円形	B-3
P-147	X118, Y216	40	37	15	円形	B-3
P-148	X117, Y216	55	55	23	円形	B-3
P-149	X117, Y216	45	45	26	円形	B-3。W-1と重複。
P-150	X117, Y216	47	43	35	円形	B-3
P-151	X117, Y215	55	40	36	楕円形	B-3
P-152	X117, Y217	55	50	47	円形	B-6
P-153	X118, Y217	50	45	39	円形	B-6
P-154	X118, Y217	48	45	32	円形	B-6
P-155	X118, Y217	43	40	18	円形	B-6。土師器甕片
P-156	X118, Y218	58	57	32	円形	B-6
P-157	X118, Y218	55	52	38	円形	B-6。土師器坏・甕片
P-158	X117, Y218	56	51	32	円形	B-6
P-159	X117, Y217	57	46	46	楕円形	B-6
P-160	X118, Y217	40	36	33	円形	土師器坏・甕片
P-161	X116, Y218	43	40	17	円形	
P-162	X120, Y214	65	[61]	38	(円形)	D-13・P-163と重複。
P-163	X120, Y214	61	60	21	円形	P-162と重複。
P-164	X120, Y214	65	59	28	円形	
P-165	X120・121, Y214	55	41	23	楕円形	
P-166	X109, Y216	43	28	47	楕円形	B-7。W-3と重複。
P-167	X122, Y214	40	35	24	楕円形	
P-168	X121・122, Y215	70	69	56	円形	
P-169	X121, Y215	49	47	26	円形	
P-170	X121, Y215	55	42	30	楕円形	
P-171	X121, Y215	65	50	44	楕円形	
P-172	X121, Y216	[45]	[33]	16	(楕円形)	東側は調査区外。
P-173	X120, Y215	37	33	8	円形	
P-174	X119, Y216	32	30	15	円形	
P-175	X119, Y216	28	28	7	円形	
P-176	X119・120, Y217	35	35	10	円形	
P-177	X120, Y217	40	30	10	楕円形	
P-178	X120, Y217	45	40	11	楕円形	
P-179	X120, Y217	30	29	12	円形	
P-180	X120・121, Y217	46	41	35	円形	
P-181	X120, Y217	55	41	16	楕円形	P-182と重複。P-182が新しい。
P-182	X120, Y217	50	47	27	楕円形	P-181と重複。
P-183	X110, Y216	45	40	36	楕円形	B-7。縄文片
P-184	X110, Y216	47	40	16	楕円形	B-7。土師器甕片
P-185	X116, Y222	65	55	36	楕円形	B-8
P-186	X116, Y222	45	[40]	17	(円形)	D-58・P-220と重複。
P-187	X116, Y222	57	55	46	楕円形	B-8。土師器甕片
P-188	X116, Y223	70	65	52	楕円形	B-8
P-189	X116, Y223	71	70	53	円形	B-8
P-190	X116, Y223	89	62	35	楕円形	B-8。土師器甕片
P-191	X116, Y222	62	60	32	円形	B-8
P-192	X115, Y223	45	45	31	円形	土師器甕片
P-193	X115・116, Y223	47	40	30	楕円形	土師器坏・甕片、須恵器蓋片
P-194	X115, Y223	50	48	47	円形	B-9
P-195	X115, Y223	45	40	28	円形	
P-196	X115, Y224	38	33	14	円形	B-9
P-197	X115, Y224	36	35	15	円形	
P-198	X115, Y224	75	52	35	楕円形	B-9
P-199	X115, Y224	60	55	24	円形	
P-200	X115, Y224	55	53	35	円形	B-9

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-201	X114, Y224	51	50	24	円形	B-9
P-202	X114, Y224	35	30	10	円形	
P-203	X114, Y224	65	45	17	楕円形	B-9
P-204	X114, Y223	60	55	14	円形	
P-205	X114, Y223	50	40	10	楕円形	B-9
P-206	X115, Y223	45	41	15	円形	B-9。D-55と重複
P-207	X114, Y223	23	22	17	円形	
P-208	X115, Y223	44	42	30	円形	
P-209	X114, Y224	25	23	17	円形	
P-210	X116, Y222	58	50	45	楕円形	B-8。土師器甕片、黒曜石片
P-211	X116, Y225	70	60	19	楕円形	
P-212	X116, Y225	75	[70]	32	楕円形	D-56と重複。
P-213	X116・117, Y225	55	50	50	円形	土師器・須恵器坏片
P-214	X116・117, Y225・226	65	50	18	楕円形	土師器甕片
P-215	X109, Y222	60	60	30	円形	
P-216	X108・109, Y221	60	58	25	円形	
P-217	X108, Y221	45	35	58	楕円形	
P-218	X108, Y221	45	44	15	円形	D-44と重複。
P-219	X107・108, Y221	52	43	25	楕円形	
P-220	X116, Y222	[50]	[47]	[45]	円形	B-8。D-58・P-186と重複。
P-221	X116, Y222	55	50	68	円形	B-8。D-57と重複。D-57が新しい。
P-222	X126, Y210	37	35	15	円形	
P-223	X126, Y210	35	34	30	円形	
P-224	X127, Y210	35	35	15	円形	
P-225	X128, Y210	35	31	27	円形	
P-226	X128, Y210	33	29	25	円形	
P-227	X128, Y210	50	45	27	円形	
P-228	X129, Y210	35	35	23	円形	
P-229	X129, Y211	34	30	21	円形	
P-230	X130, Y211	45	40	22	円形	
P-231	X120, Y225	75	64	65	楕円形	土師器坏・甕片
P-232	X119・120, Y226	77	75	43	円形	B-10。土師坏・甕片
P-233	X119・120, Y227	82	68	50	楕円形	B-10。土師坏・甕片
P-234	X119・120, Y227	110	86	56	楕円形	B-10。土師器甕片
P-235	X120, Y227	67	65	28	円形	
P-236	X120, Y227	70	55	42	楕円形	
P-237	X119, Y228	77	72	60	楕円形	B-10
P-238	X122, Y228	47	36	32	楕円形	
P-239	X122, Y228	50	45	46	円形	B-11
P-240	X122, Y228	45	40	30	円形	B-11
P-241	X123, Y228	70	60	22	楕円形	P-242と重複。P-242を掘り込んでいる。土師器甕片
P-242	X123, Y228	75	60	31	楕円形	B-11。P-241と重複。
P-243	X123・124, Y228	70	63	36	楕円形	B-11
P-244	X124, Y227・228	95	88	41	楕円形	土師器坏片
P-245	X122, Y228・229	124	85	58	楕円形	B-11。土師器・須恵器坏片
P-246	X119, Y227	57	40	26	楕円形	土師器坏・甕、須恵器甕片
P-247	X120, Y229	45	45	36	円形	
P-248	X120, Y229	55	52	17	円形	
P-249	X118, Y229	50	50	34	円形	
P-250	X118, Y233	55	50	41	円形	B-12。土師坏・甕片
P-251	X117, Y233	65	63	45	円形	B-12
P-252	X116, Y233	44	42	33	円形	
P-253	X117, Y234	59	55	42	円形	B-12。土師器甕片
P-254	X117, Y234	86	72	50	楕円形	B-12。土師器坏・甕、須恵器坏片
P-255	X118, Y234	60	58	59	円形	B-12。土師坏・甕片
P-256	X116, Y234	56	55	67	円形	
P-257	X117, Y235	51	45	24	楕円形	土師器坏片
P-258	X117, Y235	70	55	30	楕円形	
P-259	X118, Y236	40	39	40	円形	土師器坏片
P-260	X118, Y236	44	39	28	(楕円形)	
P-261	X119, Y236	40	37	26	円形	土師器坏片
P-262	X119, Y237	75	68	35	楕円形	
P-263	X119, Y238	50	50	24	円形	
P-264	X119, Y238	33	32	39	円形	P-265と重複。
P-265	X119, Y238	35	30	37	(円形)	P-264と重複。
P-266	X119, Y227・228	[75]	70	55	楕円形	B-10
P-267	X118, Y227・228	90	55	60	楕円形	B-10
P-268	X118, Y227	85	75	46	楕円形	B-10
P-269	X118, Y226	[55]	[55]	[58]	(楕円形)	B-10。西側は調査区外
P-270	X113, Y206	35	29	[92]	円形	B-1。西側は調査区外
P-271	X122, Y229	40	36	26	円形	B-11
P-272	X123, Y229	45	39	37	円形	B-11
P-273	X123, Y229	55	55	64	円形	B-11
P-274	X123, Y228	55	51	39	円形	B-11
P-275	X118, Y233	54	50	37	円形	B-12
P-276	X116, Y234	57	56	36	円形	
P-277	X122, Y229	57	53	37	円形	B-11
P-278	X117, Y233	[32]	[30]	43	円形	B-12。H-32の東壁側にある。
P-279	X114, Y216	(42)	40	19	円形	B-5。H-12を掘り込んでいる。
P-280	X117, Y231・232	44	35	35	楕円形	
P-281	X122, Y190	50	40	29	楕円形	
P-282	X122, Y190	45	35	38	楕円形	
P-283	X122, Y190	29	27	28	円形	
P-284	X120・121, Y190・191	95	75	17	楕円形	
P-285	X122, Y192	65	60	27	楕円形	
P-286	X121・122, Y192	61	57	23	楕円形	
P-287	X120, Y192	75	62	29	楕円形	
P-288	X116, Y196	75	67	8	楕円形	
P-289	X116, Y197	100	69	33	楕円形	
P-290	X116, Y198	90	70	34	楕円形	
P-291	X116, Y198	47	45	28	円形	
P-292	X121, Y191	45	39	16	楕円形	
P-293	X119, Y191	37	35	12	円形	
P-294	X121, Y196・197	80	53	20	楕円形	

⑻ 掘立柱建物跡〔第27・39図、図版21〕

A・C区で計12棟を検出した。規模は1間×1間から3間×4間までのものがある。分布状況はA区で9棟検出し、その中のB-3・5・6は調査区の中央でL字形に配列が見られ、B-6は総柱と思われる柱穴列である。C区では3棟検出し、主軸方向が磁北を中心にまとまっている。また掘立柱建物跡と住居跡との配置で見ると、A区のB-2・3・4・5・6とA・C区のB-8・9・10・11・12などは近接しており、いずれも倉庫と考えられる総柱のB-6・8をともなってまとまっている。時期を明確にする遺物の出土はないが、付近の住居跡検出時期やB-8・10の角形に掘られた柱穴状況、埋土などからすると6世紀後半から8世紀にかけて出現したと考えられ、竪穴住居跡と掘立柱建物跡は同時期に存在したと思われる。計測値は、第14表にまとめて報告する。

第14表　掘立柱建物跡計測表

面積の（　）は、不明の柱穴を推定で含んだものを表す。［　］は検出値を表す。

遺構番号	遺構位置	形状	長軸方向（　）は推定	面積（㎡）	柱間寸法（m）（　）は柱穴間の長さ	柱穴（cm） 平・断面形状	長径	短径	深さ	備考
B-1	X113～115 Y206～208	北西2間 北東3間 長方形	(N-66°-E)	(29.63)	2間 P-1・2・3間 3.90(1.95+1.95) P-7・8間 (2.00+調査区外) 3間 P-3・5・6・7間 7.65 (2.85+1.80+3.00) P-1・9・270間 4.80 (2.05+2.75+調査区外)	平面形状 円・楕円形 断面形状 U・V字形	30 ～ 62	29 ～ 49	23 ～ [92]	P-3土師器坏片出土
B-2	X118～120 Y211～213	北西2間 北東3間 長方形	N-61°-E	29.74	2間 P-39・40・41間 4.15(1.65+2.50) P-43・44・53間 4.30(2.15+2.15) 3間 P-41・D-11・P-42・43間 6.90 (2.30+2.30+2.30) P-53・46・47・39間 6.80 (1.90+2.60+2.30)	平面形状 円・楕円形 断面形状 U・V字形	32 ～ 53	30 ～ 50	11 ～ 50	D-11内のピットがB-2となる。
B-3	X117・118 Y214～216	北東 2・3間 北西4間 長方形	N-12°-W	36.04	2・3間 P-146・147・148間 4.60 (3.00+1.60) P-139・140・141・142間 4.50 (1.60+1.30+1.60) 4間 P-142・143・144・145・146間 7.70 (2.10+1.80+2.20+1.60) P-148・149・150・151・139間 7.80 (1.90+1.75+1.85+2.30)	平面形状 円・楕円形 断面形状 U字形	40 ～ 72	35 ～ 60	12 ～ 53	遺物の出土なし。
B-4	X118 Y211・212	北西1間 北東1間 正方形	N-25°-W	3.90	1間 P-48・76間 2.10、P-51・49間 2.10 1間 P-76・51間 1.75、P-49・48間 1.80	平面形状 円・楕円形 断面形状 U・V字形	37 ～ 50	30 ～ 40	28 ～ 58	遺物の出土なし。
B-5	X113～115 Y215・216	北西2間 北東 2・3間 長方形	N-78°-E	22.52	2間 P-106・107・108間 3.75(1.85+1.90) P-111・112・113間 3.70(1.70+2.00) 2・3間 P-108・279・111間 6.10 (2.20+3.90) P-113・104・105・106間 5.90 (1.80+2.30+1.80)	平面形状 円・楕円形 断面形状 U・V字形	39 ～ 65	35 ～ 51	19 ～ 84	P-113土師・須恵器坏・甕片出土。
B-6	X117・118 Y217・218	東西2間 南北2間 長方形	N-3°-W	19.80	2間 P-156・157・158間 4.10(2.20+1.90) P-152・153・154間 4.30(2.40+1.90) 2間 P-154・155・156間 4.80(2.40+2.40) P-158・159・152間 4.90(2.50+2.40) 中心に位置するP-122から P-155間 2.00、P-159間 2.00 P-153間 2.30、P-157間 2.60	平面形状 円・楕円形 断面形状 U字形・段のあるV字形	43 ～ 58	40 ～ 57	18 ～ 47	P-122土師甕・須恵器坏片 P-155土師器甕片 P-157土師器坏・甕片出土。
B-7	X109・110 Y216・217	推定 北東2間 北西3間 長方形	(N-39°-W)	(19.23)	推定2間 P-166・183・調査区外間 2.00 推定3間 P-128・127・126・調査区外間 2.80 (1.40+1.40) P-183・184間 1.80	平面形状 推定長方形 断面形状 U字・鍋底形	40 ～ 60	30 ～ 42	16 ～ 45	部分検出のため全体は不明。 P-183縄文片。 P-184土師器甕片。
B-8	X116 Y222・223	東西2間 南北2間 長方形	N-88°-W	9.60	2間 P-210・185・220間 3.10(1.60+1.50) P-188・189・190間 3.10(1.40+1.70) 2間 P-220・187・188間 3.00(1.50+1.50) P-190・191・210間 3.00(1.40+1.60) 中心に位置するP-221からP-187間 1.50 P-189 間1.55、P-191間 1.50、P-185間 1.60	平面形状 楕円形で底部角形 断面形状 鍋底形	45 ～ 89	55 ～ 70	32 ～ 68	P-187・190・210土師器甕片出土。 P-210黒曜石出土。
B-9	X114・115 Y223・224	北西2間 北東2間 正方形	N-7°-W	20.10	2間 P-194・196・198間 4.50(2.10+2.40) P-201・203・205間 4.70(2.10+2.60) 2間 P-205・206・194間 4.40(2.30+2.10) P-198・200・201間 4.30(2.20+2.10)	平面形状 円・楕円形 断面形状 U字形、緩やかなU字形	23 ～ 75	22 ～ 53	14 ～ 47	遺物の出土なし。

遺構番号	遺構位置	形状	長軸方向（ ）は推定	面積（m²）	柱間寸法（m）（ ）は柱穴間の長さ	柱穴（cm）平・断面形状	長径	短径	深さ	備考
B-10	X118～120 Y226～228	東西2間 南北2間 長方形	(N-10°-E)	(29.10)	2間 P-237・266・267間 4.70(2.30+2.40) 2・3間 P-232・233・234・237間 6.20 (2.20+2.00+2.00) P-267・268・269・不明間 4.20 (2.00+2.20+不明)	平面形状 楕円形で 底部角形 断面形状 U字・鍋底形	77 ～ 110	55 ～ 86	43 ～ 60	一部調査区外。 H-25と重複。 P-232・233・234土師器坏・甕片出土。
B-11	X122～124 Y228・229	南北2間 東西3間 正方形	(N-7°-E)	30.52	2間 P-243・274・273間 5.60(2.00+3.60) P-277・245・239間 5.60(2.00+3.60) 3間 P-273・272・271・277間 5.40 (2.00+1.40+2.00) P-239・240・242・243間 5.70 (1.30+2.80+1.60)	平面形状 円・楕円形 断面形状 U字形	40 ～ 124	36 ～ 85	26 ～ 58	やや南北で狭くなっている。 P-245土師器・須恵器坏片出土。
B-12	X117・118 Y233・234	東西2間 南北2間 正方形	N-1°-E	17.78	2間 P-250・251・H-32P-2間 4.10 (2.10+2.00) P-253・254・255間 4.00(2.00+2.00) 2間 P-250・275・255間 4.50 (2.70+1.80) P-253・278・H-32P-2間 4.40 (2.00+2.40)	平面形状 円・楕円形 断面形状 U・V字形、 鍋底形	54 ～ 86	30 ～ 72	41 ～ 59	H-32号住居P-2が掘立柱建物跡B-12の柱穴となる。 P-250・253・254・255土師器坏・甕片、須恵器坏片出土。

2．まとめ

本遺跡を含む周辺遺跡の調査は、平成12年から15年にかけて計19ヵ所の調査が行われ、東西を開析谷で画された東側・中央・西側台地の3台地の約1km四方の範囲に位置する。

時期別の住居跡分布を見ると、縄文時代では、前期から中期後半にかけての住居跡は64軒が検出されている。前期の住居跡は、西側台地と中央台地の五代中原Ⅰ・Ⅱ、木福Ⅰ、伊勢宮Ⅱ・Ⅴ、山街道Ⅰ遺跡で計16軒が検出されている。中期中葉では、中央台地の伊勢宮Ⅳ・Ⅵ、竹花Ⅱで計26軒、中期後半は中央台地と東側台地の竹花、伊勢宮Ⅱ・Ⅴ、山街道Ⅰ、深堀Ⅰ・Ⅱで計22軒が検出された。その分布状況は、前期では散在的で中期中葉では、中央台地の伊勢宮Ⅵにまとまって検出され、中期後半は中央台地、東側台地に分散している。

古墳時代では、前期から後期にかけての住居跡は282軒が検出されている。前期から中期にかけては、西側台地の北側で中原Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに集中して計77軒、中央台地でも江戸屋敷、伊勢宮Ⅱで計2軒を検出している。後期では、中央台地北側の山街道Ⅰや中央付近で伊勢宮Ⅵとその南側で江戸屋敷、木福Ⅰ、伊勢宮Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ、竹花、竹花Ⅱなどに近接して計125軒を検出し、東側台地では木福Ⅱ・Ⅲ、深堀Ⅱなどに計78軒が検出され、一集落を形成する範囲を示している。

奈良・平安時代では、東側・中央・西側台地で277軒が検出されている。その中で、奈良時代にあたる住居跡は95軒、平安時代は182軒があてはまる。奈良時代では、東側台地の木福Ⅱ・Ⅲ、深堀Ⅱに計51軒、中央台地の江戸屋敷、木福Ⅰ、竹花・竹花Ⅱ、伊勢宮Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵに計44軒を検出している。平安時代でも、同じく東側台地の木福Ⅱ・Ⅲや深堀Ⅰ・Ⅱに計92軒、中央台地の江戸屋敷、木福Ⅰ、竹花・竹花Ⅱ、伊勢宮Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、山街道Ⅰに計72軒、西側台地では、中原Ⅰに18軒を検出している。

以上のことから、各台地の時期別住居跡の分布範囲をあてはめると、西側台地では縄文時代前期、古墳時代前期から中期、平安時代の住居跡が分布しており、中央台地ではわずかに縄文時代前期も見られるが、中期中葉から後半を中心に古墳時代後期から奈良・平安時代まで分布していることがわかる。東側台地では、縄文時代中期後半の住居跡はわずかに検出されたが、中心は古墳時代後期から奈良・平安時代の住居跡で、木福Ⅱ・Ⅲ遺跡がその中心にあたる集落と思われる。また、西側台地から中央台地、東側台地へと時代によって集落が広がる状況が見られ、縄文時代からだんだんと南下する傾向が見られる。（住居跡の検出数は、五代の各報告書を参考に時期不明を除き算出した。また、各遺跡の位置は第1図遺跡位置図・グリッド設定図を参照。）

次に、東側台地に位置する本遺跡について考察したいと思う。

古墳時代後期・奈良・平安時代の住居跡について

木福Ⅲ遺跡は、東西を開析谷に挟まれた東側台地の一部にある。北から南に向かって緩やかに傾斜する台地に竪穴住居跡37軒、周溝状遺構1基、竪穴状遺構1基、井戸跡4基、溝跡10条、土坑73基、ピット294基、掘立柱建物跡12棟を検出した。縄文時代から古墳時代中期までの住居跡の検出はなく空白の時期が見られるが、古墳時代後期から奈良・平安時代と継続する地域である。ここでは検出した住居跡についてまとめた。

古墳時代後期　A・B・C調査区で14軒を検出した。A区では台地の平坦部に半環状に並び、B区では台地と南東側の傾斜地で谷地に近いところに住居跡があり、C区では僅かに1軒を検出した。住居跡の規模はH-2の9.92m²からH-7の35.18m²まであり、大型住居跡はA・B区のH-7・21・22・37（部分検出推定で）などがある。H-7は壁際や床面に炭化材の検出があり、その状況から焼失住居跡と思われる。また、B区のH-21・22は谷地の縁辺部に位置し、南東側の壁や床面は地山のローム土ではなく、谷地を埋めた黒褐色粘質土で住居跡を構築していた。さらに、H-37の床面からはベンガラが検出されている。カマドは東壁に付設するものが大半であるが、H-18では東壁と西壁に検出した。東カマドは煙道が長く、西カマドは短い煙道で構築材に石や粘土を使用していた。残存状況から同時に存在したものではなく、東から西への作り替えと考えられる。また、H-21カマド焚口部より長胴甕が両袖口を横向きにふさぐ状態で重なって出土した。焚口部の前面に横に渡して鳥居状に組んだものが、上からの土圧で落下したものとみられる。これと全く同様なカマドがH-22でも見られ、共通したカマド構造がみられる。この時期は、大型住居跡を中心にした集落構成が見られるとともに、H-21・22など低地への移行も見てとれる。また、付近に点在する掘立柱建物跡との関係を主軸方向で見た場合、大型住居跡のH-7・37とB-1・2・4が直交するかたちでまとまりをもつ。また、7世紀代のH-10・13もB-3・5と直交してまとまりをもち、6世紀後半から7世紀代にかけての集落では、竪穴住居跡と掘立柱建物が、セットとなって有力階層の屋敷が構成されていたとみられる。古墳時代後期の住居跡は、全体の37.8%にあたる。

奈良時代　A・B・C区の台地を中心に15軒を検出した。住居跡の規模は、H-27の7.86m²からH-3の26.97m²までのものがあり、全体では小型化する傾向が見られる。カマドはH-27の西カマドを除き、東壁側に付設している。H-26カマドは、構築材に粘土と焚口部の天井部分に四角に加工した截石2個を立て、燃焼部にも支石として截石を使用している。また、検出した住居跡には掘立柱建物跡が近接しており、H-15・26・29・31はB-10・11・12と主軸方向が磁北を中心にまとまりが見られることから、ほぼ同時期に存在したと考えられる。また、南側の木福II遺跡（12年度調査）で検出した掘立柱建物跡とも近接しており、A・C区を中心に掘立柱建物跡をともなった、集落構成であったことが読みとれる。奈良時代の住居跡は、全体の40.6%にあたる。

平安時代　A・B・C区に8軒を検出した。住居跡の規模は完掘できたH-1で9.26m²、H-24で17.88m²のものがあり、奈良時代にくらべ軒数は少なく、より小型化する。H-32では、カマドの他に北壁側に炉跡の検出があった。明黄褐色粘土を主体に作られ形状は楕円形で、規模は径47cm×55cmを測り、壁高は10cmを測る。付近からは鉄滓や鍛造剝片や鉄床石、砥石、D-1からは釘などの鍛冶に関する遺物の出土があり、他の出土遺物からも、9世紀代にあった鍛冶工房跡と思われる。また、北西方向約350mに位置する五代伊勢宮VI遺跡（平成14年度調査）でも、8世紀末とされる鍛冶工房跡が検出されている。時期とともに集落の拡大や鉄製品の需要が急増したことがあげられる。また、重複住居跡も検出され、H-30やH-34は古い住居跡の覆土を利用し、ローム土を主体とした貼床でつくられていた。遺物は、土師器「コ」の字状口縁甕や須恵器高台付埦（墨書）など、9世紀代のものが出土している。平安時代の住居跡は、全体の21.6%にあたる。

集落の変遷について概観すると次のことが言える。住居跡が出現する古墳時代後期は、その規模に違いが見られ、大型住居跡は台地の高いところや谷地の縁辺部に点在する。また、同時期と考えられる掘立柱建物跡も隣接し、H-7・37周辺が集落の中心と考えられる。奈良時代では、A・C区にかけて環状を想定させる住居跡の配置と掘立柱建物跡が組み込まれている状況が見てとれ、B区の北側にも住居跡のまとまりがある。また、C区は台地の縁辺部付近にあたり、中央付近から南側にはほとんど住居跡は見られない。平安時代になるとA・B区の北側とC区の南寄りにまとまりが見え、台地からだんだんと谷地の縁辺部へ移行する傾向がみえ、低地部への開発が進められたことがうかがえる。

本遺跡と一連の集落である、木福II遺跡（平成12年度調査）の住居跡の分布状況も、古墳時代後期では台地の北と南にまとまりをもち、南側で掘立柱建物跡をともなって集落の中心部があり、その北奥部に竪穴住居群が散在する。平安時代では、南側の低地への拡大と移行の進む状況がうかがえ、本遺跡と同様の状況を示している。

第15表　出土土器観察表

法量は①口径②底径③胴部最大径④器高を表し、単位はcmである。また（　）は推定値、［　］は現存値を表す。

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　考	実測図	図版
H-1-1 埋土	H-1 No.6	須恵器 坏	①12.2 ②6.8 ④4.0	①細粒②良好(還元) ③2.5Y6/2灰黄④1/3強残	平底。体部は外傾して口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。		40	22
H-2-1 埋土	H-2 No.1	土師器 坏	①12.4 ④4.7	①細粒②良好(酸化) ③10YR1/3黒④ほぼ完形	浅い丸底。体部と口縁部の境に稜をもち、口縁部内傾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。底部指頭調整痕。	外面煤付着。	40	22
H-2-2 床直	H-2 No.2	土師器 坏	①12.9 ④4.6	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④ほぼ完形	浅い丸底。体部と口縁部の境に稜をもち、口縁部中位にも一巡する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。	内外面煤付着。	40	22
H-2-3 床直	H-2 No.3	土師器 坏	①12.4 ④4.5	①細・中粒②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙 ④口縁部1/3欠損	浅い丸底。体部はゆるい丸みをもち、体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は直立。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		40	22
H-2-4 床直	H-2 No.4	土師器 坏	①12.4 ④4.5	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④口縁部一部欠損	丸底。体部は丸みをもち、体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は外傾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り後撫で調整。内面：口縁から体部上位横撫で。底面撫で。		40	22
H-2-5 床直	H-2 No.5	土師器 坏	①13.8 ④4.6	①細・中粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④完形	浅い丸底。口縁部と体部の境に稜をもち、口縁部は外傾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篦当て痕あり。		40	22
H-2-6 埋土	H-2 No.9・13	土師器 坏	①9.8 ④4.0	①細・中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/2灰褐④ほぼ完形	小型。丸底。体部に丸みをもち、体部と口縁部の境に弱い稜をもつ。口縁部僅かに外傾。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。底部指頭圧痕あり。内面：口縁部横撫で。体部撫で。底面篦撫で痕あり。		40	22
H-2-7 床直	H-2 No.6	土師器 直口壺	①9.5 ③14.9 ④11.3	①中・粗粒②やや不良(酸化) ③5YR6/4鈍い橙 ④口縁～胴部一部欠損	不安定な丸底。胴部下位で膨らみをもち、内湾して肩部から直立して口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。胴部撫で。底部篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。底部篦当て痕あり。	器面摩耗。輪積痕あり。	40	22
H-2-8 床直	H-2 No.20	土師器 長胴甕	①21.0 ④[30.5]	①中・粗粒②良好(酸化) ③2.5YR5/6明赤褐 ④胴部下位～底部欠損	胴部は僅かに膨らみをもち細長い。口縁部は外反する。外面：口縁部横撫で。胴部縦位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。	輪積痕あり。	40	22
H-2-9 カマド	H-2カNo.6・9	土師器 長胴甕	①20.0 ④[26.0]	①中・粗粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い明赤褐 ④胴部下位～底部欠損	胴部は直立気味に細長く立ち上がり、口縁部は外反する。外面：口縁部横撫で。胴部縦位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。		40	22
H-4-1 カマド	H-4カNo.1	土師器 坏	①12.2 ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④1/2残	浅くゆるやかな丸底。体部は丸みをもち、口縁部で内傾する。外面：口縁部横撫で。体部上位撫で。体部下位から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		40	22
H-4-2 床直	H-4 No.2・11	須恵器 坏	①11.9 ②6.5 ④3.1	①細粒②良好(還元) ③5PB6/1青灰 ④口縁部一部欠損	底が緩やかにくぼむ平底。体部は内湾気味に開き、口縁部でゆるく外反する。ロクロ成形。底部回転篦切り。		40	22
H-4-3 床直	H-4 No.1	須恵器 蓋	①18.5 つまみ径4.6 ④4.1	①中・粗粒②良好(還元) ③5PB6/1青灰④ほぼ完形	大型。体部はやや偏平で天井部から緩やかに湾曲し、口縁部は短く直立。ややいびつ。小さい環状つまみ貼付。ロクロ成形。天井部回転篦削り。		40	22
H-5-1 埋土	H-5 No.2・3	土師器 坏	①(12.8) ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐④1/2残	浅い丸底。体部は丸みをもち口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。	外面器面摩耗。	40	22
H-6-1 床直	H-6 No.1	土師器 坏	①10.2 ④3.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④完形	小型。丸底。体部は丸みをもち、口縁部は内傾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。指頭圧痕あり。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。指頭圧痕あり。	器面摩耗。	40	22
H-6-2 床直	H-6 No.2	土師器 坏	①10.4 ④3.3	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④完形	小型。丸底。体部は丸みをもち、口縁部は内傾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。指頭圧痕あり。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。指頭圧痕あり。		40	22
H-6-3 床直	H-6 No.3	土師器 坏	①9.3 ④3.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④完形	小型。丸底。体部は丸みをもち、上位で内傾して口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		40	23
H-6-4 埋土	H-6 No.14	土師器 坏	①14.5 ④3.5	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④1/2弱残	浅い丸底。体部は内湾して口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁から体部横撫で。底部指頭圧痕あり。		40	23
H-6-5 床直	H-6 No.49・50	土師器 坏	①12.1 ④4.3	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④口縁一部欠損	丸底。体部は丸みをもち、口縁部で短く内傾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		40	23
H-6-6 貯蔵穴	H-6貯No.1・6	土師器 坏	①14.6 ④5.5	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④ほぼ完形	深い丸底。体部は丸みをもち、口縁部は短く内傾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁から体部横撫で。底面撫で。		40	23
H-6-7 貯蔵穴 床直	H-6 No.51～55,貯No.3・5	土師器 小型台付甕	①12.7 ④[13.2]	①中・粗粒②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙④台部欠損	台部欠損。胴部は球形状。肩部から外傾する口縁部。外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。底部に台部接合痕。内面：口縁部横撫で。胴から底部撫で。		40	23
H-7-1 埋土	H-7 No.2	土師器 小型壺か	①12.0 ③13.1 ④9.5	①細・中粒②良好(酸化) ③5Y6/1灰④完形	丸底。胴部は内湾して肩部で内傾する。口縁部は直立。いびつ。外面：口縁部横撫で。胴部縦位の篦削り。底部篦削り後撫で調整。内面：口縁から胴部上位横撫で。胴部下位篦撫で。	器肉厚く堅い焼き。輪積痕。	40	23

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　　考	実測図	図版
H-7-2 床直	H-7 No.4	土師器 小型壺	①8.4 ③11.0 ④7.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/8明赤褐④ほぼ完形	胴部との境に稜をもち、口縁部は内傾する。胴部上位に最大径をもつ。外面：口縁部横撫で。胴部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。底部指頭調整。		41	23
H-7-3 カマド	H-7カ No.1	土師器 台付甕	①11.5 ④16.5	①中・粗粒②不良(酸化) ③5YR6/4鈍い橙④脚部欠損	脚部上位は直立気味。胴部は球形状で、口縁部は「く」の字状に外反する。外面：口縁部横撫で。胴部篦削り後撫で。脚部篦削り。内面：口縁部篦撫で。胴部撫で。	器肉が厚い。輪積痕あり。	41	23
H-7-4 床直	H-7 No.3	須恵器 甕	①13.4 ③20.4 ④20.5	①細粒②良好(還元) ③5PB5/1青灰④完形	丸底。胴部内湾して立ち上がり上位でさらに内傾し頸部から外反する。口縁部・口唇部短く内傾する。外面：口縁部から胴部上位ロクロ横撫で。中位から底部平行叩き目。頸部に刺突文巡る。胴部上半に7単位の波状文が2条巡る。内面：口縁から胴部上位横撫で。中から底部撫で。		41	23
H-9-1 埋土	H-9 No.1・2	土師器 坏	①8.0 ④3.8	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐④1/3弱残	丸底。体部は丸みをもつ。体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は内傾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。底部撫で。指頭圧痕。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		41	23
H-9-2 カマド 床直	H-9 No.3,カ No.1・2	土師器 小型壺	①14.5 ③15.9 ④10.7	①細・中粒②良好(酸化) ③5YR5/6明赤褐④1/2残	平底気味の底部。胴部内湾して肩部で内傾し、口縁部はやや直立気味。外面：口縁部横撫で。胴部上位横篦削り。胴部下位斜篦削り。内面：口縁部横撫で。胴から底部撫で調整。底部僅か篦磨き痕あり。		41	23
H-11-1 床直	H-11 No.1	土師器 長胴甕	①18.8 ④[17.3]	①中・粗粒②良好(酸化) ③2.5YR5/6明赤褐 ④胴部下位～底部欠損	胴部下位やや丸みをもち中位から直立気味に立ち上がる。口縁部は外反する。外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		41	23
H-12-1 床直	H-12 No.4	土師器 坏	①12.7 ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④1/3弱欠損	浅い丸底。体部は丸みをもち口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り調整。内面：口縁部横撫で。体部撫で調整。		41	23
H-12-2 床直	H-12 No.2	土師器 坏	①13.1 ④3.5	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/3鈍い赤褐④2/3残	丸底。体部は丸みをもち、口縁部は内湾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。底部指頭調整撫で。	内外面剝がれ痕あり。	41	23
H-12-3 床直	H-12 No.6	須恵器 坏	①14.2 ②9.0 ④3.7	①細・中粒②良好(還元) ③5PB5/1青灰 ④口縁部1/3欠損	平底。体部は直線的に外傾して口縁部に至る。右回転ロクロ成形。底部回転篦切り。		41	23
H-13-1 床直	H-13 No.10	土師器 坏	①12.4 ④3.3	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④ほぼ完形	丸底。体部は丸みをもち口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り後撫で調整。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で調整。		41	23
H-13-2 床直	H-13 No.13	土師器 坏	①13.4 ④3.7	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④2/3残	浅い丸底。体部は丸みをもち、直立気味に口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で調整。		41	23
H-14-1 埋土	H-14 No.1・3・5	土師器 坏	①13.9 ④4.2	①中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁部一部欠損	浅い丸底。体部と口縁の境に稜をもち、口縁部は外傾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		41	23
H-14-2 カマド	H-14カ No.4	土師器 坏	①11.8 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④2/3残	丸底。体部は丸みをもち、体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は内湾気味。外面：口縁部横撫で。体部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		41	24
H-14-3 床直	H-14 No.21	須恵器 短頸壺	①8.1 ③10.7 ④6.0	①細粒 ②良好(還元) ③5Y6/1灰 ④口縁部一部欠損	丸底気味の底部から胴部丸みをもち、肩部で屈曲して口縁部に至る。体部上半と肩部短い櫛目状の刻み巡る。外面：口縁部横撫で。胴部上半から底部篦削り後撫で調整。内面：口縁から胴部上半横撫で。胴部下半から底部篦調整。	内外面煤付着。	41	24
H-14-4 床直	H-14 No.22・23・24・25・26	須恵器 短頸壺	③14.3 ④[6.5]	①細粒 ②良好(還元) ③5PB5/1青灰 ④胴部残	不安定な丸底。胴部強く内湾する偏平球状。上位に接合の調整痕巡る。外面：胴部上半横撫で。胴部下半から篦削り後撫で。内面：胴部上半撫で。胴部下半篦撫で調整。		41	24
H-17-1 床直	H-17 No.1	土師器 坏	①11.4 ④3.9	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁一部欠損	浅い丸底。体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は直立気味。外面：口縁部横撫で。体部篦削り後撫で調整。内面：口縁部横撫で。体部撫で。	内外面煤付着。	41	24
H-17-2 カマド	H-17カ No.2・3・8・9・10	土師器 長胴甕	①(20.6) ④[21.7]	①中粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④口縁～胴部片	口縁部外反し、胴部弱く膨らむが直線的。外面：口縁部横撫で。胴部縦位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。指頭圧痕あり。	外面煤付着。輪積痕あり。	41	24
H-18-1 床直	H-18 No.20	土師器 坏	①12.6 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④1/2弱残	浅い丸底。体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は直立気味。外面：口縁部横撫で。体部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		41	24
H-18-2 カマド	H-18 西カ No.1	土師器 長胴甕	①(24.4) ②5.6 ④33.2	①中粒 ②良好(酸化) ③2.5YR5/6明赤褐 ④口縁～胴部一部欠損	小さい平底。胴部は緩やかに内湾して立ち上がり、上位でややすぼむ。口縁部長く外反する。外面：口縁部横撫で。指頭圧痕。胴部斜位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		41	24
H-19-1 床直	H-19 No.6	土師器 坏	①17.8 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/8明赤褐 ④口縁部一部欠損	浅い丸底。底部から体部にかけて丸みをもち、口縁部は外反する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り後撫で調整。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で調整。	内面剝がれ痕あり。	41	24
H-19-2 床直	H-19 No.1	土師器 坏	①11.6 ④3.9	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/8明赤褐④1/2残	丸底。体部は丸みをもち、口縁部は内湾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。	内面剝がれ痕あり。	41	24

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　考	実測図	図版
H-19-3 床直	H-19 No.3・7	土師器 坏	①18.5 ④7.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④口縁部一部欠損	丸底。体部は丸みをもち、口縁部は内湾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り調整。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で・指頭調整。		41	24
H-19-4 カマド	H-19カNo.1	土師器 坏	①17.9 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/6明赤褐④ほぼ完形	底部から体部にかけて丸みをもち、中位で外傾して口縁部に至る。外面：口縁部横撫で・指頭圧痕。体から底部篦削り後撫で調整。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で・指頭圧痕。		41	24
H-21-1 床直	H-21 No.15	土師器 坏	①12.0 ④5.0	①中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	丸底。体部は丸みをもち、体部と口縁部の境に弱い稜をもつ。口縁部短く直立気味。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篦撫で。	器肉が厚く雑な作り。	42	24
H-21-2 ピット	H-21 P 3 No.1	土師器 甕	①19.9 ③25.6 ④[25.0]	①中・粗粒②やや不良(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④底部欠損	胴部緩やかに立ち上がり、中位で内湾する。口縁部は外傾。外面：口縁部横撫で。胴部斜位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。	外面摩耗。内面剝がれ痕あり。	42	24
H-21-3 カマド	H-21カNo.1・3・4・5	土師器 長胴甕	①19.8 ②5.0 ④38.4	①中粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐 ④ほぼ完形	小さい底部。胴部緩やかに内湾して立ち上がり、中位でやや内傾する。口縁部は長く外反する。外面：口縁部横撫で。胴部縦位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。		42	24
H-21-4 カマド	H-21カNo.6・7	土師器 長胴甕	①19.7 ④[29.2]	①中・粗粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④胴部下位～底部欠損	底部はやや丸みをもち、胴部は細長く直立する。口縁部は短く外反する。外面：口縁部横撫で。胴部縦位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。	輪積痕あり。	42	24
H-22-1 床直	H-22 No.1	土師器 坏	①13.0 ④4.9	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR5/3鈍い褐④完形	丸底。体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は直立気味。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で・指頭調整撫で。	内外面煤付着。	42	24
H-22-2 埋土	H-22 No.2	土師器 坏	①12.8 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/6明赤褐 ④口縁部1/3欠損	やや平底気味。体部は丸みをもち、体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は外傾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。底部指頭調整撫で。		42	24
H-22-3 床直	H-22 No.3	土師器 坏	①(13.0) ④4.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁部2/3欠損	丸底。体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は外傾する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で調整。		42	24
H-22-4 床直	H-22 No.4	土師器 坏	①(14.0) ④4.6	①中粒②良好(酸化) ③5YR7/3鈍い橙④1/2残	体部は丸みをもち、口縁部は外反する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。黒色処理。		42	25
H-22-5 カマド	H-22カNo.2・4・6	土師器 長胴甕	①20.7 ②4.8 ④39.0	①中粒②良好(酸化) ③2.5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁～胴部一部欠損	小さい底部から内湾して胴部細長く直立し、口縁部は緩く外反する。外面：口縁部横撫で。胴部縦位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴から底部篦撫で。	輪積痕あり。	42	25
H-22-6 カマド	H-22カNo.1・5	土師器 長胴甕	④[33.0]	①中・粗粒②不良(酸化) ③5YR6/8橙 ④口縁～胴部上位欠損	底部は丸みをもち、胴部は細長く直立気味にたつ。外面：胴部縦位篦削り。内面：胴部撫で。	器面内外面荒れ。剝がれあり。	42	25
H-24-1 床直	H-24 No.43	土師器 坏	①12.0 ②8.7 ④3.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR5/4鈍い褐 ④口縁一部欠損	平底から直線的に外傾し、口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁から体部横撫で。底部撫で調整。		42	25
H-25-1 埋土	H-25 No.3	土師器 坏	①13.4 ④(3.8)	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④1/2弱残	丸底。体部は丸みをもち、上位で外傾して口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。剝がれ痕。		42	25
H-26-1 床直	H-26 No.1	土師器 坏	①16.0 ④5.6	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④口～体部1/3欠損	丸底。体部は丸みをもち、口縁部で直立する。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		42	25
H-26-2 埋土	H-26 No.2	土師器 坏	①12.3 ④3.1	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④ほぼ完形	平底気味の底部。体部は丸みをもち、口縁部は内湾する。外面：口縁部横撫で。底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		42	25
H-26-3 カマド	H-26カ No.3	土師器 坏	①12.2 ④4.1	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④ほぼ完形	丸底。体部は丸みをもち、口縁部に至る。外面：口縁部横撫で。体部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で・指押え痕。	内面煤付着。	42	25
H-26-4 カマド	H-26カ No.4	土師器 坏	①12.0 ④3.8	①細・粗粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④完形	丸底。体部は丸みをもち、口縁部で内湾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		42	25
H-26-5 貯蔵穴	H-26貯 No.1	須恵器 甕	①25.5 ④[8.2]	①細・中粒②良好(還元) ③5PB6/1青灰④口縁部残	かえり状口縁横撫で。肩部丸みをもつ。外面：平行叩き。内面：円弧状当て目。口縁・頸部ロクロ成形。自然釉。		42	25
H-26-6 貯蔵穴	H-26貯 No.2	土師器 甕	①24.2 ③30.8 ④[31.5]	①細・中粒②良好(酸化) ③2.5YR5/8明赤褐 ④口縁2/3残、底部欠損	胴部は球形状で、口縁部は「く」の字状に外反する。胴部上位に最大径をもつ。外面：口縁部横撫で。胴部斜位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴から底部撫で。	輪積痕あり。	42	25
H-29-1 床直	H-29 No.12	土師器 坏	①11.9 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙 ④ほぼ完形	丸底。体部は丸みをもち、口縁部で内湾する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		43	25
H-32-1 埋土	H-32 No.1	土師器 坏	①12.2 ②7.6 ④3.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/6明赤褐④ほぼ完形	平底。体部は下半に丸みをもち、口縁部は外傾する。口縁部にひずみがあり波状を呈する。外面：口縁部横撫で。体部指頭痕撫で。底部篦削り。摩耗が著しい。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		43	25
H-32-2 床直	H-32 No.27	土師器 坏	①12.6 ②8.8 ④3.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/8橙 ④口縁部一部欠損	平底。体部は下半に丸みをもち、体部中位で外傾する。口縁部は内湾。外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		43	25

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　　量	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	備　　考	実測図	図版
H-32-3 埋土	H-32 No.28	須恵器 坏	①12.6 ②7.3 ④3.8	①細粒②良好(還元) ③7.5Y5/1灰④1/2強残	平底。体部は直線的に外傾し、口縁部はやや内傾する。右回転ロクロ成形。底部回転糸切り。		43	25
H-32-4 床直	H-32 No.9・32	土師器 小型台付甕	①13.4 ③16.8 ④[17.3]	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐 ④台部欠損2/3残	口縁部は「コ」の字状で胴部上半に最大径をもつ。器厚は薄く、台部は欠損している。外面：口縁から裾部横撫で。胴部篦削り調整。内面：口縁部横撫で。胴部撫で調整。	内外面煤付着。輪積痕あり。	43	25
H-32-5 床直	H-32 No.30・31	土師器 甕	①18.3 ②4.3 ③21.4 ④26.4	①細・中粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④胴部1/4欠損	口縁部は「コ」の字状で胴部上半に最大径をもつ。器厚は薄い。外面：口縁部横撫で。胴部上位横篦削り。中から下位斜篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で調整。	内面剝がれ痕あり。	43	25
H-33-1 埋土	H-33 No.4	土師器 坏	①10.6 ④3.6	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④1/2残	丸底。体部に稜をもち、口縁部は外反する。外面：口縁部横撫で。体から底部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		43	26
H-34-1 埋土	H-34 No.2	須恵器 高台付埦	①(14.0) ②3.1 ④5.5	①細粒②良好(還元) ③5Y6/1灰 ④口縁～体部1/2欠損	体部は外傾し口縁部に至る。ロクロ成形。底部回転糸切り後高台貼付撫で調整。	内面墨書。	43	26
H-36-1 埋土	H-36 No.6	土師器 坏	①16.8 ④[4.0]	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④1/2弱残	丸底。体部に丸みをもち、口縁部は外反する。外面：口縁部横撫で。指押え痕。体部削り。内面：口縁部横撫で。体部撫で。		43	26
H-36-2 床直	H-36 No.11	土師器 坏	①12.5 ④3.7	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/8橙④1/2残	丸底。体部は丸みをもつ。口縁部は内湾気味。外面：口縁部横撫で。体部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体から底部撫で。		43	26
H-37-1 埋土	H-37 No.11	土師器 坏	①(12.2) ④4.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④1/3弱残	浅い丸底。体部は丸みをもち、体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は直立。外面：口縁部横撫で。体部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体部撫で。底部僅か篦当て痕あり。		43	26
H-37-2 床直	H-37 No.14・20・22・23・26	土師器 小型甕	①(12.8) ③(16.0) ④[10.3]	①細・中粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④口縁～胴部片	胴部丸みをもち中位に最大径を有する。肩部に稜を有し、口縁部は短く外反する。外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。器面摩耗。内面：口縁部横撫で。胴部撫で、篦当て痕あり。		43	26
H-37-3 床直	H-37 No.32・33・34・35	土師器 甕	①(20.2) ④[9.8]	①中・粗粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④口縁～胴部片	口縁部外反する。胴部がやや膨らみをもつ。外面：口縁部横撫で。胴部縦位篦削り。内面：口縁部横撫で。胴部撫で。		43	26
H-37-4 埋土	H-37 1西壁際	土師器 坏	①12.1 ④4.3	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/8橙④1/2残	浅い丸底。体部は丸みをもち、体部と口縁部の境に稜をもつ。口縁部は直立。外面：口縁部横撫で。体部篦削り後撫で。内面：口縁部横撫で。体部撫で。	内外面煤付着。	43	26

第16表　鉄製品観察表

[　] は現存値を表す。

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　　量	器形の特徴・残存	備　　考	実測図	図版
H-1-2 床直	H-1 No.14	鉄製品 斧	長さ[8.2]cm　幅3.0～3.9cm 厚さ0.1～1.7cm　重さ119g	側面逆三角形。中空。ほぼ完形。		40	22
H-4-4 床直	H-4 No.40	鉄製品 刀子	長さ[7.4]cm　幅0.6～1.0cm 厚さ0.2cm　重さ11.6g	刀身部分。断面逆三角形。柄部欠損。		40	22
H-32-8 土坑	H-32D-1 No.3	鉄製品 釘	長さ[7.5]cm　幅0.15～0.7cm 厚さ0.2～0.5cm　重さ11.4g	頭頂部方形状。下端部細かく方形状。頭部・先端部欠損。		43	26
H-32-9 土坑	H-32D-1 No.2	鉄製品 釘	長さ[6.4]cm　幅0.4～0.6cm 厚さ0.4～0.6cm　重さ10.8g	頭頂部方形状。下端部細かく方形状。頭部・先端部欠損。		43	26

第17表　古銭観察表

遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法　量・残　存・古銭名	備　　考	実測図	図版
D-62-1 床直	D-62 No.1	古銭	径2.5cm　重さ2.7g　方孔0.6cm　一部欠損　(唐銭)「開元通寶」621年鋳造。		44	26
D-62-2 床直	D-62 No.2	古銭	径2.5cm　重さ3.4g　方孔0.6cm　完形　(宋銭)「元祐通寶」1086年鋳造。		44	26
D-62-3 床直	D-62 No.3	古銭	径2.5cm　重さ3.0g　方孔0.5cm　完形　(明銭)「永楽通寶」1408年鋳造。		44	26
D-62-4 床直	D-62 No.4	古銭	径2.6cm　重さ2.9g　方孔0.6cm　完形	文字判読不可。	—	26
D-62-5 床直	D-62 No.5	古銭	径2.6cm　重さ2.8g　方孔0.5cm　完形	文字判読不可。	—	26
D-62-6 床直	D-62 No.6	古銭	径2.5cm　重さ2.2g　方孔0.6cm　完形	文字判読不可。	—	26

第18表　石製品観察表

（　）は推定値、［　］は現存値を表す。

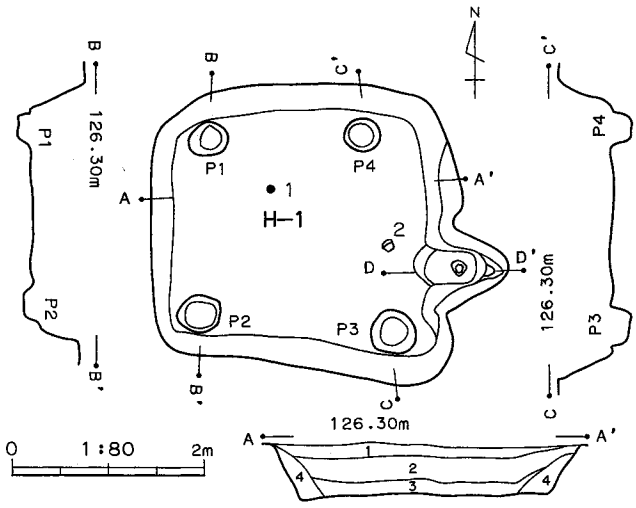
遺物番号 層位	台帳番号	器　種	法量・石材・残存	器 形 の 特 徴	備　　考	実測図	図版
H－5－2 埋土	H－5一括	石槍	長さ4.8cm　幅1.8cm　厚さ0.6cm　重さ6.4g 石材：頁岩　先端部・基部欠損	先端部細く丸みをもつ。		40	22
H－7－5 床直	H－7 No.1	石製 紡錘車	上径2.1cm　下径3.8cm　厚さ1.7cm 穿孔(上：0.7cm　下：0.6cm) 重さ38.3g　石材：蛇紋岩　完形	断面台形状を呈する。上・下径面とも平坦。側面に加工痕。		41	23
H-28－1 床直	H-28 No.3	砥石	長さ8.8cm　幅4.2cm　厚さ5.0cm 重さ180g　石材：流紋岩　1/2残	5面使用。		42	25
H-32－6 埋土	H-32 No.2	石製 紡錘車	上径6.1cm　下径6.4cm　厚さ1.3cm 穿孔(上：0.9cm　下：1.0cm)　重さ71.6g 石材：流紋岩　一部欠損。	断面偏平な台形状を呈する。		43	25
H-32－7 床直	H-32 No.34	砥石 荒砥	長さ16.4cm　幅14.2cm 厚さ7.5cm　重さ1400g　石材：安山岩	7面使用。	置き砥。	43	25
H-37－5 貯蔵穴	H-37貯埋	砥石	長さ8.1cm　幅6.0cm　厚さ3.0cm 重さ230g　石材：流紋岩	5面使用。		43	26
I－2－1 埋土	I－2 No.1	楕円形 石製品	長さ6.6cm　幅4.5cm　厚さ0.8～1.1cm 穿孔径0.3～0.4cm　重さ46.8g 石材：結晶片岩　2/3残存	装身具か。		43	26
W－2－1 埋土	W－2 No.1	石臼 (上臼)	高さ11.5cm　径(28.0)cm　くぼみ高3.3cm ふくみ高1.0cm　供給口径[3.7～4.0]cm 芯穴径[3.5～4.0]cm　芯穴高1.6cm 重さ4500g　石材：粗粒安山岩　1/2残存	上臼。柄差込穴欠損のため不明。穀物落とし穴あり。底に上下調整穴一部分あり。上臼の目摩耗が激しく溝のくぼみが僅かに残る。		44	26
W－2－2 埋土	W－2 No.2	石臼 (上臼)	高さ13.0cm　径30.2cm　くぼみ高3.0cm ふくみ高1.4cm　供給口径[4.0]cm 芯穴径[2.4～4.0]cm　芯穴高3.6cm 挽き手穴径2.0～4.8cm　重さ6900g 石材：粗粒安山岩　1/2残存	上臼。柄差込穴側面にあり。穀物落とし穴あり。底に上下調整穴一部分あり。上臼の目摩耗が激しく溝のくぼみが僅かに残る。		44	26
D－7－1 埋土	D－7一括	球形状 加工石	最大幅4.8cm　底径3.0cm　厚さ3.5cm 穿孔径0.2～0.6cm　重さ35.4g 石材：安山岩　1/2弱残	底は平坦で、体部は球形状。上面中央に深さ7mmの穴あり		44	26
D-16－1 埋土	D-16 No.1	石鏃	長さ2.9cm　幅2.0cm　厚さ0.4cm 重さ1.5g　石材：黒色頁岩　完形	凹基無茎鏃。		44	26
グリッド －1	X115グ Y210グ 一括	石鏃	長さ[3.3]cm　幅[2.1]cm 厚さ0.5cm　重さ2.8g 石材：黒色頁岩　先端部・基部欠損	凹基無茎鏃。		44	26
グリッド －2	X118グ Y215グ 一括	石製模造 品 臼玉	長さcm　幅1.0cm　厚さ0.6cm 穿孔径0.3cm　重さ0.9g 石材：滑石　完形	穿孔面は平らな作り。側面は丸みをもつ。		44	26

注）層位は、「床直」：床面より10cm未満の層位からの出土、「埋土」：床面より10cm以上の層位からの出土の2段階に分けた。カマド内の出土については「カマド」、貯蔵穴内は「貯蔵穴」、ピット内は「ピット」、土坑内は「土坑」と記載した。
胎土は、細粒(0.9mm以下)、中粒(1.0～1.9mm)、粗粒(2.0mm以上)とした。
焼成は、極良、良好、不良の三段階とした。

参考文献

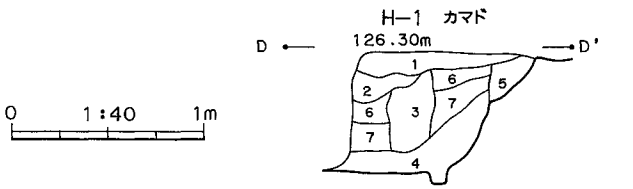
『芳賀団地遺跡群 第1巻』(芳賀東部団地遺跡Ⅰ) ―古墳～平安時代編その1― 1984.3 前橋市教育委員会
『芳賀団地遺跡群 第2巻』(芳賀東部団地遺跡Ⅱ) ―古墳～平安時代編その2― 1988.3 前橋市教育委員会
『芳賀団地遺跡群 第3巻』(芳賀東部団地遺跡Ⅲ) ―縄文・中近世編― 1990.3 前橋市教育委員会
『芳賀団地遺跡群 第5巻』(芳賀北部団地遺跡Ⅰ) ―古墳・奈良・平安時代編― 1994.3 前橋市教育委員会
「群馬県における奈良・平安時代の集落について―掘立柱建物跡を中心として―」『群馬の考古学』 1988 群馬県埋蔵文化財調査事業団
『鳥取福蔵寺遺跡』 1997 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代江戸屋敷遺跡』 2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代木福Ⅱ・五代深堀Ⅰ遺跡』 2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代竹花遺跡・五代木福Ⅰ遺跡・五代伊勢宮Ⅰ遺跡』 2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅱ遺跡』 2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅲ遺跡・五代深堀Ⅱ遺跡・五代中原Ⅰ遺跡・五代伊勢宮Ⅳ遺跡』 2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅵ遺跡・五代中原Ⅱ遺跡』 2002 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

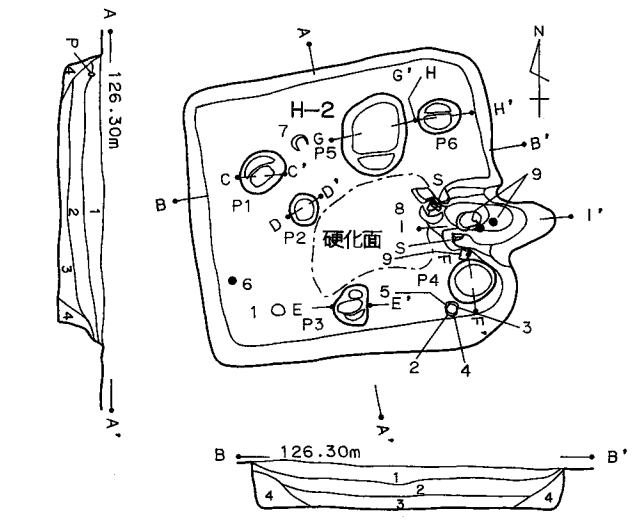
第27図　五代木福Ⅲ遺跡　A調査区平面図

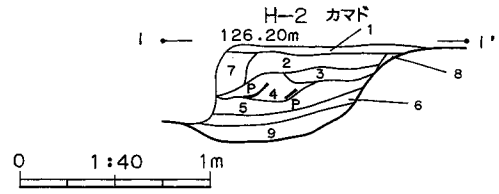


H-1　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を多く含み、黄色軽石φ1～2㎜を1％、ローム粒を含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、黄色軽石と白色軽石を1％ほど含み、ロームブロックを所々に含む（土器片含む）
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、軽石粒を僅かに含み、ローム粒を3％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒、ロームブロックを多く含む

H-1　カマド　土層注記（D-D′）
1．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、軽石粒とローム粒含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒とロームブロックを所々に含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒を僅かに含み、焼土、炭化物粒を含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土、灰を多く含み、ロームブロックを僅かに含む
5．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、ロームブロックを1％含む
6．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、ロームブロックを2％含む
7．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、ロームブロック1％と灰を僅かに含む



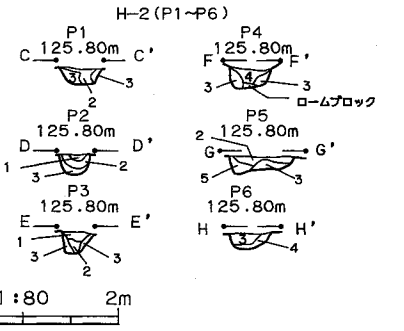


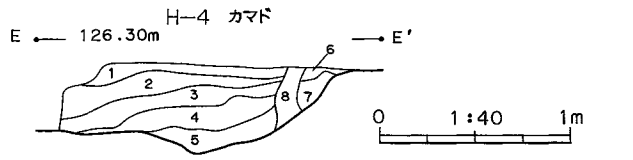


H-2　カマド　土層注記（I-I′）
1．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、ロームブロックを含む
2．灰黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、軽石粒、ロームブロック、焼土粒を僅かに含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロック2％と灰を僅かに含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、3層よりも灰を多く含む
5．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、灰を多く含み、焼土粒、炭化物粒を多く含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、灰と焼土粒を多く含む
7．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、黄色軽石粒、焼土、炭化物粒を含む
8．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、僅かに灰を含む
9．灰黄褐色土　灰層　僅かに焼土粒を含む

H-2　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜と黄色軽石φ1～2㎜を多く含み、ロームブロック1％含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を2％、ローム粒を2％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石φ1～3㎜を1％、ロームブロックを所々に含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック、黒褐色ブロックを含み、軽石粒を僅かに含む

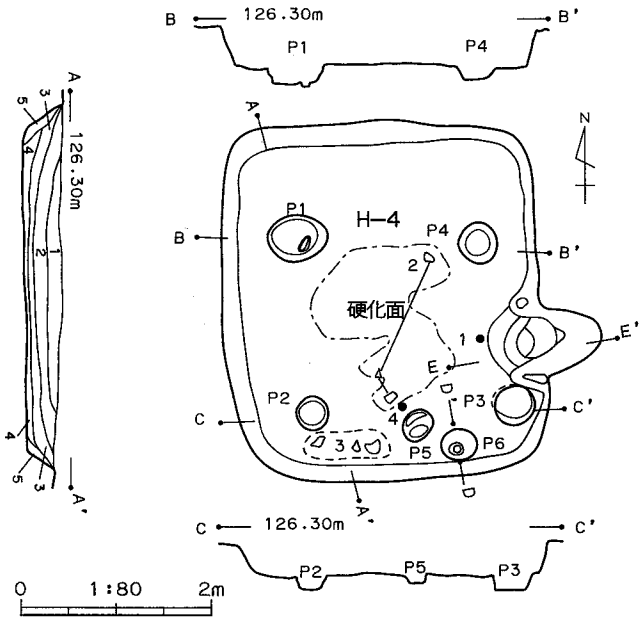
H-2　P-1～6　土層注記（C-C′～H-H′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロックを1％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを3％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを5％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土、炭化物粒を所々に含み、ロームブロックを2％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを10％含む



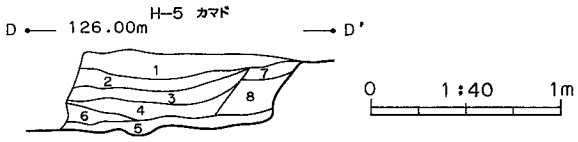


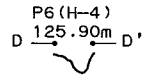
H-4　カマド　土層注記（E-E′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒1％とローム粒僅かに含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒とローム粒を僅かに含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロックと灰を含む
4．鈍い灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロックと灰を含む
5．鈍い灰黄褐色土　粘性、締まりなし、灰と炭化物粒を含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒と炭化物粒を僅かに含む
7．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、6層より焼土粒を多く含む
8．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、炭化物粒を所々に含み、軽石粒を含む

第28図　H-1・2・4号住居跡平面・断面図

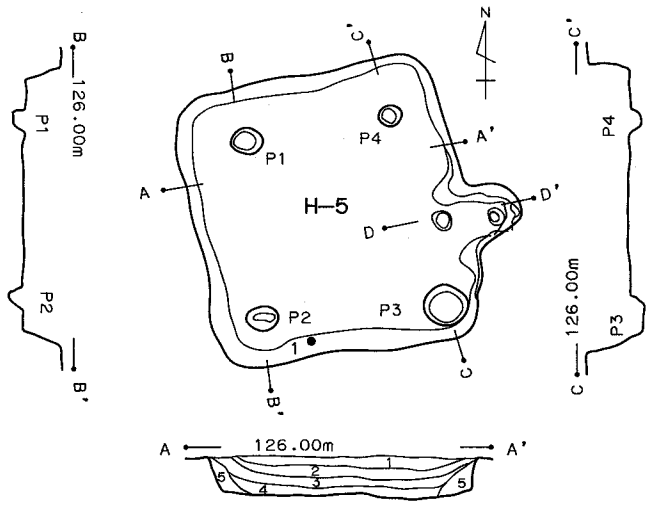


H-4　土層注記（A-A′）
1．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、黄色軽石φ1～2㎜を1％、ローム粒1％含む
2．灰黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、黄色軽石φ1～2㎜1％、ローム粒3％含む
3．灰黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、黄色軽石φ1㎜を所々に含み、ローム粒を5％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒、ロームブロックを3層より多く含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを3％含む

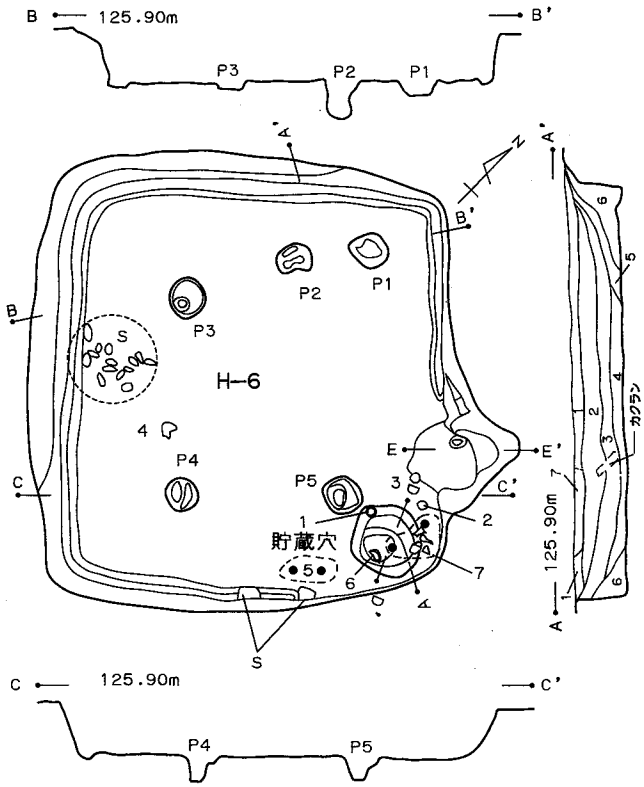




H-5　カマド　土層注記（D-D′）
1．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を3％、焼土粒を所々に含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり白色軽石φ1～2㎜を1％、焼土粒、ローム粒を含む
3．鈍い灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石を所々に含み、焼土粒、ロームブロックを含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒、灰、ローム粒、軽石粒を含む
5．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、灰を多く含み、焼土粒、ロームブロック含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒、ロームブロックを多く含み、焼土、炭化物粒を含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック2％と軽石粒を含む
8．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、7層よりもロームブロックが少なく、軽石粒を多く含む

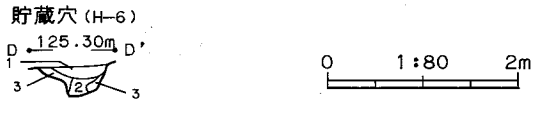


H-5　土層注記（A-A′）
1．黒褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ2～5㎜を1％、黄色軽石を2％含む
2．黒褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石を所々に含み、黄色軽石φ1～2㎜を3％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ2～3㎜を1％、黄色軽石φ1～2㎜を2％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒を僅かに含み、ローム粒を2％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒、ロームブロックを多く含む

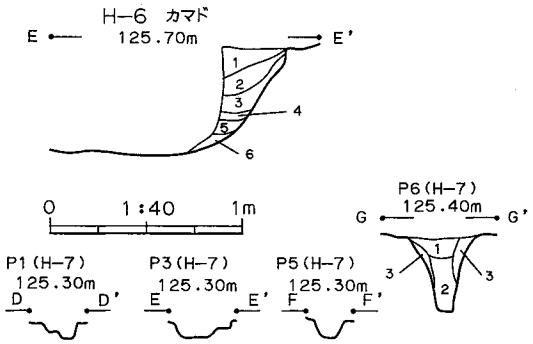


H-6　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を2％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜、ロームブロックを1％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を所々に含み、ローム粒を2％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、軽石粒を僅かに含み、ロームブロック3％と黒褐色ブロックを僅かに含む
5．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、軽石粒を所々に含み、ローム粒を1％含む
6．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、ローム粒、ロームブロック2％含む
7．灰黄褐色土　粘性なし、締まりややあり、耕作土、ローム粒を含む

H-6　貯蔵穴　土層注記（D-D′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを5％と僅かに焼土粒を含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒、焼土、炭化物粒含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック1％と僅かに焼土粒含む



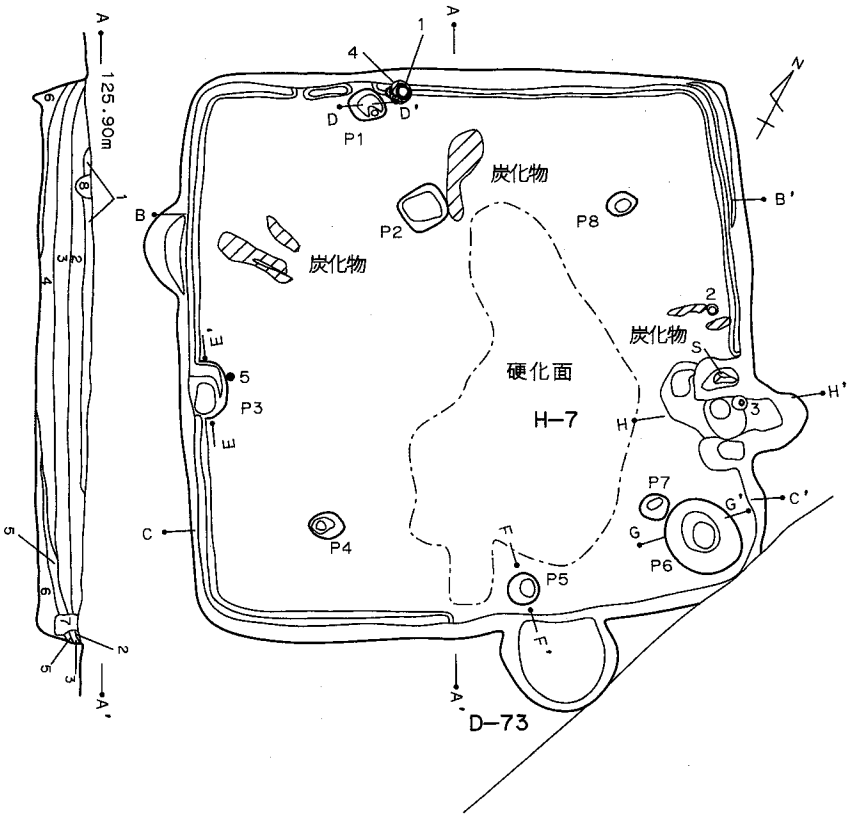
第29図　H-4～6号住居跡平面・断面図



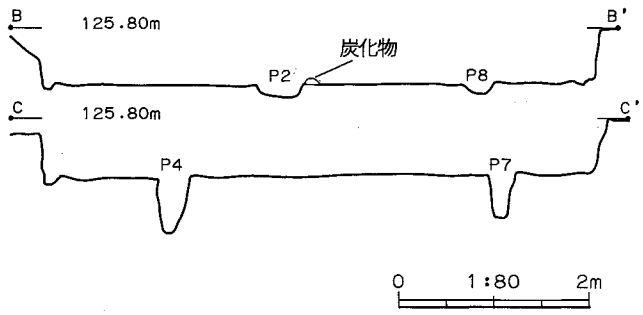
H-6 カマド 土層注記（E-E'）
1．鈍い黄褐色土 粘性なし、締まりややあり、軽石粒とローム粒を僅かに含む
2．鈍い黄褐色土 粘性なし、締まりややあり、ロームブロック２％と焼土粒を僅かに含む
3．灰黄褐色土 ロームブロックを含むカクラン
4．鈍い黄褐色土 粘性なし、締まりややあり、焼土粒、ローム粒、灰を僅かに含む
5．鈍い黄褐色土 粘性なし、締まりややあり、焼土粒３％と灰、ローム粒を１％含む
6．鈍い黄褐色土 粘性なし、締まりややあり、焼土粒、炭化物粒を所々に含み、ローム粒を２％含む

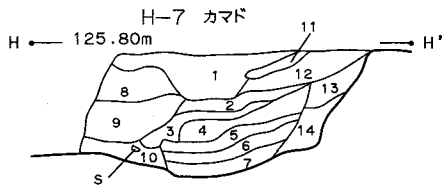
H-7 P-6 土層注記（G-G'）
1．灰黄褐色土 粘性、締まりややあり、炭化物、ローム粒を所々に含む
2．灰黄褐色土 粘性、締まりややあり、炭化物、ローム粒と土器含む
3．灰黄褐色土 粘性、締まりややあり、炭化物１％とローム粒を所々に含む

H-7 土層注記（A-A'）
1．灰黄褐色土 粘性なし、締まりあり、白色軽石φ１～２㎜を２％含む
2．灰黄褐色土 粘性なし、締まりあり、白色軽石φ１～２㎜を３％とローム粒を含む
3．灰黄褐色土 粘性なし、締まりあり、白色軽石φ１～２㎜、ロームブロック１％含む
4．灰黄褐色土 粘性なし、締まりあり、白色軽石粒、ロームブロック、炭化物粒を１％含む
5．灰黄褐色土 粘性なし、締まりあり、４層よりロームを多く含む
6．灰黄褐色土 粘性なし、締まりあり、白色軽石を１％含み、焼土ブロックと炭化物を含む
7．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、軽石粒と耕作土を含む
8．黒褐色土 粘性、締まりなし、軽石粒を含む

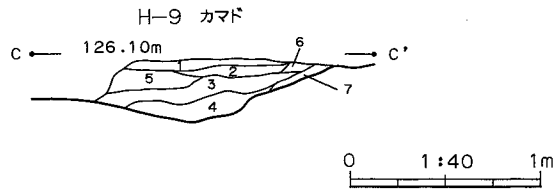


H-7 カマド 土層注記（H-H'）
1．灰黄褐色土 カクラン
2．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石粒と焼土粒を含む
3．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、僅かに焼土粒を含む
4．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、焼土粒２％と炭化物粒、ローム粒を僅かに含み、灰を含む
5．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、焼土ブロック５％と灰を多く含む
6．明赤褐色焼土 僅かに灰を含む
7．褐灰色土 灰層 僅かに焼土粒含む
8．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、白色軽石φ２～３㎜を５％含む
9．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、白色軽石粒と焼土粒、ロームを含む
10．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、白色軽石φ１～２㎜を１％と焼土ブロック、炭化物粒、灰を含む
11．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土ブロック２％と軽石粒含む
12．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土ブロック１％と軽石粒を所々に含む
13．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土ブロック、焼土粒を５％含む
14．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土ブロック20％含む

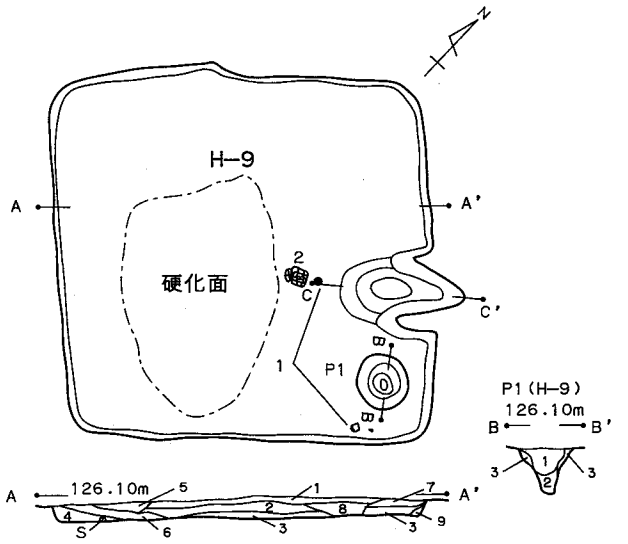




H-9 カマド 土層注記（C-C'）
1．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石粒とロームブロック１％含む
2．灰黄褐色土 粘性、締まりあり、白色粘土ブロックと軽石粒、ローム粒含む
3．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、焼土、炭化物粒を１％と粘土、灰を含む
4．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土、炭化物を多く含み、灰、ローム粒僅かに含む
5．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、ローム粒１％と白色軽石粒、炭化物粒を１％含む
6．灰黄褐色土 粘性、締まりあり、粘土、焼土、炭化物粒含む
7．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、焼土ブロック、灰を含む

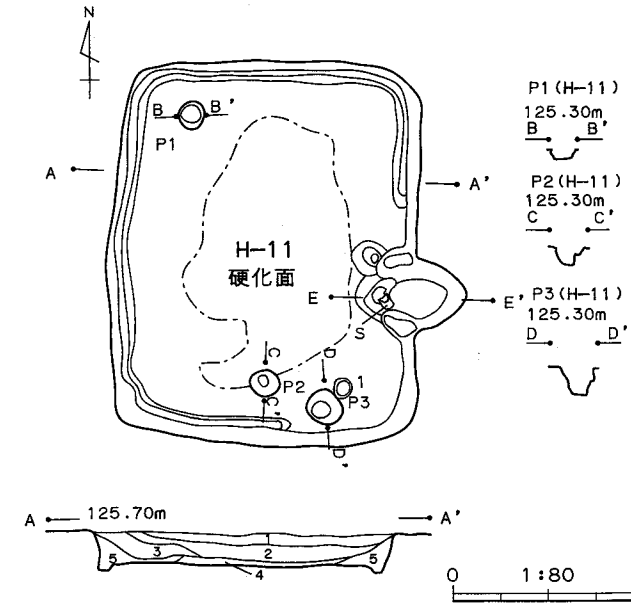


第30図 H-6・7・9号住居跡平面・断面図



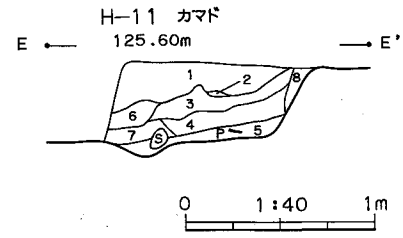
H-9　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　粘性なし、締まりなし、白色軽石φ1～5㎜を1％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～3㎜を1％とロームブロックを3％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～3㎜、ロームブロックを3％含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒を1％とローム粒含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、僅かにローム粒、軽石粒を含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～2㎜を所々に含み、ローム粒含む
7．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒を含み、ローム粒1％と1層ブロック含む
8．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒1％と1層ブロック、黒褐色土ブロックを僅かに含む
9．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを多く含む

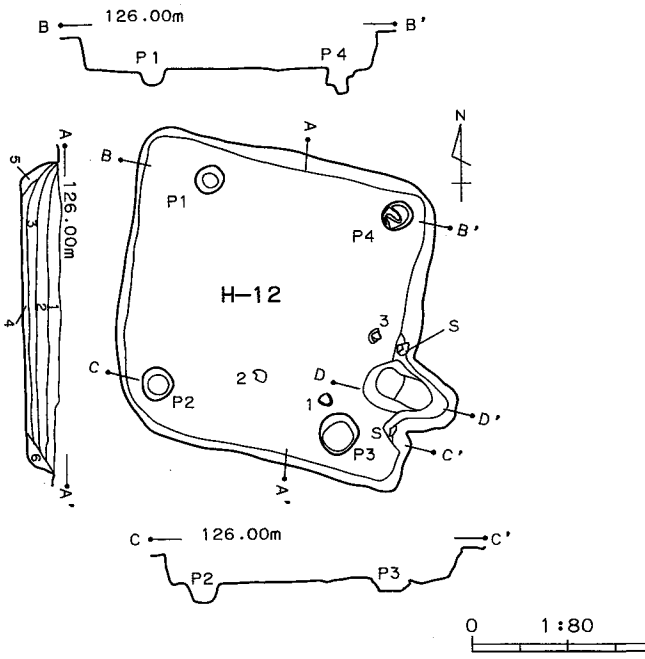
H-9　P-1　土層注記（B-B′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック2％と僅かに軽石粒含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを所々に含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック1％含む



H-11　土層注記（A-A′）
1．黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒を1％とロームブロックを含む
2．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒を含み、黒褐色土ブロック1％とローム粒含む
3．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、2層より黒褐色土少ない
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、ロームブロックを3％と黄色軽石粒を1％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロックを多く含み、焼土粒と炭化物を僅かに含む

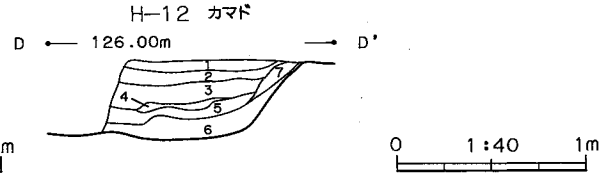
H-11　カマド　土層注記（E-E′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒、ロームブロックを2％と焼土粒を僅かに含む
2．灰黄褐色土　1層よりローム土を含まない
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、灰と焼土粒を2％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、灰と焼土を多く含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、灰を多く含み、焼土ブロックとロームブロックを所々に含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、僅かに焼土、ローム粒を含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、ローム粒と僅かに灰を含む
8．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロック3％と灰を含む



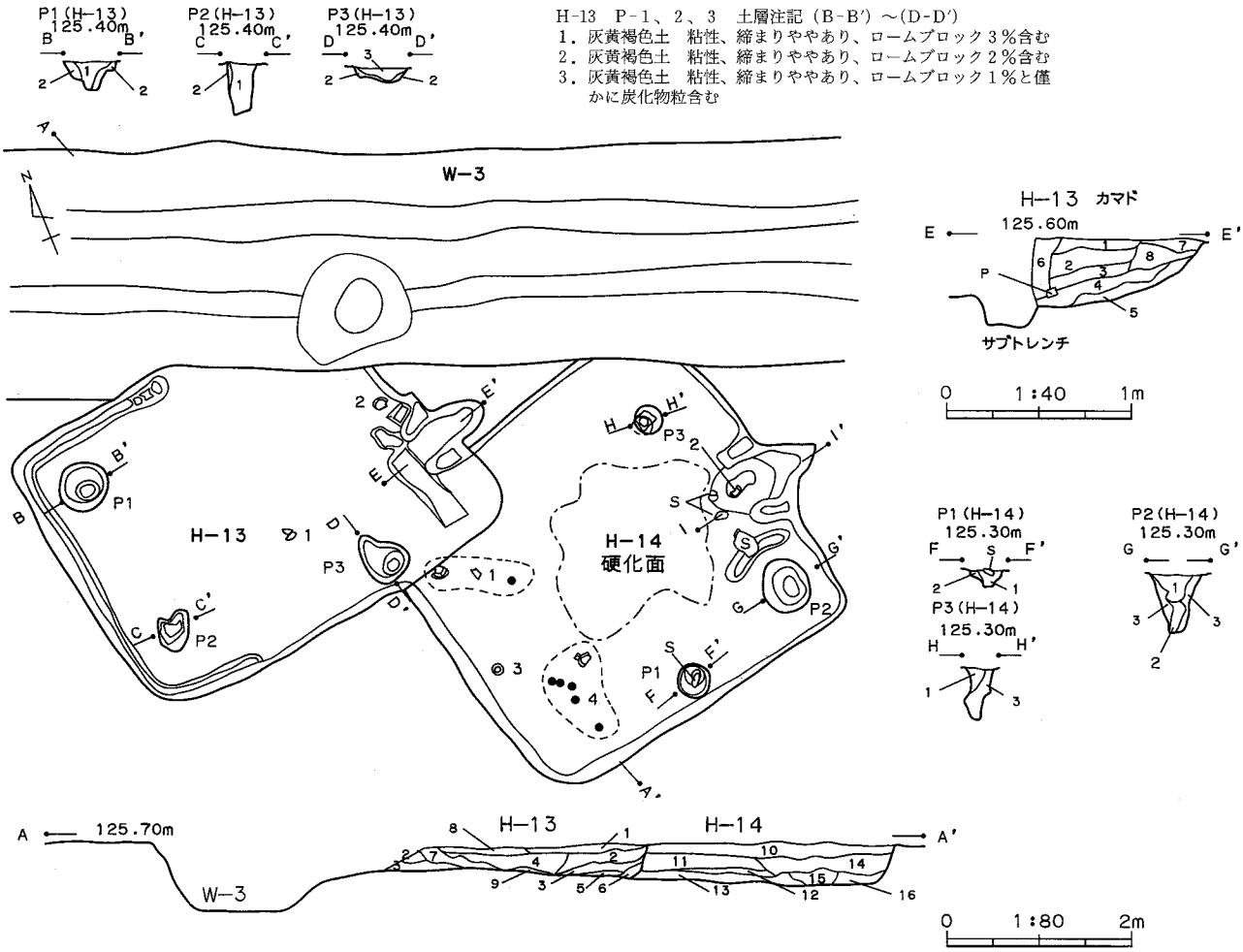


H-12　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～3㎜を5％含む
2．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を1％含む
3．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、黄色軽石φ1～2㎜を含む黒褐色土を3％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、軽石粒を1％含みローム3％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、ロームブロックを5％含む
6．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、僅かにロームブロック含む

H-12　カマド　土層注記（D-D′）
1．灰黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石φ2～3㎜3％含む
2．灰黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石φ2～3㎜1％と僅かに焼土粒含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ2～3㎜を2％と灰、炭化物を含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック、灰を含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、灰、焼土粒、ローム粒含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、灰を多く含み、焼土ブロック2％含む
7．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック1％と軽石粒含む



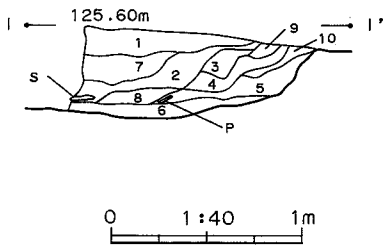
第31図　H-9・11・12号住居跡平面・断面図



H-13 P-1、2、3 土層注記（B-B′）～(D-D′)
1．灰黄褐色土 粘性、締まりややあり、ロームブロック3％含む
2．灰黄褐色土 粘性、締まりややあり、ロームブロック2％含む
3．灰黄褐色土 粘性、締まりややあり、ロームブロック1％と僅かに炭化物粒含む

H-13、14 土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石とローム粒を僅かに含む
2．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％とローム粒を含む
3．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石粒を僅かに含み、ローム粒を1％含む
4．灰黄褐色土 粘性、締まりあり、焼土ブロックと炭化物を1％含み、灰を含む
5．灰黄褐色土 粘性、締まりあり、ロームブロックを含む
6．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、ローム粒、軽石粒を僅かに含む
7．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、ローム粒を多く含み、炭化物粒を所々に含む
8．灰黄褐色土 粘性、締まりあり、焼土粒と灰、炭化物粒を僅かに含む
9．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、ロームブロック1％と灰、炭化物粒を所々に含む
10．褐灰色土 粘性、締まりなし、軽石粒を僅かに含む（カクラン層）
11．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、白色軽石φ2～3㎜を1％とローム粒含む
12．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、僅かにローム粒と軽石粒含む
13．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、ローム粒を多く含み、僅かに軽石粒含む
14．灰黄褐色土 （カクラン層）
15．鈍い黄褐色土 （カクラン層）
16．灰黄褐色土 （カクラン層）

H-14 カマド



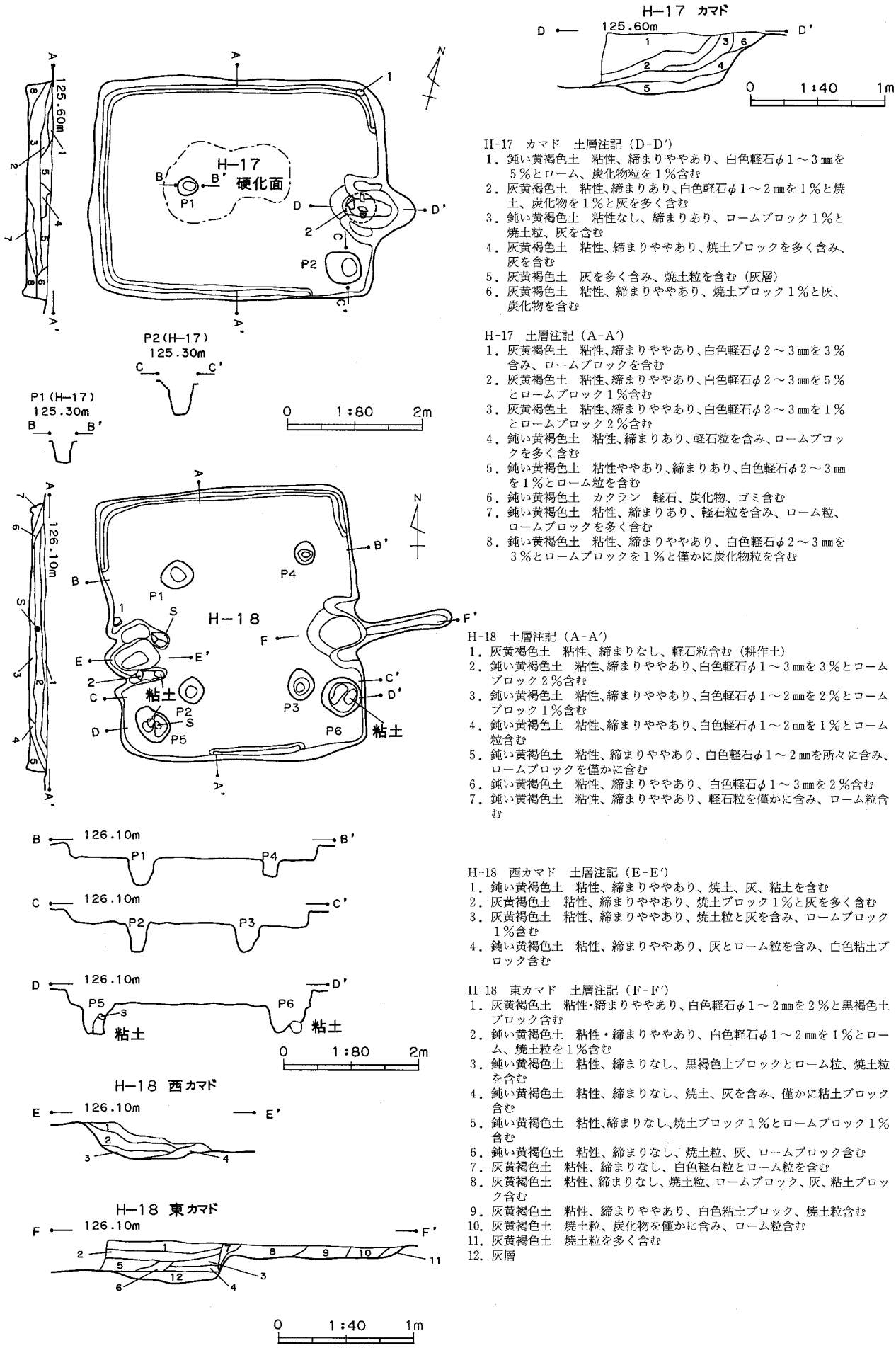
H-13 カマド 土層注記（E-E′）
1．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％と焼土粒を僅かに含む
2．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％と焼土、灰、炭化物を僅かに含む
3．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、白色軽石を所々に含み、焼土、炭化物粒と焼土ブロックを所々に含む
4．鈍い黄褐色土 粘性、締まりややあり、焼土ブロックを1％と灰、炭化物を含む
5．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、僅かにローム粒含む（灰層）
6．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、軽石粒と細砂を含む（カクラン層）
7．鈍い黄褐色土 粘性、締まりあり、焼土ブロック、焼土粒を3％と灰を含む
8．鈍い黄褐色土 粘性、締まりあり、焼土ブロック1％と灰を含む

H-14 P-1 土層注記（F-F′）
1．鈍い黄褐色土 粘性、締まりあり、焼土ブロックとロームブロックを僅かに含む
2．鈍い黄褐色土 粘性、締まりあり、ロームブロック5％含む

H-14 P-2、3 土層注記（G-G′）（H-H′）
1．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、ローム粒、炭化物を1％含む
2．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、ローム粒3％と僅かに炭化物粒含む
3．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、ローム粒1％含む

H-14 カマド 土層注記（I-I′）
1．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、白色軽石φ1～2㎜を3％含む
2．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土粒1％とローム粒、灰を僅かに含む
3．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土ブロックを多く含み、僅かに灰、化物を含む
4．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、ロームブロック、灰、焼土粒を含む
5．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、5層より灰を多く含み、ロームブロックを含む
6．褐灰色土 灰層 焼土粒を含む
7．鈍い黄褐色土 粘性、締まりなし、白色軽石1％とローム粒を多く含む
8．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、軽石粒を僅かに含み、焼土粒1％と灰を含む
9．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土粒と灰を含む
10．灰黄褐色土 粘性、締まりなし、焼土粒を僅かに含み、ローム粒を含む

第32図 H-13・14号住居跡、W-3号溝跡平面・断面図



H-17 カマド 土層注記（D-D′）

1. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を5％とローム、炭化物粒を1％含む
2. 灰黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を1％と焼土、炭化物を1％と灰を多く含む
3. 鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、ロームブロック1％と焼土粒、灰を含む
4. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロックを多く含み、灰を含む
5. 灰黄褐色土　灰を多く含み、焼土粒を含む（灰層）
6. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロック1％と灰、炭化物を含む

H-17 土層注記（A-A′）

1. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を3％含み、ロームブロックを含む
2. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を5％とロームブロック1％含む
3. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を1％とロームブロック2％含む
4. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、軽石粒を含み、ロームブロックを多く含む
5. 鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石φ2～3㎜を1％とローム粒を含む
6. 鈍い黄褐色土　カクラン　軽石、炭化物、ゴミ含む
7. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、軽石粒を含み、ローム粒、ロームブロックを多く含む
8. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を3％とロームブロックを1％と僅かに炭化物粒を含む

H-18 土層注記（A-A′）

1. 灰黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒含む（耕作土）
2. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を3％とロームブロック2％含む
3. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を2％とロームブロック1％含む
4. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％とローム粒含む
5. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を所々に含み、ロームブロックを僅かに含む
6. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を2％含む
7. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒を僅かに含み、ローム粒含む

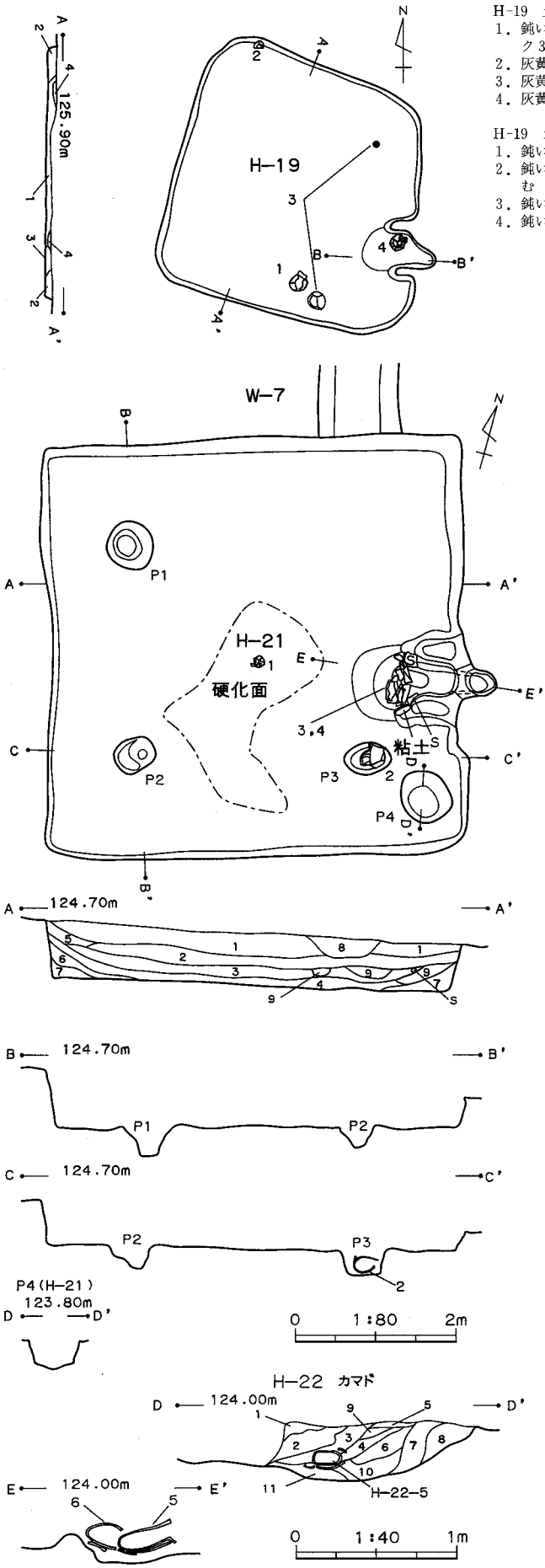
H-18 西カマド 土層注記（E-E′）

1. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土、灰、粘土を含む
2. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロック1％と灰を多く含む
3. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒と灰を含み、ロームブロック1％含む
4. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、灰とローム粒を含み、白色粘土ブロック含む

H-18 東カマド 土層注記（F-F′）

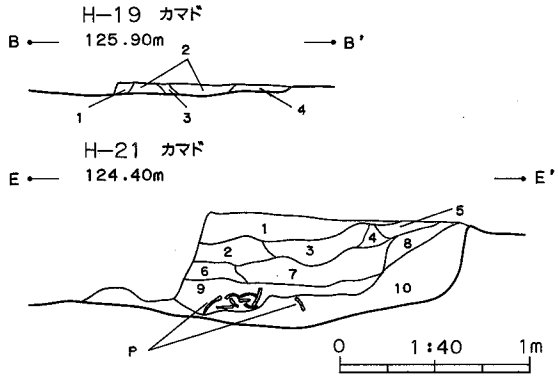
1. 灰黄褐色土　粘性・締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を2％と黒褐色土ブロック含む
2. 鈍い黄褐色土　粘性・締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％とローム、焼土粒を1％含む
3. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、黒褐色土ブロックとローム粒、焼土粒を含む
4. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土、灰を含み、僅かに粘土ブロック含む
5. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロック1％とロームブロック1％含む
6. 鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、灰、ロームブロック含む
7. 灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒とローム粒を含む
8. 灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、ロームブロック、灰、粘土ブロック含む
9. 灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色粘土ブロック、焼土粒含む
10. 灰黄褐色土　焼土粒、炭化物を僅かに含み、ローム粒含む
11. 灰黄褐色土　焼土粒を多く含む
12. 灰層

第33図　H-17・18号住居跡平面・断面図



H-19 土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒とロームブロック３％含む（耕作跡入る）
2．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒を１％含む（耕作跡）
3．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒１％含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒含む（耕作跡）

H-19 カマド　土層注記（B-B′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒１％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック、炭化物１％含む
3．鈍い黄褐色土　ロームブロック２％含む
4．鈍い黄褐色土　焼土粒１％とローム粒２％含む

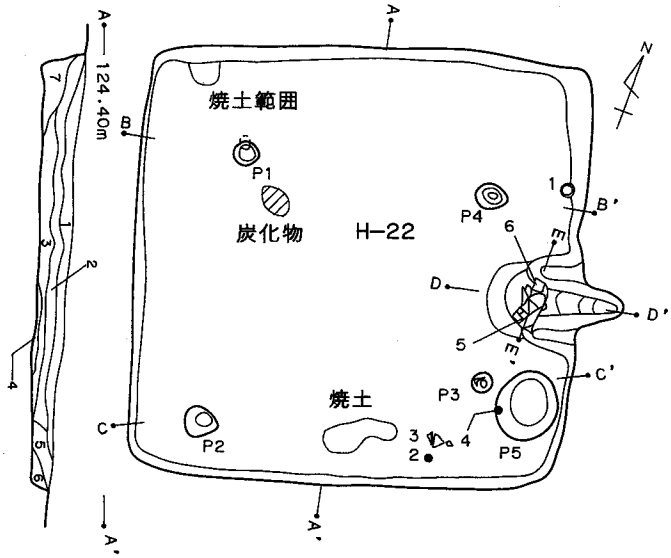


H-21 カマド　土層注記（E-E′）
1．黒褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ１～３㎜を５％含む
2．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ１～３㎜を２％と焼土粒、粘土ブロックを所々に含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石φ１～２㎜を１％と焼土ブロック、粘土ブロックを１％含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりあり、粘土ブロックを１％と軽石粒含む
5．灰黄褐色土　粘性、締まりあり、焼土粒を２％と軽石、粘土粒を含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒と軽石粒、ローム粒を所々に含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、粘土ブロックを多く含み、焼土、ロームブロックを１％含む
8．灰黄褐色土　５層より焼土を多く含む
9．灰黄褐色土　粘性、締まりあり、焼土粒２％と粘土ブロック１％と灰、炭化物粒を含む
10．灰黄褐色土　粘性、締まりあり、焼土ブロック２％と白色粘土ブロック１％と灰を多く含む

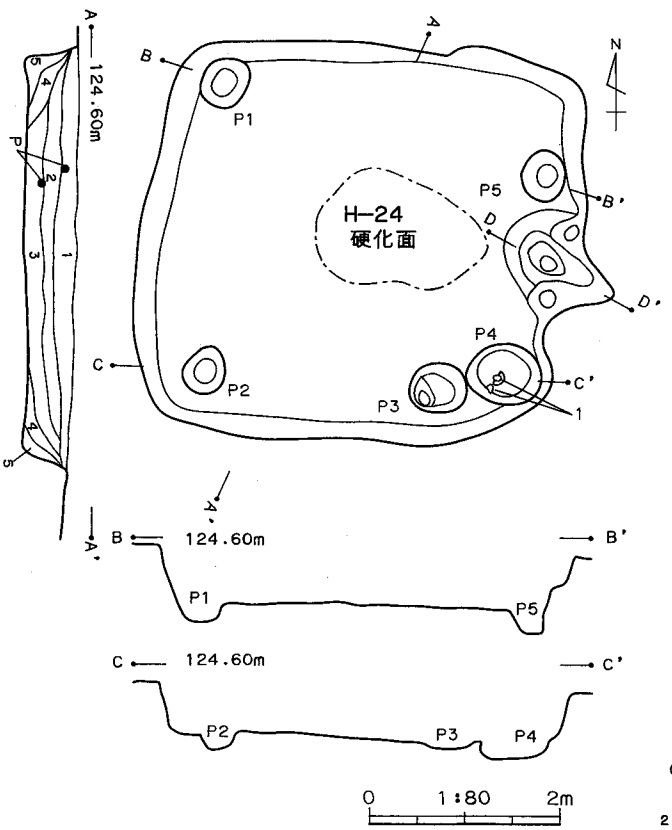
H-21　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ１～３㎜を５％とローム粒１％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック２％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック３％と黒褐色土ブロック２％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック１％と黒褐色土ブロック１％含む
5．黒褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ２～３㎜を３％含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック１％と僅かに黒褐色土ブロック１％含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック２％と僅かに黒褐色土ブロック含む
8．黒褐色土　粘性なし、締まりややあり、白色軽石φ１～３㎜を３％含む（W-７土層）
9．鈍い黄褐色粘土ブロック　僅かに焼土ブロック含む

H-22　カマド　土層注記（D-D′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒、焼土粒を僅かに含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒、軽石粒、白色粘土ブロックを含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒、焼土ブロックを３％含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒、ローム粒を３％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒を所々に含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック１％と焼土粒、灰を僅かに含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒２％とローム粒、軽石粒を僅かに含む
8．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、７層より焼土粒が少ない
9．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土、軽石粒を僅かに含む
10．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒２％と灰を多く含む
11．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロック３％と灰を含む

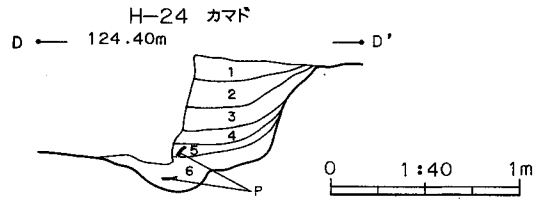
第34図　H-19・21・22号住居跡平面・断面図



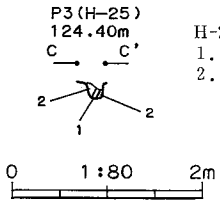
H-22　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を2％とロームブロック1％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒を含み、ロームブロック1％と黒褐色土ブロック1％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石粒とロームブロック2％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、ロームブロック3％と黒褐色土ブロックを所々に含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、ロームブロック5％と軽石粒を僅かに含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、ローム粒1％と僅かに炭化物粒含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、ローム粒1％と軽石粒と僅かに小礫を含む



H-24　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を3％と僅かにローム粒含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を1％と僅かに炭化物粒含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％ロームブロックを所々に含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石を3％とロームブロックを所々に含む
5．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒、ロームブロックを多く含む

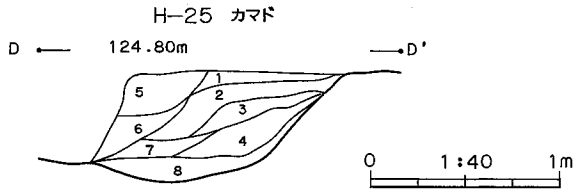


H-24　カマド　土層注記（D-D′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、僅かに軽石粒含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を1％と焼土粒を所々に含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を所々に含み、焼土粒を僅かに含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロック1％と粘土ブロック1％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロック2％と灰、粘土ブロックを含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロック1％と灰を多く含み、僅かにロームブロック含む

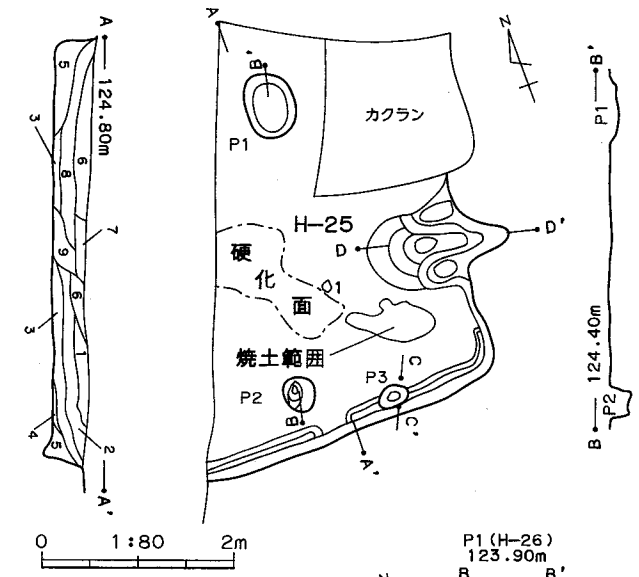


H-25　P-3　土層注記（C-C′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒を僅かに含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック2％含む

H-25　カマド　土層注記（D-D′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム粒と軽石粒を僅かに含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック、軽石粒1％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック、軽石粒を1％含み、黒褐色土ブロックを僅かに含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、焼土粒、灰、ローム粒を含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒φ1～3㎜を1％とローム粒、黒褐色土ブロックを僅かに含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック3％含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりあり、焼土ブロック1％と灰、炭化物粒を含む
8．灰黄褐色土　粘性、締まりあり、焼土粒、炭化物粒を1％含み、灰を多く含む

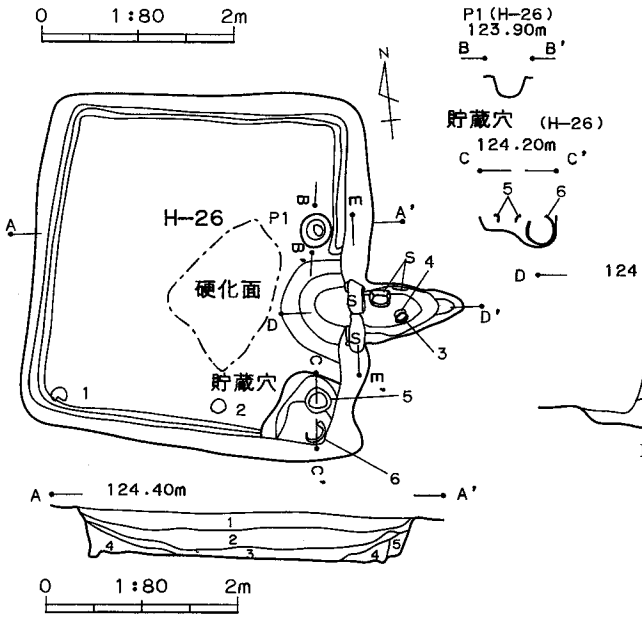


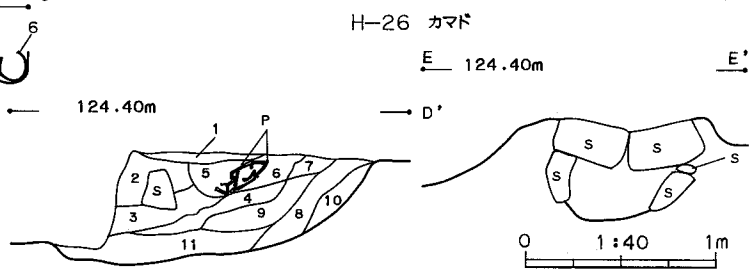
第35図　H-22・24・25号住居跡平面・断面図



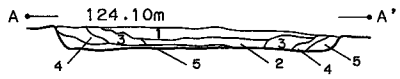
H-25　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を2％とロームブロック、炭化物粒を所々に含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック1％と軽石粒、炭化物粒を所々に含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロックと黒褐色土ブロックを2％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロックと炭化物を所々に含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロックと黒褐色土ブロックを所々に含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒とロームブロックを所々に含み、黒褐色土ブロック、炭化物粒を僅かに含む
7．鈍い黄褐色土粘性、締まりややあり、ローム粒とハードロームブロック含む
8．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒とロームブロックを所々に含み、黒褐色土ブロックを僅かに含む
9．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒とハードロームブロックを含み、僅かに炭化物粒含む

H-26　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～3㎜を2％と僅かに炭化物粒を含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～3㎜を1％とロームブロックを僅かに含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒を僅かに含み、ロームブロックと炭化物粒を所々に含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、黒褐色土ブロック2％とローム粒含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ローム土を多く含む

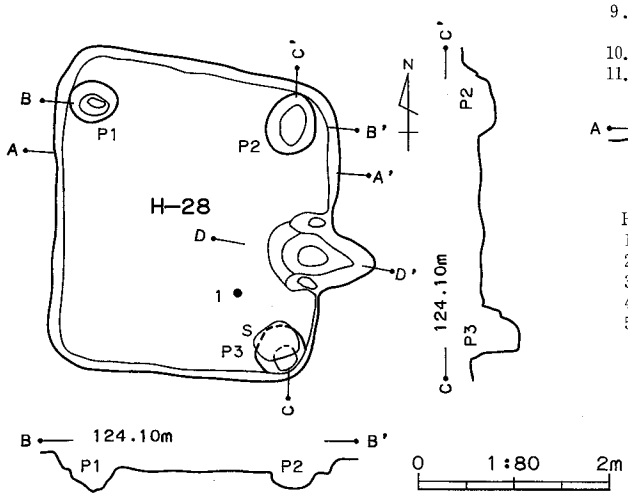




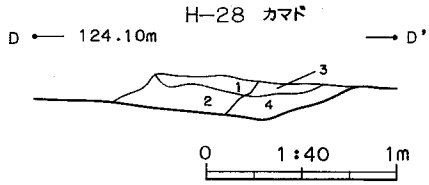
H-26　カマド　土層注記（D-D′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～3㎜を1％含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～3㎜を2％含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロック1％と軽石粒を僅かに含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、3層より軽石粒を多く含む
5．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒を所々に含み、ロームブロック1％含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒を所々に含む
7．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒と焼土粒を僅かに含み、粘土ブロック含む
8．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒多く含み、僅かに炭化物粒含む
9．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロック2％と白色粘土ブロック1％と灰を含む
10．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒1％含む
11．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒1％含み、灰を多く含む（灰層）



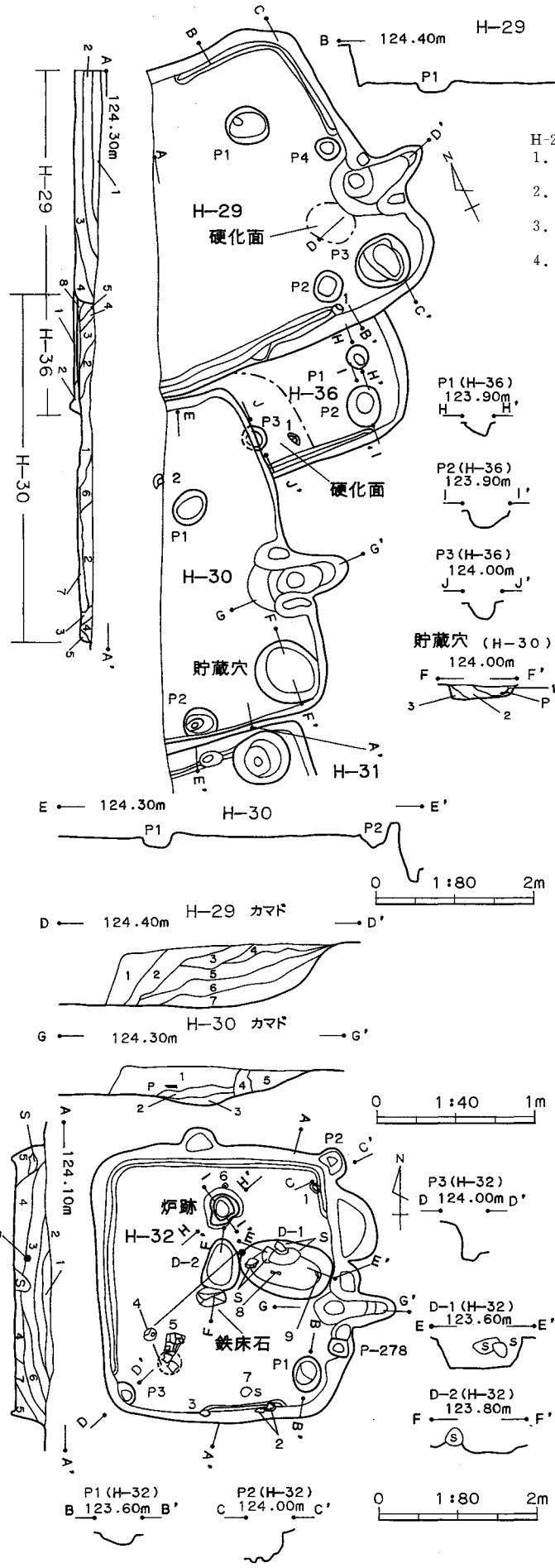
H-28　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、僅かに軽石粒含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒含む
4．灰黄褐色土　ロームブロック1％含む
5．灰黄褐色土　ロームブロック2％含む



H-28　土層注記（D-D′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒、焼土粒、焼土ブロック1％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色粘土ブロック、焼土ブロック3％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒を僅かに含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロック1％と灰を僅かに含む



第36図　H-25・26・28号住居跡平面・断面図



H-29　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％とローム粒3％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を1％とローム粒2％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜、ロームブロック1％と炭化物含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を所々に含み、ロームブロックを僅かに含む

H-36　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック1％含み、炭化物を僅かに含む（H-30貼床に使用）
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック2％と黒褐色土ブロックを含む（H-30貼床に使用）

H-30　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ2～3㎜を1％とローム土2％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を1％とローム土5％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒を所々に含み、ロームブロック、ローム粒を含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、黒褐色土ブロック1％とローム粒を含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック3％と僅かに黒褐色土を含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒1％と僅かにローム粒含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～2㎜を所々に含み、焼土、炭化物、白色粘土を僅かに含む
8．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、黒褐色土ブロックとロームブロック僅かに含む

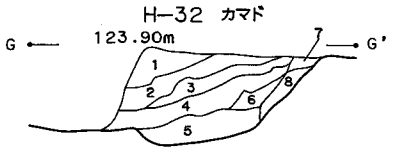
H-30　貯蔵穴　土層注記（F-F′）
1．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒、炭化物粒を1％含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、炭化物1％とロームブロック3％含む
3．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、炭化物粒僅かに含み、ロームブロック2％含む

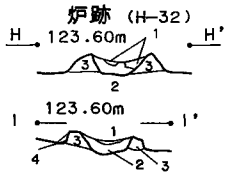
H-29　カマド　土層注記（D-D′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒2％とローム土1％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒1％とローム粒を所々に含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒1％と焼土粒、炭化物、ローム粒を所々に含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石粒と焼土ブロックを1％含む
5．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色粘土を多く含み、焼土粒、炭化物粒1％含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色粘土ブロック1％と焼土、ローム粒と軽石粒を1％含む
7．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色粘土ブロック1％と焼土粒、灰を含む

H-30　カマド　土層注記（G-G′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、軽石粒を僅かに含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロックを1％と白色粘土ブロックを僅かに含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、灰を含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック1％と僅かに焼土粒含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土ブロック2％とローム粒1％と僅かに粘土ブロック含む

H-32　土層注記（A-A′）
1．灰黄褐色土　カクラン　ゴミ入る
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒と炭化物粒を僅かに含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒僅かに含み、ローム粒1％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック僅かに含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック2％と炭化物粒を所々に含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒を所々に含み、黒褐色土を含む

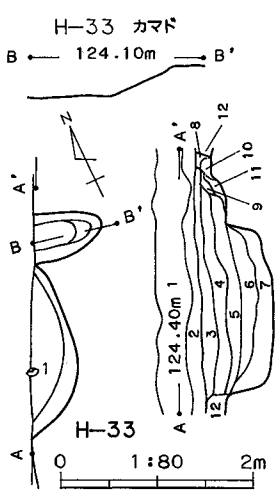
第37図　H-29・30・36・32号住居跡平面・断面図

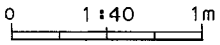




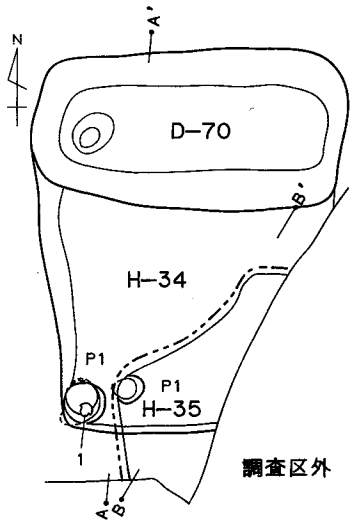
H-32 カマド　土層注記（G-G′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～2㎜を1％含む
3．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～2㎜を所々に含み、ロームブロック2％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒1％と炭化物粒、ローム粒を僅かに含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロックと粒を1％含み、炭化物粒と灰を含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土粒2％とローム粒1％含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、ローム粒僅かに含む
8．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、灰を僅かに含み、ローム粒、ロームブロック含む

H-32 炉跡　土層注記（H-H′）（I-I′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、焼土粒、灰を含む
2．黒褐色土　粘性、締まりなし、灰層　僅かに焼土粒、鉄滓（0.5㎜）含む
3．明黄褐色粘土を主体に鈍い赤褐色焼土、灰を含む土層
4．鈍い黄褐色土　ロームブロック1％含む

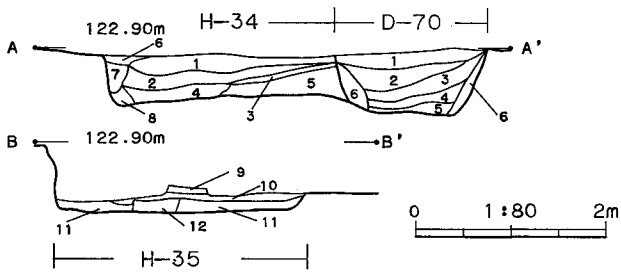




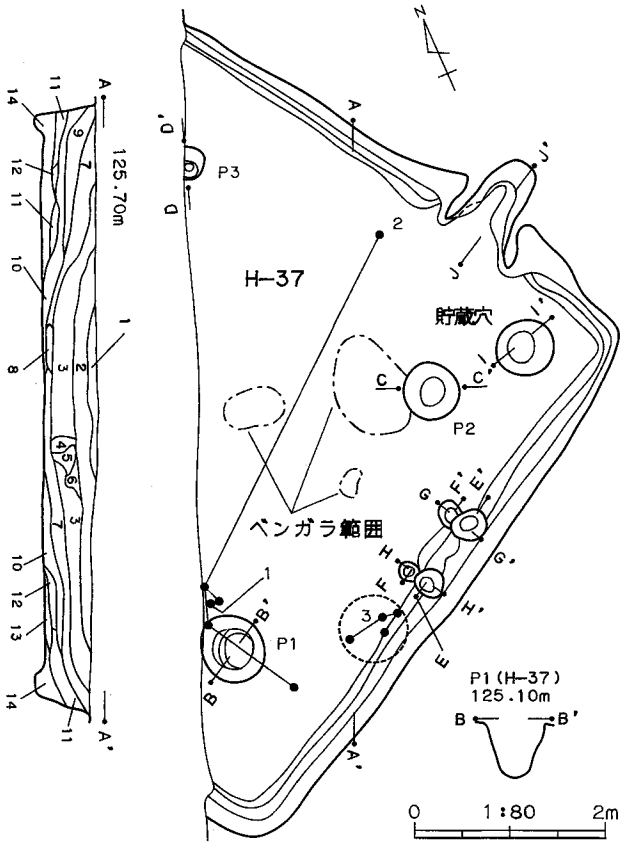
H-33　土層注記（A-A′）
1．盛土　バラス、ローム含む
2．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒を含む（耕作土）
3．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を2％と焼土、炭化物粒を1％含む
4．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を3％と焼土粒2％含む
5．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を1％と焼土ブロック2％と炭化物1％含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜、焼土ブロックを1％とロームブロック2％含む
7．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック3％と焼土、炭化物を1％含む
8．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～2㎜を1％と僅かに焼土粒含む
9．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ2～10㎜を1％と僅かに焼土粒含む
10．灰黄褐色土　粘性、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を1％と白色粘土を含む
11．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、焼土ブロック3％と灰を含む
12．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック5％含む

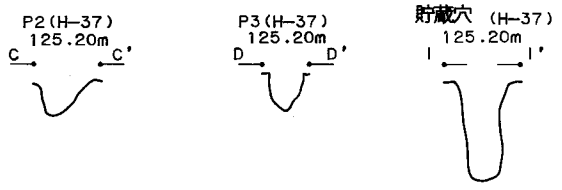


D-70　土層注記（A-A′）
1．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を3％とローム粒を所々に含む
2．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を2％とロームブロックを僅かに含む
3．黒褐色土　粘性、締まりややあり、白色軽石φ1～3㎜を5％とロームブロック1％含む
4．黒褐色土　粘性、締まりややあり、軽石粒とロームブロックを僅かに含み、炭化物粒含む
5．黒褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック3％と軽石粒を僅かに含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック1％含む

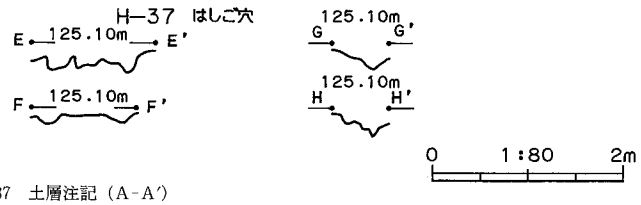


H-34、35　土層注記（A-A′）（B-B′）
1．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を2％とロームブロック1％含む
2．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を1％とロームブロック2％、炭化物粒を所々に含む
3．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を僅かに含み、ロームブロック3％含む
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ロームブロック5％と炭化物粒2％含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒とハードロームブロックを10％含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、僅かに白色軽石粒含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ソフトローム含む
8．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、僅かに軽石粒含む
9．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石粒を1％とローム土を僅かに含む
10．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロックを1％含む
11．黄褐色土　ロームブロックを含む
12．黄褐色土　11層よりロームブロックが少ない
13．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、炭化物を多く含む
14．鈍い黄褐色土　粘性ややあり、締まりあり、ロームブロック10％と軽石粒1％含む（H-34の貼床）
15．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、ローム粒3％と僅かに焼土粒含む（H-35）
16．鈍い黄褐色土　粘性なし、締まりあり、僅かにロームブロック含む（H-35）

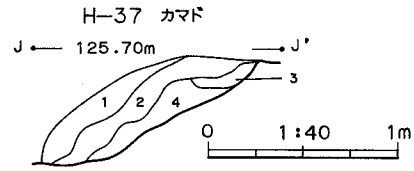




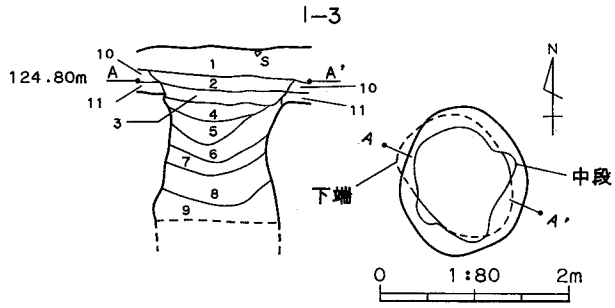
第38図　H-32～35・37号住居跡、D-70号土坑平面・断面図



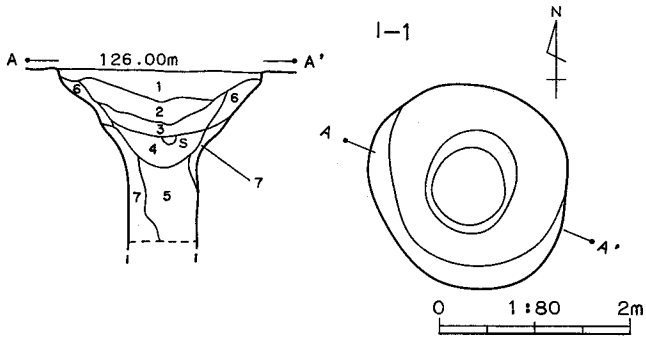
H-37 土層注記（A-A′）
1．黒褐色土　粘性、締まりあり、軽石多量混、焼土粒極少
2．暗褐色土　粘性、締まりあり、軽石、ローム粒多量混、焼土粒少量混、炭化物少量混
3．褐色土　粘性、締まりあり、軽石少量混、ロームブロック、焼土ブロック混、炭化物少量
4．黒褐色土　粘性、締まりあり、軽石少量混、ローム粒少量混
5．暗褐色土　粘性、締まりあり、ベンガラがかたまり状に混入
6．黒褐色土　粘性あり、締まり強くあり、軽石少量混、ローム粒極少混
7．暗褐色土　粘性あり、締まり強くあり、軽石混
8．黒褐色土　粘性、締まりあり、ベンガラがかたまり状に混入
9．黒褐色土　粘性あり、締まり強くあり、軽石、ローム粒混入
10．暗褐色土　粘性、締まり強くあり、粘土主体、軽石、ロームブロック混入、焼土ブロック少量混入
11．暗褐色土　粘性あり、締まり強くあり、粘土主体、ロームブロック、焼土ブロック少量混入
12．黒褐色土　粘性、締まり強くあり、粘土混入、焼土粒極小混
13．暗褐色土　粘性強くあり、締まりあり、ロームブロック混
14．褐色土　粘性ややあり、締まりあり、ロームブロック多量混、周溝を埋める



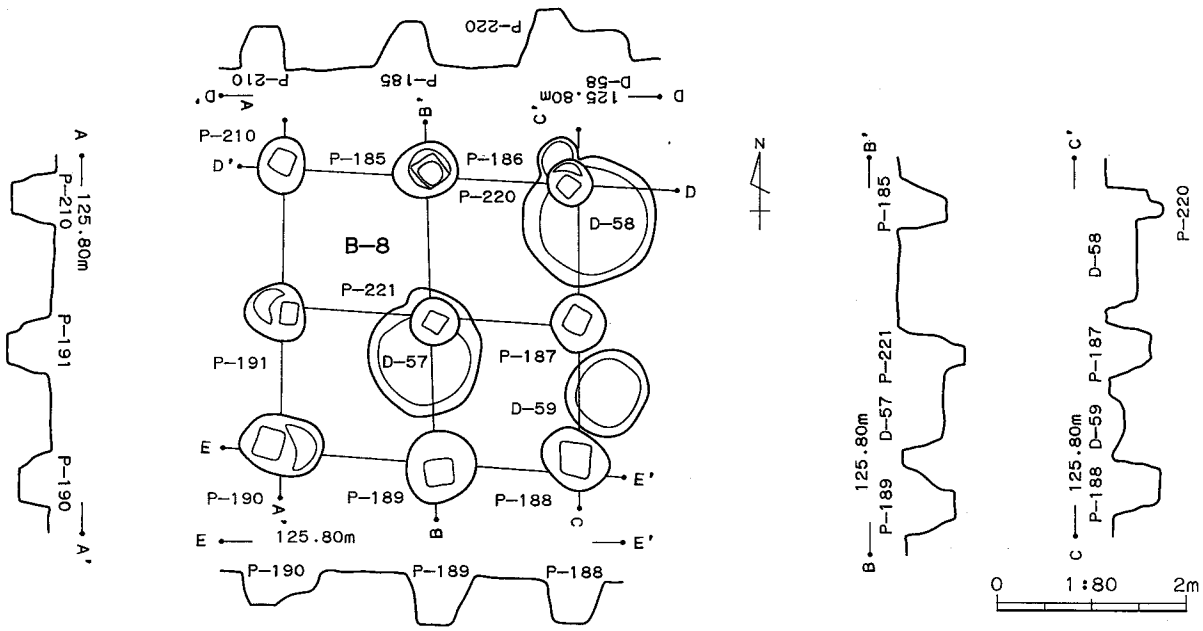
H-37 カマド　土層注記（J-J′）
1．黒褐色土　粘性、締まりあり、軽石、ローム粒、焼土粒多量混入
2．暗褐色土　粘性、締まりあり、軽石、焼土粒、ロームブロック混、粘土ブロック少量混
3．極暗褐色土　粘性、締まりあり、軽石少量混、ロームブロック少量混入
4．黒褐色土　粘性あり、締まり強くあり、粘土、灰、旧地表の土が混ざって流れこんだもの、ローム粒、焼土粒、焼土ブロック少量混、炭化物



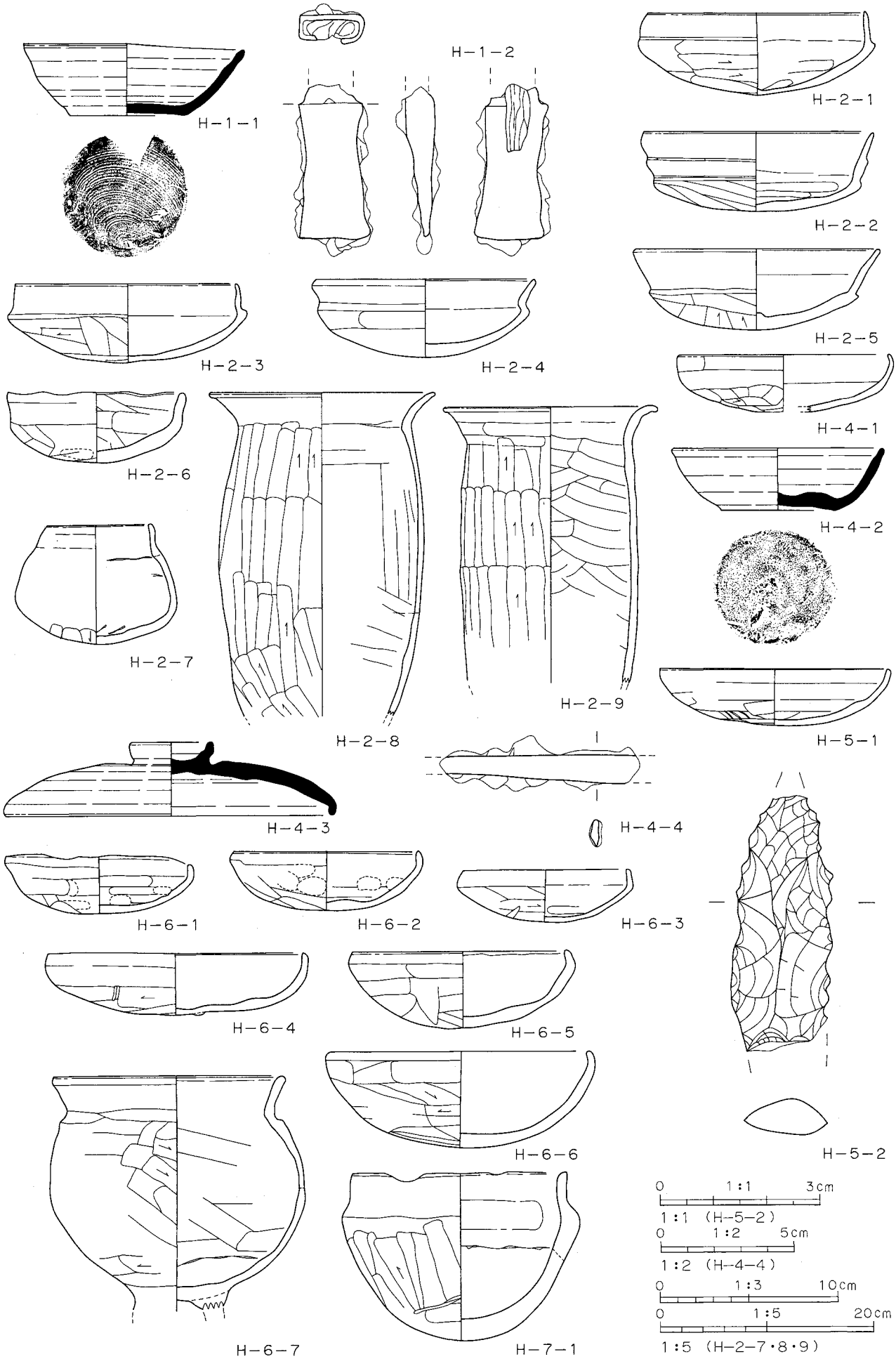
I-3　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　盛土、耕作土
2．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を3％と細砂を含む
3．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を2％と細砂を含む
4．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、白色軽石φ1～2㎜を2％とローム粒を含む
5．灰黄褐色土　粘性なし、締まりあり、軽石粒、小礫を1％含み、ロームブロックを所々に含み、細砂を含む
6．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック、白色粘土ブロックを1％含み、細砂を含む
7．灰黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒、細砂を含み、黒褐色粘質土を2％含む
8．黒褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒、細砂含む
9．黒褐色土　粘性、締まりなし、細砂を含む
10．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、1層のブロックとロームブロック含む
11．鈍い黄褐色土　粘性、締まりややあり、僅かにロームブロック含む



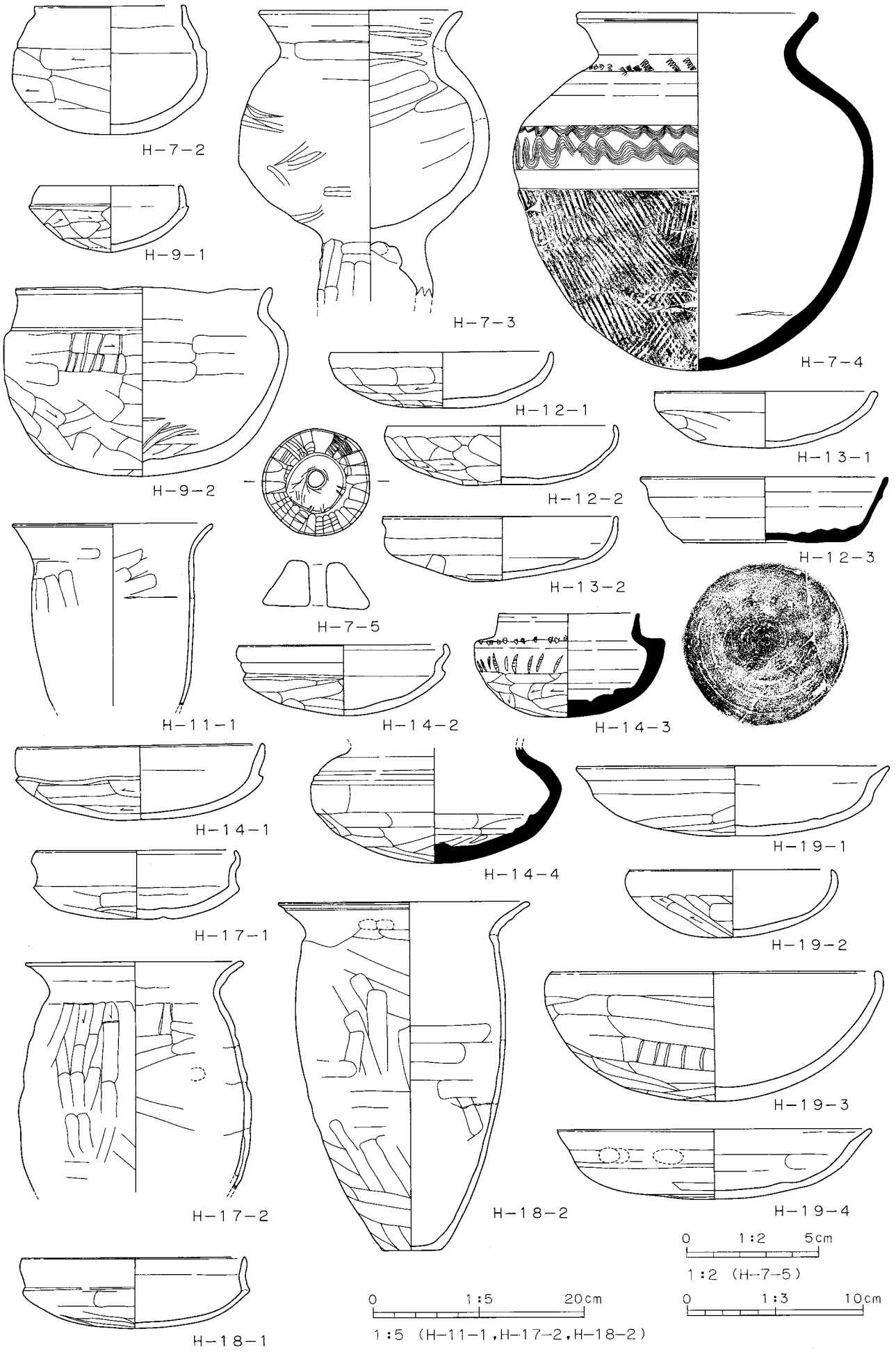
I-1　土層注記（A-A′）
1．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、白色軽石φ1～2㎜を所々に含む
2．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒、細砂、小礫を含む
3．鈍い黄褐色土　2層よりも小礫が少ない
4．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石を含み、石を2点含む
5．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、軽石粒を含み、僅かにローム粒含む
6．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック1％含み、細砂、軽石粒含む
7．鈍い黄褐色土　粘性、締まりなし、ロームブロック、ローム粒を多く含み、細砂を含む



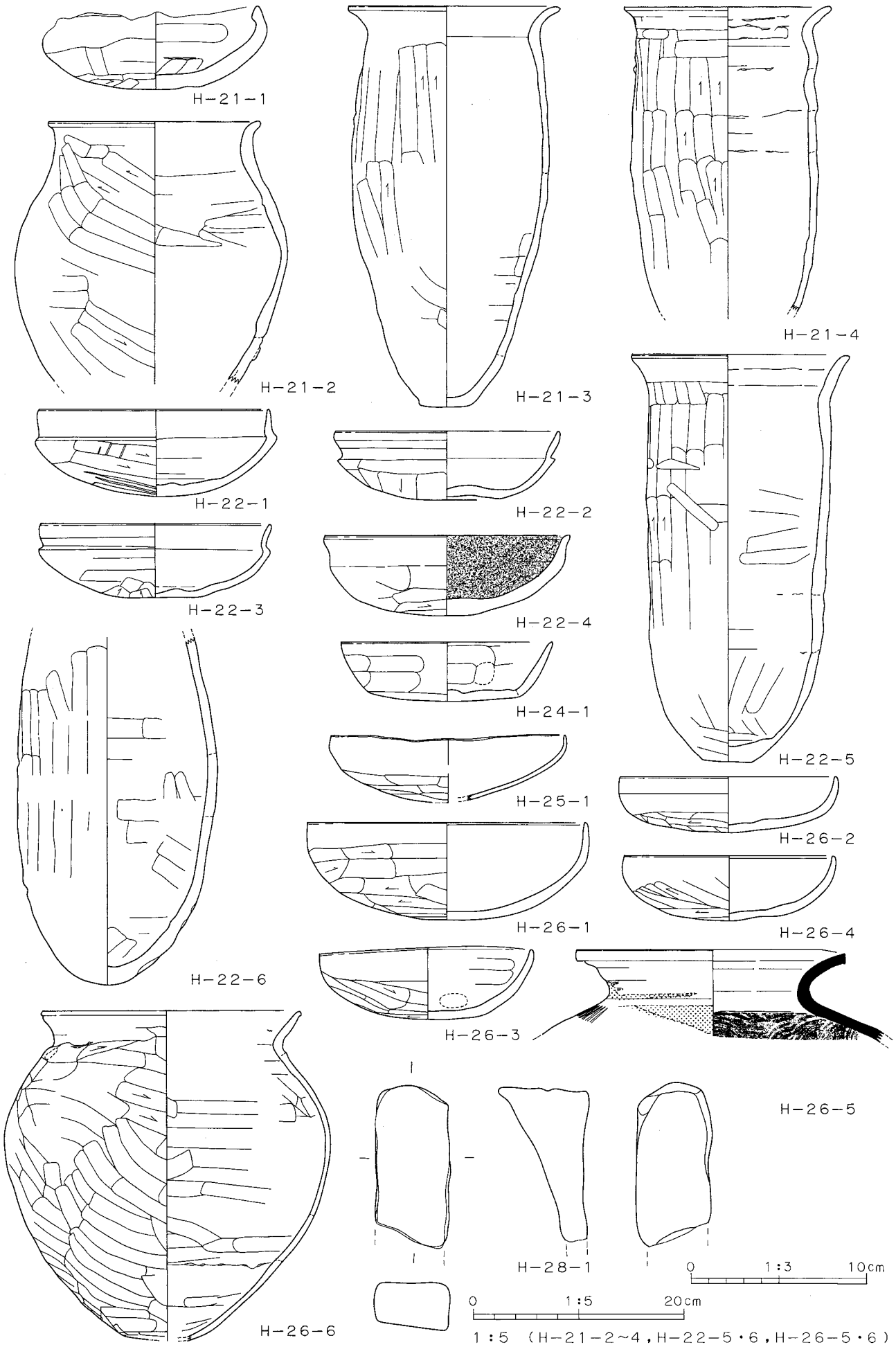
第39図　H-37号住居跡、I-1・3号井戸跡、B-8号掘立柱建物跡平面・断面図



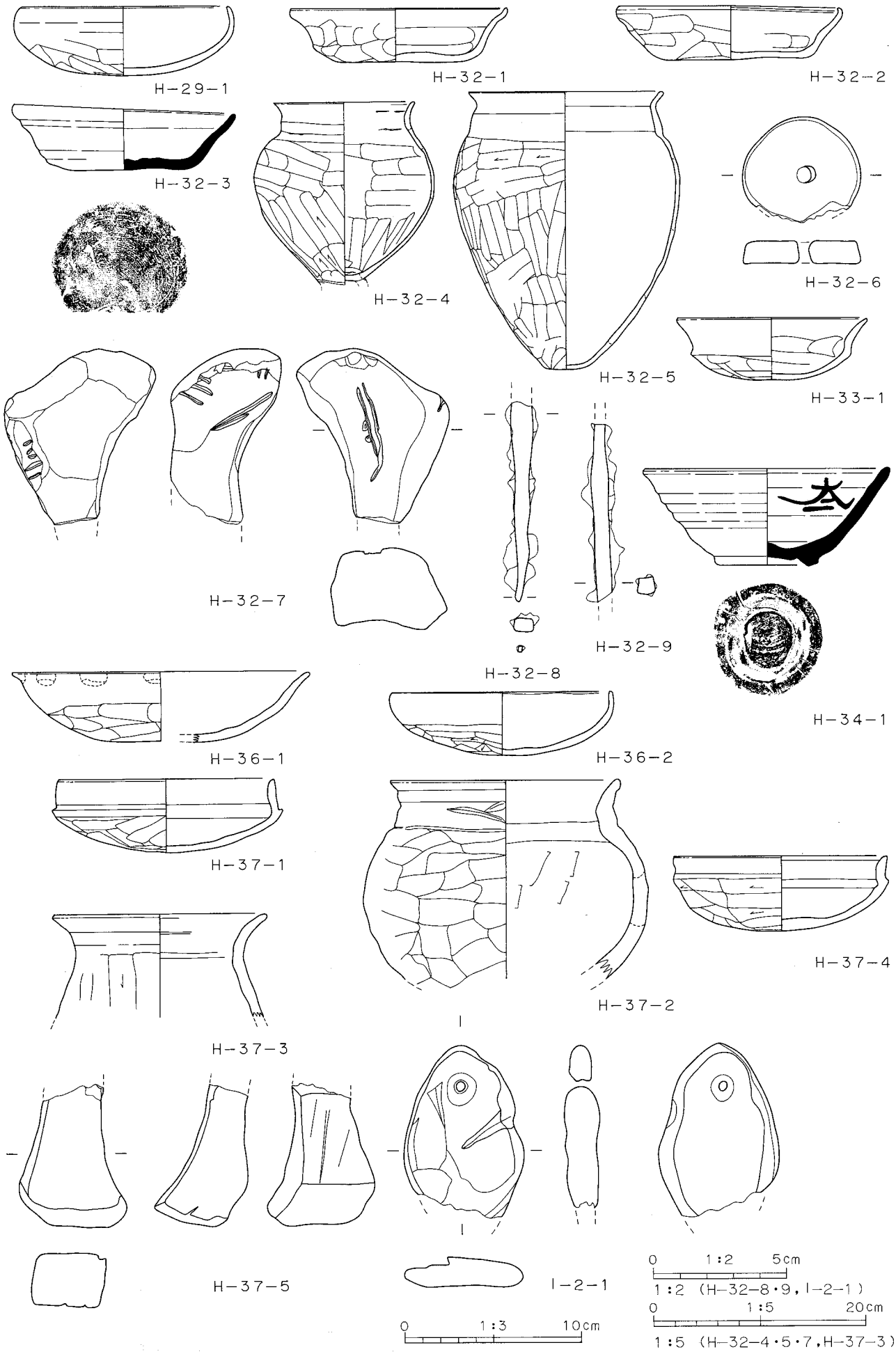
第40図　H-1・2・4～7号住居跡出土遺物実測図



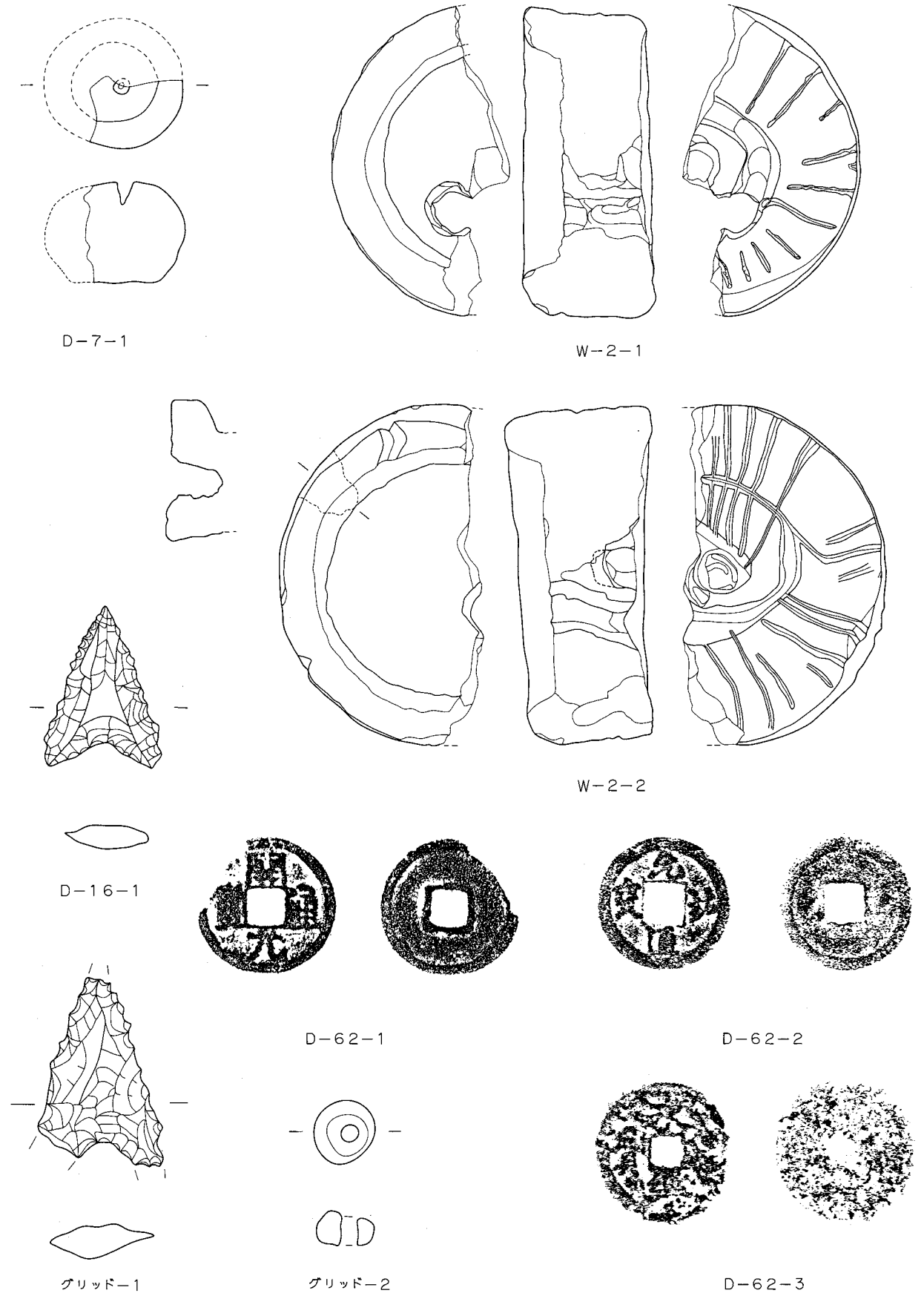
第41図　H-7・9・11～14・17～19号住居跡出土遺物実測図



第42図　H-21・22・24～26・28号住居跡出土遺物実測図



第43図　H-29・32～34・36・37号住居跡、I-2号井戸跡出土遺物実測図



第44図　W－2号溝跡、D－7・16・62号土坑、グリッド出土遺物実測図

A・B区調査前全景（南から）

C区調査前全景（東から）

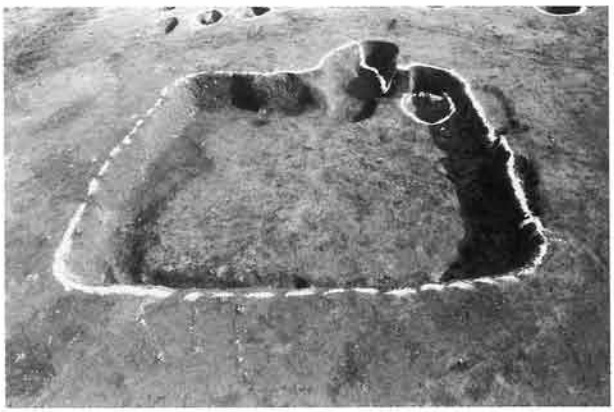
A区全景（南から）

B区全景（南から）

C区全景（東から）

J－1号住居跡全景（西から）

J－1号住居跡遺物出土状況



H－1号住居跡全景（西から）

図版　2

Ｈ－２号住居跡、Ｂ－１全景（西から）

Ｈ－２号住居跡遺物出土状況

Ｈ－３号住居跡全景（西から）

Ｈ－３号住居跡遺物出土状況

Ｈ－３号住居跡カマド全景

Ｈ－４号住居跡全景（西から）

Ｈ－４号住居跡遺物出土状況

Ｈ－５号住居跡全景（西から）

Ｈ－５号住居跡遺物出土状況

Ｈ－６号住居跡全景（西から）

Ｈ－６号住居跡遺物出土状況

Ｈ－７号住居跡全景（西から）

Ｈ－７号住居跡カマド全景

Ｈ－７号住居跡遺物出土状況

Ｈ－７号住居跡遺物出土状況

Ｈ－８号住居跡全景（南から）

図版　4

H－９号住居跡全景（西から）

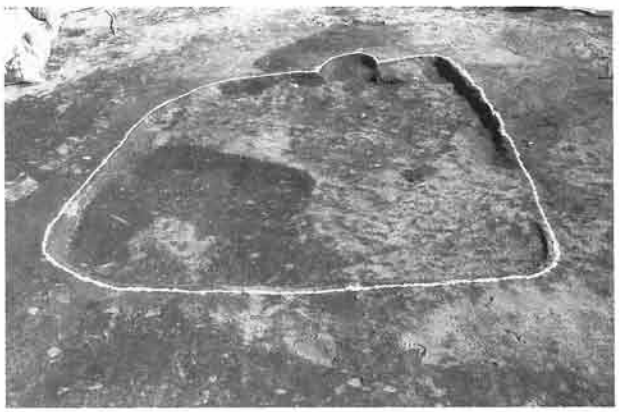
H－10号住居跡全景（西から）

H－10号住居跡カマド全景

H－10号住居跡遺物出土状況

H－10号住居跡遺物出土状況

H－10号住居跡カマド遺物出土状況



H－11号住居跡全景（西から）

H－12号住居跡全景（西から）

H－12号住居跡遺物出土状況

H－12号住居跡貯蔵穴全景

H－13号住居跡全景（南から）

H－14号住居跡全景（西から）

H－14号住居跡遺物出土状況

H－15号住居跡全景（西から）

H－15号住居跡遺物出土状況

H－16号住居跡全景（西から）

図版　6

H－16号住居跡カマド全景

H－17号住居跡全景（西から）

H－17号住居跡カマド全景

H－17号住居跡遺物出土状況

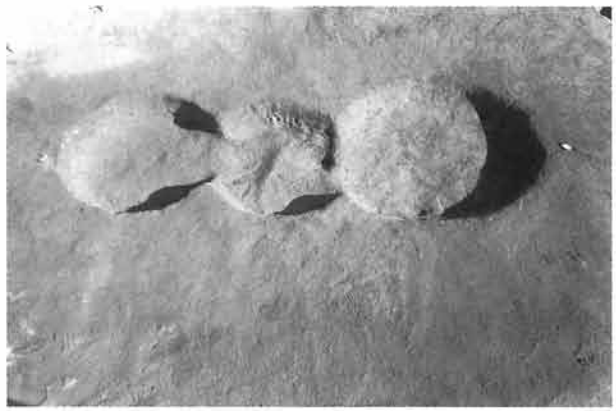
H－18号住居跡全景（西から）

H－19号住居跡全景（西から）

H－19号住居跡カマド全景

H－19号住居跡遺物出土状況

H－19号住居跡カマド遺物出土状況

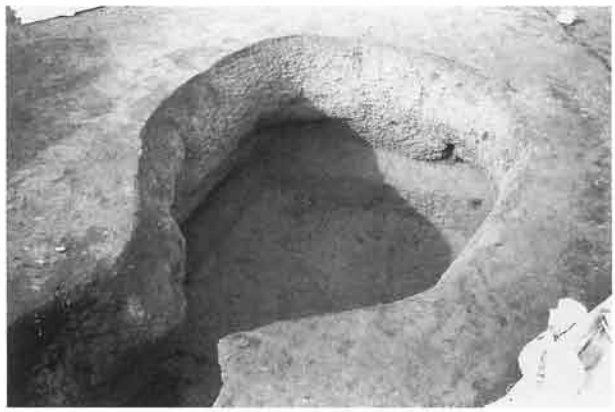


D－73～75号土坑全景（西から）

D－74号土坑遺物出土状況

D－77号土坑全景（東から）

地下式土坑全景（北から）



地下式土坑全景（東から）

地下式土坑全景（東から）

周溝状遺構全景（東から）

図版　8

Ｂ－２、Ｔ－１全景（北から）

Ｔ－３全景（西から）

Ｂ－３全景（西から）

Ａ－１全景（南から）

深掘りセクション（Ａ区）

深掘りセクション（Ｃ区）

埋め戻し完了全景（Ａ・Ｂ区）

埋め戻し完了全景（Ｃ区）

J－1－1

J－1－2

J－1－3

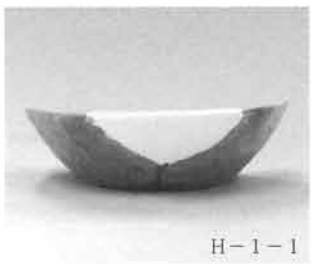
J－1－4

J－1－5

J－1－6

J－1－7

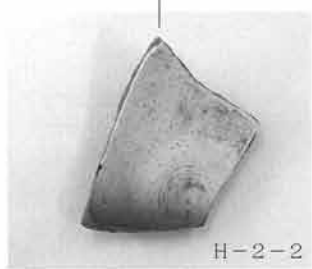
D－74－1


H－1－1

H－1－2

H－2－3

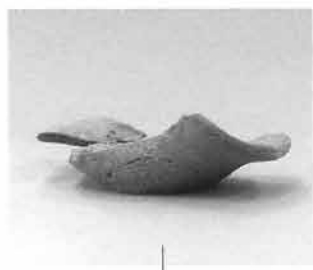
H－2－1


H－2－2

H－2－4

H－3－1

H－3－2



H－4－1

H－4－2

H－3－4

H－3－3

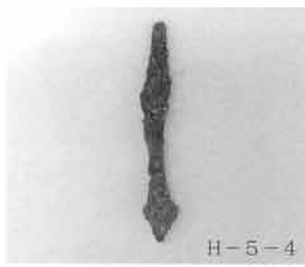
H－4－3

H－4－4

H－5－1

H－5－2

H－5－3


H－5－4

H－6－1

H－6－2

H－6－3

H－6－4

H－6－5

H－7－1

H－7－2

H－7－3

H－7－4

H－7－5

H－7－6

H－7－7

H－7－9

H－7－10

H－7－18

H－7－8

H－7－16

H－7－17

H－8－1

H－8－2

H－7－11

H－7－12

H－7－13

H－7－14

H－7－15

H－10－1

H－10－2

H－10－3

H－10－4

H－10－6

H－10－7

H－10－8

H－10－5

H－10－12

H－10－9

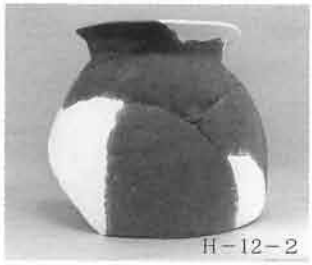
H－10－10

H－10－11

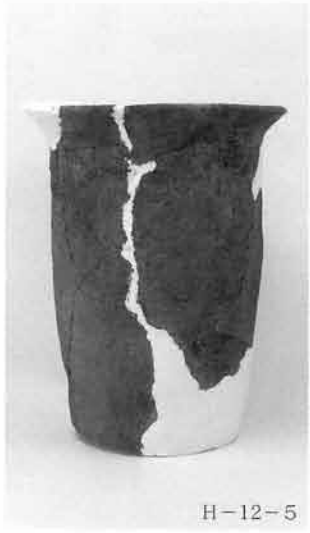
H－10－13

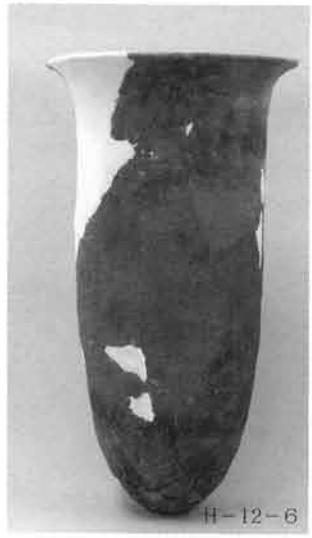
H－12－1

図版　12


H－12－2

H－12－3


H－12－5


H－12－6

H－12－4

H－12－7

H－13－1

H－13－2

H－14－1

H－14－2

H－15－1

H－16－1

H－16－2

H－16－3

H－17－1

H－17－2

H－17－3

H－17－4

H－17－5

H－19－1

H－19－2

グリッド－1

H－19－3

H－19－4

H－19－5

A・D区調査前全景（南から）

B区調査前全景（西から）

C区調査前全景（西から）

A区全景（北から）

B区全景（東から）

C区全景（東から）

D区全景（東から）

H－1号住居跡全景（西から）

Ｈ－２号住居跡全景（西から）

Ｈ－２号住居跡遺物出土状況

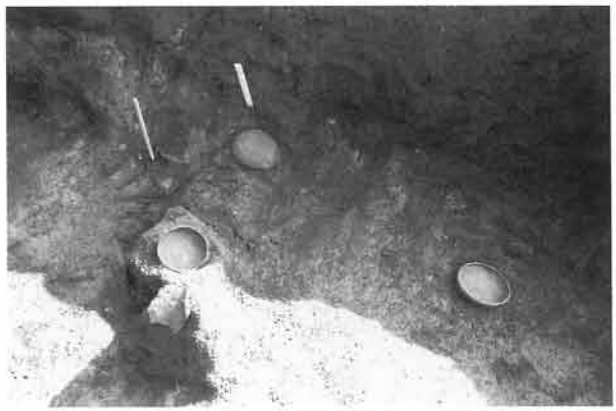
Ｈ－２号住居跡カマド遺物出土状況

Ｈ－３号住居跡全景（西から）

Ｈ－４号住居跡全景（西から）

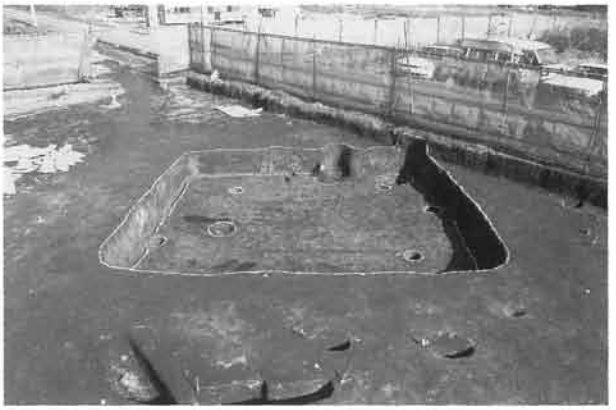
Ｈ－５号住居跡全景（西から）

Ｈ－６号住居跡全景（西から）



Ｈ－６号住居跡遺物出土状況

Ｈ－6号住居跡遺物出土状況



Ｈ－７号住居跡全景（南西から）

Ｈ－７号住居跡遺物出土状況

Ｈ－７号住居跡カマド全景

Ｈ－８号住居跡全景（西から）

Ｈ－９号住居跡全景（南西から）

Ｈ－10号住居跡全景（南西から）

Ｈ－11号住居跡全景（西から）

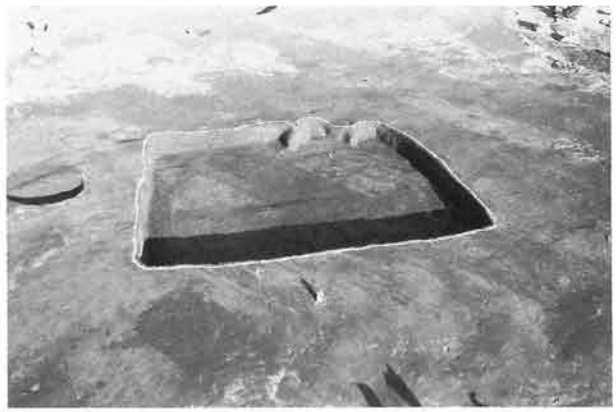
H－12号住居跡全景（西から）

H－13・14号住居跡重複全景（西から）

H－14号住居跡遺物出土状況

H－14号住居跡カマド全景

H－15号住居跡全景（西から）



H－16号住居跡全景（南西から）

H－17号住居跡全景（西から）

H－17号住居跡遺物出土状況

H－18号住居跡全景（西から）

H－18号住居跡東カマド全景

H－18号住居跡西カマド全景

H－19号住居跡全景（西から）

H－19号住居跡遺物出土状況

H－20号住居跡全景（西から）

H－21号住居跡全景（西から）

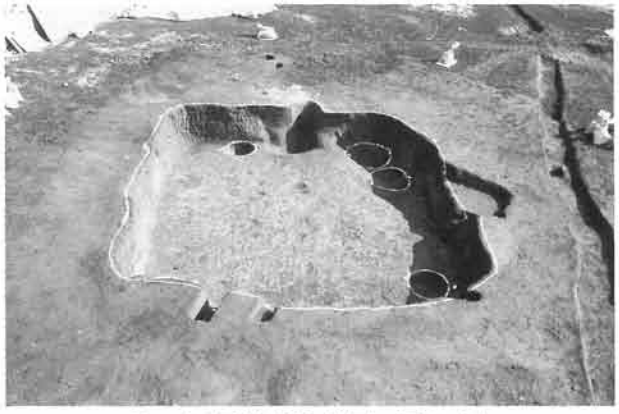
H－21号住居跡カマド全景

H－21号住居跡カマド遺物出土状況

H－22号住居跡全景（西から）

H－22号住居跡カマド遺物出土状況

H－23号住居跡全景（西から）



H－24号住居跡全景（西から）

H－25号住居跡全景（西から）

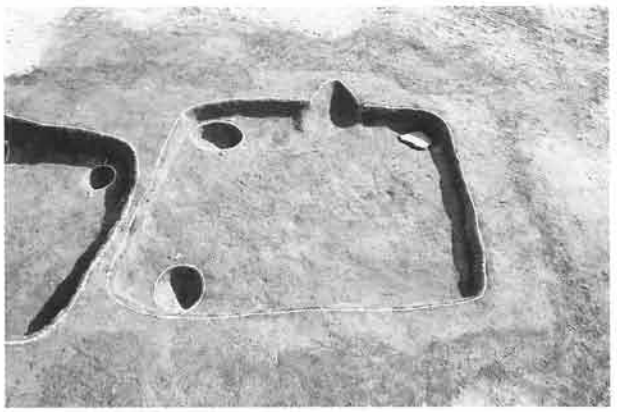
H－26号住居跡全景（西から）

H－26号住居跡貯蔵穴遺物出土状況

H－26号住居跡カマド全景

H－26号住居跡カマド遺物出土状況

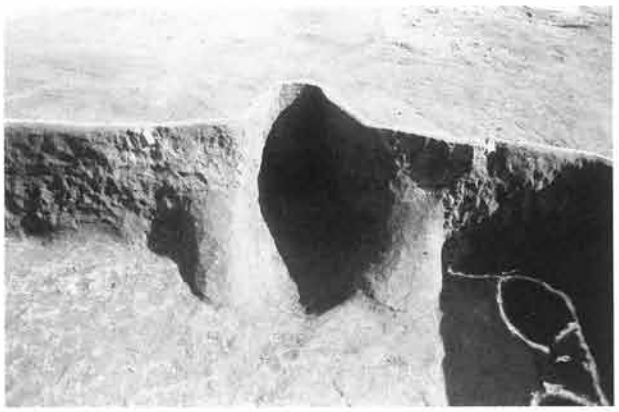
H－27号住居跡全景（東から）



H－28号住居跡全景（西から）

H－29・36・30号住居跡重複全景（西から）

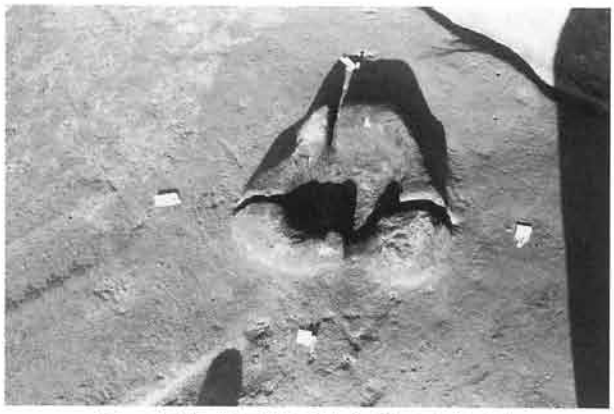
H－31号住居跡全景（西から）



H－31号住居跡カマド全景

H－32号住居跡（小鍛冶）全景（西から）

Ｈ－32号住居跡遺物出土状況



Ｈ－32号住居跡炉跡全景（小鍛冶）

Ｈ－33号住居跡全景（東から）

Ｈ－34・35号住居跡、Ｄ－70重複全景（西から）

Ｈ－37号住居跡全景（南から）

Ｈ－37号住居跡ベンガラ出土状況

Ｈ－37号住居跡カマド全景

Ｔ－１号全景（西から）

周溝状遺構全景（南から）

Ｂ－６号全景（北から）

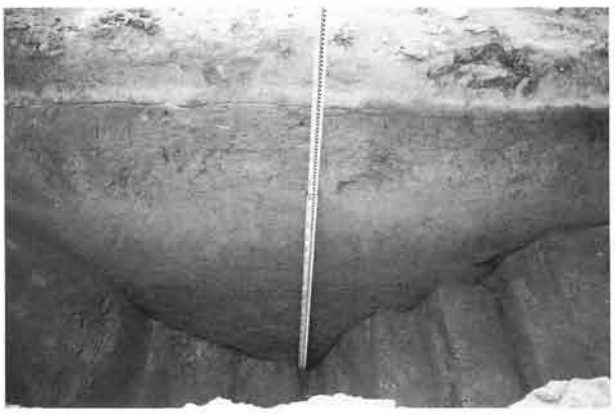
Ｂ－８号全景（西から）

Ｗ－２号溝遺物出土状況

Ｗ－３号溝全景（東から）

Ｗ－９・10号溝全景（東から）

Ｉ－４号井戸全景



深掘りセクション（Ａ区）

H－1－1

H－2－1

H－2－2

H－1－2

H－2－3

H－2－4

H－2－8

H－2－9

H－2－5

H－2－6

H－4－1

H－4－2

H－2－7

H－4－3

H－4－4

H－5－1

H－6－1

H－6－2

H－5－2

H−6−3

H−6−4

H−6−5

H−6−6

H−6−7

H−7−1

H−7−3

H−7−4

H−7−2

H−7−5

H−9−1

H−9−2

H−11−1

H−12−1

H−12−2

H−12−3

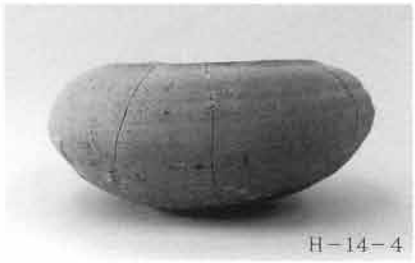
H−13−1

H−13−2

H−14−1

H－14－2

H－14－3


H－14－4

H－17－1

H－18－1

H－19－1

H－17－2

H－18－2

H－19－2

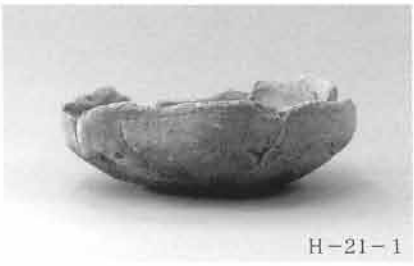
H－19－3

H－21－2

H－21－3

H－19－4

H－21－4


H－21－1

H－22－1

H－22－2

H－22－3

H－22－4

H－22－5

H－22－6

H－24－1

H－26－1

H－26－2

H－25－1

H－26－6

H－26－4

H－26－3

H－26－5

H－28－1

H－32－1

H－29－1

H－32－3

H－32－2

H－32－4

H－32－6

H－32－5

H－32－7

H－32－8

H－32－9

H－33－1

H－34－1

H－36－1

H－37－1

H－37－2

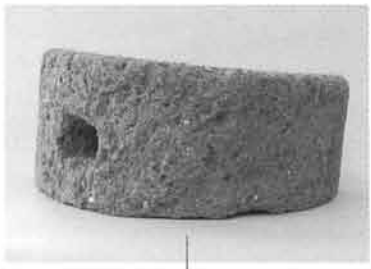
H－37－3

H－36－2

H－37－4

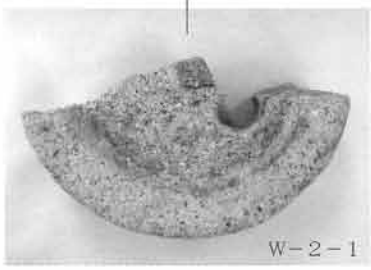
H－37－5

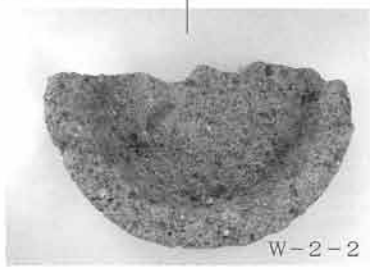
I－2－1



D－7－1

D－16－1


W－2－1


W－2－2

グリッド－1

グリッド－2

D－62－1

D－62－2

D－62－3

D－62－4

D－62－5

D－62－6

抄　　録

フリガナ	ゴダイタケハナニイセキ・ゴダイキフクサンイセキ
書名	五代竹花Ⅱ遺跡・五代木福Ⅲ遺跡
副書名	五代南部工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	齊木　一敏・倉品　敦子(前橋市埋蔵文化財発掘調査団) 金子正人・荻野博巳・権田友寿・板垣　宏 神津芳夫・猪熊正晴・山口和宏（スナガ環境測設株式会社）
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371－0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10－２
発行年月日	西暦2004年３月５日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ゴダイタケハナニ イセキ 五代竹花Ⅱ遺跡	マエバシシ ゴダイマチ 前橋市五代町	10201	15C22	36°24′33″	139°06′59″	20031002	6,411㎡	五代南部工業団地造成事業
ゴダイ キフクサンイセキ 五代木福Ⅲ遺跡	マエバシシ ゴダイマチ 前橋市五代町	10201	15C23	36°24′31″	139°07′03″	20040305	6,035.5㎡	

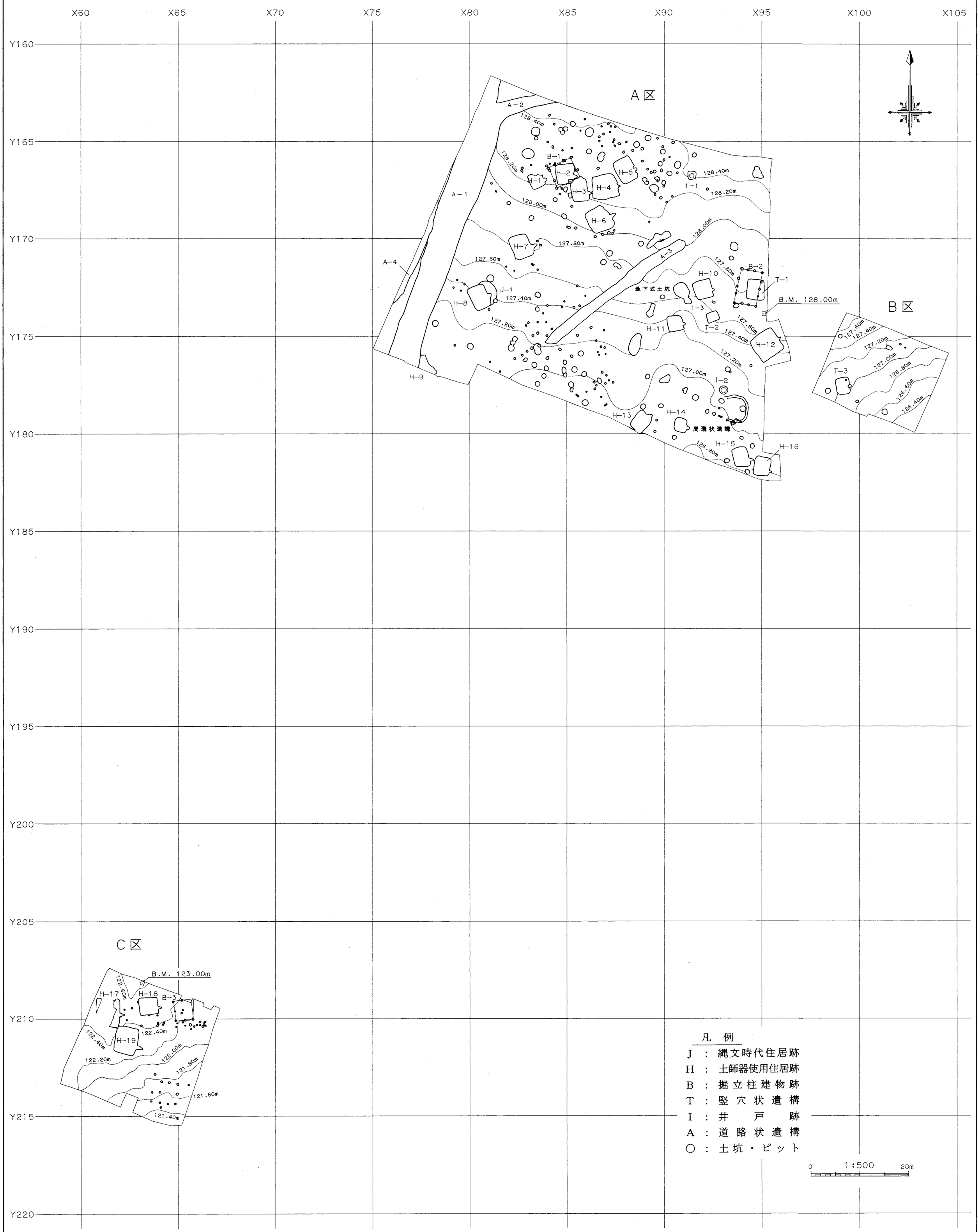
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
五代竹花Ⅱ遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡１軒、土坑19基	縄文土器・石器	皇朝十二銭 「和同開珎」 「神功開寶」
		古墳時代	竪穴住居跡２軒	土師器・須恵器・紡錘車	
		奈良時代	竪穴住居跡５軒、掘立柱建物跡	土師器・須恵器	
		平安時代	竪穴住居跡12軒、掘立柱建物跡	土師器・須恵器・古銭・銅鈴	
		中世	地下式土坑１基	土師器・須恵器	
		近世以降	道路状遺構４条	土師器・須恵器	
		不明	竪穴状遺構３基、周溝状遺構１基、土坑、ピット、井戸跡３基	土師器・須恵器	
五代木福Ⅲ遺跡	集落跡	古墳時代	竪穴住居跡14軒、掘立柱建物跡	土師器・須恵器・紡錘車	鍛冶工房跡
		奈良時代	竪穴住居跡15軒、掘立柱建物跡	土師器・須恵器・斧・刀子	
		平安時代	竪穴住居跡８軒	土師器・須恵器・砥石・釘	
		古墳	ピット294基	土師器・須恵器片	
		～中近世	溝跡10条、井戸跡４基、土坑73基	石臼・軟質陶器・古銭	
		不明	竪穴状遺構１基、周溝状遺構１基	土師器・須恵器片	

五代竹花Ⅱ遺跡
五代木福Ⅲ遺跡

2004年３月１日　印刷
2004年３月５日　発行

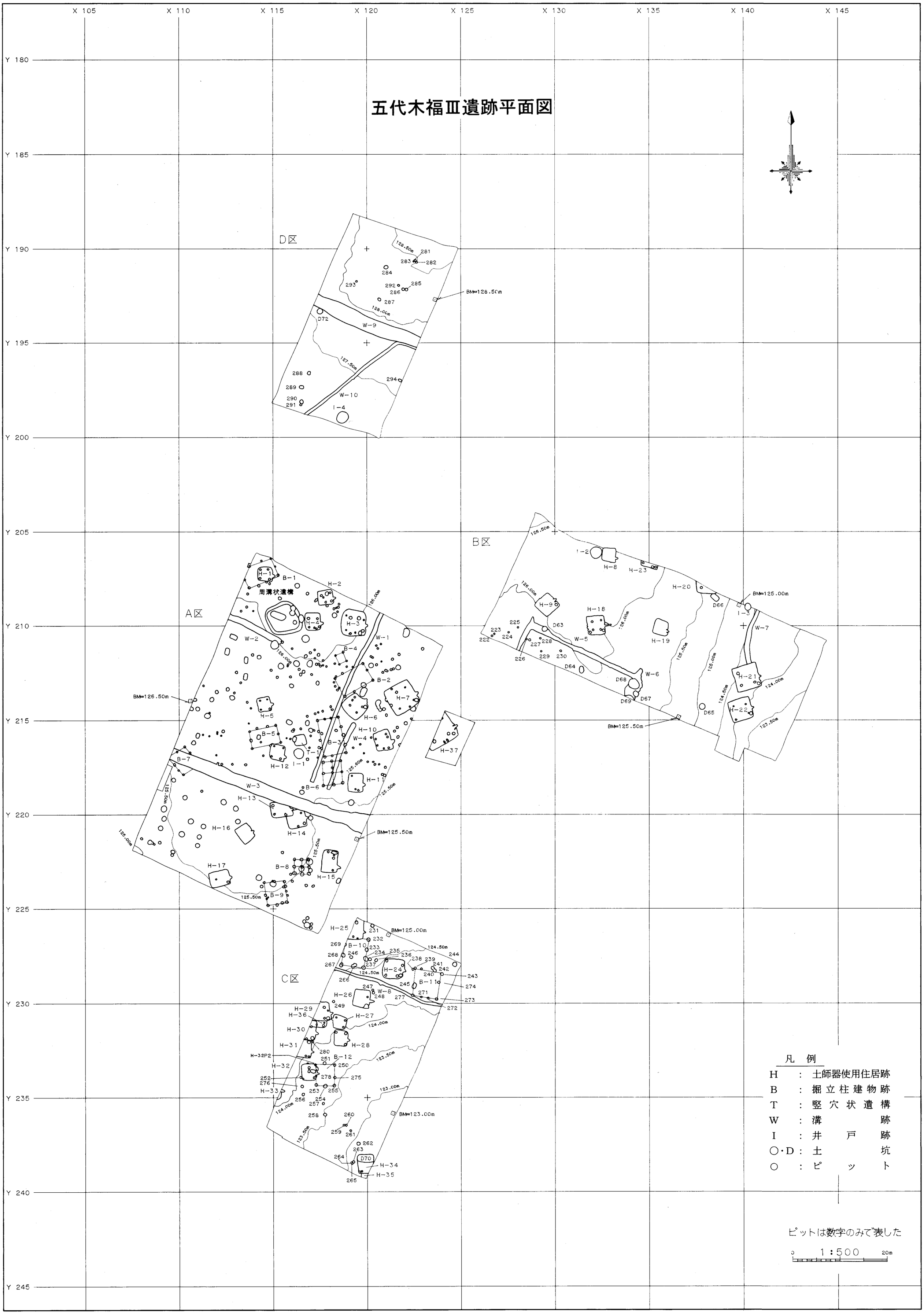
発　行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10-２
編　集　スナガ環境測設株式会社
前橋市青柳町211番地の１
印　刷　朝日印刷工業株式会社

五代竹花Ⅱ遺跡平面図



五代竹花Ⅱ遺跡　平成１６年３月　スナガ環境測設株式会社作製

五代木福Ⅲ遺跡平面図



五代木福Ⅲ遺跡　平成16年3月　スナガ環境測設株式会社作製